



ネットワークカメラ

インストールマニュアル

V5.2.0

UD.6L0201A1520A02

当社の製品を購入していただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店にご連絡ください。当社では、様々なネットワークカメラがあります。このマニュアルには、これらすべてのカメラの説明書が記載されています。次のリストでカメラのモデルを見つけてください。

このマニュアルには、技術的に間違った場所や印刷エラーが含まれている場合があります。内容は予告なしに変更されることがあります。アップデートは、このマニュアルの新バージョンに追加されます。マニュアルに記載されている製品または手順を容易に改善または更新します。

免責事項



Underwriters Laboratories Inc. (以下「UL」) は、本製品のセキュリティまたはシグナリングに関するパフォーマンスや信頼性をテストしていません。UL の安全規格 UL60950-1 に記載されているように、UL は火災、衝撃、または災害の危険をテストしていません。UL 認定は、この製品のセキュリティまたはシグナリング面のパフォーマンスまたは信頼性をカバーしていません。UL は、本製品のセキュリティまたはシグナリング関連機能の性能または信頼性に関して、いかなる表明、保証または証明もしていません。

安全上の指示

これらの指示は、ユーザが製品を正しく使用して、危険や財産の損失を避けルータめのものです。予防措置は、「警告」と「注意」に分かれています。

警告: これらの警告のいずれかが無視されると、深刻な傷害または死亡が引き起こされることがあります。

注意: これらの注意のいずれかが無視されると、傷害または装置の損傷が引き起こされる可能性があります。

	
<p>警告 重大な怪我や死亡を防ぐために、これらの安全対策に従ってください。</p>	<p>注意 けがや重大な損傷を防ぐために、次の注意事項に従ってください。</p>



警告:

- 安全超低電圧 (SELV) 規格に適合した電源アダプタをご使用ください。また、IEC60950-1 および電源標準制限規格に準拠した、12 VDC または 24 VAC の電源 (モデルに依存) です。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。自分で製品を分解しないでください。(不正な修理やメンテナンスに起因する問題については一切責任を負いません。)
- 火災や感電の危険を減らすため、屋内で使用する製品を雨や湿気にさらさないでください。
- この設置は資格のあるサービスマンが行う必要があります、すべての現地法規に準拠する必要があります。
- 電源遮断のため、停電装置を電源回路に設置してください。
- カメラが天井に固定されている場合、天井が 50 ニュートン以上の重力をサポートできることを確認してください。



注意:

- 製品を使用する前に電源電圧が正しいことを確認してください。
- 製品を落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。
- 指でセンサモジュールに触れないでください。清掃が必要な場合は、少量のエタノールを含むきれ

いな布を使用し、軽く拭いてください。長期間カメラを使用しない場合は、レンズキャップをつけてセンサを汚れから守ってください。

- 太陽や白熱灯などの強い光のもとでレンズを向けないでください。強い光は、製品に致命傷を与える可能性があります。
- センサはレーザービームで焼き尽くされる可能性がありますので、レーザー装置を使用している場合は、センサの表面がレーザービームに露出していないことを確認してください。
- 極端に暑いところや寒いところ(カメラのモデルに“H”が付いている場合は、動作温度は-30° C～60° C、または-40° C～60° C)、ほこりの多いところや湿気の多い場所にカメラを置かないでください。高い電磁放射の場所に放置しないでください。
- 熱の蓄積を避けルータめ、適切な動作環境のためには換気が必要です。
- 水と任意の液体から離れてカメラを保管してください。
- 出荷時には、製品を元の梱包材に梱包してください。
- 不適切な使用や交換は、爆発の危険をもたらす可能性があります。メーカー推奨のバッテリータイプをご使用ください。

注意:

カメラが IR をサポートする場合は、IR 反射を防ぐために次の注意事項に注意する必要があります。

- ◆ ドームカバーのほこりやグリースは IR 反射を引き起こします。取り付けが完了するまで、ドームカバーフィルムを取り外さないでください。ドームカバーにほこりや油脂が付着している場合は、清潔な柔らかい布とイソプロピルアルコールでドームカバーをきれいにしてください。
- ◆ 設置場所にカメラの近くにある反射面がないことを確認してください。カメラからの IR 光はレフレクションしてレンズに戻って反射する可能性があります。
- ◆ レンズの周りのフォームリングは円蓋の内面と面一に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドーム カバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

その他:

- カメラ本体以外の構成品(各種取り付けブラケット、BOX カメラのレンズ、小型 DC12V アダプタ、等)は別売でご用意している場合があります。ご購入の際は各担当営業へご確認願います。

内容

第 1 章 はじめに.....	8
1.1 アプリケーション.....	8
1.2 準備.....	9
第 2 章 ボックスカメラの取り付け.....	10
2.1 タイプ I ボックスカメラ.....	10
2.1.1 カメラの説明.....	10
2.1.2 インストール.....	11
2.2 タイプ II ボックスカメラ.....	14
2.2.1 カメラの説明.....	14
2.2.2 インストール.....	16
第 3 章 ドームカメラの取り付け.....	23
3.1 タイプ I ドームカメラ.....	23
3.1.1 カメラの説明.....	23
3.1.2 インストール.....	24
3.2 タイプ II ドームカメラ.....	31
3.2.1 カメラの説明.....	31
3.2.2 インストール.....	32
3.3 タイプ III ドームカメラ.....	36
3.3.1 カメラの説明.....	36
3.3.2 インストール.....	37
3.4 タイプ IV ドームカメラ.....	42
3.4.1 カメラの説明.....	42
3.4.2 インストール.....	43
3.5 タイプ V ドームカメラ.....	54
3.5.1 カメラの説明.....	54
3.5.2 インストール.....	56
3.6 タイプ VI ドームカメラ.....	63
3.6.1 カメラの説明.....	63
3.6.2 インストール.....	65
3.7 タイプ VII ドームカメラ.....	73
3.7.1 カメラの説明.....	73

3.7.2	インストール.....	76
3.8	タイプ VIII ドームカメラ.....	81
3.8.1	タイプ A ドームカメラの説明.....	81
3.8.2	タイプ A ドームカメラのインストール.....	82
3.8.3	タイプ B ドームカメラの説明.....	86
3.8.4	タイプ B ドームカメラのインストール.....	86
3.9	タイプ IX ドームカメラ.....	90
3.9.1	タイプ A ドームカメラの説明.....	90
3.9.2	タイプ A ドームカメラの設置.....	91
3.9.3	タイプ B ドームカメラの説明.....	102
3.9.4	タイプ B ドームカメラのインストール.....	103
3.10	タイプ X ドームカメラ.....	108
3.10.1	カメラの説明.....	108
3.10.2	インストール.....	110
3.11	カメラの説明.....	115
3.11.1	インストール.....	116
第4章	バレットカメラの取り付け.....	125
4.1	タイプ I バレットカメラ.....	125
4.1.1	カメラの説明.....	125
4.1.2	インストール.....	126
4.2	タイプ II バレットカメラ.....	128
4.2.1	カメラの説明.....	128
4.2.2	インストール.....	129
4.3	タイプ III バレットカメラ.....	133
4.3.1	カメラの説明.....	133
4.3.2	インストール.....	134
4.4	タイプ IV バレットカメラ.....	137
4.4.1	カメラの説明.....	137
4.4.2	インストール.....	137
4.5	タイプ V バレットカメラ.....	141
4.5.1	カメラの説明.....	141
4.5.2	インストール.....	142
4.6	タイプ VI バレットカメラ.....	150
4.6.1	カメラの説明.....	150
4.6.2	インストール.....	150

4.7	タイプ VII バレットカメラ	156
4.7.1	カメラの説明	156
4.7.2	インストール	157
4.8	タイプ VIII バレットカメラ	166
4.8.1	カメラの説明	166
4.8.2	インストール	166
4.9	タイプ IX バレットカメラ	171
4.9.1	カメラの説明	171
4.9.2	インストール	172
4.10	タイプ X バレットカメラ	179
4.10.1	カメラの説明	179
4.10.2	インストール	180
4.11	タイプ XI バレットカメラ	185
4.11.1	カメラの説明	185
4.11.2	インストール	186
第 5 章	タレットカメラの取り付け	190
5.1	カメラの説明	190
5.2	インストール	191
第 6 章	キューブカメラの取り付け	196
6.1	タイプ I キューブカメラ	196
6.1.1	カメラの説明	196
6.1.2	インストール	197
6.2	タイプ II キューブカメラ	200
6.2.1	カメラの説明	200
6.2.2	リモートコントロールの概要	202
6.2.3	インストール	203
6.3	タイプ III キューブカメラ	206
6.3.1	カメラの説明	206
6.3.2	注意	209
6.3.3	インストール	212
第 7 章	ミニカメラの取り付け	215
7.1	カメラの説明	215
7.2	インストール	217

第 8 章 モバイルカメラ.....	219
8.1 カメラの説明.....	219
8.2 インストール.....	220

第1章 はじめに

ネットワークカメラは、従来のアナログカメラとエンコーダの機能を組み合わせたデジタル監視製品です。ビルトインビデオサーバにより、ネットワークカメラは、リアルタイムのビデオストリーム圧縮、処理、ビデオ解析、および送信を同時に提供することができます。最新の処理チップとハードウェアプラットフォームを採用することにより、ネットワークカメラが広く、高い信頼性と安定性を有する様々な監視及び画像処理システムに適用することができます。

1.1 アプリケーション

ネットワークカメラは、多くの監視場面で使用できます。例えば：

- 銀行、ATM、スーパーマーケット、工場での店頭活動のネットワーク監視。
- 老人ホーム、幼稚園、学校のリモート監視システム。
- 人工知能アクセス制御システム。
- 人工知能オフィスビル/総合住宅管理システム。
- 無防備発電所と通信基地局監視システム。
- パイプラインや倉庫の監視システム。
- 空港、鉄道駅、バス停などの監視システム。

1.2 準備

- パッケージ内のデバイスは、良好な状態にあり、全ての組立部品が含まれていることを確認します。
- すべての関連機器は、インストール中に電源オフであることを確認してください。
- インストール環境のために製品の仕様を確認してください。
- 電源が損傷を避けるために、必要な電圧と一致していることを確認します。
- 製品が正常に機能しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにご連絡ください。自分で修理やメンテナンスのために、カメラを分解しないでください。
- 壁はカメラの 3 倍の重さに耐えられるように十分な強度があることを確認してください。



カメラが IR をサポートする場合は、IR 反射を防ぐために次の注意事項に注意する必要があります。

- ◆ ドームカバーのほこりやグリースは IR 反射を引き起こします。取り付けが完了するまで、ドームカバーフィルムを取り外さないでください。ドームカバーにほこりや油脂が付着している場合は、清潔な柔らかい布とイソプロピルアルコールでドームカバーをきれいにしてください。
- ◆ 設置場所にカメラの近くにある反射面がないことを確認してください。カメラからの IR 光はレフレクションしてレンズに戻って反射する可能性があります。
- ◆ レンズの周りのフォームリングは円蓋の内面と面一に保ち、レンズが赤外線 LED から隔離されるようにしてください。ドーム カバーはフォームリングと継ぎ目なく繋がるようにカメラ本体に固定してください。

第 2 章 ボックスカメラの取り付け

2.1 タイプ I ボックスカメラ

2.1.1 カメラの説明

タイプ I ボックスカメラの概観を以下に示します。

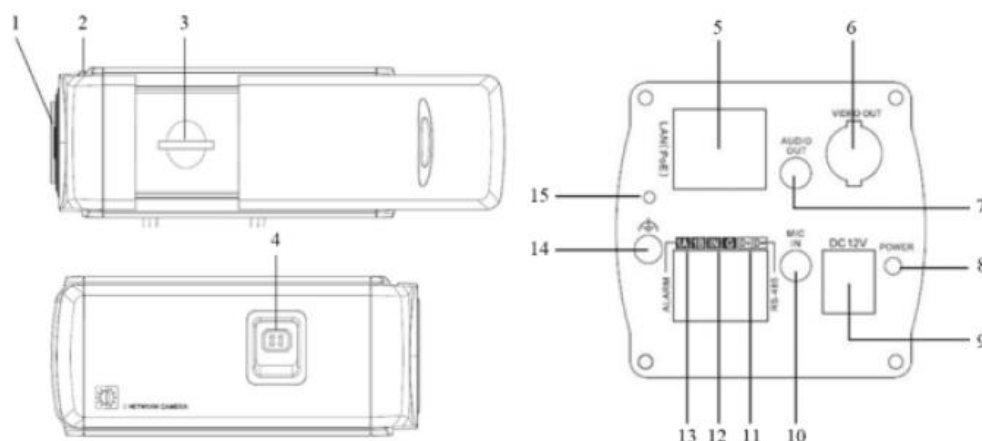


図 2-1 概観

表 2-1 説明

番号	説明
1	レンズマウント
2	バックフォーカスリング
3	SD カードスロット
4	オートアイリスインターフェイス
5	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
6	ビデオ出力:ビデオ出カインターフェイス
7	音声出力: 音声出カインターフェイス
8	電源:電源 LED インジケータ
9	電源装置インターフェイス
10	マイク入力: 音声入カインターフェイス
11	D+, D-: RS-485 インターフェイス
12	IN, G: アラーム入力インターフェイス
13	1A, 1B: アラーム出カインターフェイス
14	アース
15	リセット:リセットボタン



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

オートアイリスインターフェイスのタイプは、下図のように示されています。

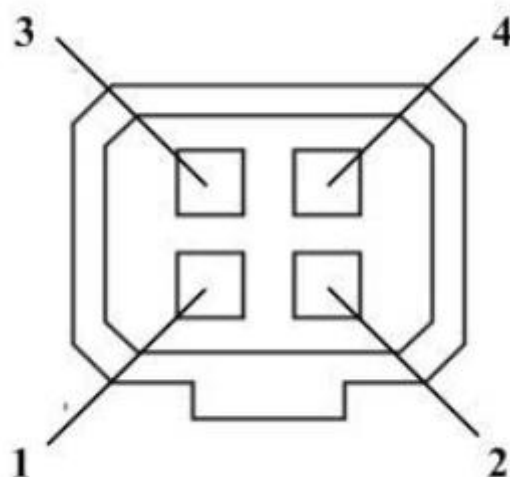


図 2-2 オートアイリスインターフェイス

表 2-2 ピン

番号	DC-動
1	Damp-
2	Damp+
3	Drive-
4	Drive+

電源、ビデオ、および GND ピンは、オートアイリスがビデオで駆動されるときに使用されます。また、Damp+、Damp-、Drive+、Drive-ピンは、オートアイリスで駆動されているときに使用されます。

2.1.2 インストール

手順

1. 取り付けブラケットを天井に固定します。

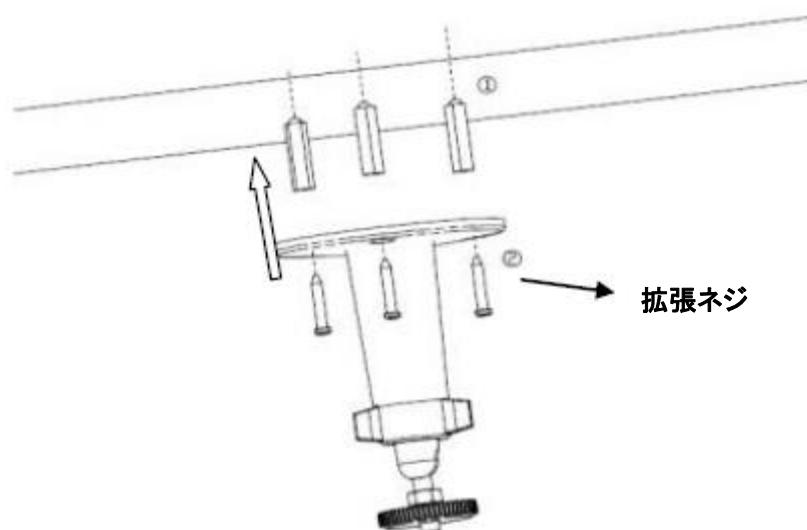


図 2-3 カメラの取り付けブラケットの固定

2. カメラのネジ穴をブラケットに向け、カメラをしっかりと回転させます。
3. カメラを希望の監視角度に調整し、ブラケットのつまみを締めてカメラを固定します。

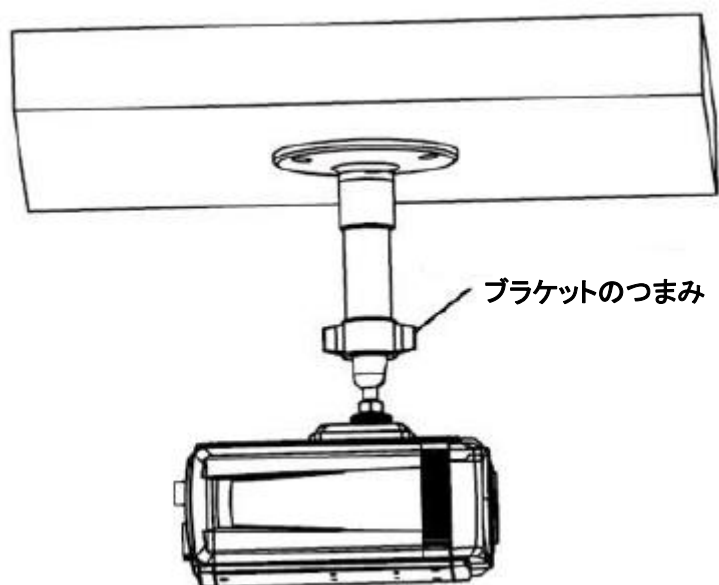


図 2-4 カメラの固定

4. レンズを取り付けます。
 - 1) カメラのビデオ出力インターフェイスをデバッグモニターに接続します。
 - 2) レンズの焦点を調整して、モニター上で良い画像を得られます。

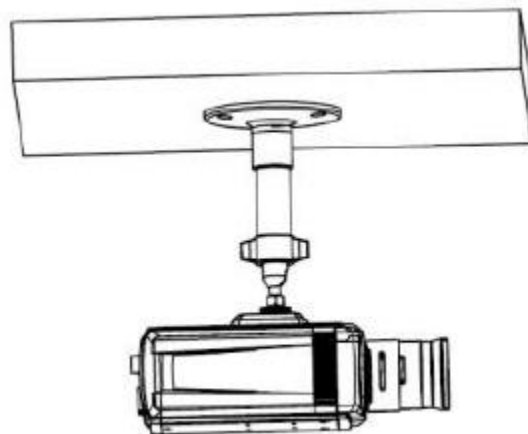


図 2-5 レンズのインストール

2.2 タイプ II ボックスカメラ

2.2.1 カメラの説明

タイプ II ボックスカメラの概観を以下に示します。

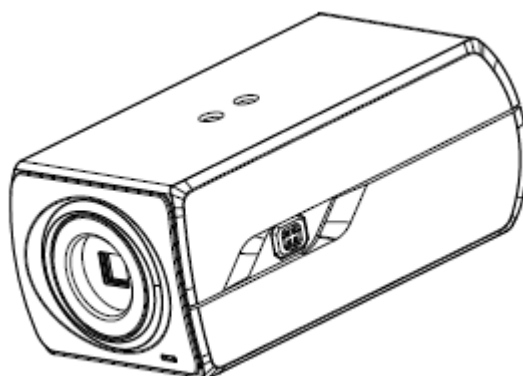


図 2-6 概観(1)

コンポーネントとインターフェイスの概観を以下に示します。

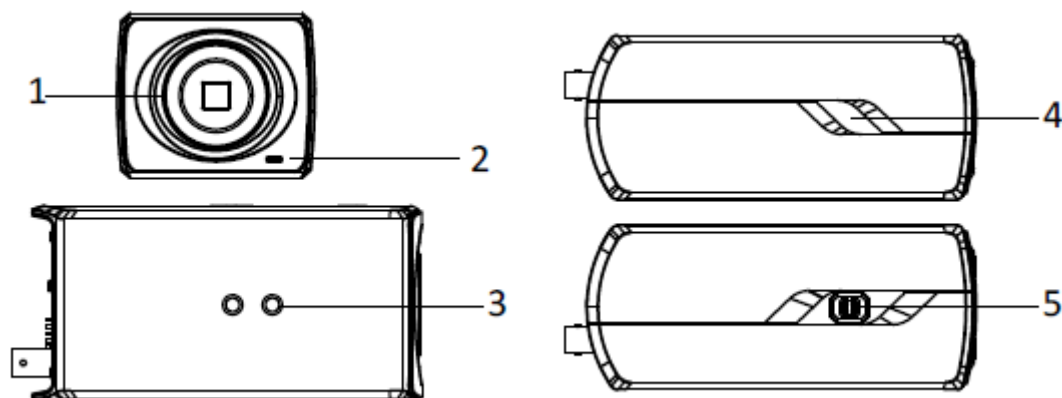


図 2-7 概観(2)

リアパネルのインターフェイスを以下に示します。

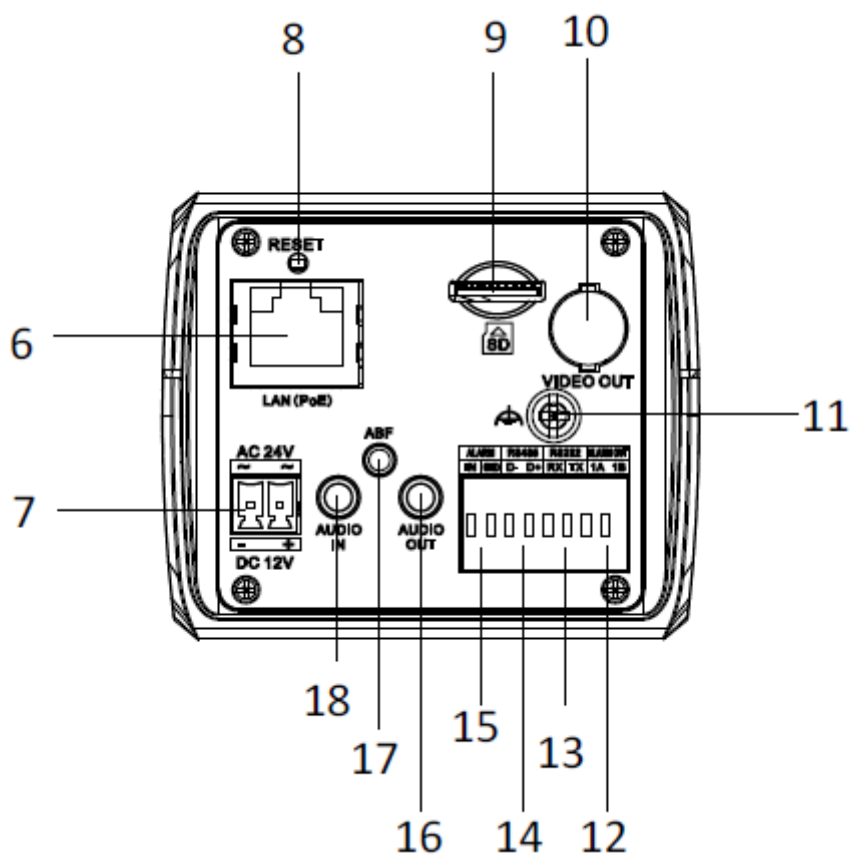


図 2-8 概観(3)

表 2-3 説明

番号	説明	番号	説明
1	レンズマウント	2	マイク
3	¼-20 UNC ネジ穴	4	ステータスインジケータ
5	オートアイリスインターフェイス	6	LAN (PoE)
7	電源コンセント	8	リセット
9	マイクロ SD カードスロット	10	ビデオ出力
11	アース	12	アラーム出力
13	RS-232	14	RS-485
15	アラーム入力	16	音声出力
17	ABF	18	音声入力

図 2-5 レンズのインストール



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

オートアイリスインターフェイスのタイプは、下図のように示されています。

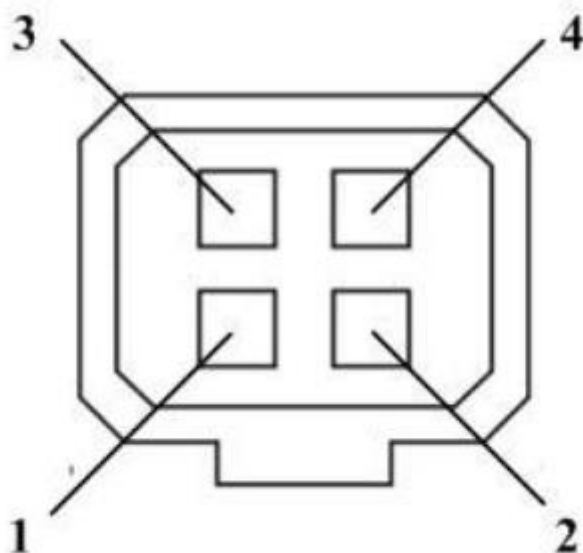


図 2-9 オートアイリスインターフェイス

表 2-2 ピン

番号	DC-動
1	Damp-
2	Damp+
3	Drive-
4	Drive+

電源、ビデオ、および GND ピンは、オートアイリスがビデオで駆動されるときに使用されます。また、Damp+、Damp-、Drive+、Drive-ピンは、オートアイリスで駆動されているときに使用されます。

2.2.2 インストール

● 天井取り付け

手順:

1. 付属の拡張ネジで天吊り金具を天井に取り付けます。

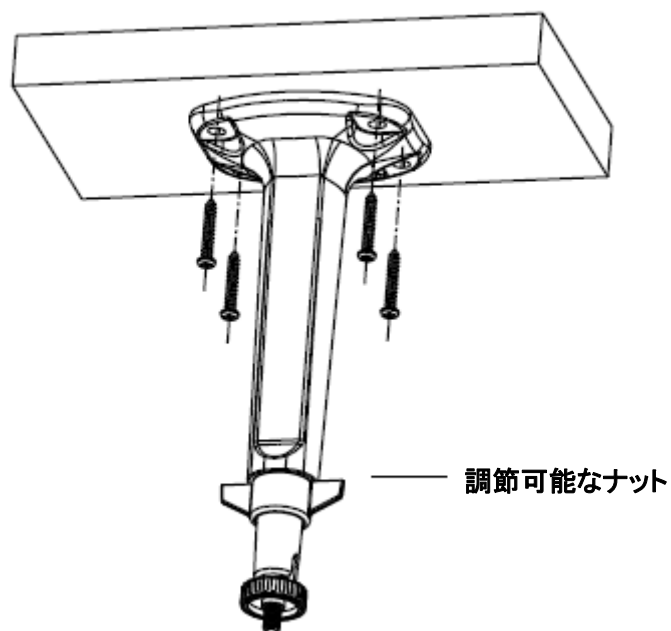


図 2-10 マウントのインストール

2. レンズをカメラに取り付け、回転させて締め付けます。



- C マウントレンズを使用する場合は、アダプタリングをレンズインターフェイスに取り付けます。
 - オートアイリスの電源コードをオートアイリスインターフェイスに差し込まなくても、手動アイリスレンズをカメラに直接取り付けることができます。
3. オートアイリスケーブルをオートアイリスインターフェイスに差し込みます。

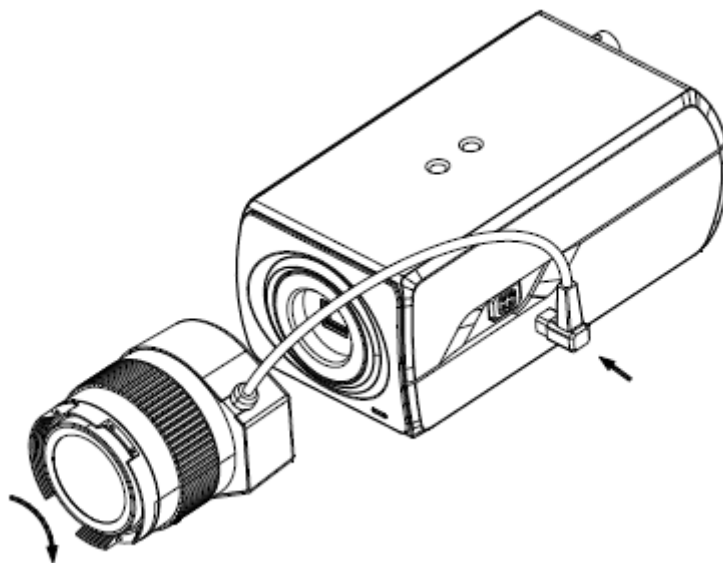


図 2-11 レンズのインストール

4. カメラのネジ穴を天井に合わせ、カメラを回転させて固定します。
5. 監視角度を調整します。
 - 1) パンナットを緩めてパン角度「 0° ~ 360° 」を調整します。
 - 2) 天吊りマウントのつまみを緩めて、傾斜角「 0° ~ 90° 」を調整します。
6. レンズを調整します。
 - 1) カメラのビデオ出カインターフェイスをデバッグモニターに接続します。
 - 2) ズームレバーとフォーカスレバーを調整して、モニター上で良い画像を得られます。

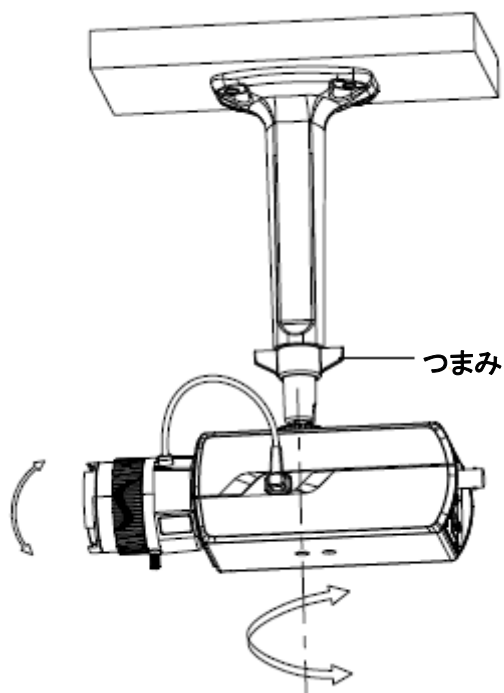


図 2-12 カメラをマウントに取り付けと角度の調整

● ウォールマウント

手順:

1. レンズをカメラに取り付け、回転させて締め付けます。
2. オートアイリスケーブルをオートアイリスインターフェイスに差し込みます。

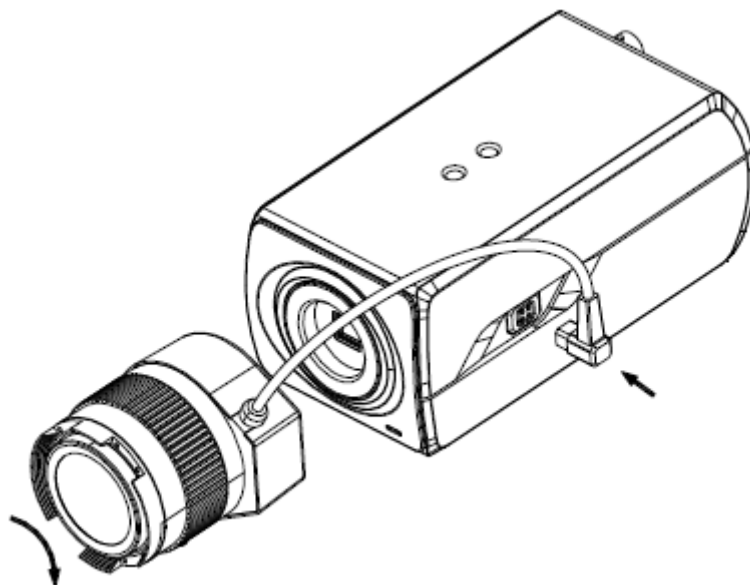


図 2-13 レンズのインストール

3. マウントのロックネジを緩め、壁掛けからチルト調整テーブルを取り外します。

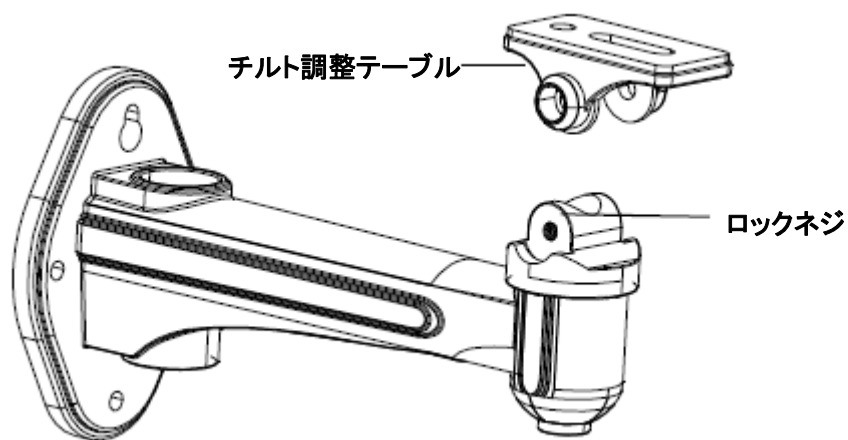


図 2-14 チルト調整テーブルの外す

4. 取り外したチルト調整台をカメラに取り付け、2本のネジで固定します。

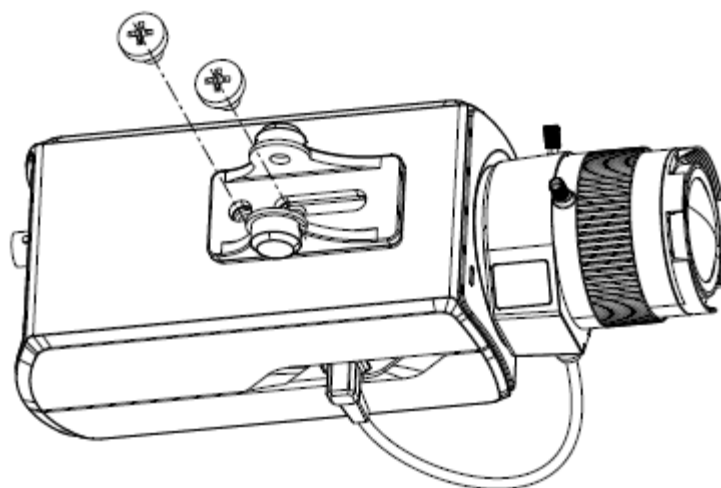


図 2-15 チルト調整テーブルのインストール

5. 付属の拡張ネジで壁面マウントを壁に固定します。

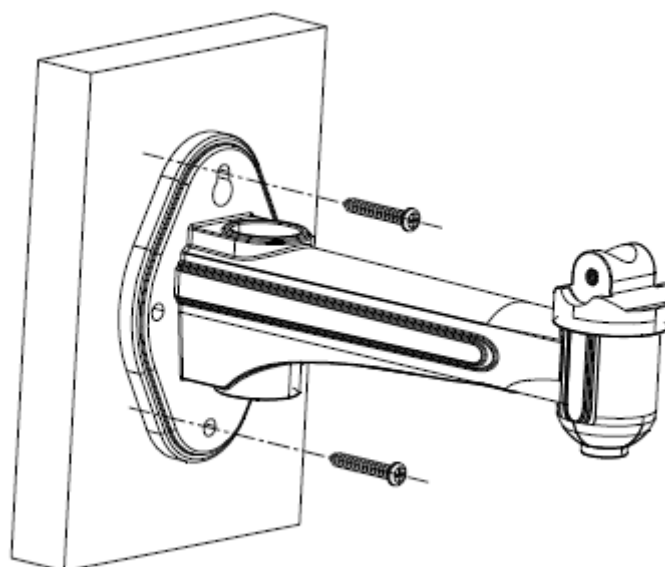


図 2-16 壁面マウントをインストール

6. カメラを壁面マウントに取り付け、2本の固定ネジを締めます。
7. 監視角度を調整します。
 - 1) パンナットを緩めてパン角度[0° -360°]を調整します。
 - 2) 天吊りマウントのつまみを緩め、チルト角[0° ~±45°]を調整します。
8. レンズを調整します。
 - 1) カメラのビデオ出カインターフェイスをデバッグモニタに接続します。
 - 2) ズームレバーとフォーカスレバーを調整して、モニター上で良い画像を得られます

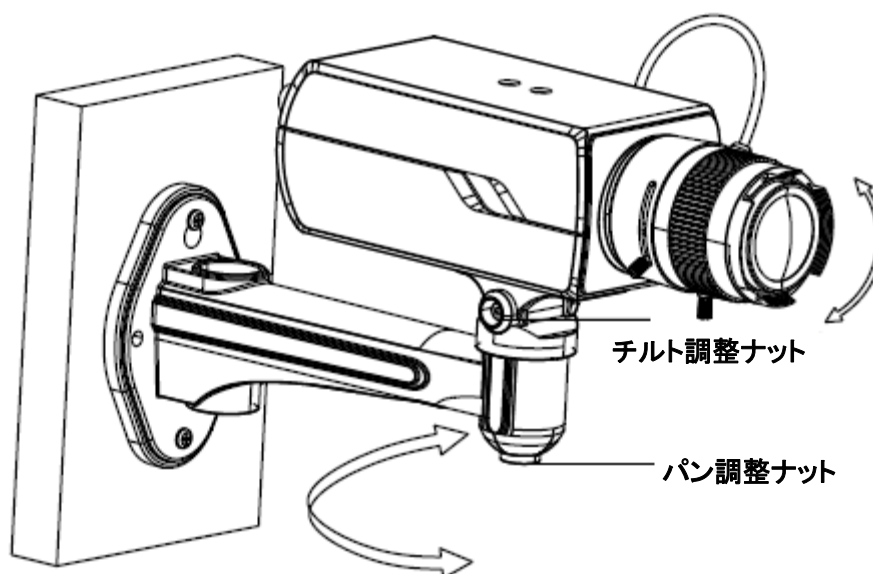


図 2-17 監視角度の調整

- **SD カードの取り付け**

- SD カードを SD カードスロットに挿入して取り付けます。
- 挿入された SD カードをわずかに押して、内蔵されたスプリングでカードを取り外します。

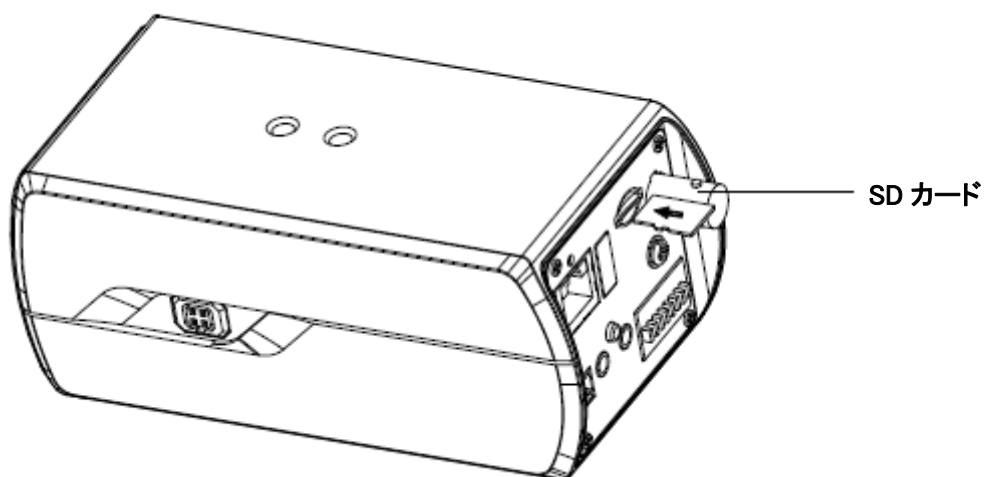


図 2-18 SD カードのインストール

第 3 章 ドームカメラの取り付け

3.1 タイプ I ドームカメラ

3.1.1 カメラの説明

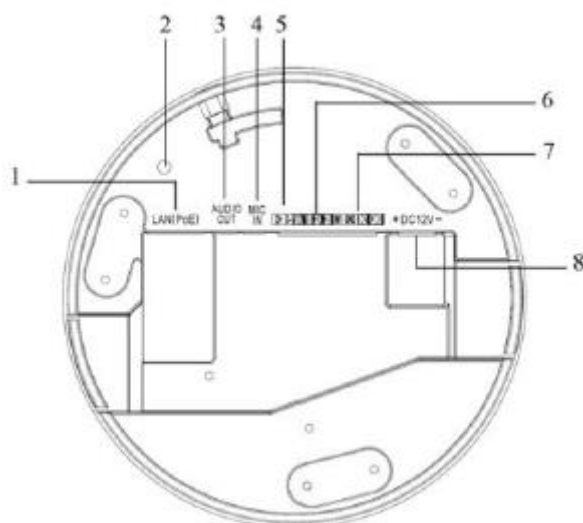


図 3-1 概観

表 3-1 説明

番号	説明
1	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
2	リセットボタン
3	音声出力: 音声出力インターフェイス
4	マイク入力: 音声入力インターフェイス
5	D+, D-: RS-485 インターフェイス
6	1A、1B、2A、2B: アラーム出力インターフェイス
7	IN1、GND、IN2、GND: アラーム入力インターフェイス
8	電源装置インターフェイス



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.1.2 インストール

● 天井取り付け

手順:

1. (オプション)プライヤーを使用して、バックボックスの側面にある1つまたは2つのクリップ(図 3-2 の点線で示す)を取り外し、ケーブルを開口部に通してケーブルを天井に固定します。

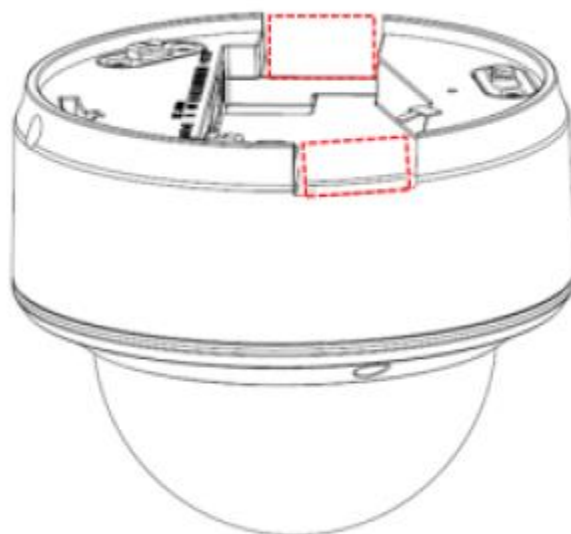


図 3-2 サイドクリップ

2. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴をドリルします。

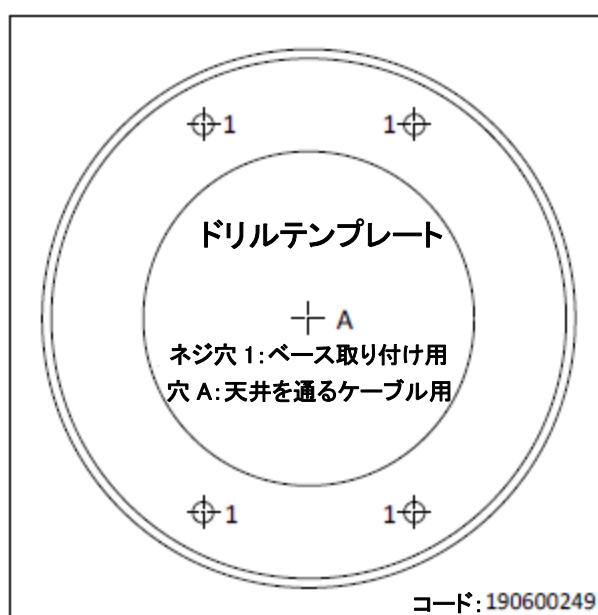


図 3-3 ドリルテンプレート

3. 取り付けベースを天井に固定します。バックボックスを反時計回りに回して取り付けベー

スに固定します。ロックネジを使用して、ドームカメラを固定します。

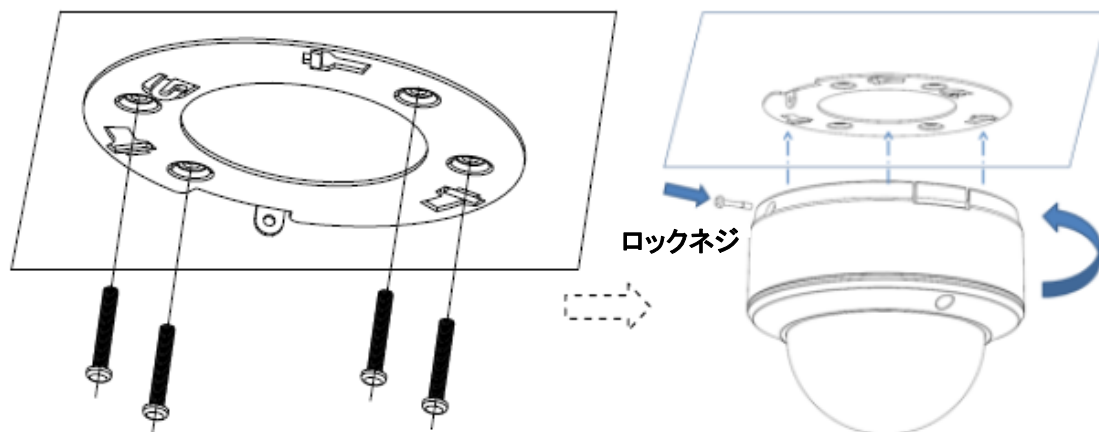


図 3-4 取り付け

4. 六角キー(付属)で固定ネジを緩めて、バブルを取り除きます。

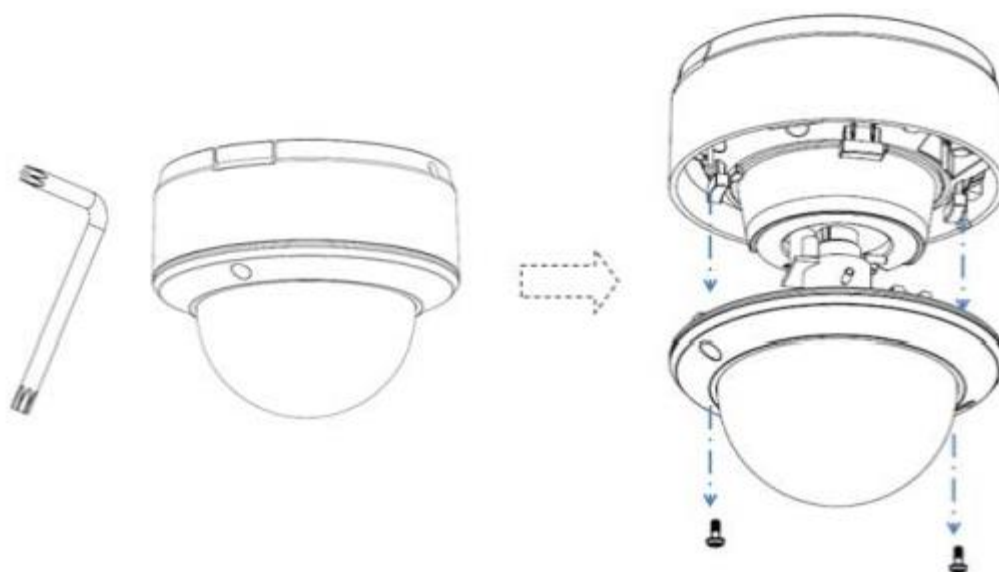


図 3-5 分解

5. RCA アナログビデオ出力をモニターに接続して、カメラの画像を表示します。レンズ止めネジを緩め、パン、チルト、回転方向の角度を調整します。
6. ピントを調整して、良い画像を得られます。レンズセットのネジを締めます。

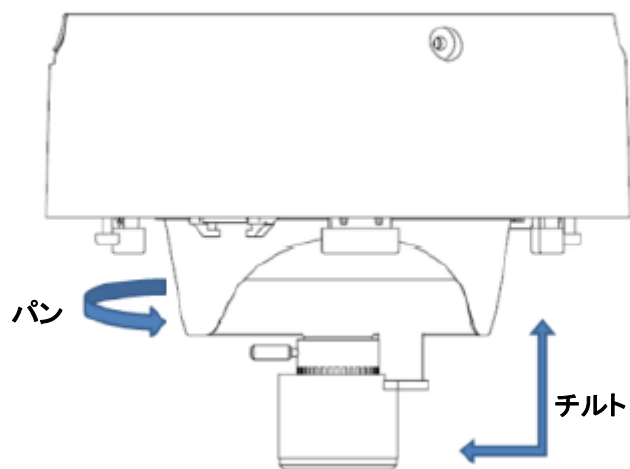


図 3-6 画像調整

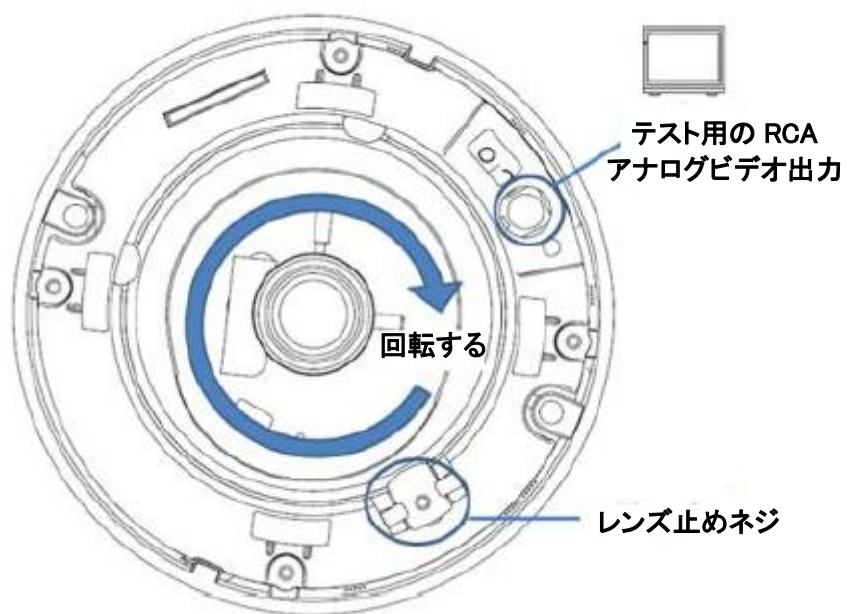


図 3-7 画像調整

7. バブルを元に戻し、ネジを締めます。

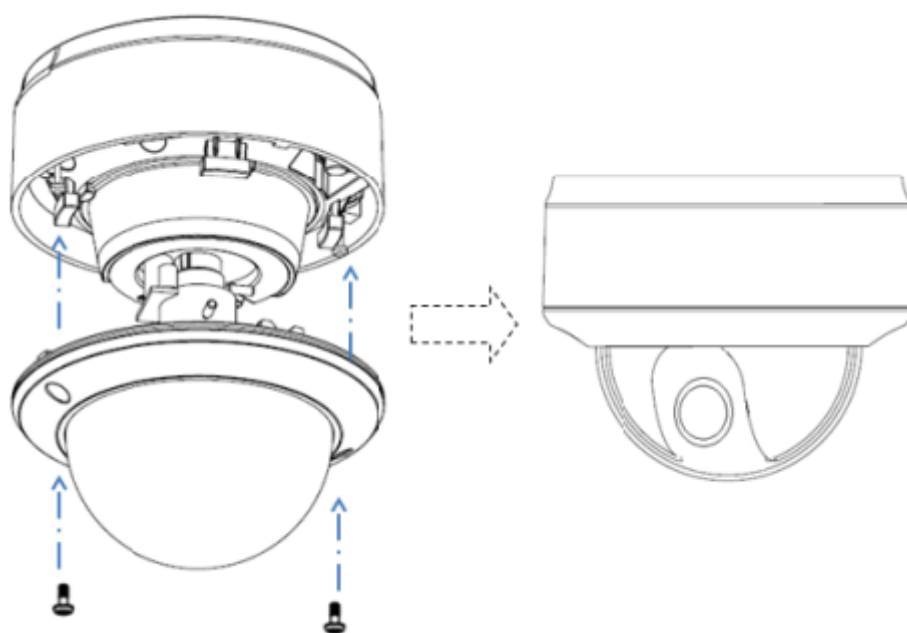


図 3-8 再インストール

● インシーリング取り付け

手順:

1. 取り付けベースをインシーリング取り付けベースにネジで固定します。

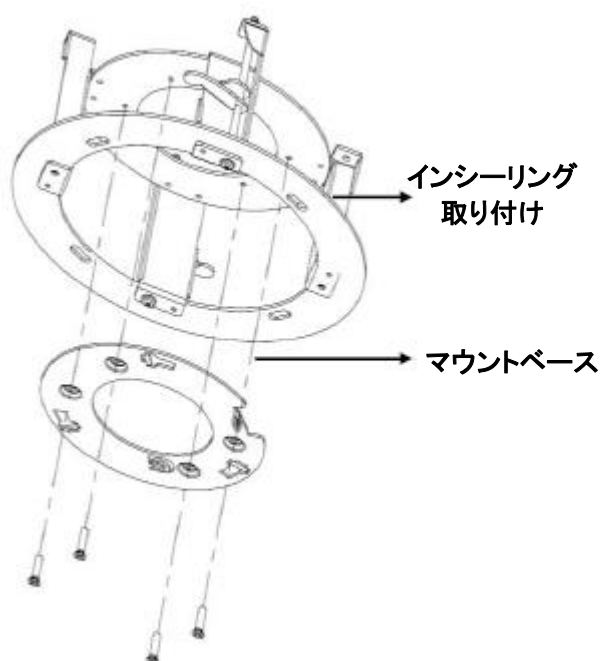


図 3-9 マウントベース

2. インシーリングマウントベースにドームカメラを押し込み、ドームカメラを反時計回りに 10

度回転させ、固定ネジを締めてカメラを固定します。

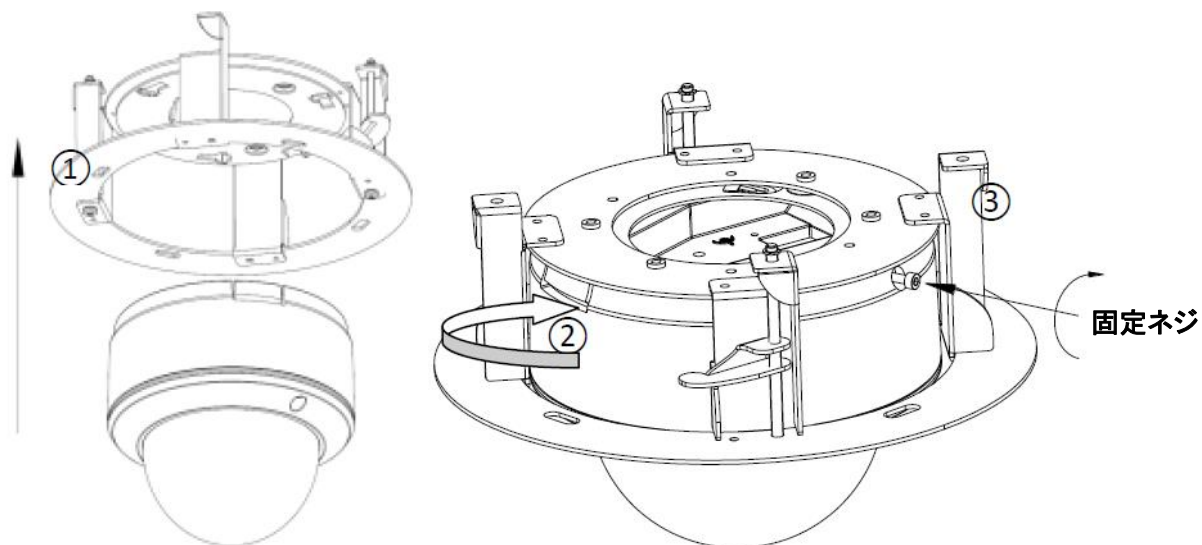


図 3-10 カメラとマウントベース

- 天井に直径 176~180 mm の穴をカットし、ドームカメラインシーリング取り付けベースで穴に押し込みます。



天井の厚さは 30 mm 未満の必要があります。

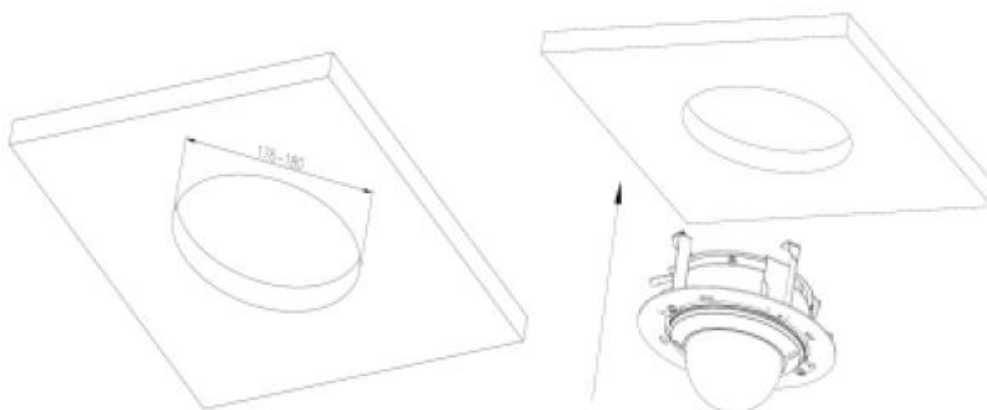


図 3-11 インストール

- インシーリング取り付け台を屋根に固定するには、安全ロープを使用することを強くお勧めします。

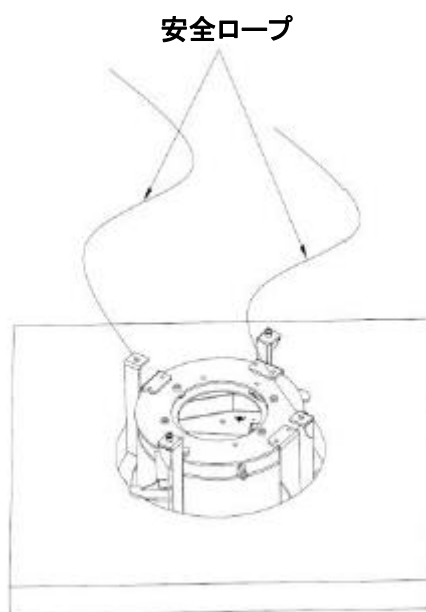


図 3-12 安全ロープ

5. 固定ネジを締めてドームカメラを固定します。

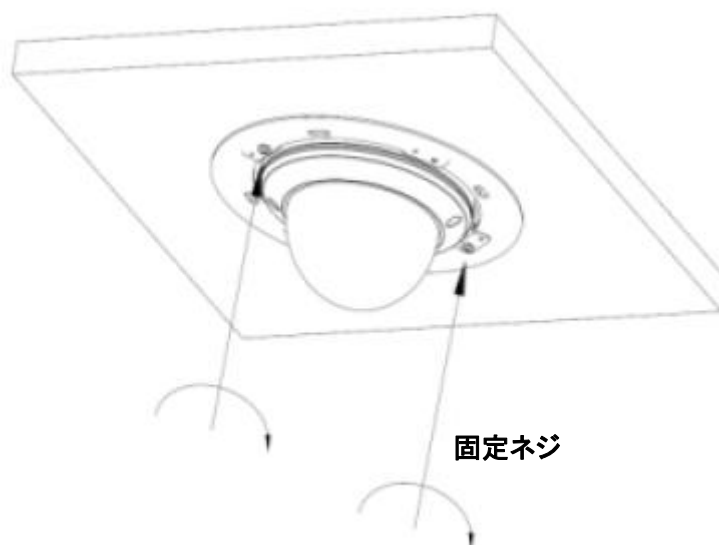


図 3-13 ネジを締める

6. バブルを取り除き、RCA アナログビデオ出力をモニターに接続して、カメラの画像を表示します。レンズセットのネジを緩め、レンズをパン、チルト、または回転させて、必要な監視角度にします。良い画像を得られるために、レンズの焦点を調整します。レンズセットのネジを締めます。バブルを再インストールします。

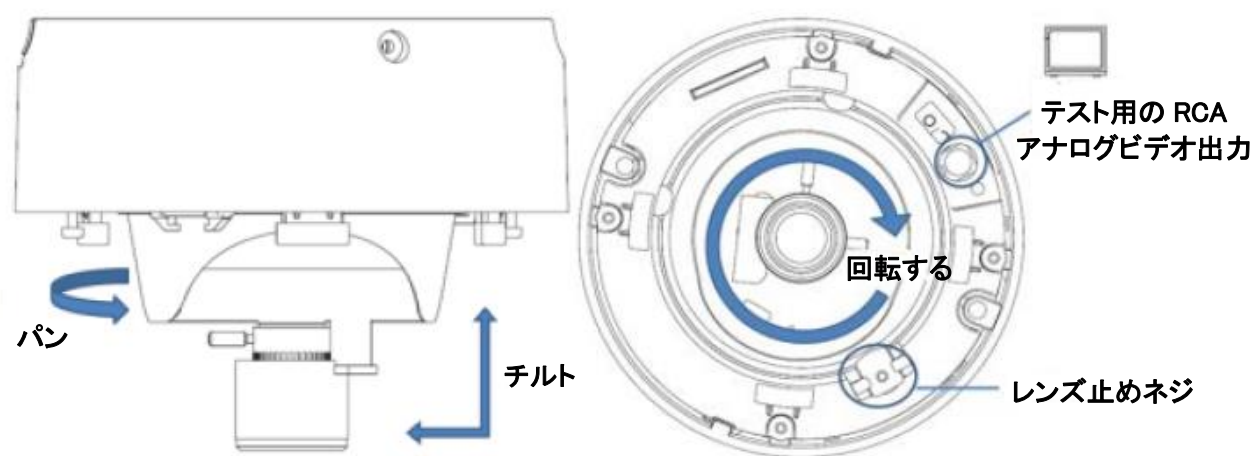


図 3-14 画像調整

7. トリムプレートをネジで取り付けて、インストールを完了します。

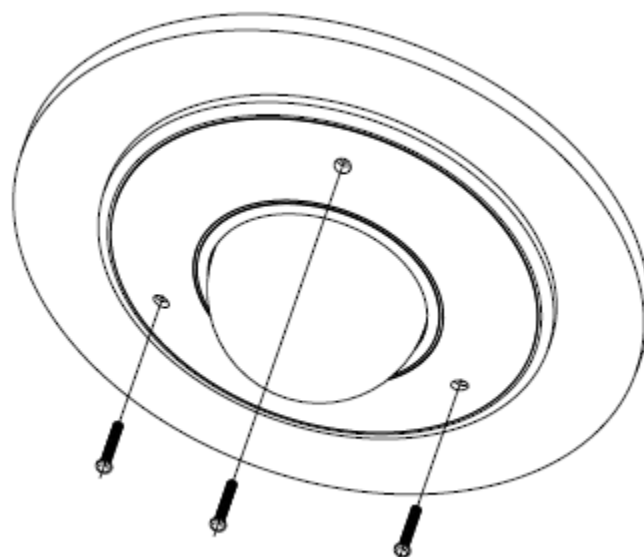


図 3-15 トリムプレートの取り付け

3.2 タイプ II ドームカメラ

3.2.1 カメラの説明

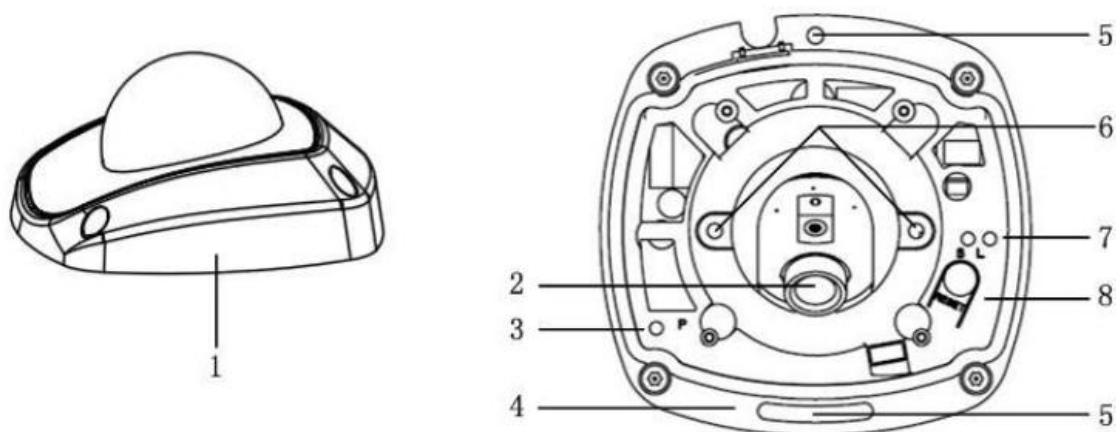


図 3-16 概観

表 3-2 物理的な説明

番号	説明
1	カバー
2	レンズ
3	電源 LED インジケータ。 電源が接続されると、赤色に点灯します。
4	ベースプレート
5	ネジ穴の設定
6	レンズの止めネジ
7	S&L: ネットワークステータスインジケータ。 ネットワークが接続されると、 「S」LED は黄色に点灯し、「L」LED はオレンジ色に点滅します。
8	リセットボタン



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.2.2 インストール

手順:

1. (オプション)プライヤーを使用して、バックボックスの側面にあるクリップ(0の点線でマーク)を取り外し、ケーブル穴の代わりに開口部を通してケーブルを配線します。

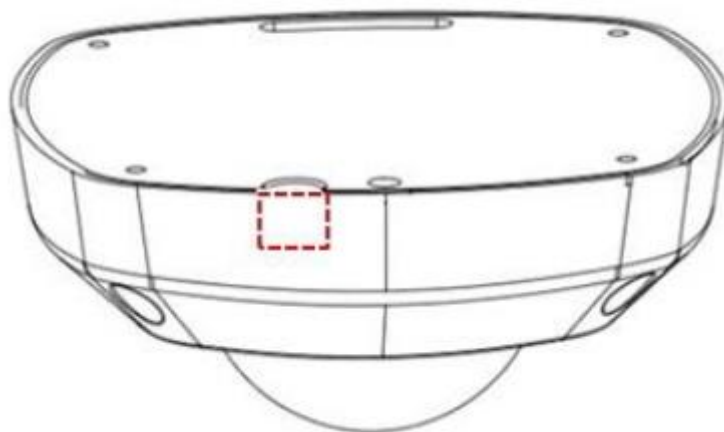


図 3-17 サイドクリップ

2. 止めネジを六角キー(付属)でゆるめ、カバーを取り外します。

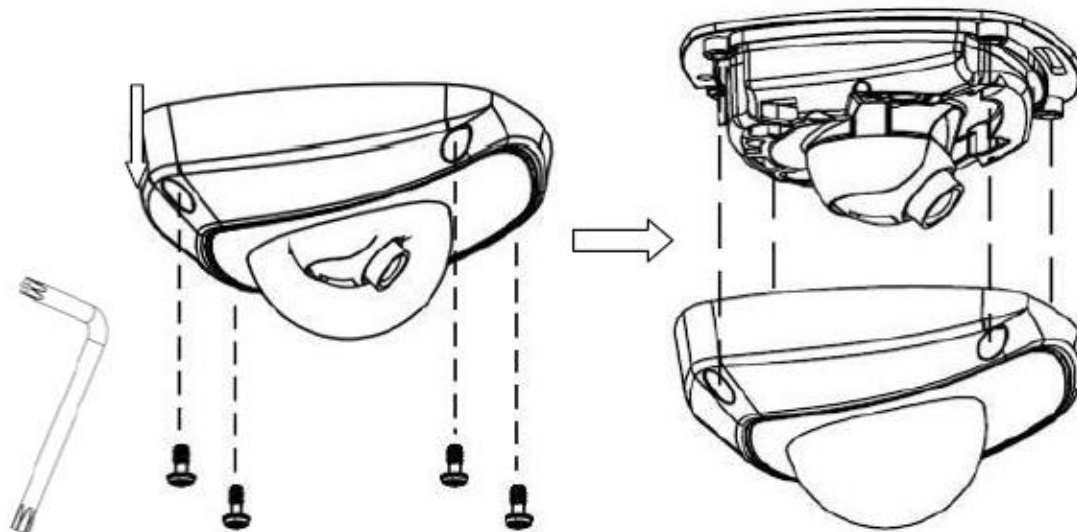


図 3-18 カバーの取り外し

3. 付属のネジでカメラを天井に固定します。

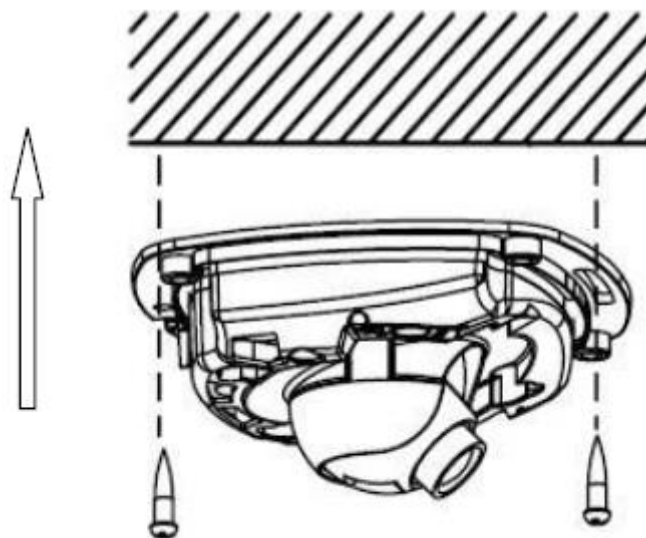


図 3-19 カメラの固定

4. ネットワーク上でカメラのビデオ画像を表示します。
5. レンズの止めネジを緩めます。

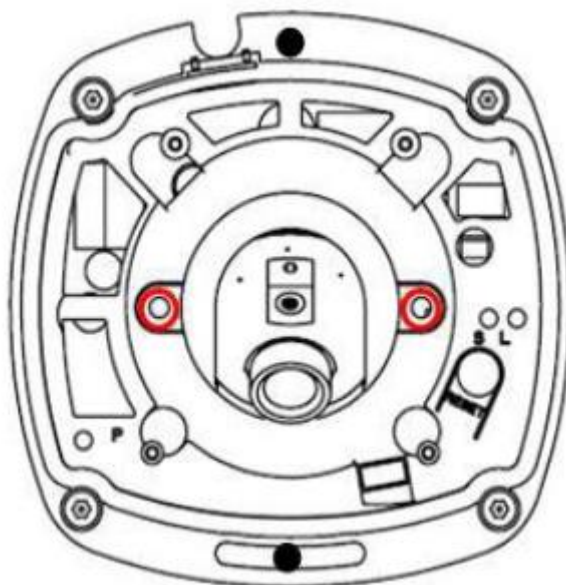


図 3-20 レンズの止めネジを緩める

6. 画像にマークされた穴に六角キーを挿入し、回して、希望の監視角度になるまでパン位置とチルト位置を調整します。止めネジを締めます。

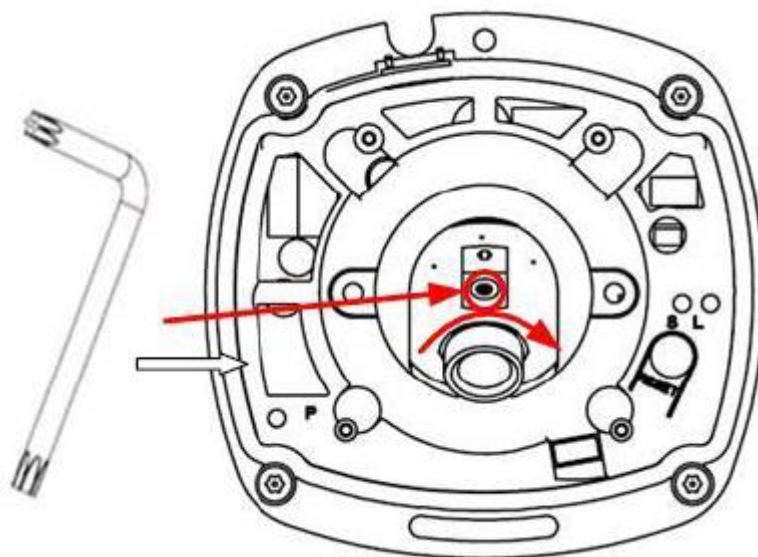


図 3-21 パン位置の調整



図 3-22 チルト位置の調整



カメラのレンズはすでに工場で最高のイメージング効果に調整されているため、パン位置とチルト位置を調整して、必要な監視角度にするだけで済みます。

7. インストールが完了した時と同じ監視効果を得るために、画像を表示する前にカバーを再取り付けしてください。
8. カバーを取り付け、止めネジを締めます。

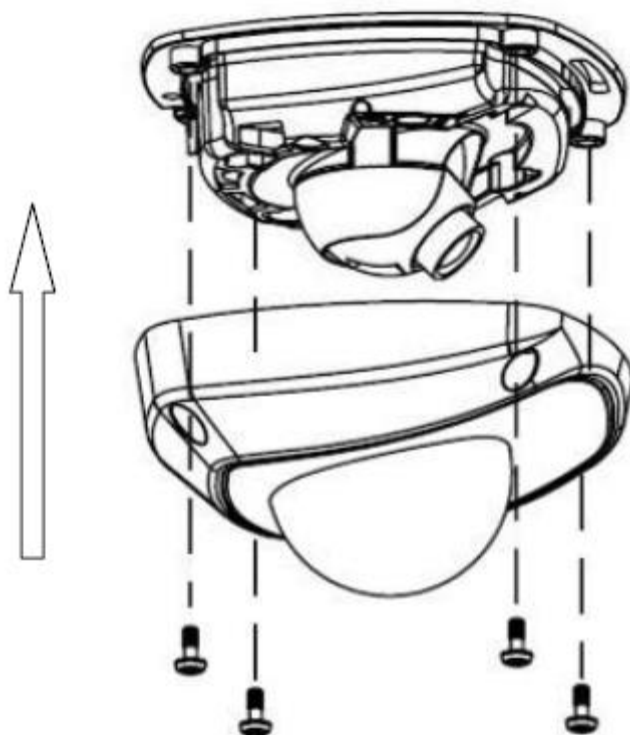


図 3-23 バックボックスのインストール

3.3 タイプⅢドームカメラ

3.3.1 カメラの説明

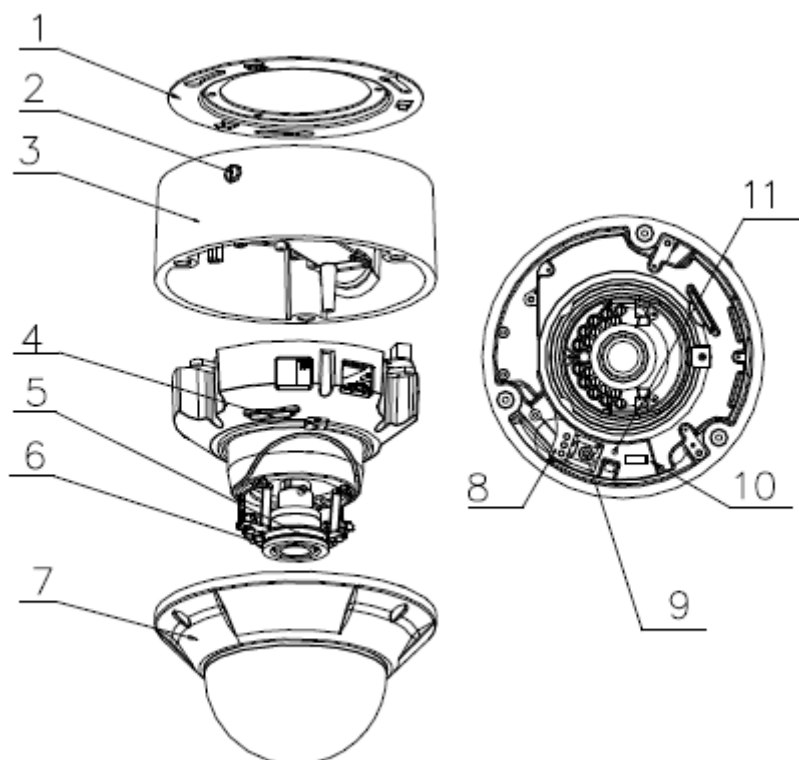


図 3-24 概観

表 3-3 説明

番号	説明
1	天井マウント
2	ロックボタン
3	取り付けベース
4	SD カードスロット
5	レンズ
6	IR LED
7	バブル
8	ステータスインジケータ
9	RCA アナログビデオ出力
10	デバッグ
11	リセット



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.3.2 インストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

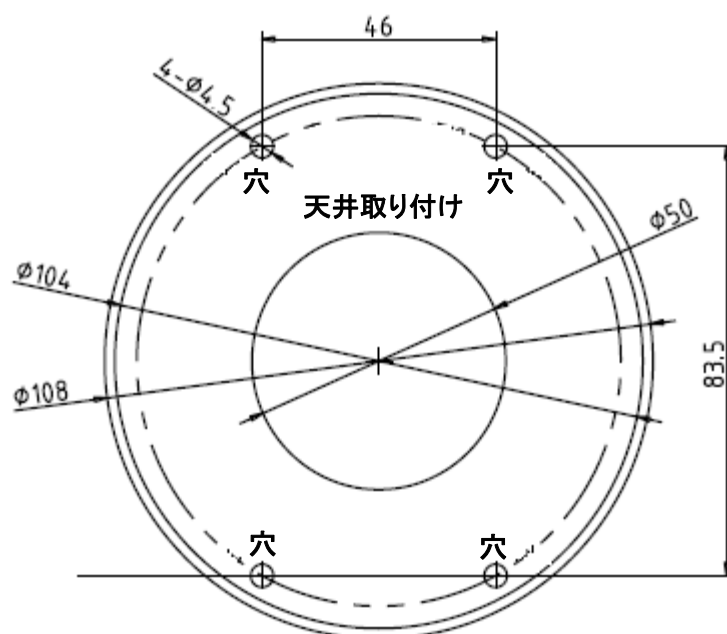


図 3-25 ドリルテンプレート

2. ネジで天井マウントを天井に固定してします。

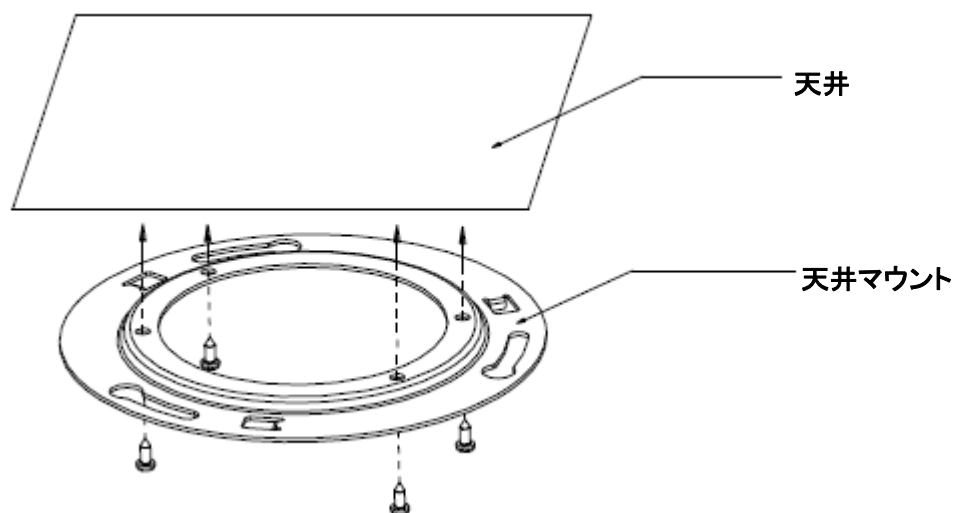


図 3-26 天井マウントの固定

3. ケーブルを天井のケーブル穴に通します。



必要に応じて、マウントベースの側面出口を回して取り外し、側面出口を通してケーブルを配線することができます。

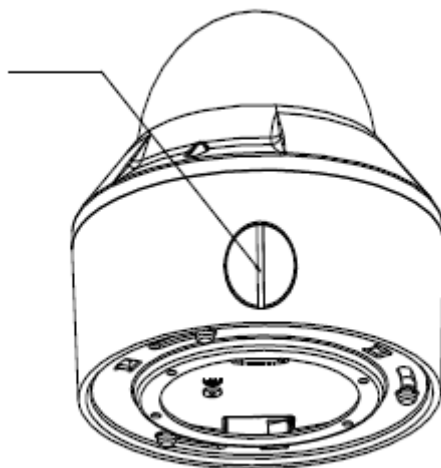


図 3-27 側面出口

4. 天井マウントに対応する穴にマウントベース上に 3 本のネジを挿入します。
5. マウントベースを時計回りに回して、ドームカメラを天井マウントに固定します。

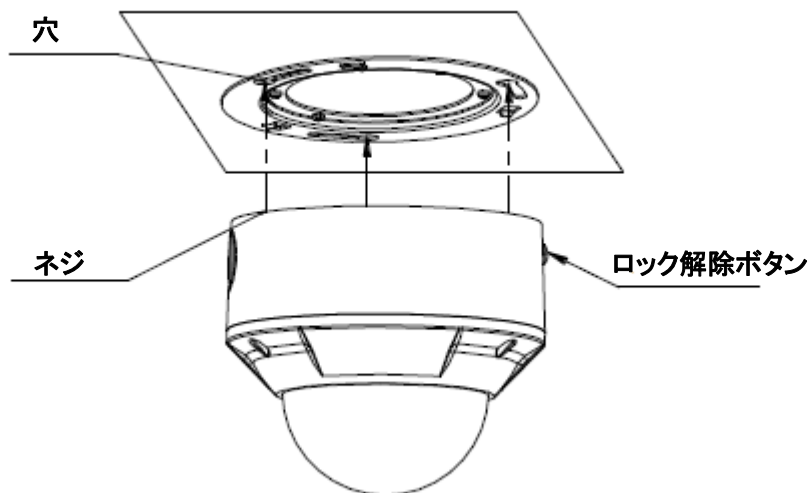


図 3-28 ドームカメラの取り付け



ドームカメラを取り外すには、ロックボタンを押し、マウントベースを反時計回りに回します。

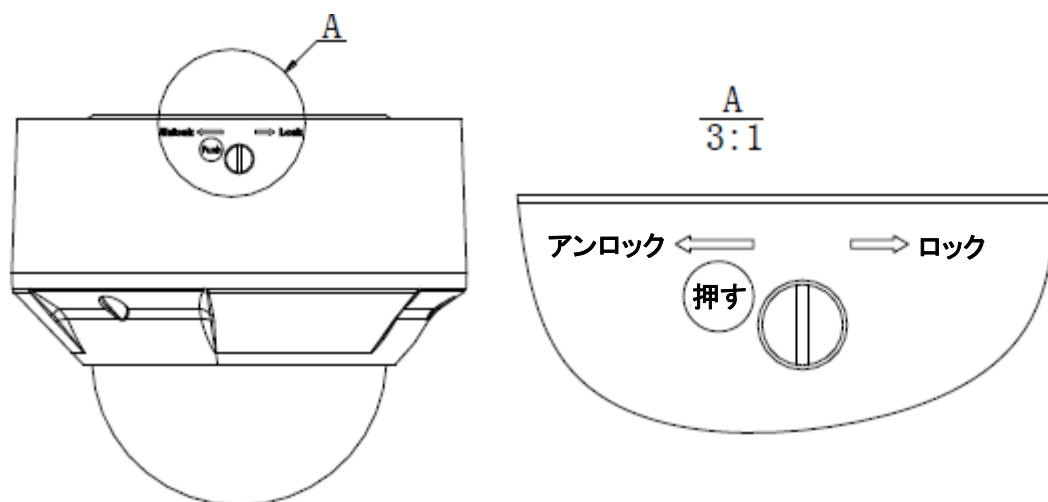


図 3-29 ドームカメラの取り外し

6. 六角キー(付属)で固定ネジを緩めて、バブルを取り外します。

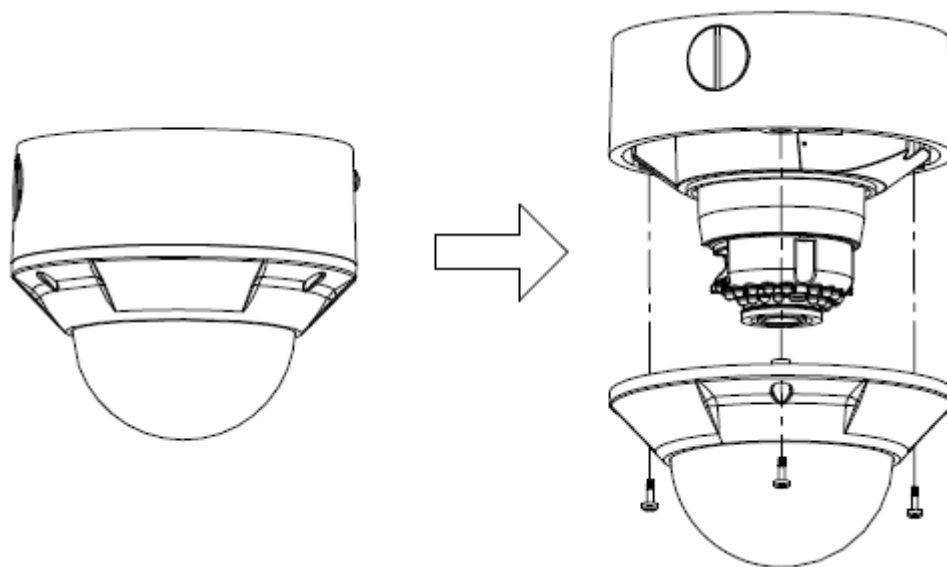


図 3-30 バブルの取り外し

7. RCA アナログビデオ出力をモニターに接続して、画像を表示します。
8. 止めネジを緩めて、希望の監視角度になるまでパン位置とチルト位置を調整します。
9. 良い画像を得るため、ズームプラーとフォーカスプラーを緩め、レンズの焦点を調整します。

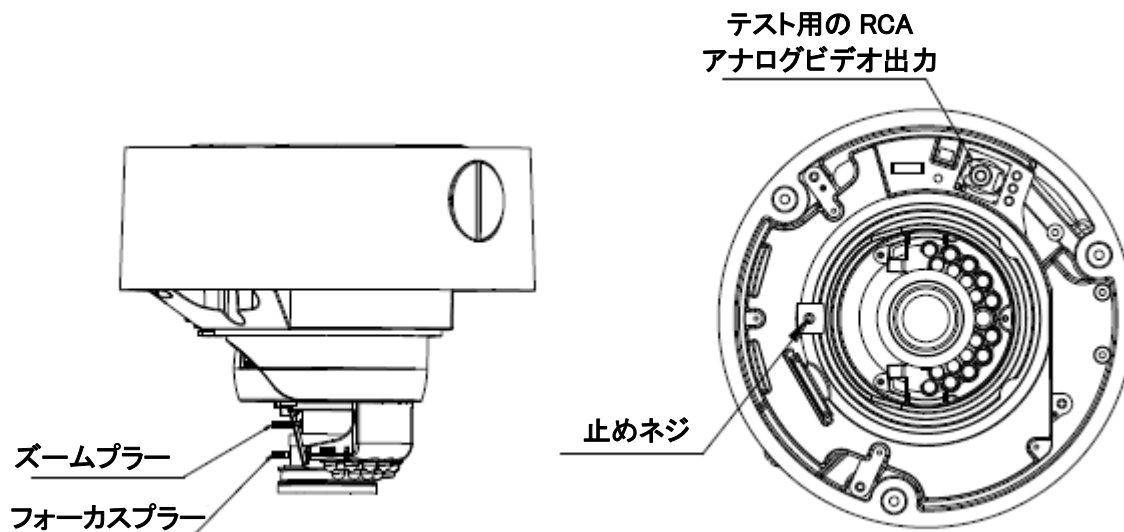


図 3-31 画像調整

10. バブルを元に戻し、ネジを締めて取り付けを完了します。

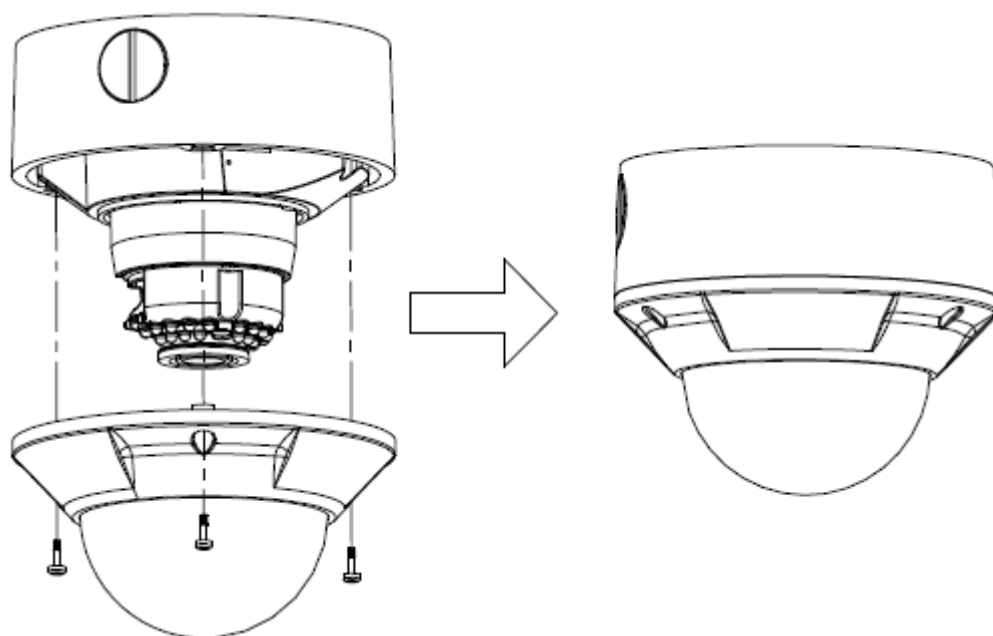


図 3-32 再インストール

3.4 タイプ IV ドームカメラ

3.4.1 カメラの説明

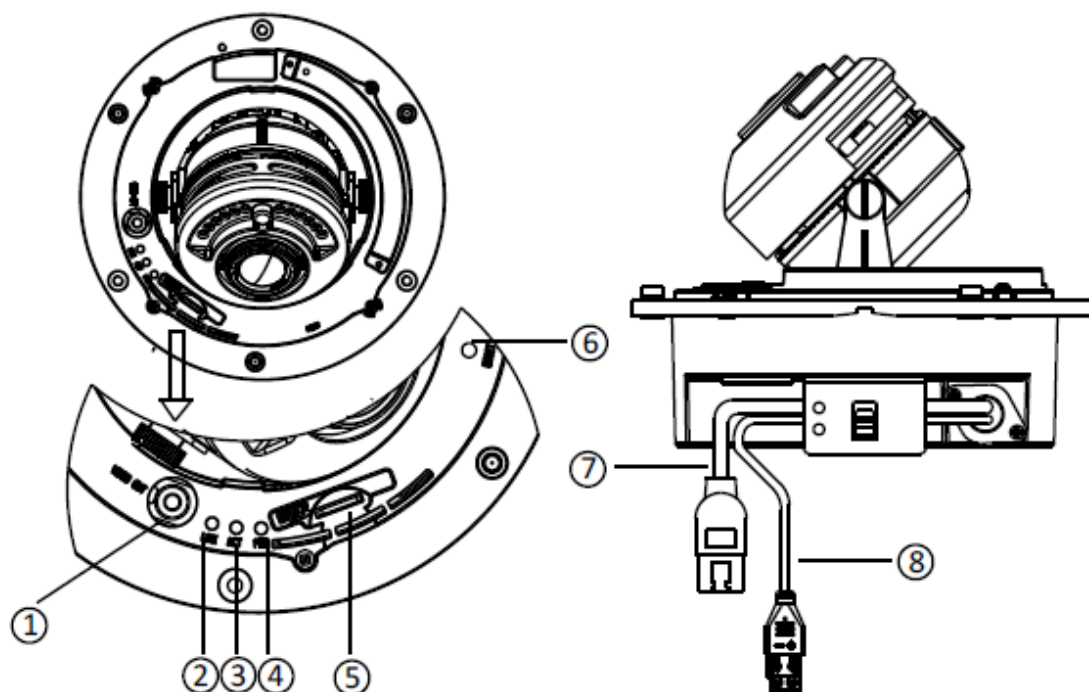


図 3-33 概観

表 3-4 物理的な説明

番号	説明
1	ビデオ出カインターフェイス
2	LINK: ネットワークが接続されているときは、インジケータは黄色で点灯します。
3	ACT: ネットワーク接続が正常に機能しているときは、インジケータが青色で点滅します。
4	PWR: デバイスの電源がオンのときは、インジケータは赤色で点灯します。
5	マイクロ SD スロット
6	RESET: カメラをリセットします。
7	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
8	電力供給インターフェイス



- 拡張インターフェイスは、アラーム入出力インターフェイス、音声入出力インターフェイス、RS-485 インターフェイスなどに接続できます。

- カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.4.2 インストール

- 天井取り付け

手順:

1. 付属の穴あけ用テンプレートを使用して、天井にネジ穴をあけてください。カメラの底面からケーブルを配線する必要がある場合は、天井のケーブル穴をカットします。

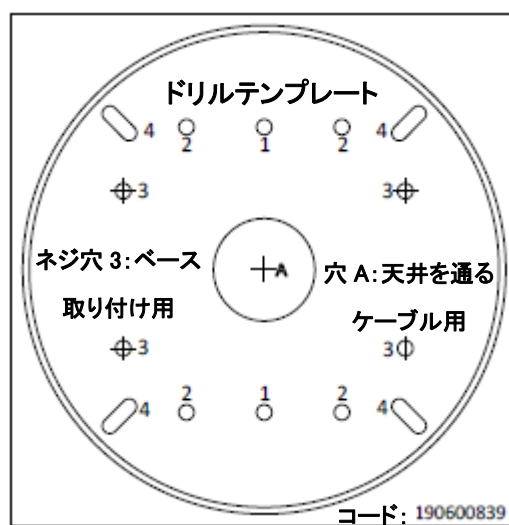


図 3-34 ドリルテンプレート

2. バックボックスをネジで天井に固定します。

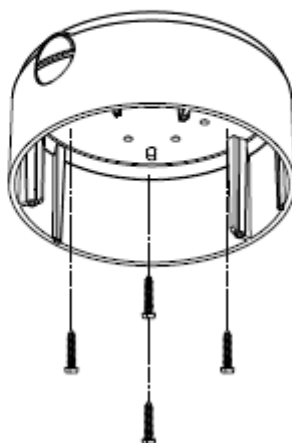
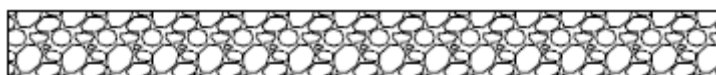


図 3-35 マウントバックボックス

- 六角キー(付属)で固定ネジを緩めて、バブルを取り外します。

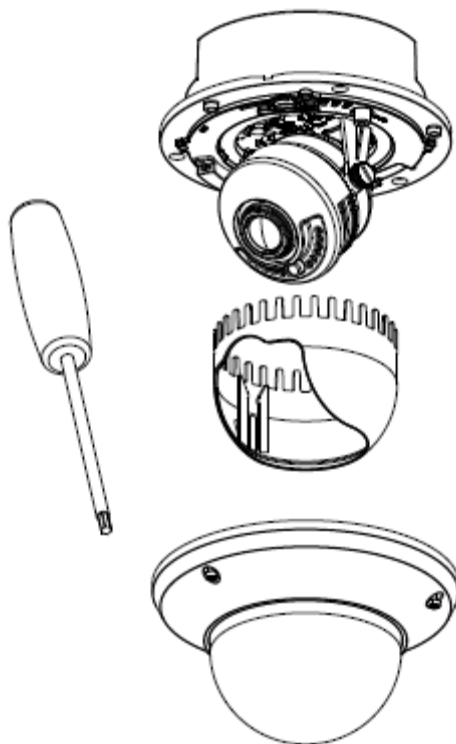


図 3-36 分解

- バックボックスにドームドライブをインストールして、バックボックスの下部にあるケーブル出口からケーブルを引き出します。

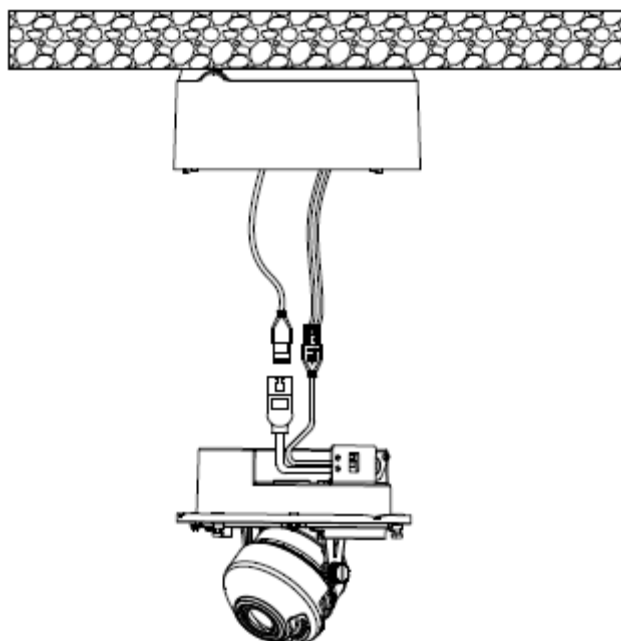


図 3-37 ドームドライブのインストール



カメラの側面出口からケーブルを引き出す必要がある場合は、カバーを外し、防水ジョイントと防水パイプを使用してケーブルを配線してください。

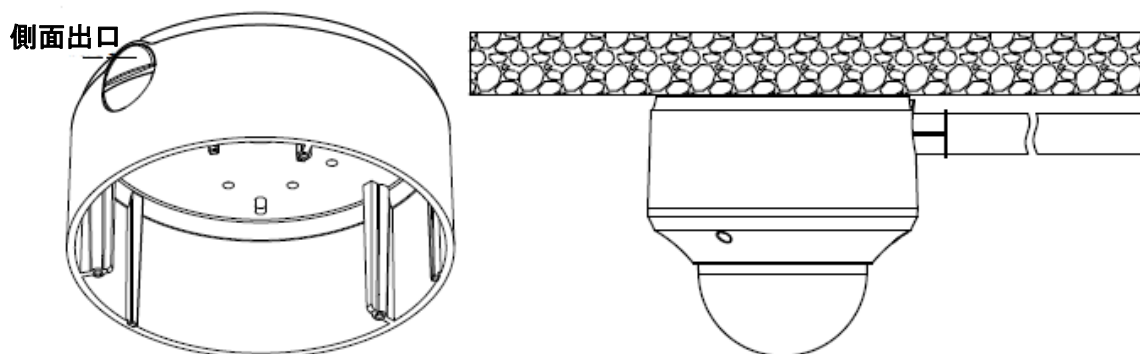


図 3-38 サイドケーブル配線

5. ネットワークケーブルと電源ケーブルを接続した後、ネットワーク上でカメラの画像を表示します。ロックネジを緩めて、パン位置とチルト位置を調整し、レンズを回転させて所望の監視角度にする。ロックネジを締めます。

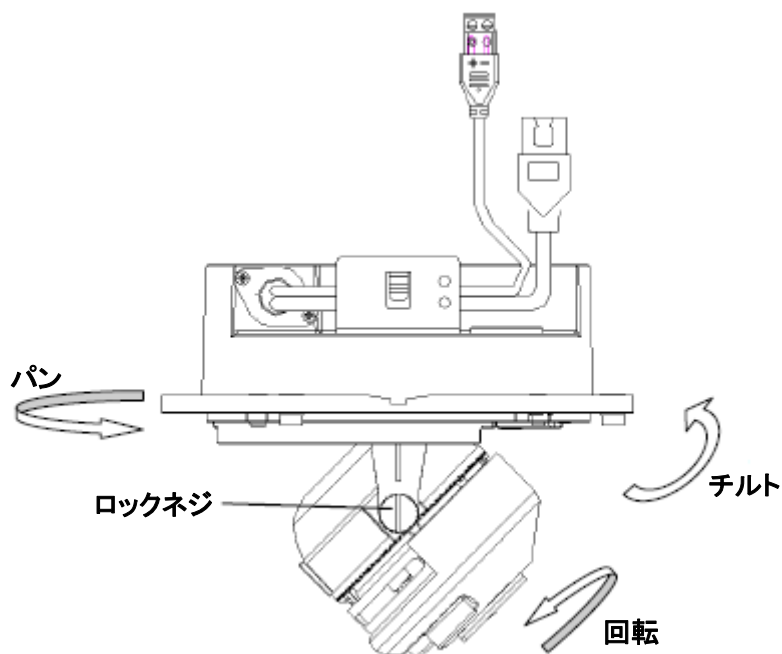


図 3-39 角度調整

6. ブラックライナーとバブルを取り付けて、取り付けを完了します。

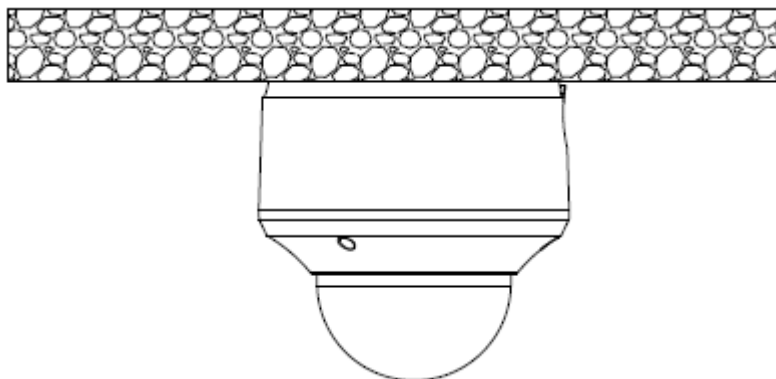


図 3-40 再インストール

● インシーリング取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

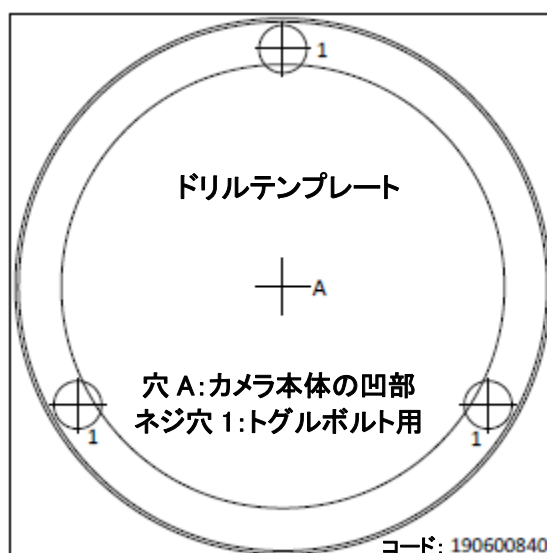


図 3-41 ドリルテンプレート

2. 六角キー(付属)を使用して止めネジを緩めて、バブルを取り外します。ブラックライナーを取り外します。

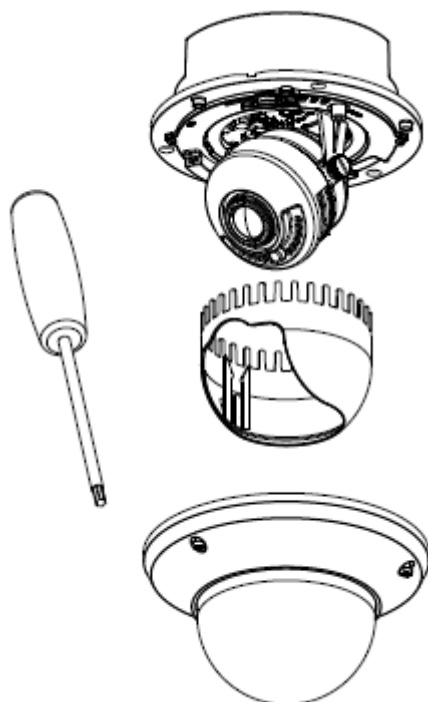


図 3-42 分解

3. トグルを回して、トグルボルトからトグルを取り外します。
4. ボルトをドームドライブのトグルボルト穴に差し込み、ネジドライバーを使用してボルトをわずかに回転させますが、しっかり固定しないでください。
5. トグルを元に戻し、ドームドライブを天井のケーブル穴に押し込み、トグルボルトを天井のネジ穴に合わせます。

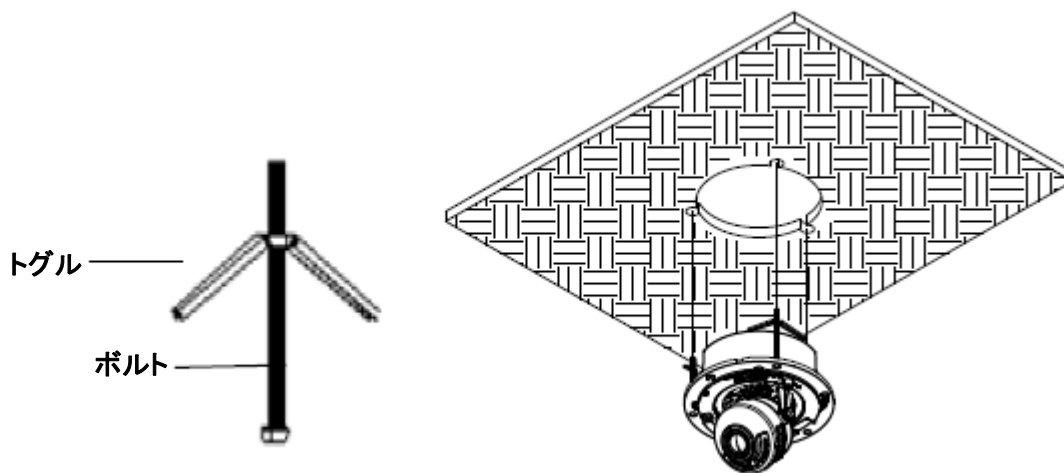


図 3-43 ドームドライブのインストール

6. トグルボルトを締めると、トグルが自動的にドームドライブを天井に固定します。

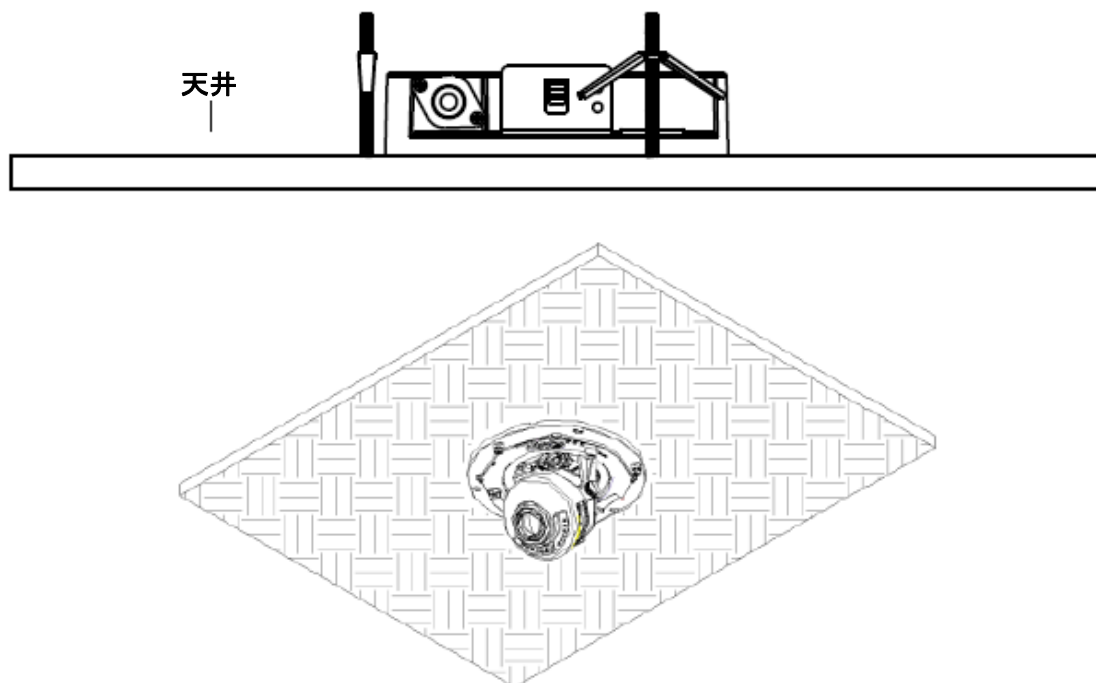


図 3-44 トグルボルトを締める

7. ネットワークケーブルと電源ケーブルを接続します。
8. ネットワーク経由でカメラ画像を表示します。
9. 固定ネジを緩めてパン位置とチルト位置を調整し、レンズを回転させて希望の監視角度にします。
10. ロックネジを締めます。

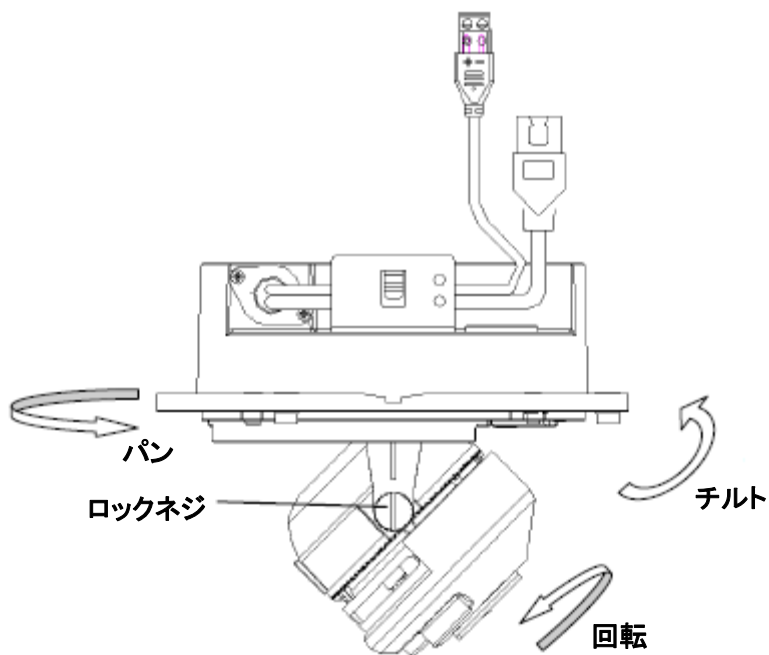


図 3-45 角度調整

11. ブラックライナーとドームドライブを取り付けて、取り付けを完了します。

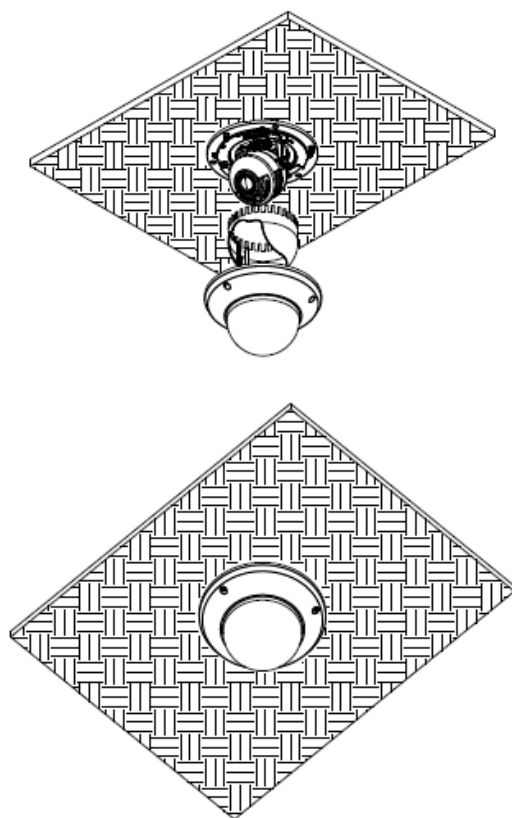


図 3-46 インストールの完成

● ウォールマウント

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を壁にドリルします。

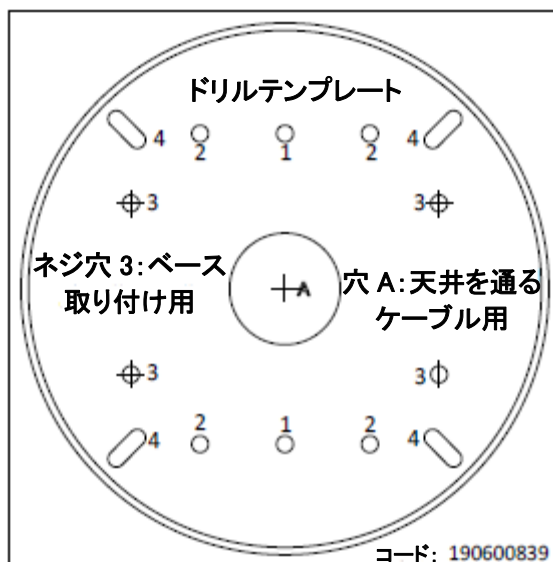


図 3-47 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでバックボックスを壁に固定します。



カメラの内部に水分が入らないように、サイドケーブルのコンセントを真下に置きます。

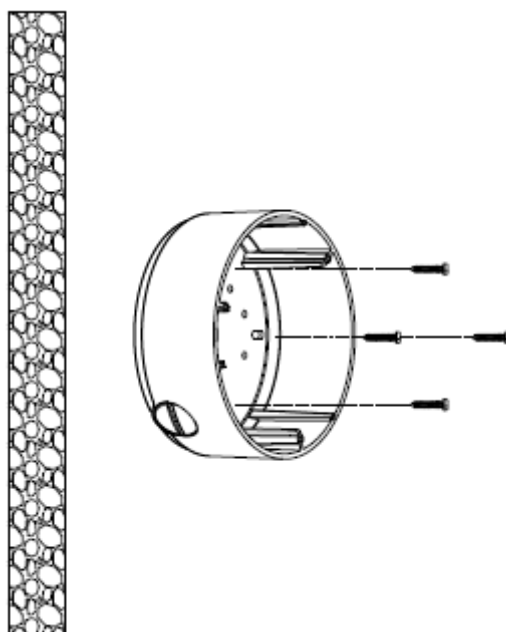


図 3-48 バックボックスの固定

- 六角キー(付属)を使用して止めネジを緩めて、バブルを取り外します。ブラックライナーを取り外します。

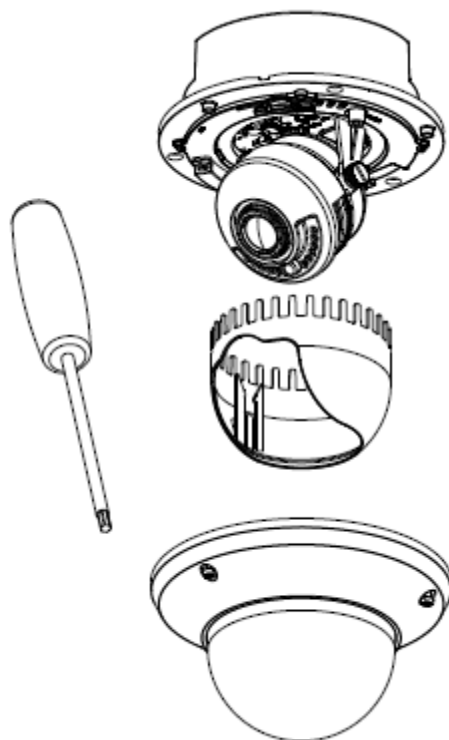


図 3-49 分解

- バックボックスにドームドライブをインストールして、バックボックスの下部にあるケーブル出口からケーブルを引き出します。



カメラの側面出口からケーブルを引き出す必要がある場合は、カバーを外し、防水ジョイントと防水パイプを使用してケーブルを配線してください。

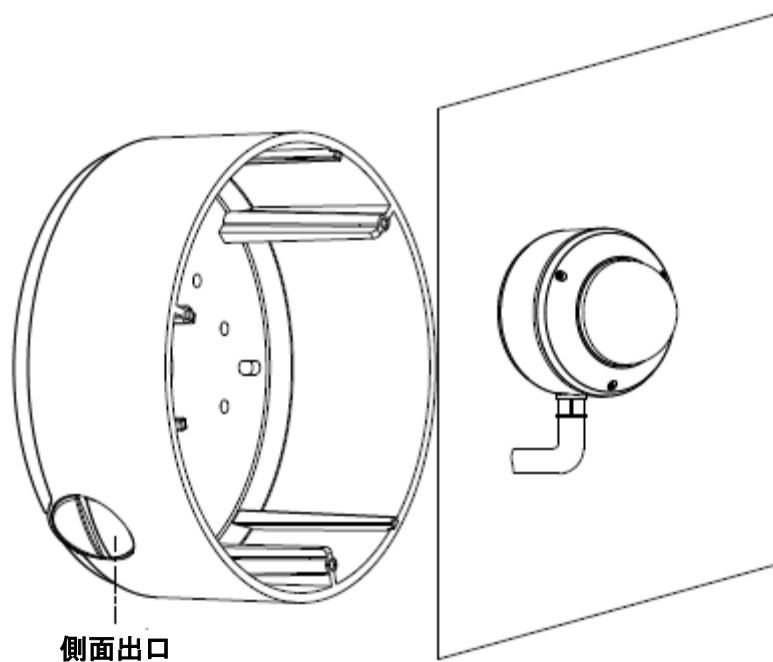


図 3-50 サイドケーブル配線

5. ネットワークケーブルと電源ケーブルを接続します。
6. ネットワーク経由でカメラ画像を表示します。
7. 固定ネジを緩めてパン位置とチルト位置を調整し、レンズを回転させて希望の監視角度にします。
8. ロックネジを締めます。

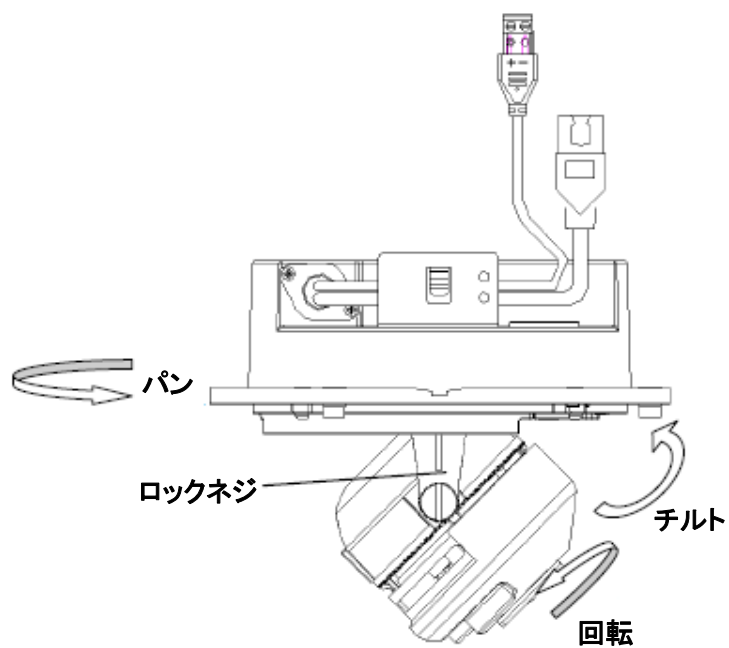


図 3-51 角度調整

9. ブラックライナーとバブルを取り付けて、取り付けを完了します。

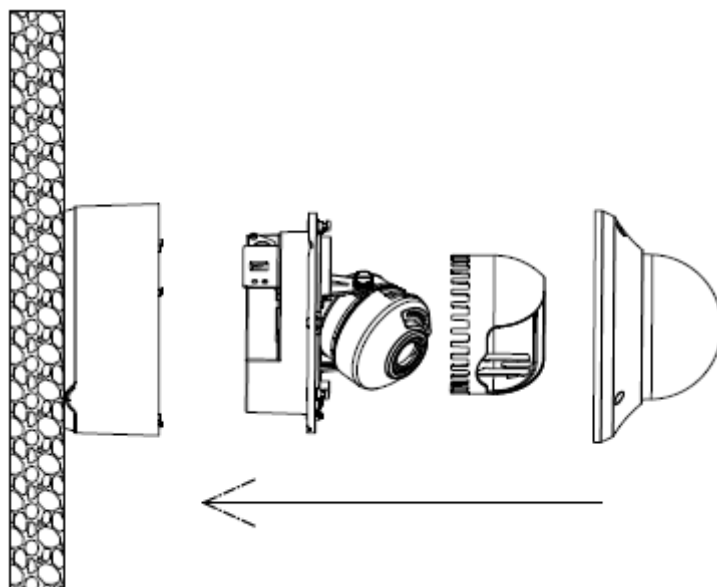


図 3-52 インストールの完成

3.5 タイプVドームカメラ

3.5.1 カメラの説明

異なるモデルによれば、このカメラシリーズには2種類のカメラ外観があります。

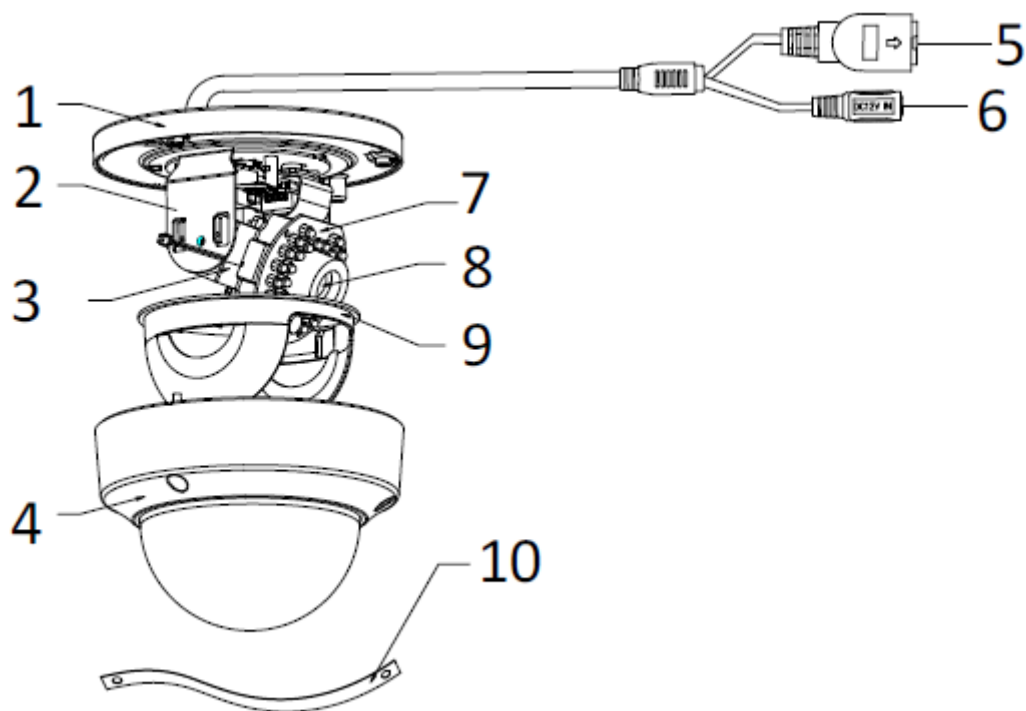


図 3-53 タイプIカメラの概観

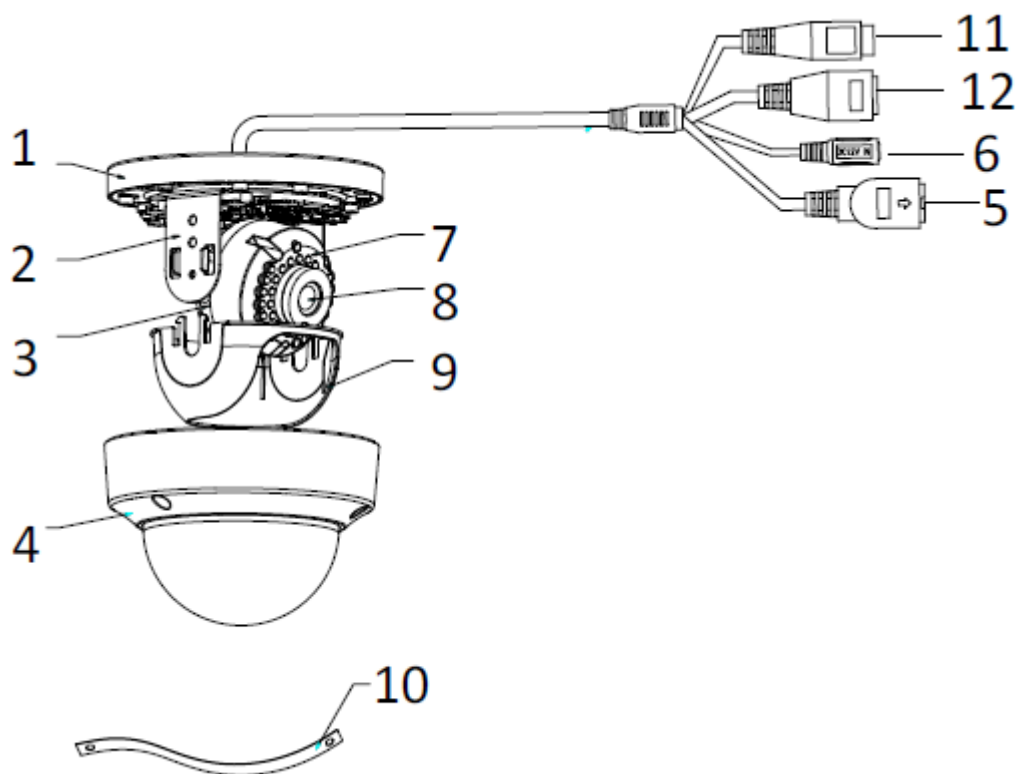


図 3-54 タイプ II カメラの概観

表 3-5 タイプ I / II カメラの説明

番号	説明
1	マウントベース
2	水平方向のスタンド
3	垂直スタンド
4	バブル
5	ネットワークインターフェイス
6	電源インターフェイス
7	IR LED
8	レンズ
9	ブラックライナー
10	安全ロープ
11	音声インターフェイス (モデルに「-S」が付いているカメラでのみサポートされています)
12	アラームインターフェイス (モデルに「-S」が付いているカメラでのみサポートされています)



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.5.2 インストール

● 天井取り付け

手順:

1. ドリルテンプレートに従って、天井にネジ穴をドリルします。

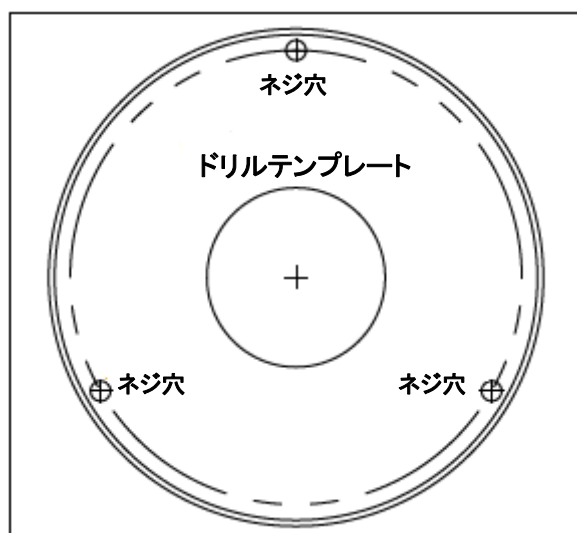


図 3-55 ドリルテンプレート

2. 六角キー(付属)で固定ネジを緩めて、バブルを取り外します。

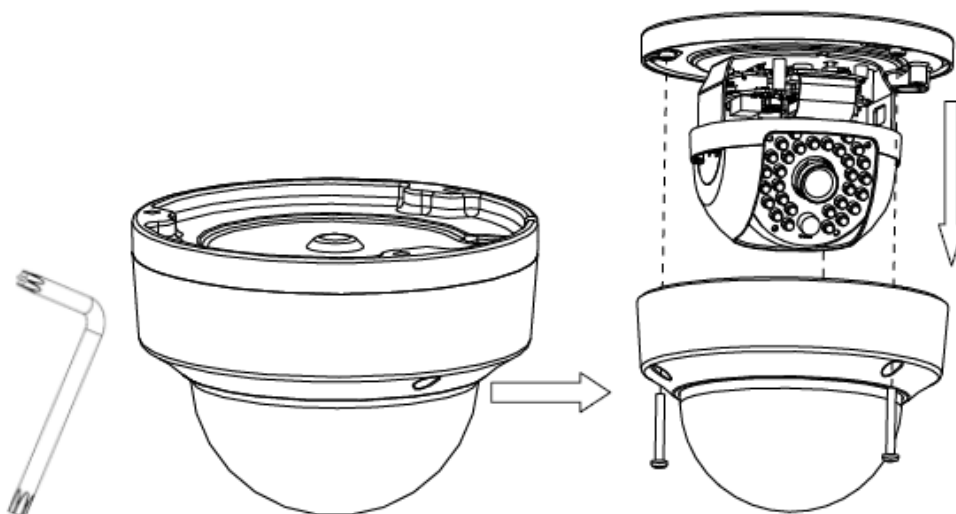


図 3-56 バブルの取り外し

3. マウントベースをネジで固定します。

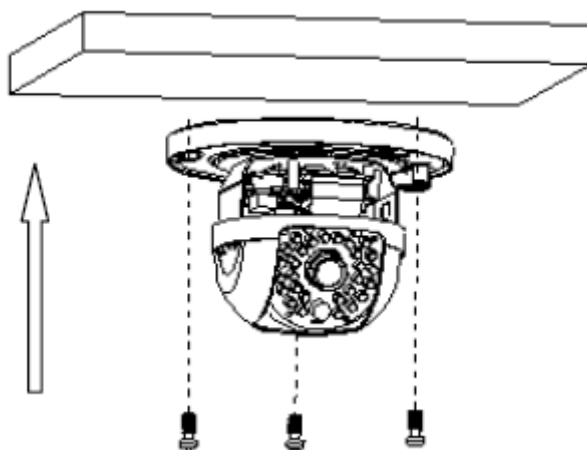


図 3-57 マウントベースの固定



必要に応じて、ケーブルをマウントベースの側面の開口部に通すことができます。

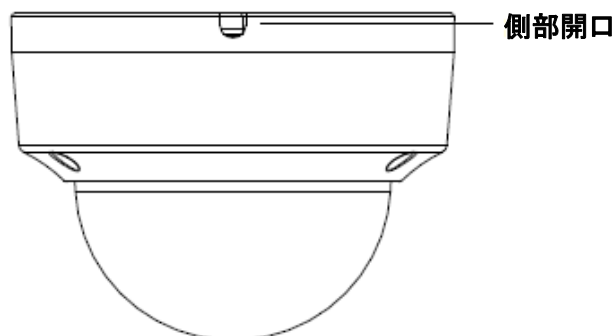


図 3-58 側部開口

4. チルトロックネジを緩めて、チルト位置を 65 度の範囲で調整し、チルトロックネジを締めます。
5. ブラックライナーを回して、希望の監視角度になるまで 180 度の範囲内でパン位置を調整します。

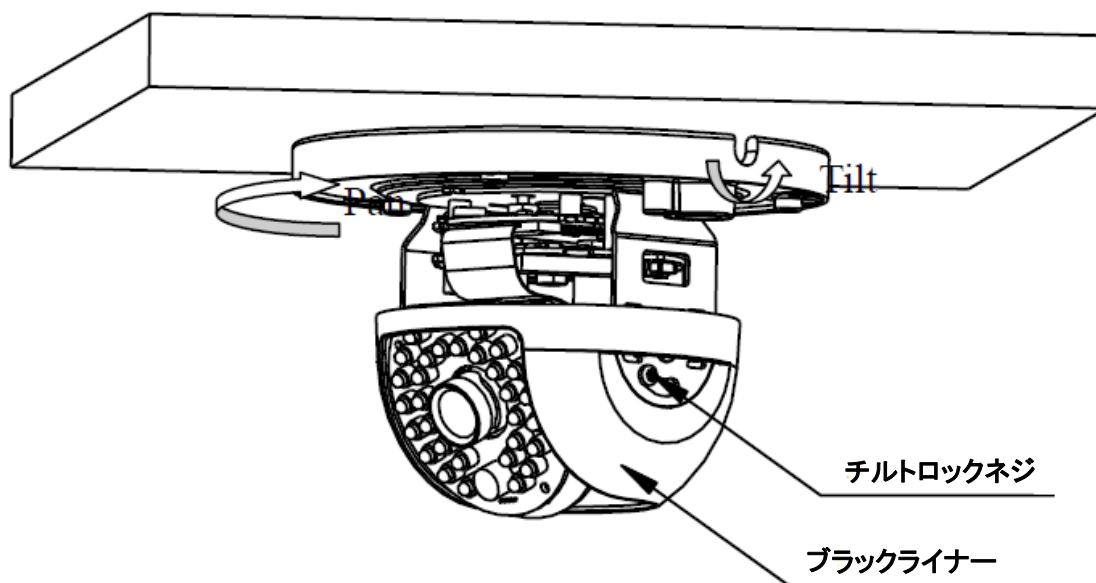


図 3-59 監視角度の調整



レンズはすでに工場で最良のイメージング効果に調整されているため、パン位置とチルト位置を調整して、必要な監視角度にするだけで済みます。

6. バブルを元に戻し、ネジを締めます。

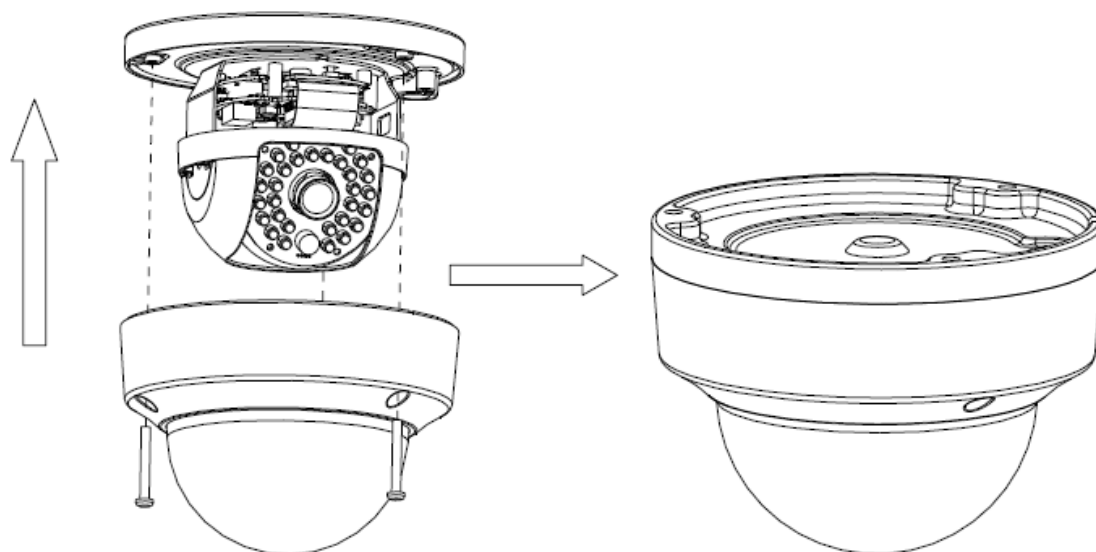


図 3-60 バブルの再インストール

● マイクロ SD カードのインストール

手順:

1. バブルのロックネジを緩めてカメラを分解します。

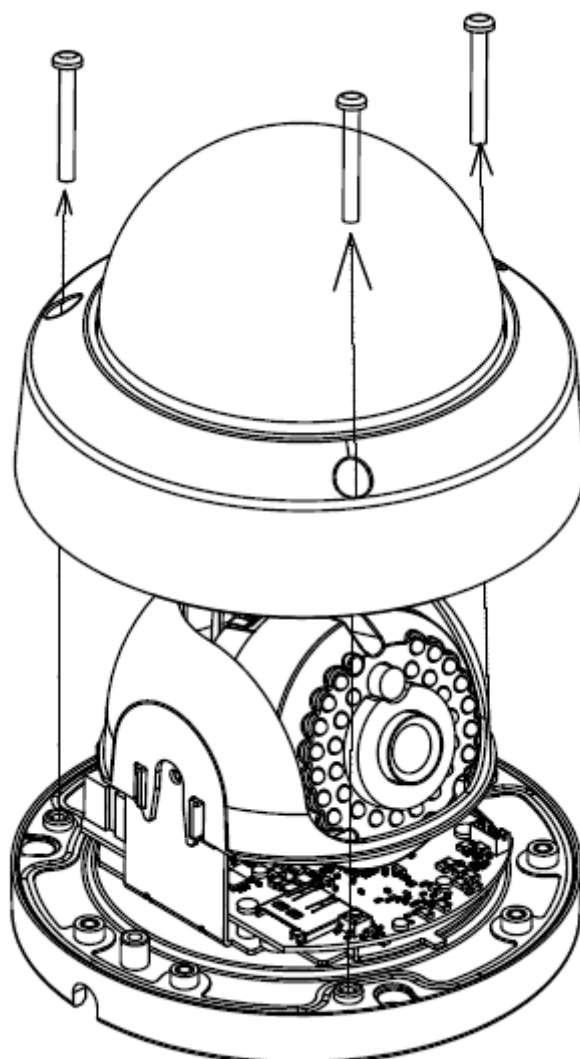


図 3-61 カメラの分解

2. マイクロ SD カードをカードスロットに挿入します。
3. (オプション) 挿入したマイクロ SD カードを内側に押し込むと、マイクロ SD カードが弾き出します。

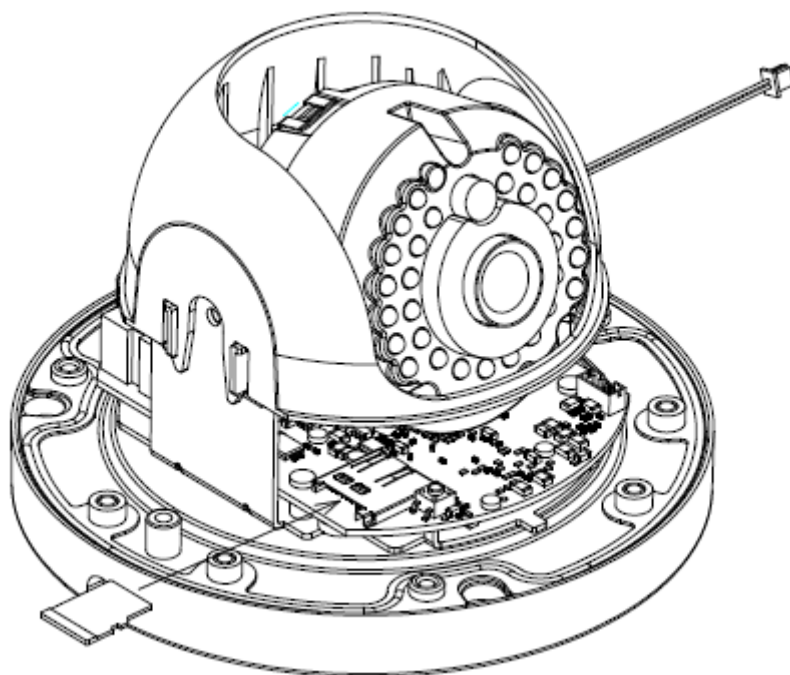


図 3-62 マイクロ SD カードの挿入

4. バブルを元に戻し、ロックネジを締めます。

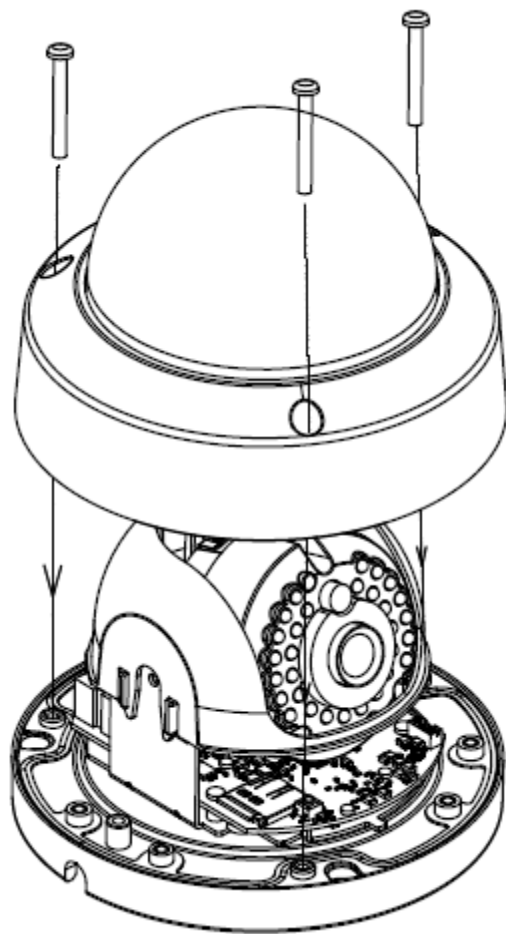


図 3-63 バブルのインストール

3.6 タイプ VI ドームカメラ

3.6.1 カメラの説明

ネットワークドームカメラの概観を以下に示します。

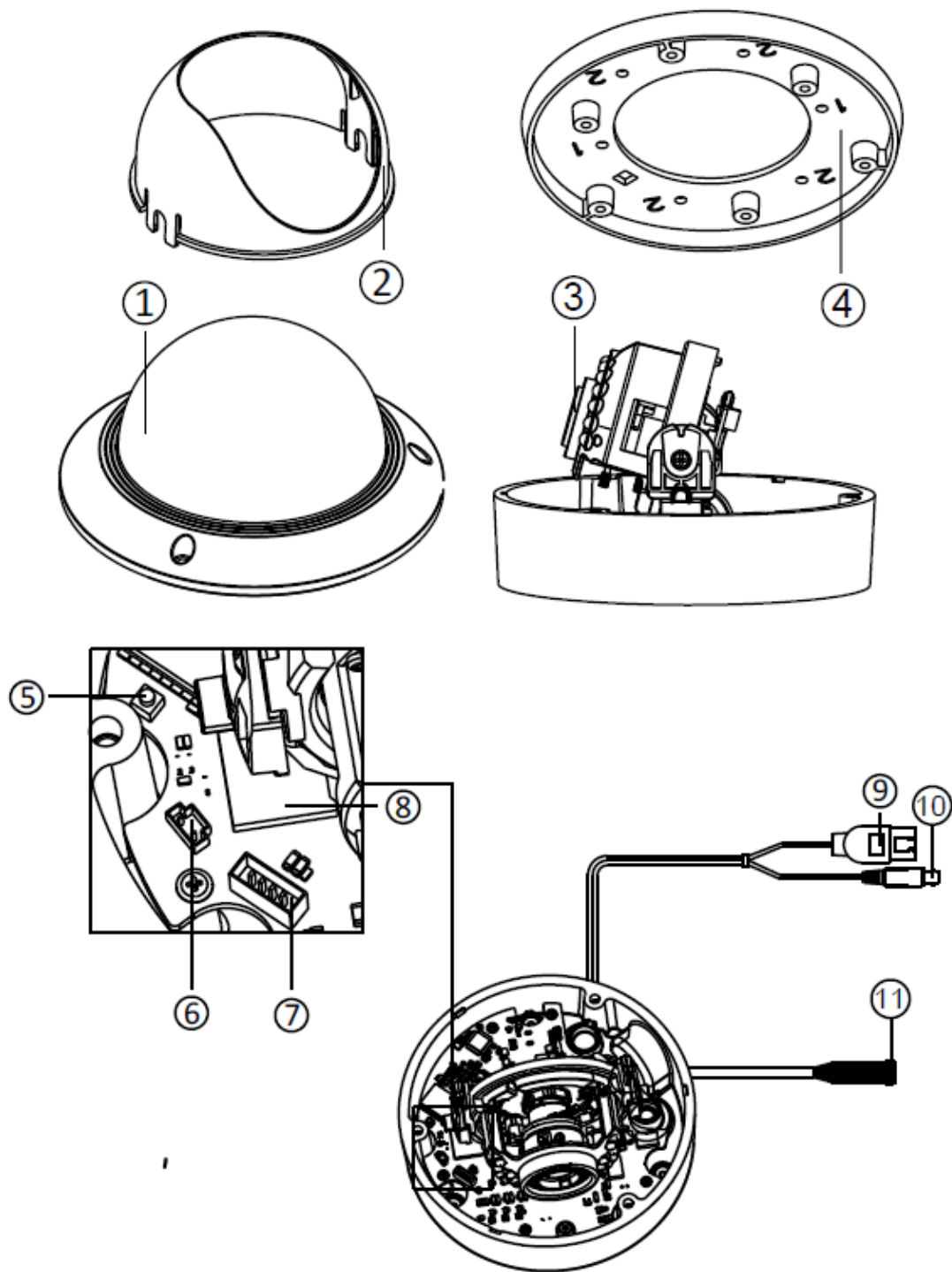


図 3-64 概観

表 3-6 概要

番号	説明
1	バブル
2	ブラックライナー
3	レンズ
4	マウントベース
5	リセット
6	補助ビデオ出力
7	シリアルポート
8	マイクロ SD カードスロット
9	ネットワークケーブル
10	電源ケーブル
11	音声/アラームインターフェイス



- カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

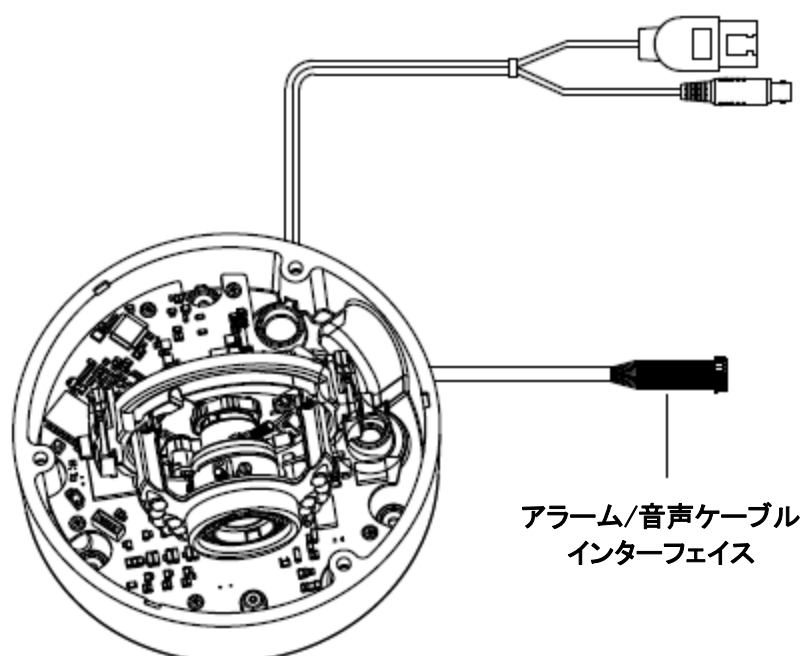


図 3-65 音声とアラームインターフェイス

3.6.2 インストール

● 天井取り付け

手順:

1. ネジドライバーでバブルの端にある 3 本のネジを緩めます。
2. バブルを開き、内側のブラックライナーを取り外します。

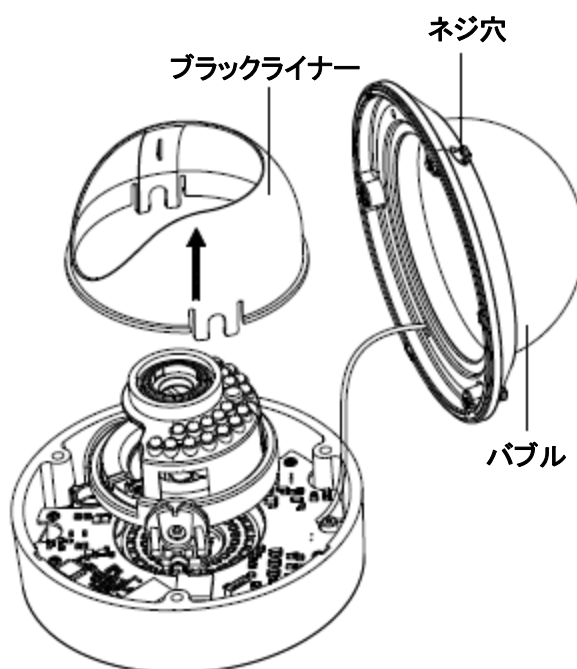


図 3-66 バブルとブラックライナーの取り外し

3. カメラを固定したい場所にドリルテンプレート(付属)を取り付けます。
4. 以下に示すドリルテンプレートに従って、天井に 3 つのネジ穴を開けます。

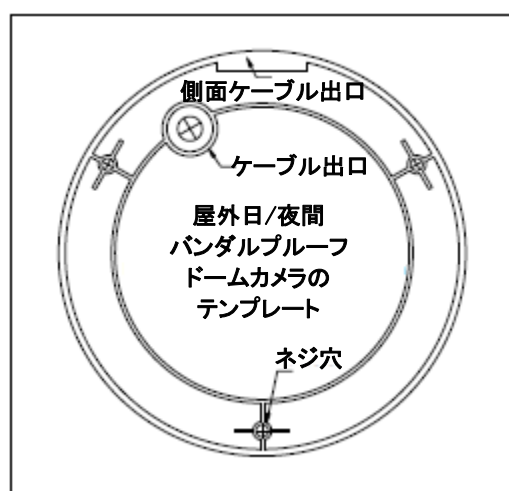


図 3-67 ドリルテンプレート

5. 天井の内側にケーブルを配線する場合は、ドリルのテンプレートに従ってケーブルの穴を天井にドリルします。天井の表面にケーブルを配線する場合は、この手順を省略してください。サイドケーブルの配線については、側面のコンジットの取り付けを参照してください。
6. バックボックスの穴と天井の穴を合わせてカメラを天井に取り付けます。
7. 以下のように、付属のネジでカメラを固定します。

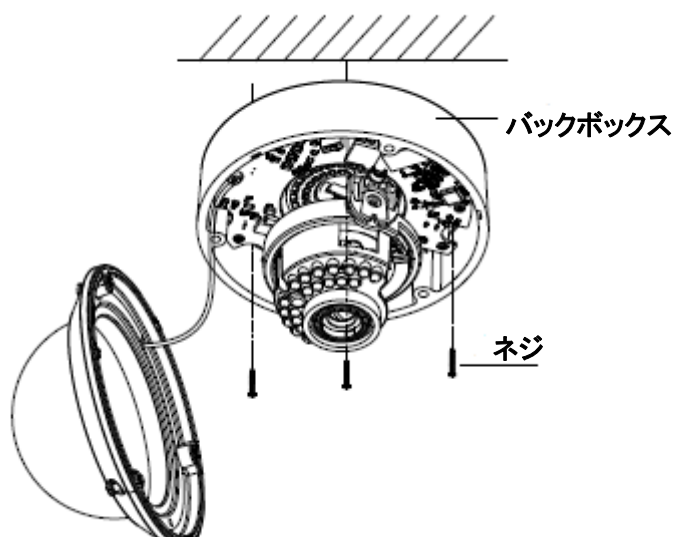


図 3-68 カメラの固定

8. ケーブルをケーブル穴に通します。
9. ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタを電源装置に接続します。
10. 画像とフォーカスを調整します。詳細については、「画像とフォーカス調整」を参照してください。
11. 内側のブラックライナーをカメラに戻して取り付けます。
12. バブルをカメラに戻して取り付け、以下のようにネジで固定します。

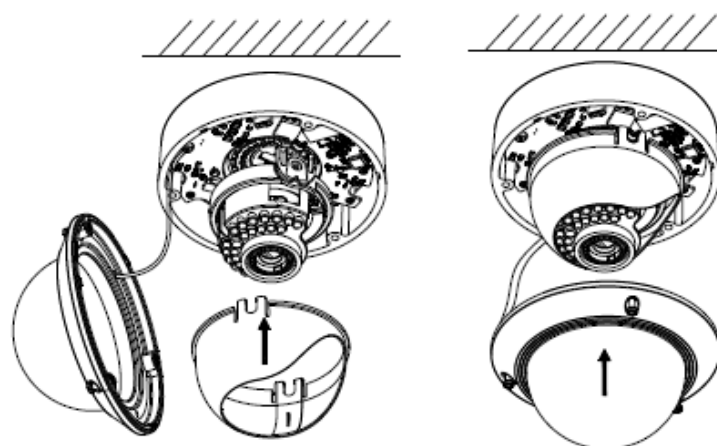


図 3-69 ブラックライナーとバブルの固定

● 側面にコンジットの取り付け

ケーブルをカメラの側面から配線する場合は、以下の手順に従ってケーブル配線用のコンジットを取り付ける必要があります。

手順:

1. 防水プラグを反時計回りに回してカメラから取り外します。

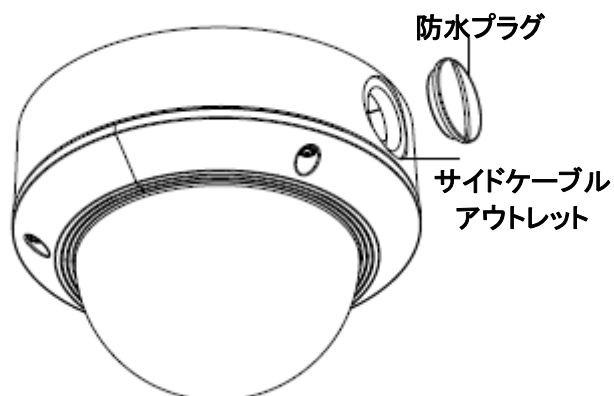


図 3-70 防水プラグの取り外し

2. 電源ケーブルとネットワークケーブルが側出口を通してコンジットに接続します。
3. コンジットを時計回りにして、側出口としっかり合わせます。

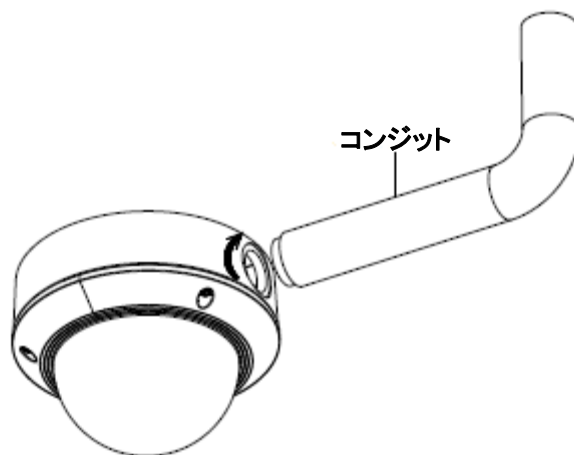


図 3-71 コンジットをカメラに取り付ける



ウォールマウントの場合は、防水のために側出口を直下に置きます。

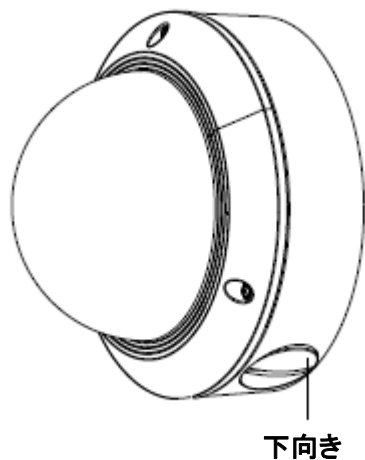


図 3-72 側面出口方向

● ギャングボックスによる天井取り付け

手順:

1. カメラを分解します。
2. 天井にギャングボックスを設置します。
3. マウントベースを2本のネジでギャングボックスに取り付けます。

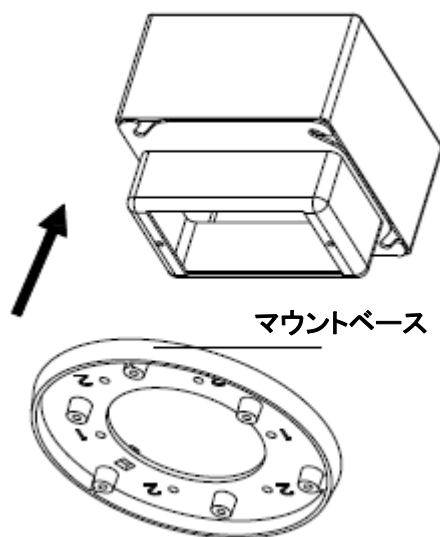


図 3-73 インシーリングマウント

4. ケーブルをマウントベースの中央の穴に通します。
5. カメラをマウントベースに合わせます。
6. ネジを締めて、カメラをマウントベースに固定します。
7. ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタを電源装置に接続します。

8. 画像とフォーカスを調整します。詳細については、「画像とフォーカス調整」を参照してください。

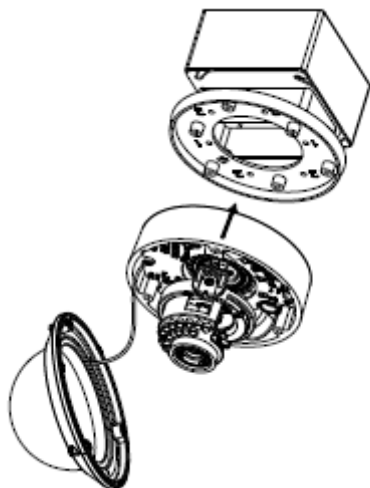


図 3-74 カメラの固定

9. 内側のブラックライナーをカメラに戻して取り付けます。
10. バブルをカメラに合わせます。
11. ネジを締めて、以下のようにカメラにバブルを固定します。

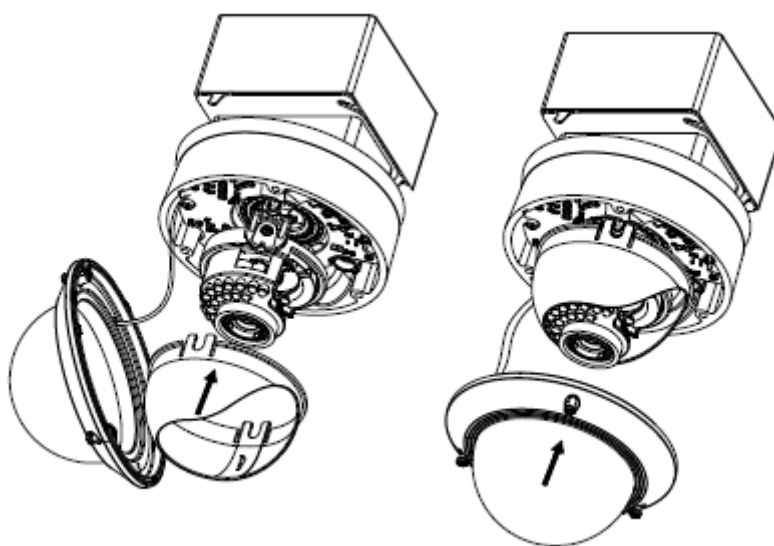


図 3-75 バブルの固定

● ウォールマウント

ウォールマウントの場合、壁マウントを購入する必要があります。

手順:

1. カメラを分解します。
2. 以下のように、壁マウントとマウントアダプターを取り付けます。

3. マウントベースのネジ穴を、マウントアダプターのネジ穴に合わせます。
4. マウントベースを4本のネジでマウントアダプターに固定します。

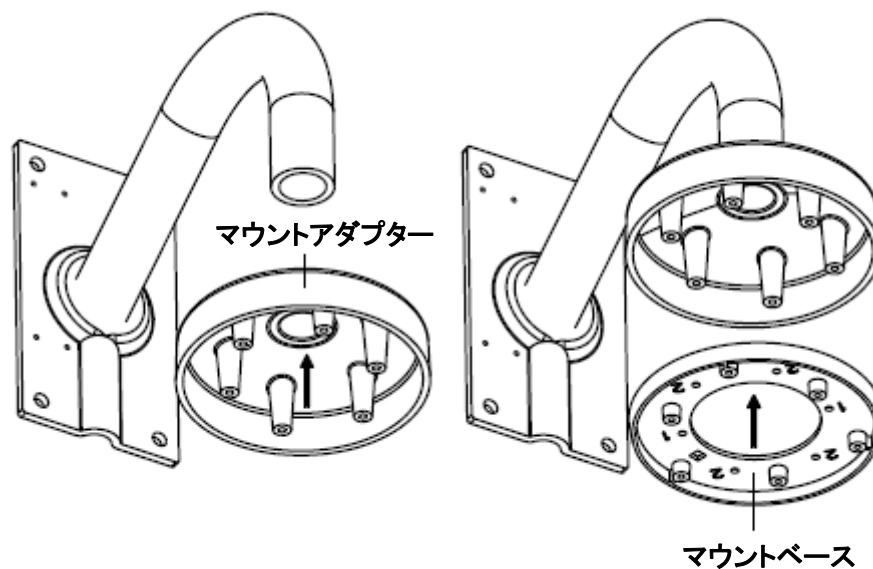


図 3-76 マウントベースの固定

5. ケーブルを壁マウントの中央の穴に通します。
6. カメラをマウントベースに合わせます。
7. 固定ネジを締めて、カメラをマウントベースに固定します。
8. ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタを電源装置に接続します。
9. 画像とフォーカスを調整します。詳細については、「画像とフォーカス調整」を参照してください。

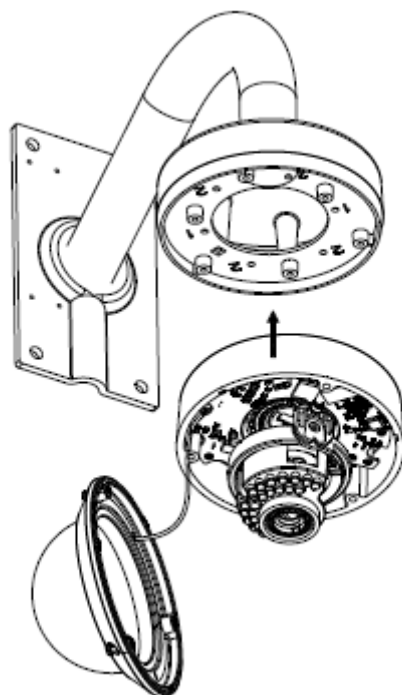


図 3-77 カメラの固定

10. 内側のブラックライナーをカメラに戻して取り付けます。
11. バブルをカメラに合わせます。
12. ネジを締めて、バブルをカメラに固定します。

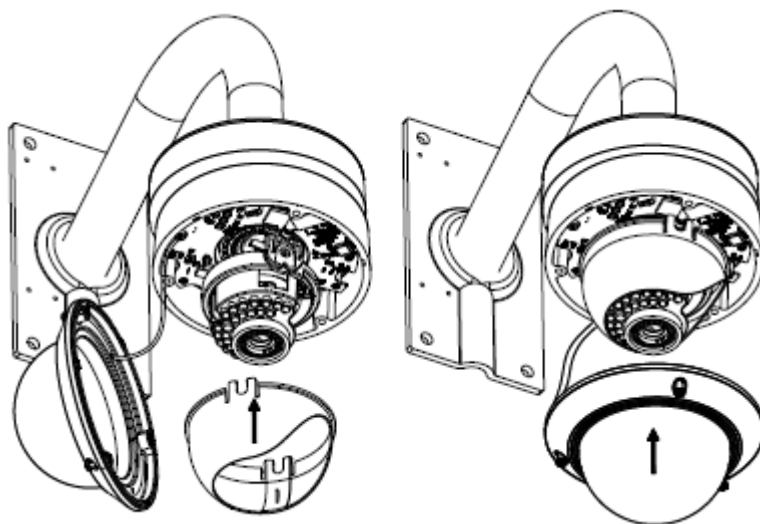


図 3-78 ブラックライナーとバブルの固定

● 画像とフォーカスの調整

手順:

1. モニターを使用してカメラ画像を表示します。
2. パンテーブルを回転させて、カメラのパン位置を調整します。
3. チルト軸を回してカメラのチルト位置を調整します。
4. レンズテーブルを回転させて、画像の方位角を調整します。

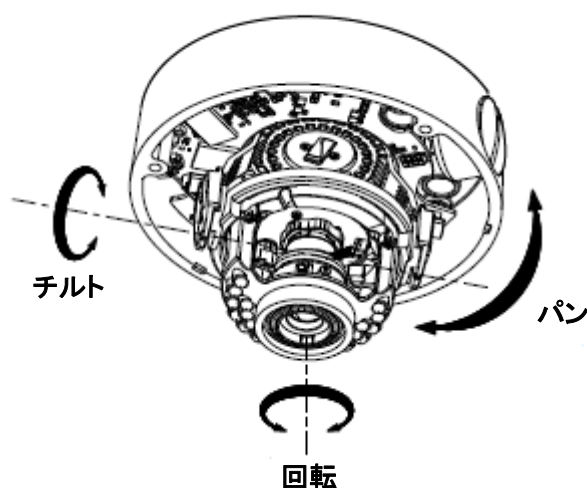


図 3-79 3軸調整

5. ズームとフォーカス調整。
 - 1) モニターを使用してカメラ画像を表示します。
 - 2) ズームレバーを緩め、T(テレ)とW(ワイド)の間でレバーを動かして、適切な画角を確保します。
 - 3) ズームレバーを締めます。
 - 4) フォーカスレバーを緩めて、F(遠)とN(近)の間にレバーを動かして、最適なフォーカスを得られます。
 - 5) フォーカスレバーを締めます。

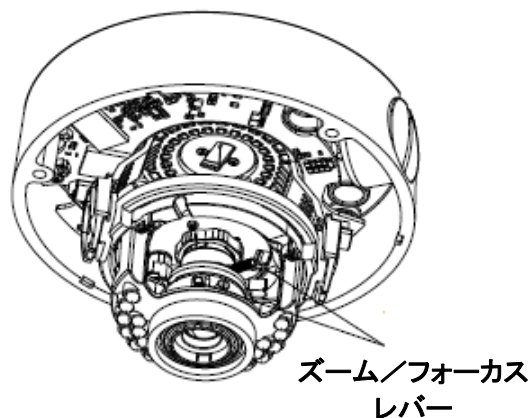


図 3-80 レンズ調整

3.7 タイプ VII ドームカメラ

3.7.1 カメラの説明

ドームカメラの概観を以下に示します。

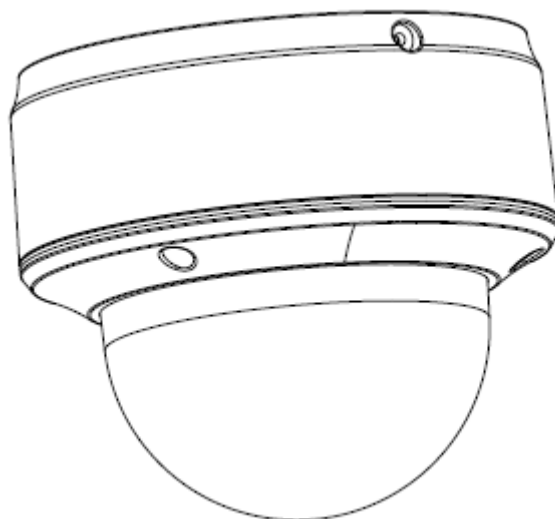


図 3-81 概観

コンポーネントとインターフェイスの概要を以下に示します。

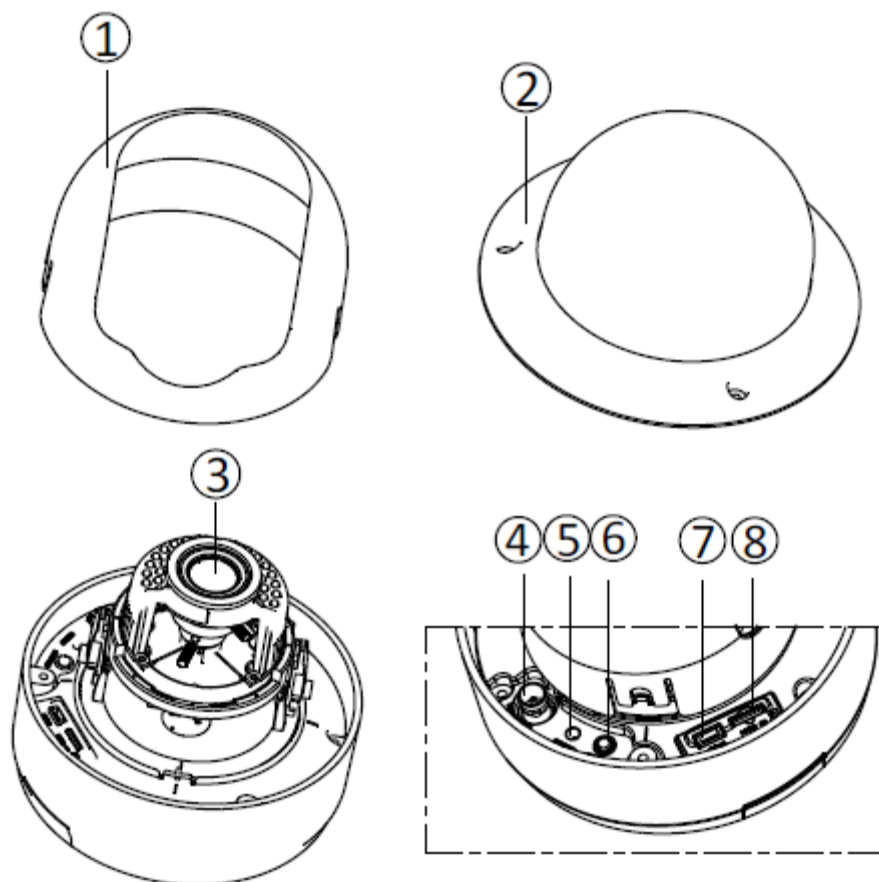


図 3-82 概観(2)

リアパネルのインターフェイスを以下に示します。

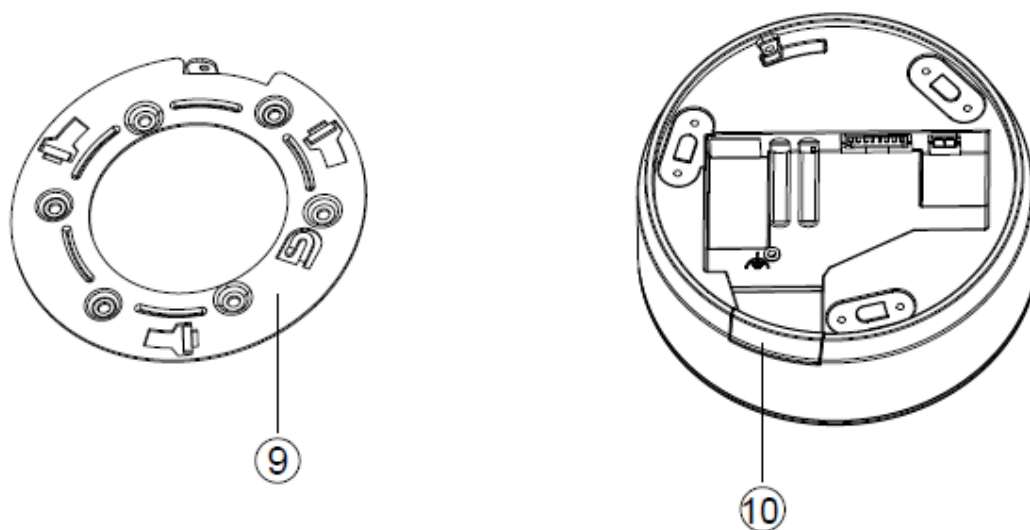


図 3-83 概観(3)

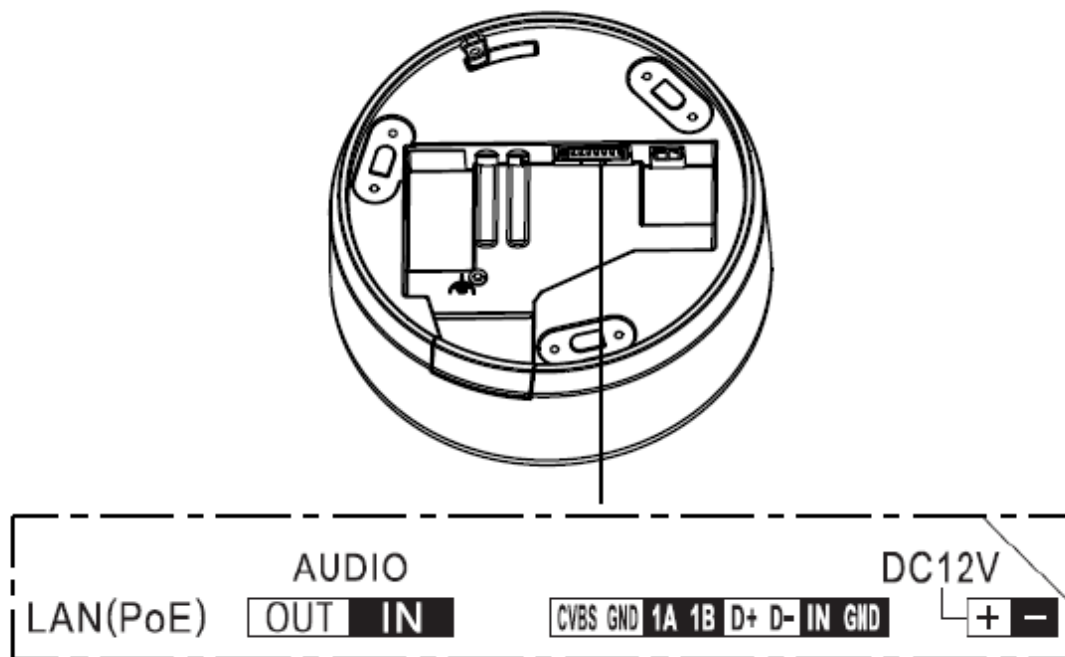


図 3-84 概観(4)

表 3-7 概観の説明(2-3)

番号	説明	番号	説明
1	ブラックライナー	2	バブル
3	レンズ	4	BNC インターフェイス
5	リセット	6	ステータスインジケータ
7	テストシリアルポート	8	マイクロ SD カードスロット
9	アダプタープレート	10	側面出口

表 3-8 概観の説明(4)

名称	説明
LAN(PoE)	10M / 100M 自己適応型イーサネットポート (PoE 対応)
AUDIO OUT/IN	音声アウト/イン
CVBS,GND	補助ビデオ出力
1A,2B	アラーム出力
D+,D-	RS-485 インターフェイス
IN,GND	アラーム入力
DC12V	電源インターフェイス(12VDC)



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.7.2 インストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴をドリルします。

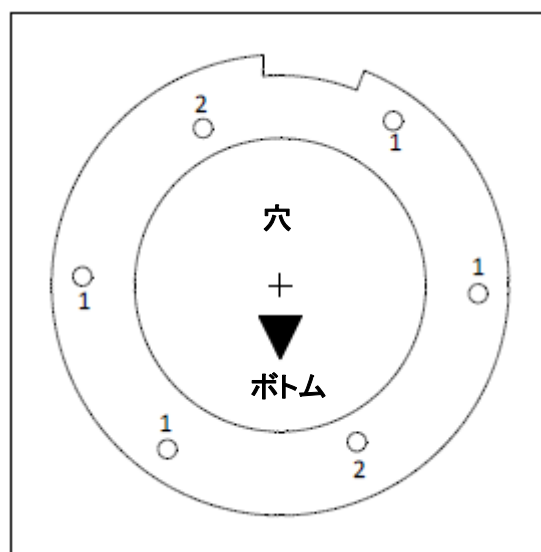


図 3-85 ドリルテンプレート

(オプション)天井にドリルしたケーブル穴ではなく、サイドコンセントからケーブルを配線することができます。プライヤーを使用して下図の部品を取り外し、側面出口からケーブルを配線することができます。

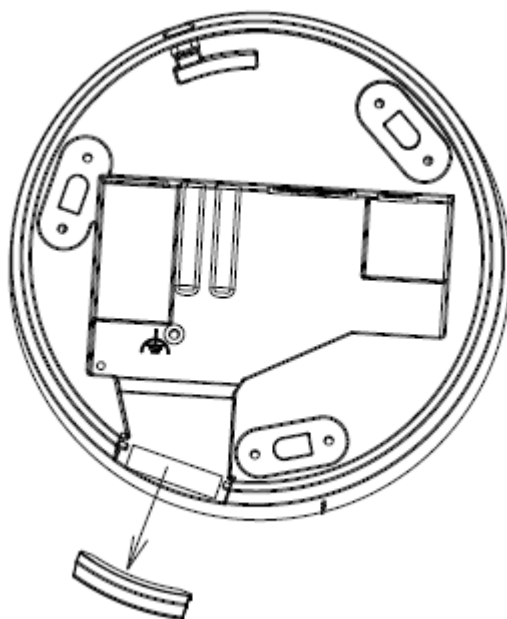


図 3-86 側面出口

2. 付属のネジでアダプタープレート天井に固定します。

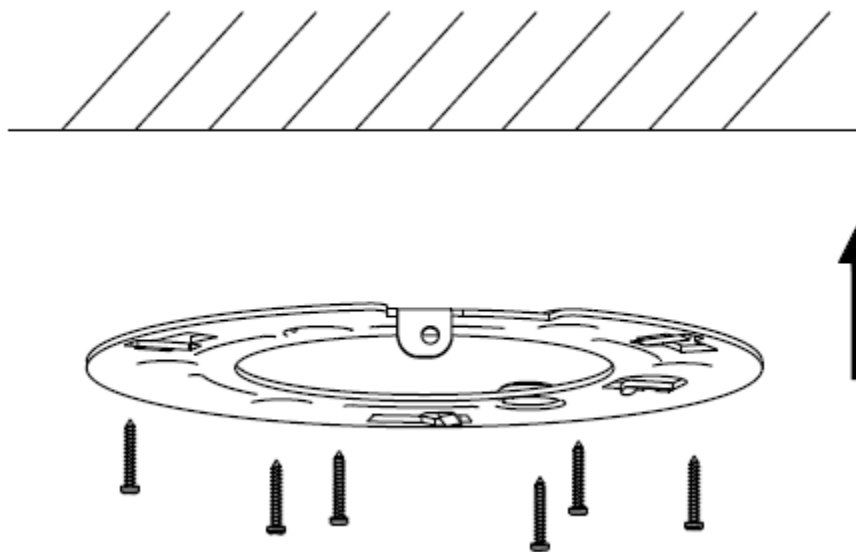


図 3-87 アダプタープレートの取り付け

3. マウントベースをアダプタープレートに合わせ、マウントベースを反時計回りに回して、アダプタープレートに合わせてから、固定ネジを締めて固定します。

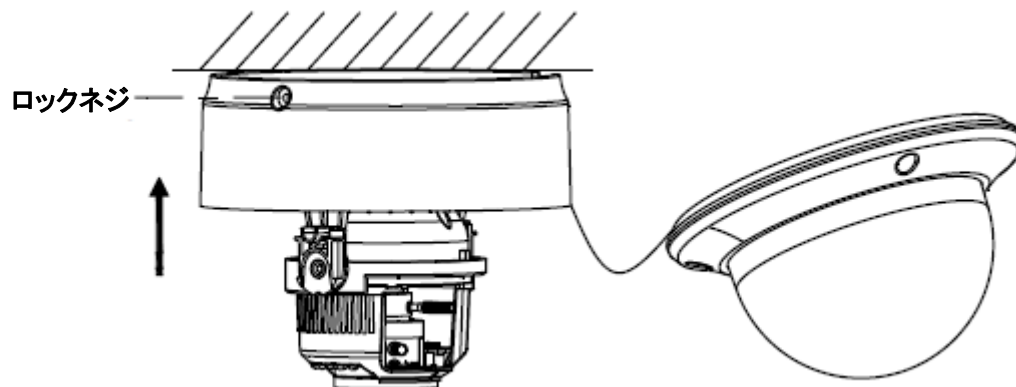


図 3-88 マウントベースの取り付け

4. 下の図に従って監視角度を調整してください。パン角度「0~80°」、チルト角度「0~355°」、レンズの方位角「0~355°」

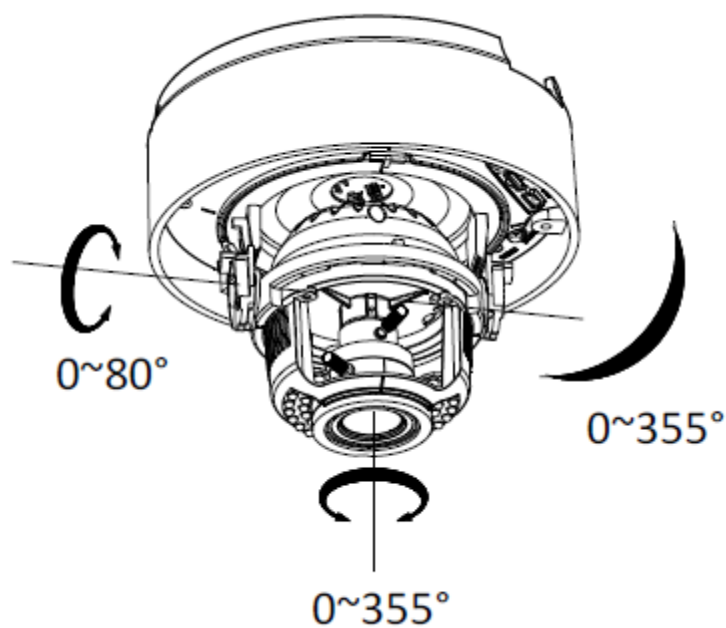


図 3-89 3 軸調整

5. フォーカスとズームを調整します。
- 1) デバッグモニタにカメラのビデオ出カインターフェイスを接続します。
 - 2) 最初、アイリスタイプはマニュアルに設定します。
 - 3) No.1 ズームレバー(T~W)を調整して、適切な画角を選択します。
 - 4) NO.2 フォーカスレバー(F~N)を調整して、モニター上で良い画像を得られます。
 - 5) 環境が良好で安定した照明を有する場合、アイリスタイプをマニュアルに設定します。環境が強く変化する照明がある場合、アイリスタイプをオートに設定します。

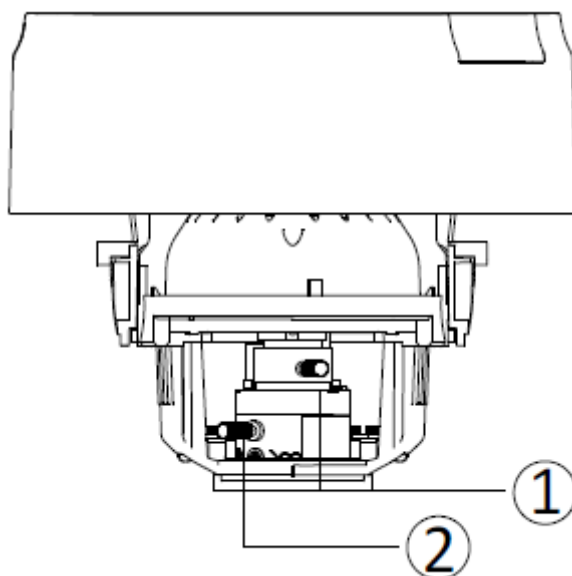


図 3-90 レンズの調整



カメラが電子レンズを使用している場合は、デバイスにアクセスしてズームとフォーカスを調整し、PTZ コントロールインターフェイスから調整することができます。

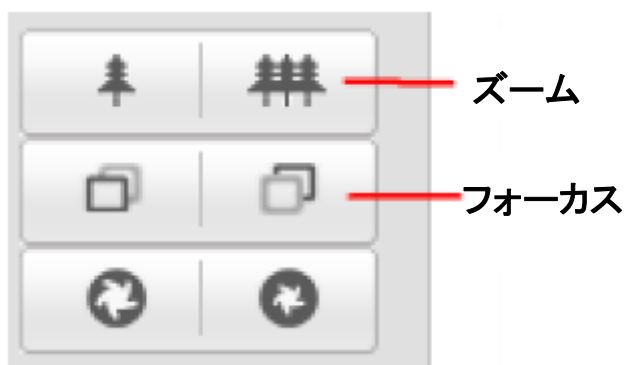


図 3-91 電子レンズのズームとフォーカスの調整

6. ブラックライナーをドームドライブに取り付けます。
7. バブルをドームドライブに取り付け、回転させて締めます。

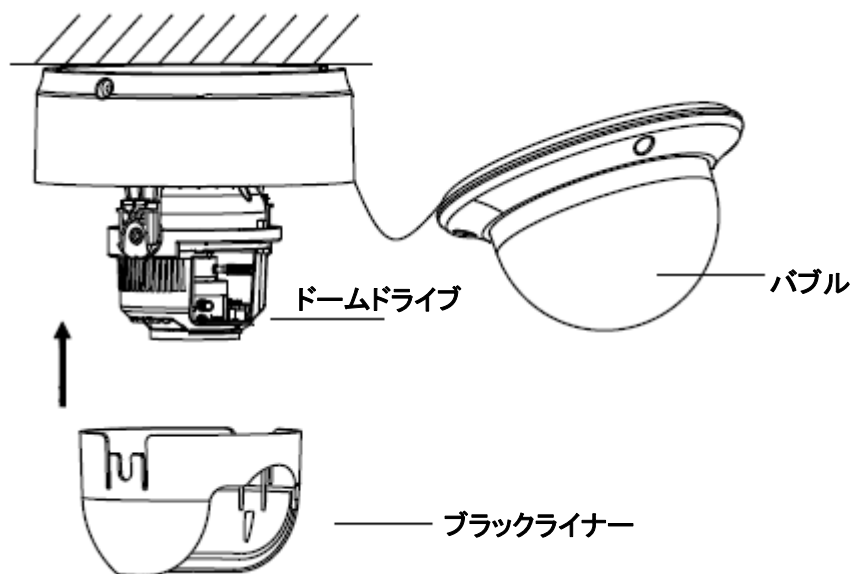


図 3-92 ブラックライナーとバブルの取り付け

8. ロックネジを締めて取り付けを完了します。

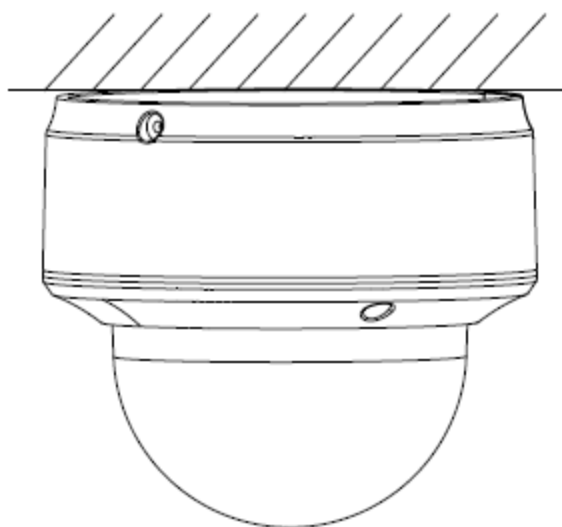


図 3-93 インストールの完成

3.8 タイプ VIII ドームカメラ

3.8.1 タイプ A ドームカメラの説明

屋外ドームカメラの概要を以下に示します。

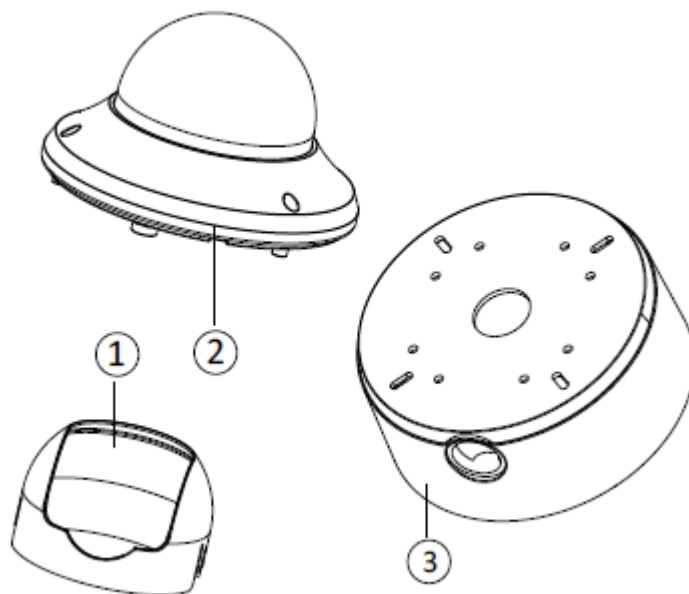


図 3-94 概観(1)

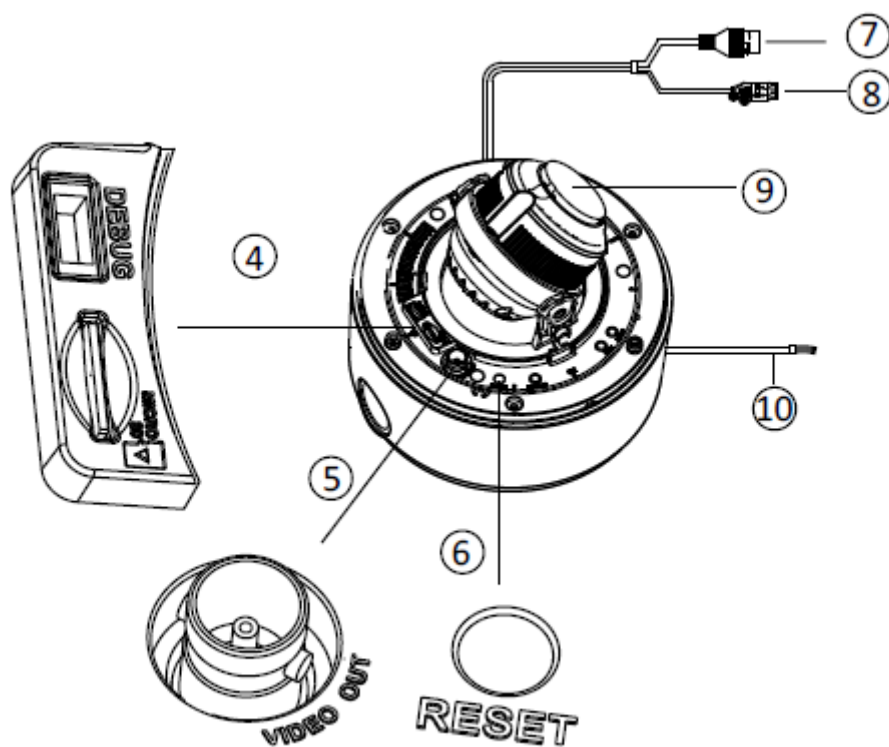


図 3-95 概観(2)

表 3-9 概観の説明(1~2)

番号	説明	番号	説明
1	ブラックライナー	6	リセット
2	バブル	7	電源ケーブル
3	マウントベース	8	10 / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
4	SD カードスロット	9	レンズ
5	ビデオ出力	10	音声とアラームケーブル

3.8.2 タイプ A ドームカメラのインストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴をドリルします。

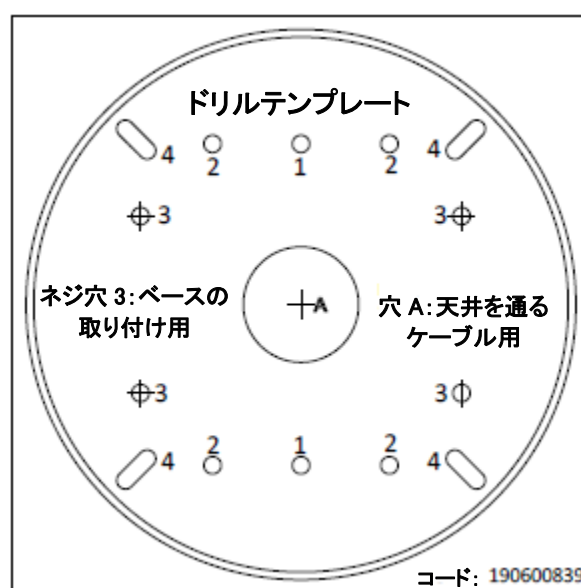


図 3-96 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでマウントベースを天井に取り付けます。

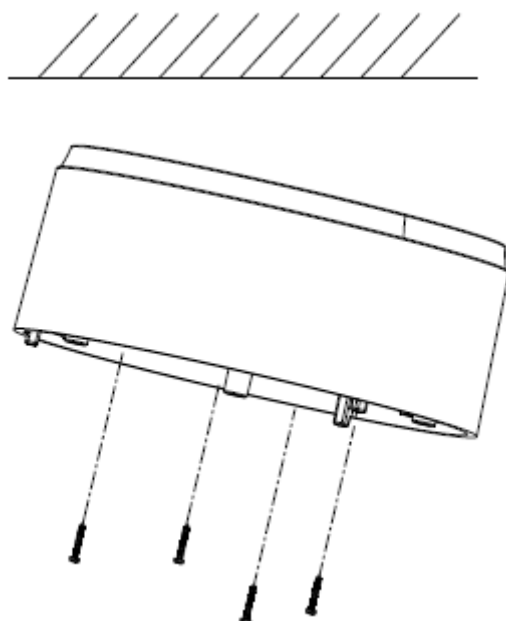


図 3-97 マウントベースの取り付け

3. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、音声とアラームケーブルを接続します。
4. ドームドライブをマウントベースに取り付けます。

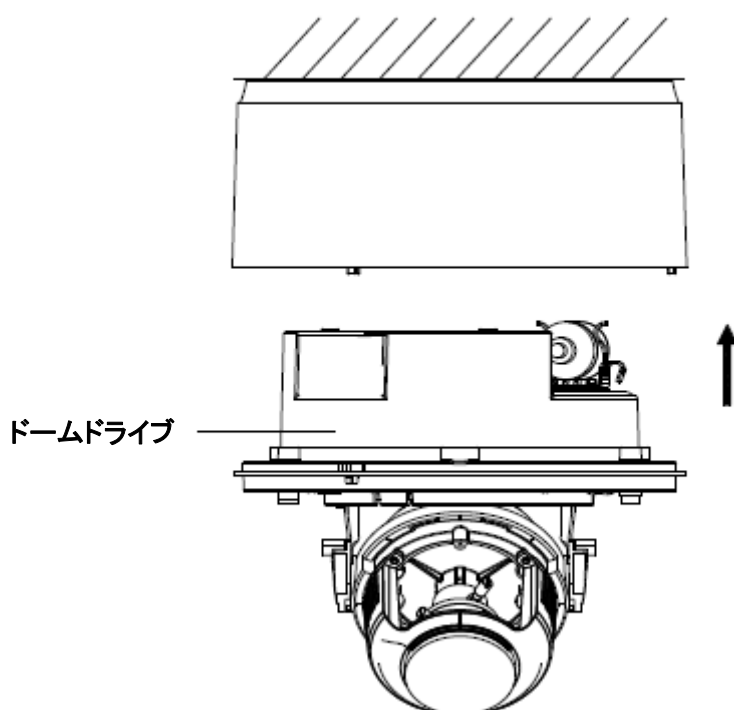


図 3-98 ドームドライブのインストール

5. 監視角度を調整します。
 - 1) レンズのほかにロックネジを緩めます。

- 2) プラスチックプレートを持ち、カメラを回してパン角度「0～350°」を調整します。
- 3) レンズを前後に動かして、傾斜角「0～80°」を調整します。
- 4) レンズを回転させて、カメラの方位角「0～350°」を調整します。
- 5) ロックネジを締めます。

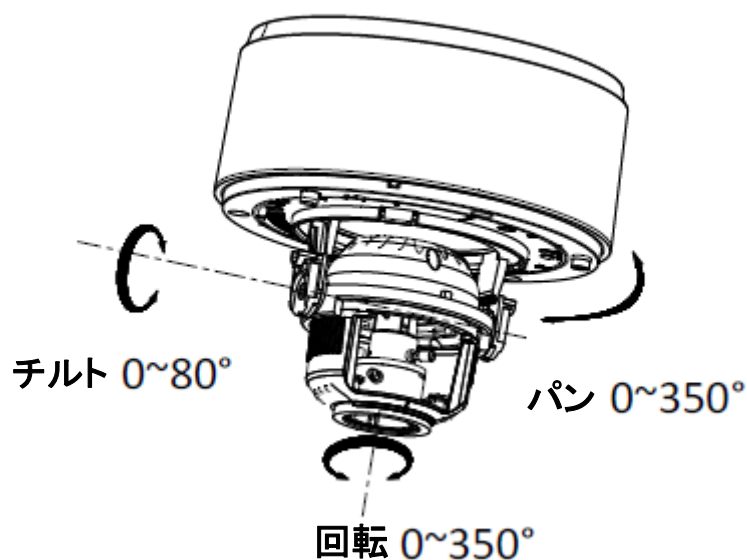


図 3-99 3 軸調整

6. レンズを調整します。
 - 1) カメラのビデオ出力インターフェイスをデバッグモニタに接続します。
 - 2) 最初、アイリスタイプをマニュアルに設定します。
 - 3) No.2 ズームレバー(T~W)を調整して、適切な画角を選択します。
 - 4) No.1 フォーカスレバー(F~N)を調整して、モニター上で良い画像が得られます。
 - 5) 環境が良好で安定した照明を有する場合、アイリスタイプをマニュアルに設定します。環境が強く変化する照明がある場合、アイリスタイプをオートに設定します。

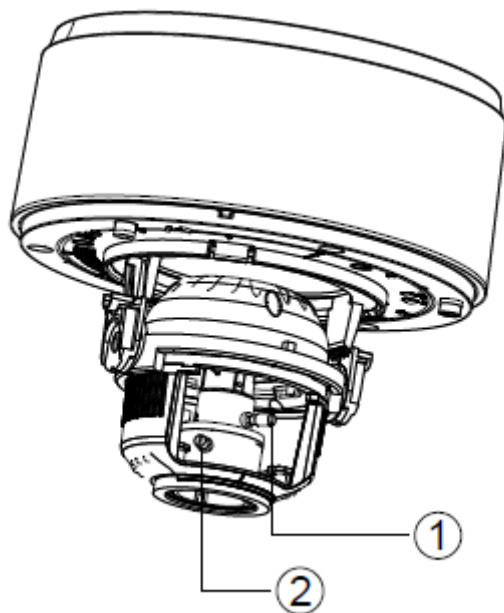


図 3-100 フォーカスとズームの調整

- 6) ブラックライナーをカメラに戻してください。
- 7) カメラにバブルを合わせ、ネジを締めて固定して取り付けを完了します。

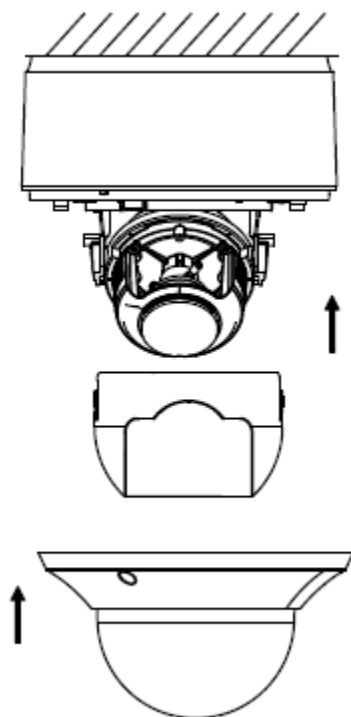


図 3-101 ブラックライナーとバブルのインストール

3.8.3 タイプ B ドームカメラの説明

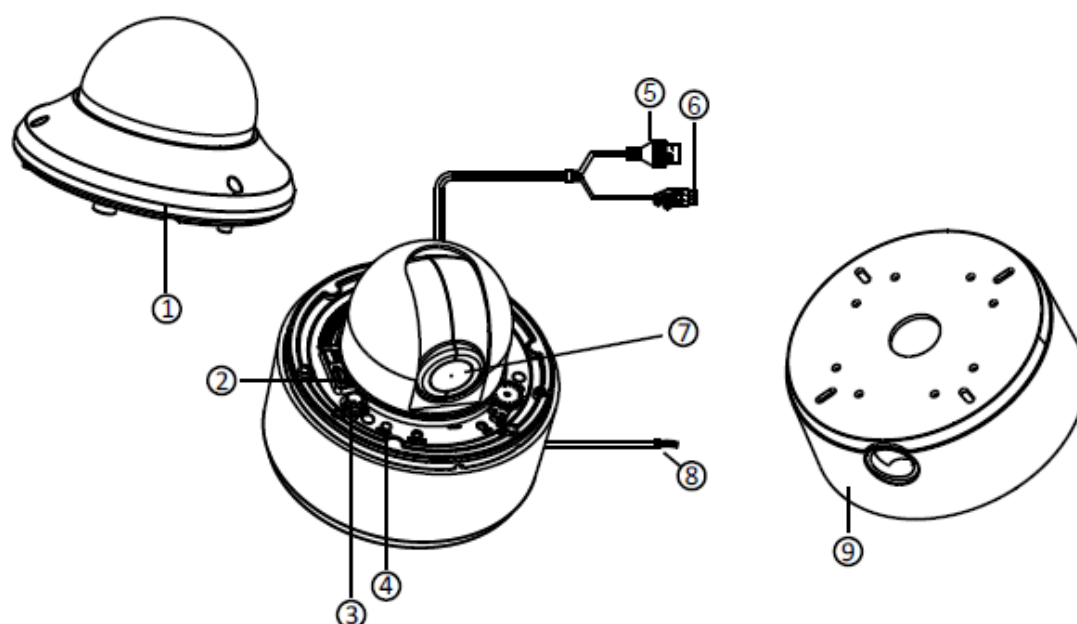


図 3-102 タイプ B ドームカメラの概観

表 3-10 タイプ B ドームカメラの説明

番号	説明	番号	説明
1	バブル	6	10 / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
2	SD カードスロット	7	レンズ
3	ビデオ出力	8	音声/アラームケーブル
4	リセット	9	マウントベース
5	電源ケーブル	10	



- タイプ A とタイプ B のドームカメラの最も大きな違いは、タイプ B のドームカメラが内部 PT (パンとチルト) ユニットを備えており、クライアントソフトウェアまたは Web ブラウザからカメラのパンとチルトの角度を調整できることです。
- カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.8.4 タイプ B ドームカメラのインストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴をドリルします。

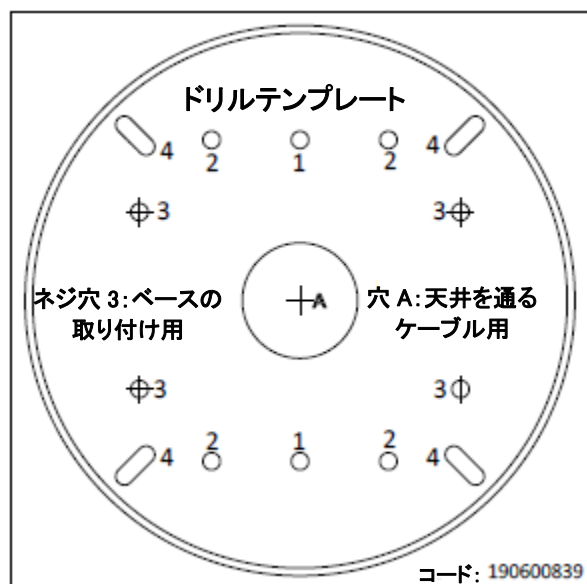


図 3-103 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでマウントベースを天井に取り付けます。

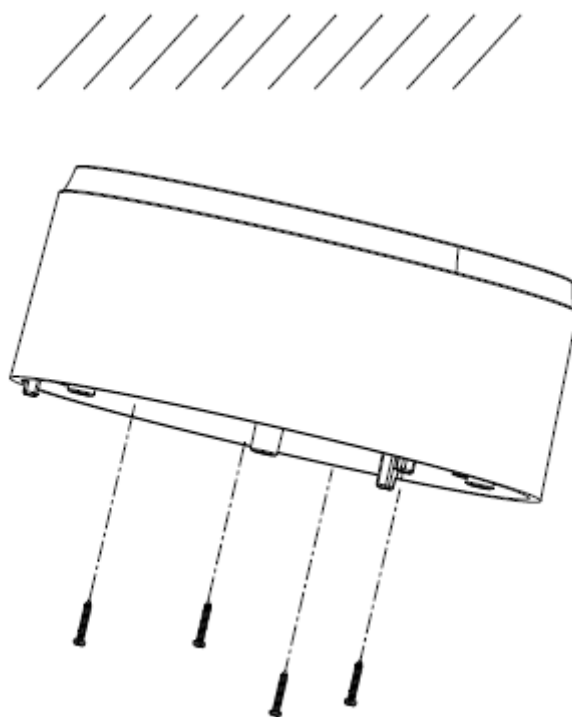


図 3-104 マウントベースの取り付け

3. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、オーディオケーブル、アラームケーブルを接続します。

- ドームドライブをマウントベースに取り付けます。

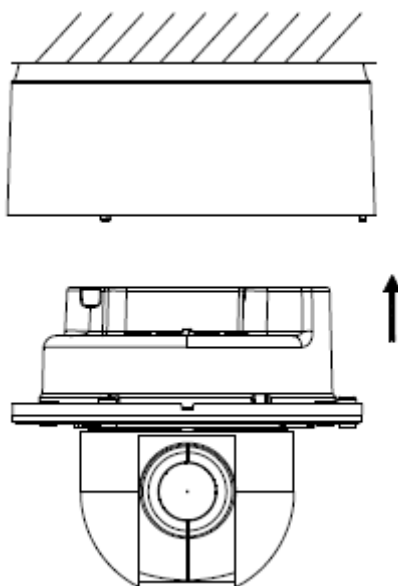


図 3-105 ドームドライブのインストール



カメラの監視角度は、デフォルトで調整されています。パン、チルト角度が異なる設置環境に応じて調整する必要がある場合、インストールが完了した後、Web ブラウザやクライアントソフトウェア経由でライブビューインターフェイスにアクセスしてください。下記のパンとチルト調整のインターフェイスを参照してください。



図 3-106 パンとチルトの調整インターフェイス

- バブルをインストールしてインストールを完了します。

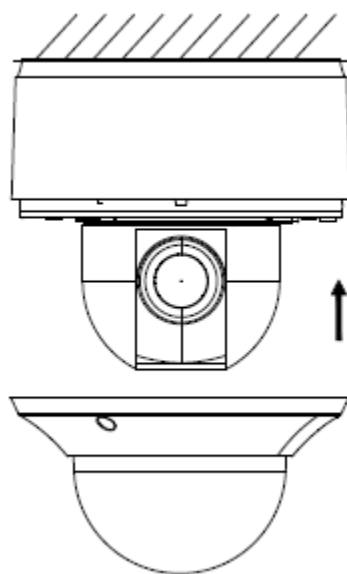


図 3-107 バブルのインストール

3.9 タイプ IX ドームカメラ

3.9.1 タイプ A ドームカメラの説明

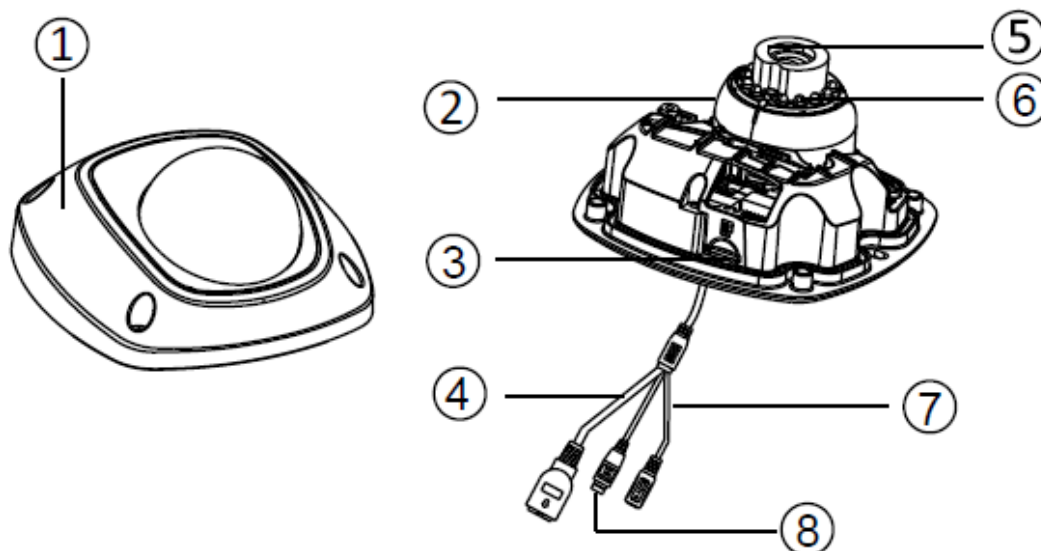


図 3-108 概観(1)

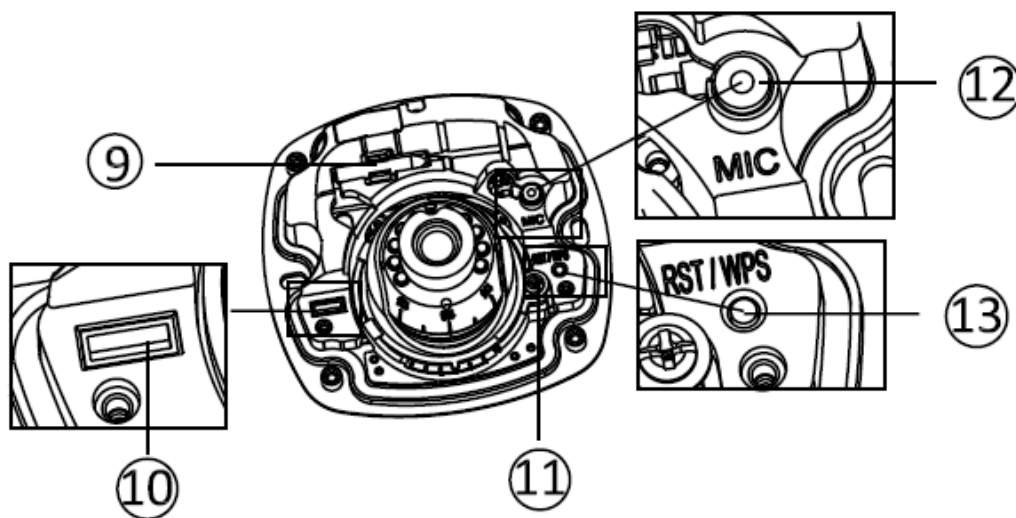


図 3-109 概観(2)

表 3-11 物理的な説明

番号	説明
1	フロントカバー
2	ドームドライブ
3	マイクロ SD カードスロット
4	ネットワークケーブル

5	レンズ
6	IR LED
7	電源ケーブル
8	音声/アラームケーブル
9	無線 LAN アンテナ
10	シリアルポートインタフェース
11	六角ネジ
12	マイク
13	リセット/ WPS ボタン



- ❖ カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。
- ❖ No.8 は音声/アラームケーブルインタフェースで、アラーム入力には「I」マーク、アラーム出力には「o」マーク、アースは「GND」マーク、音声出力は「A」マークです。
- ❖ WPS (Wi-Fi Protected Setup、AOSS または QSS と呼ばれます) は、安全な無線ネットワークを簡単に確立できるようにするコンピューティング標準です。詳細はユーザマニュアルを参照してください。
- ❖ カメラの WPS 機能を有効にするには、WPS 機能を備えた無線ルータが必要です。以下の手順を参照してください。

手順:

1. ルータの WPS ボタンを押します。
2. 120 秒以内にカメラの WPS ボタン(約 2 秒)を押すと、ルータの WPS をワイヤレスネットワークに加わせることができます。



- WPS ボタンは、カメラの電源が入っているときに押すとリセットボタンとして機能します。
- カメラの WPS ボタンを押し、ルータの WPS ボタンを押しても接続が確立され、カメラの WPS 接続の有効期限は 120 秒です。
- ワイヤレス接続が成功すると、リンクインジケータが点滅します。

3.9.2 タイプ A ドームカメラの設置

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

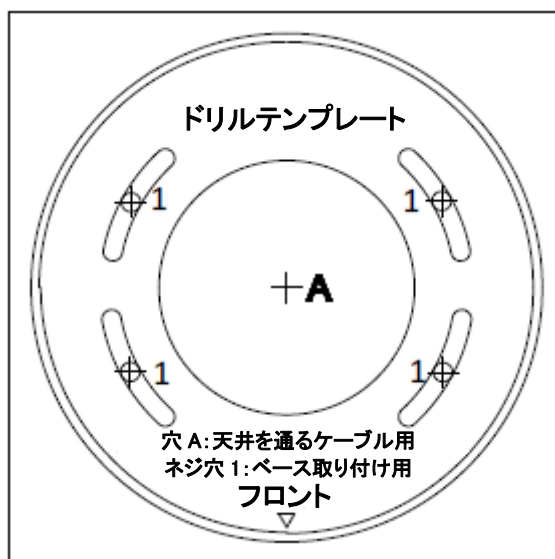


図 3-110 タイプ I テンプレートのドリル



ドリルテンプレートの異なるタイプのため、製品の異なるバッチを提供することがあります。また、含まれているアダプタープレートのタイプ II ドリルテンプレートとのマッチも異なります。下の図を参照してください。

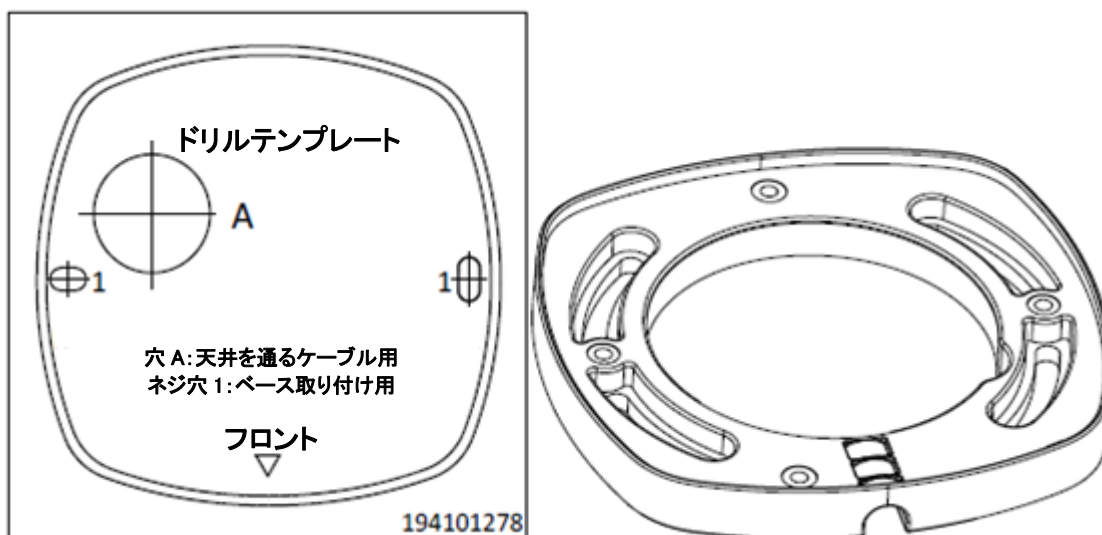


図 3-111 タイプ II ドリルテンプレート/アダプタープレート

2. 前面カバーの止めネジを緩めて、付属の六角レンチでカメラを分解してください。

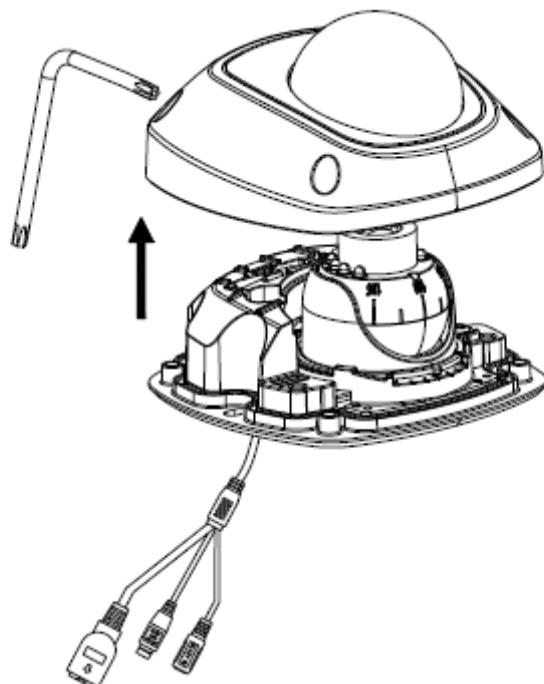


図 3-112 カメラの分解

3. 付属の拡張ネジでアダプタープレート天井に固定します。

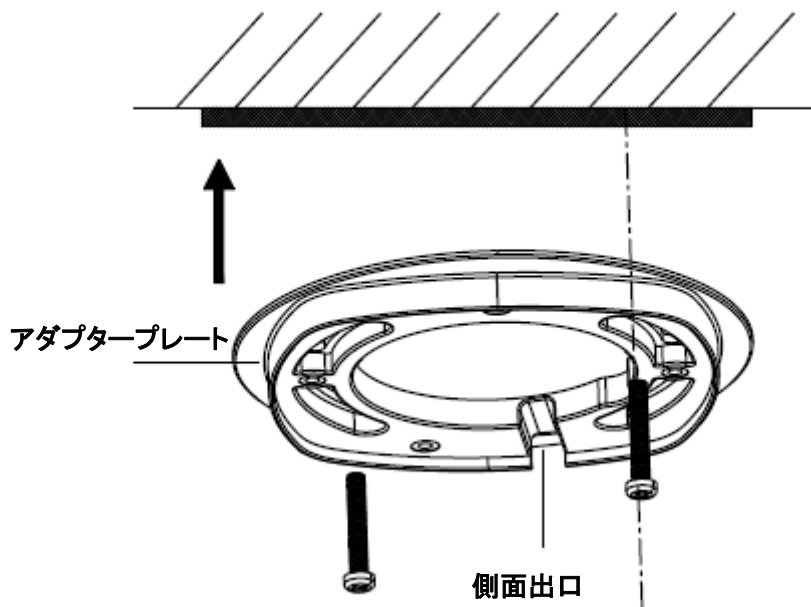


図 3-113 アダプタープレートの固定



付属のドリルテンプレートがタイプ II ドリルテンプレートの場合は、ステップ 3 をスキップしてステップ 4 に直接進むことができます。

4. 付属の PM4x8 ネジでドームドライブを固定します。

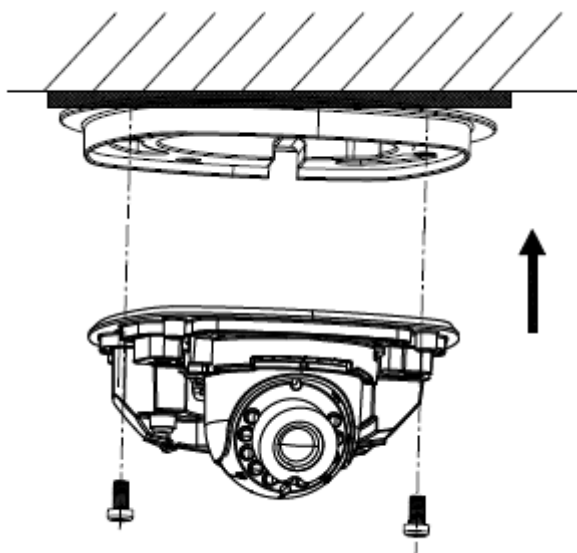


図 3-114 ドームドライブの修正

5. 電源ケーブル、ネットワークケーブル、およびアラーム/音声ケーブルを接続します。



ステップ 1 でケーブル穴が開けられていない場合は、プライヤーを使用して取り外し可能な部品を取り外し、側面出口(図 3-113 を参照)からケーブルを配線し、対応するケーブルを接続します。

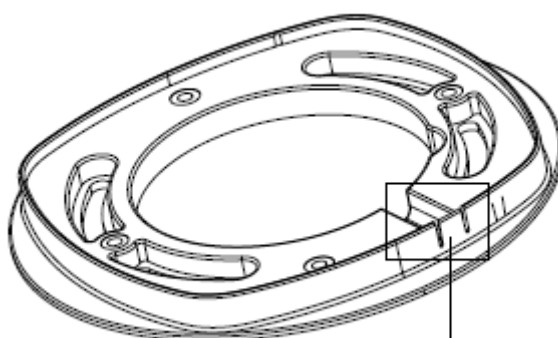


図 3-115 取り外し可能な部分の取り外し

6. Web ブラウザを経由で画像を表示します。
7. WPS / リセットボタンの横の六角ネジを少し緩めて、監視角度を調整します。

8. 付属の調整ツールを使用して、パン[$\pm 30^\circ$]、チルト[$0 \sim 80^\circ$]、回転方向[$0 \sim 360^\circ$]を調整します。

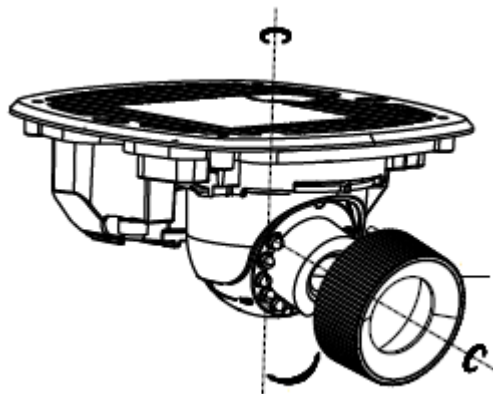


図 3-116 3 軸調整

9. 六角ネジを締めて、十分に調整された監視角度を固定します。
10. フロントカバーをドームドライブに合わせ、フロントカバーの止めネジを締めて取り付けを完了します。

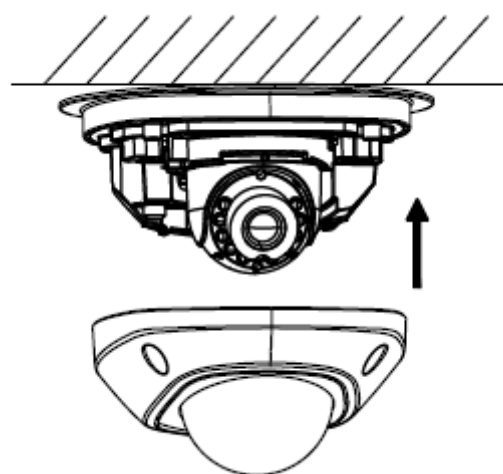


図 3-117 フロントカバーの取り付け

❖ ギャングボックスによる天井取り付け

手順:

1. 付属の PM4x8 ネジでアダプタープレートをギャングボックスに固定します。

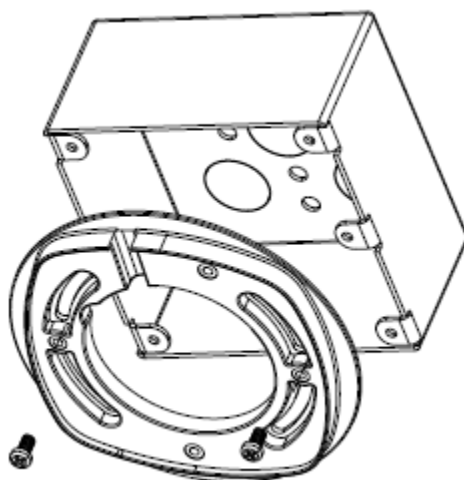


図 3-118 アダプタープレートの固定

2. 付属の PM4x8 ネジでドームドライブをアダプタープレートに固定します。

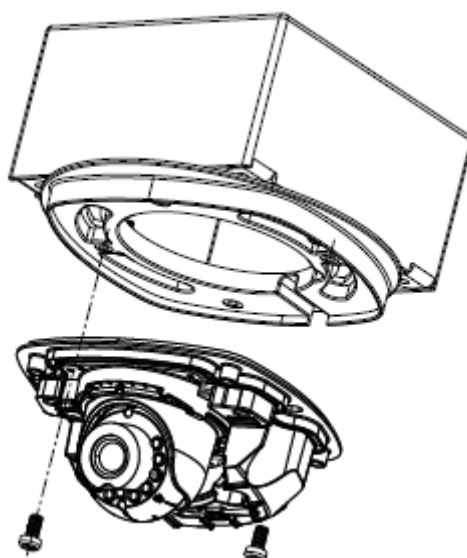


図 3-119 ドームドライブの固定

3. 電源ケーブル、ネットワークケーブル、およびアラーム/音声ケーブルを接続します。
4. フロントカバーをドームドライブに合わせ、フロントカバーの止めネジを締めて取り付けを完了します。

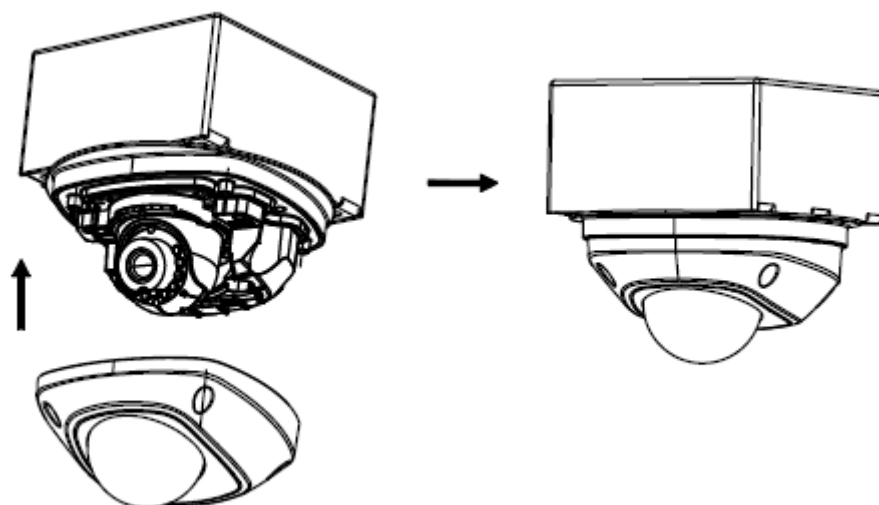


図 3-120 フロントカバーの取り付け

❖ 天井ブラケットの取り付け

手順:

1. 天井ブラケットパッケージに同梱のネジを使用して、ブラケットを天井に取り付けます。
2. 付属の PM4x8 ネジでアダプタープレート为天吊りブラケットに固定します。

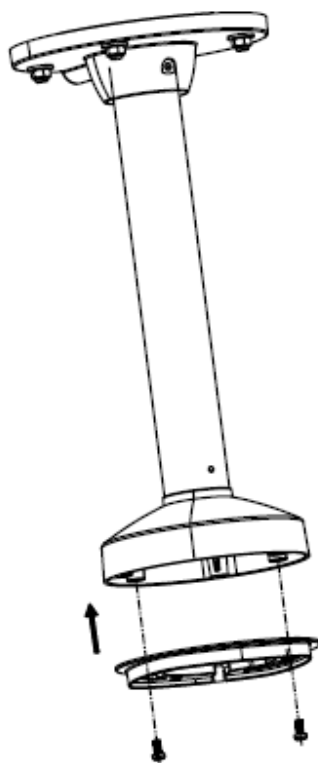


図 3-121 アダプタープレートの固定

- ドームドライブをアダプタープレートに取り付けます。

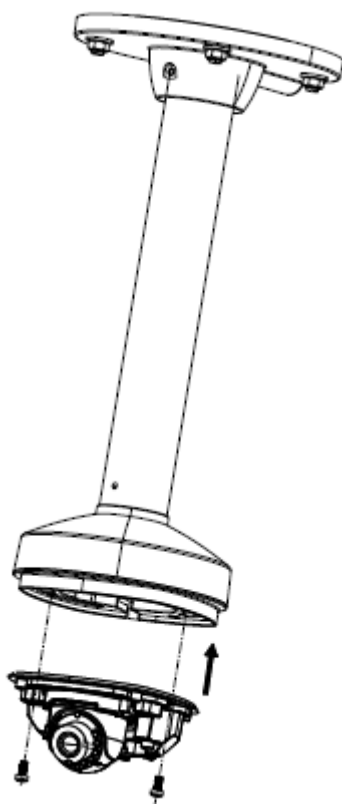


図 3-122 ドームドライブの固定

- フロントカバーをドームドライブに合わせ、フロントカバーの止めネジを締めて取り付けを完了します。

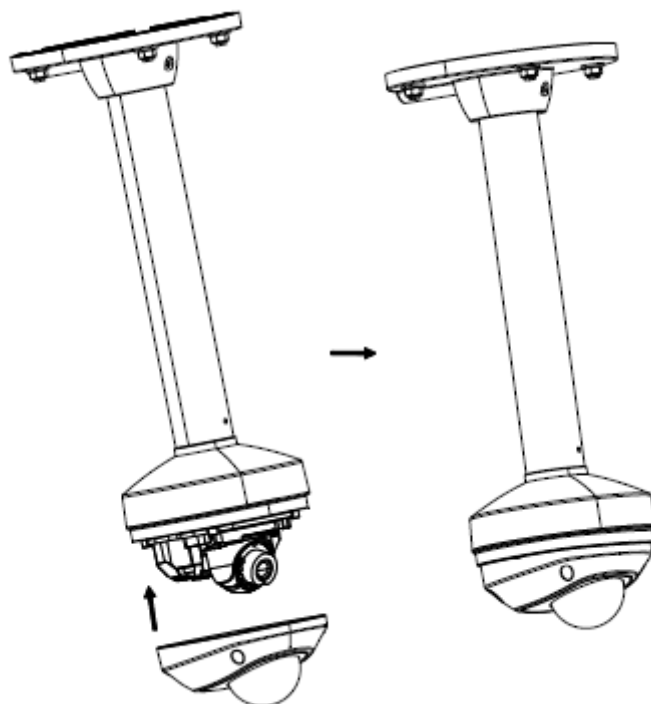


図 3-123 フロントカバーの取り付け

❖ 壁掛けブラケットの取り付け

手順:

1. 壁掛けブラケットに付属のネジを使用して、壁掛けブラケットを壁に取り付けます。

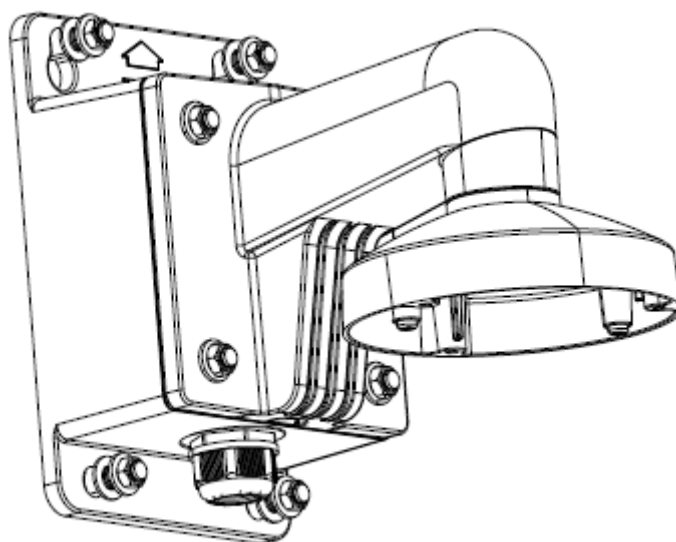


図 3-124 壁掛けブラケットの取り付け

2. アダプタープレートを壁掛けブラケットに固定します。

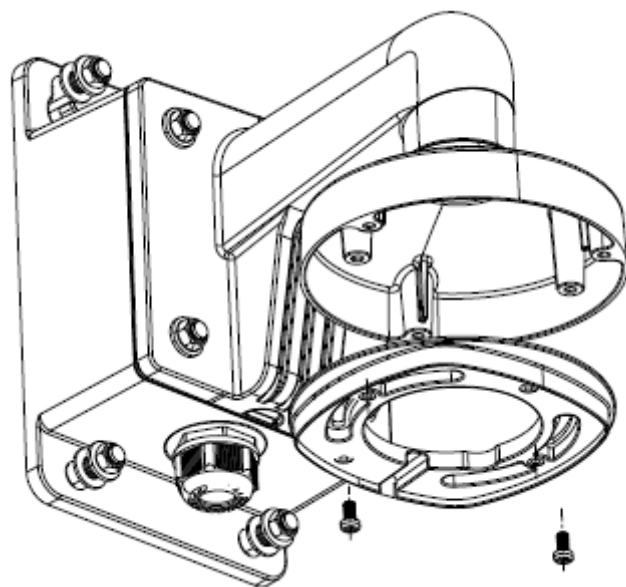


図 3-125 アダプタープレートの固定

3. 付属のネジでドームドライブを壁掛けブラケットに固定します。

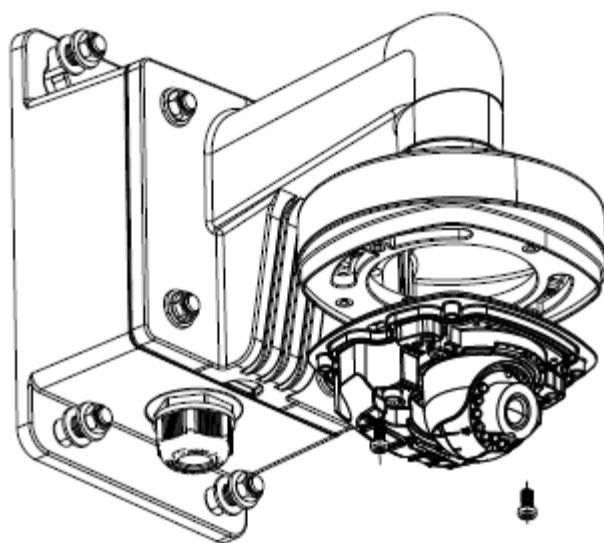


図 3-126 カメラの固定

4. フロントカバーをドームドライブに合わせ、フロントカバーの止めネジを締めて取り付けを完了します。

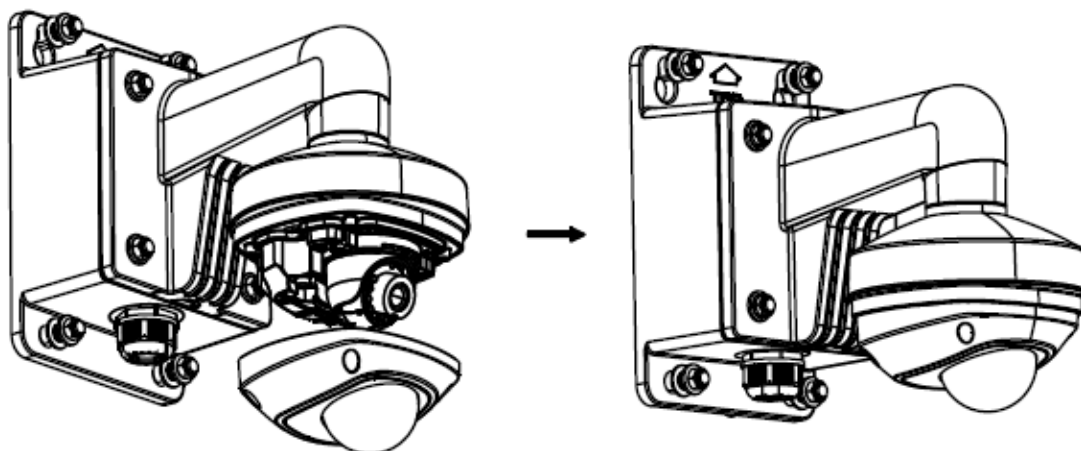


図 3-127 フロントカバーの取り付け

❖ **マイクロ SD カードの取り付け**

このシリーズのカメラはローカルストレージをサポートしています。マイクロ SD カードをインストールするには、以下の手順を参照してください。

手順:

1. フロントカバーをはずし、固定ネジを緩めます。

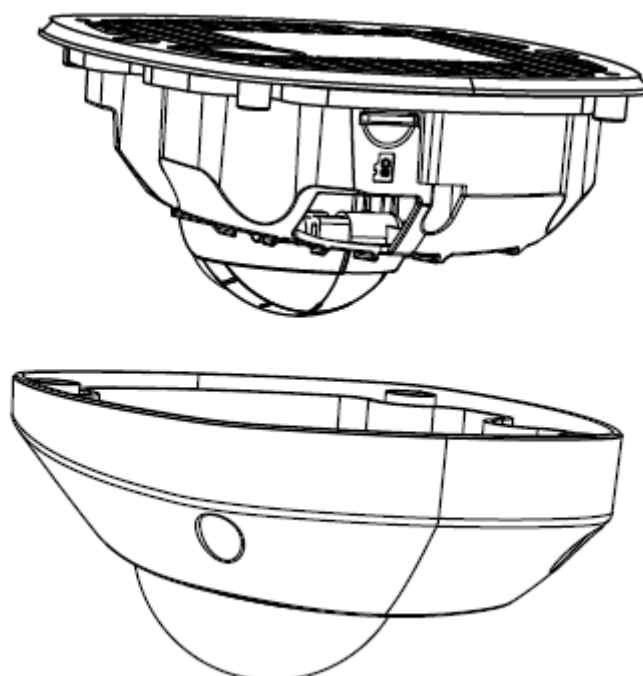


図 3-128 フロントカバーの取り外し

2. マイクロ SD カードをカチッという音がするまでカードスロットに挿入します。

3. (オプション)挿入したマイクロ SD カードを軽く押して、カメラから取り外します。

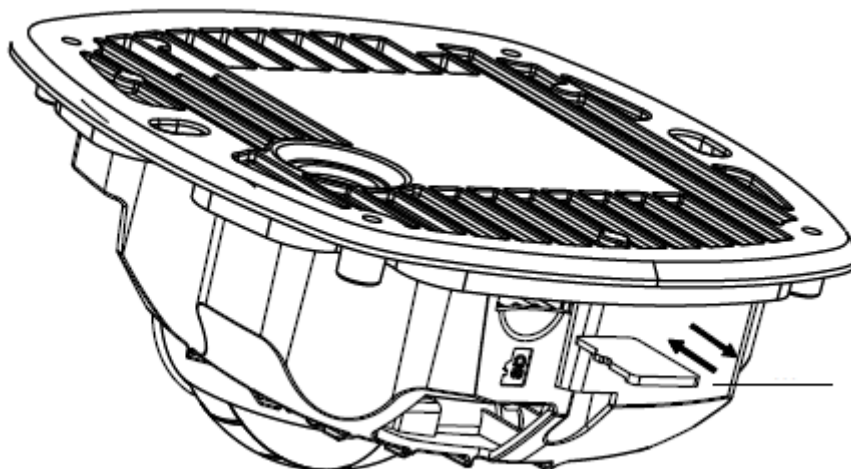


図 3-129 マイクロ SD カードのインストールとアンインストール

3.9.3 タイプ B ドームカメラの説明

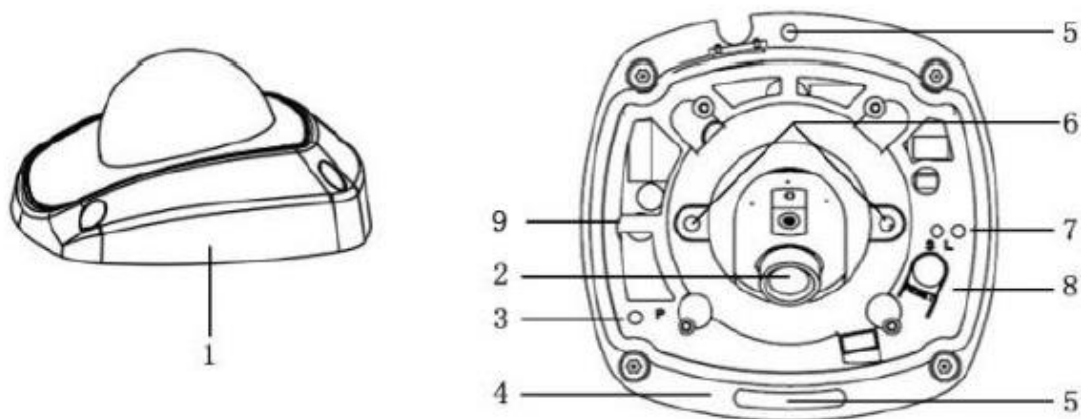


図 3-130 概観

表 3-12 物理的な説明

番号	説明
1	カバー
2	レンズ
3	電源 LED インジケータ 電源が接続されると、赤色に点灯します。

4	ベースプレート
5	止めネジ穴
6	レンズの止めネジ穴
7	S&L: ネットワークステータスインジケータ。 ネットワークが接続されると、「S」LED は黄色に 点灯し、「L」LED はオレンジ色に点滅します。
8	リセットボタン
9	マイクロ SD カードスロット



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.9.4 タイプ B ドームカメラのインストール

手順:

1. (オプション)プライヤーを使用して、背面ボックスの側面にあるクリップ(下図の点線でマーク)を取り外し、ケーブル穴の代わりに開口部にケーブルを配線します。

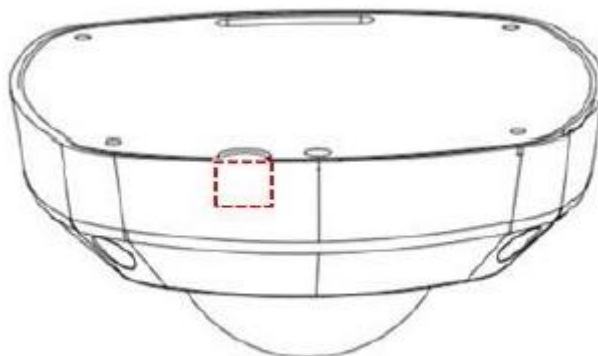


図 3-131 サイドクリップ

2. 止めネジを六角キー(付属)でゆるめ、カバーを取り外します。

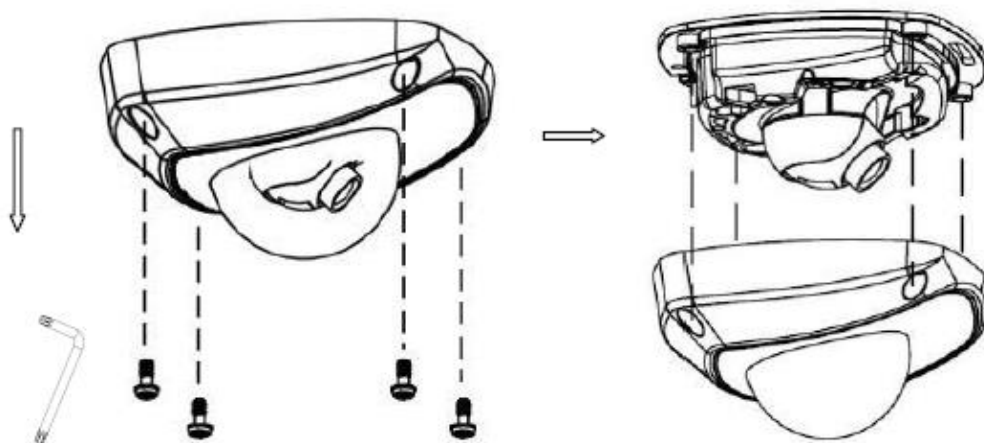


図 3-132 カバーの取り外し

3. マイクロ SD カードをカードスロットに取り付けます。

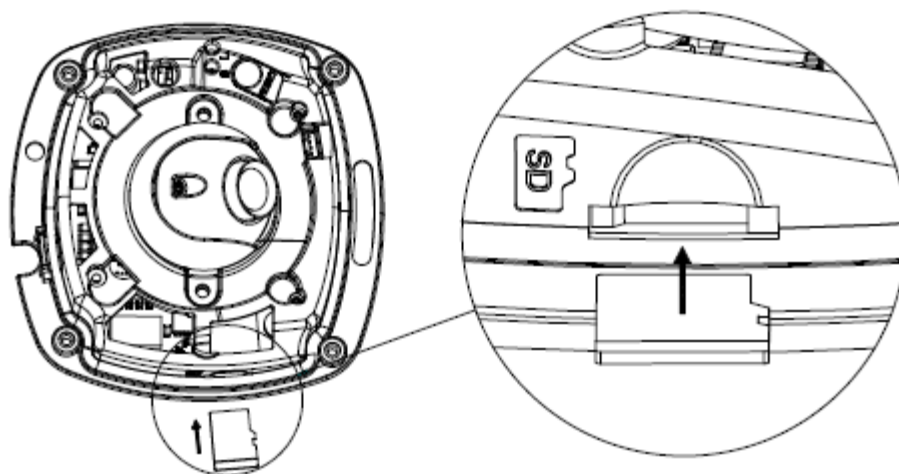


図 3-133 マイクロ SD カードの取り付け

4. 付属のネジでカメラを天井に固定します。

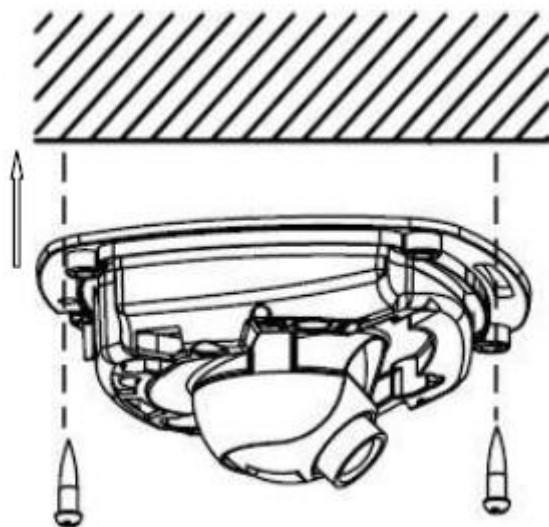


図 3-134 カメラの固定

5. ネットワークを經由でカメラのビデオ画像を表示します。
6. レンズ止めネジを緩めます。

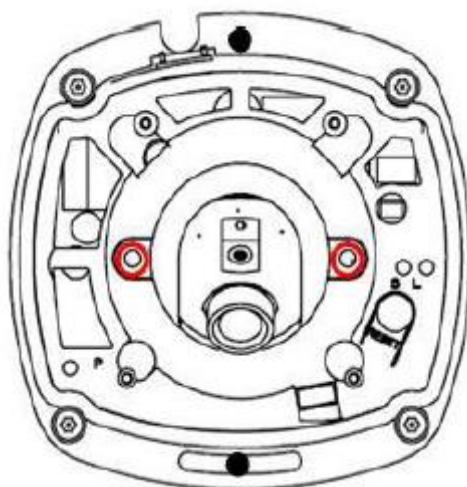


図 3-135 レンズ止めネジの緩め

7. 図にマークされた穴に六角キーを挿入し、六角キーを回して、希望の監視角度になるまでパン位置と傾斜位置を調整します。止めネジを締めます。

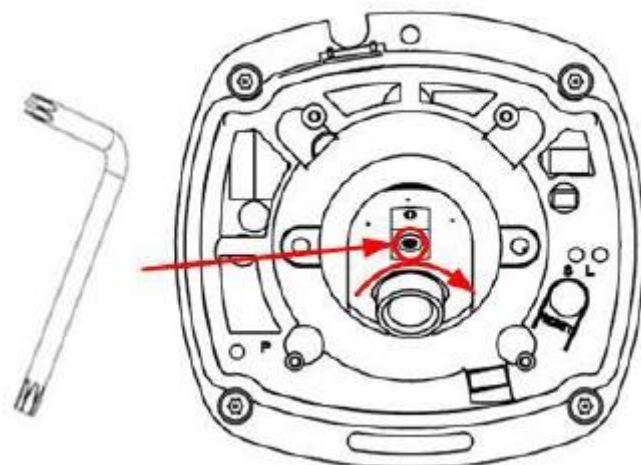


図 3-136 パン位置の調整

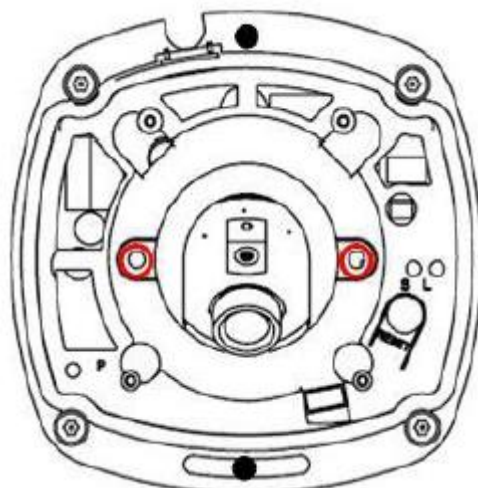


図 3-137 チルト位置の調整



カメラのレンズはすでに工場で最良のイメージング効果に調整されているため、パン位置とチルト位置を調整して、必要な監視角度にするだけで済みます。

8. インストールが完了したときと同じ監視効果を得るために、画像を表示する前にカバーを再取り付けしてください。
9. カバーを取り付け、止めネジを締めます。

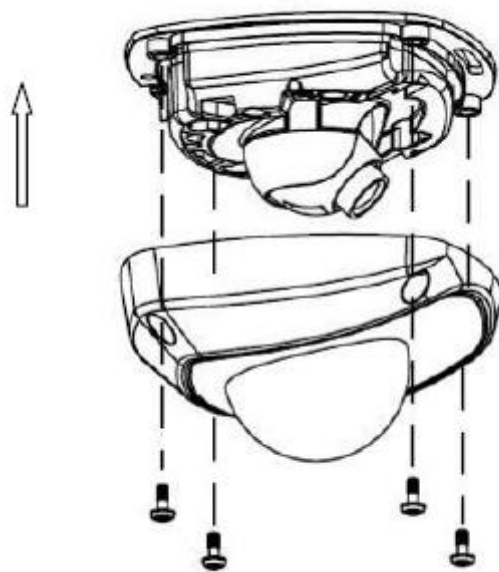


図 3-138 バックボックスのインストール

3.10 タイプ X ドームカメラ

3.10.1 カメラの説明

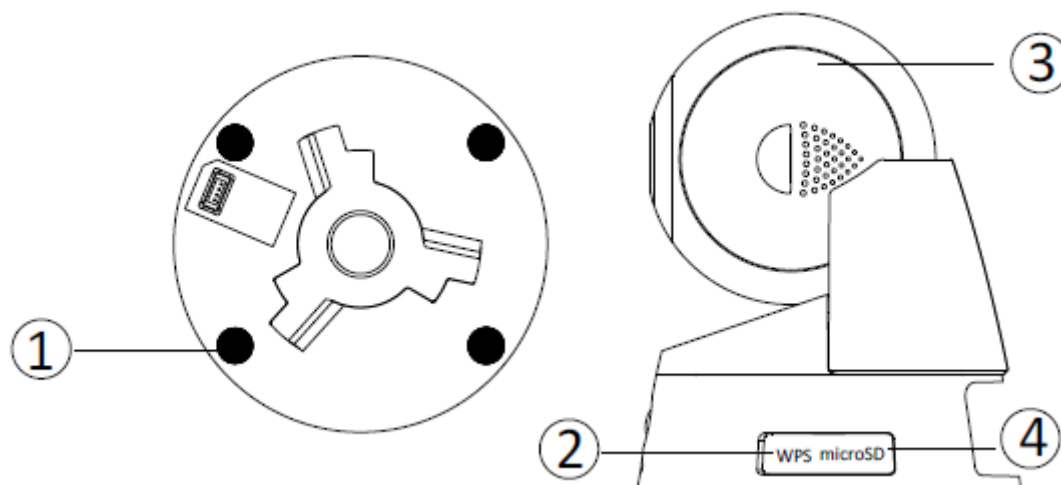


図 3-139 概観(1)

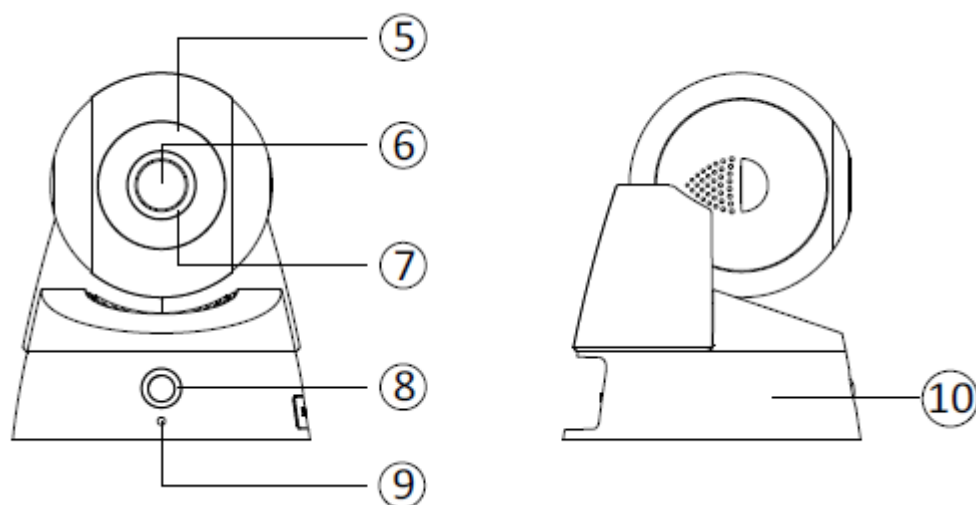


図 3-140 概観(2)

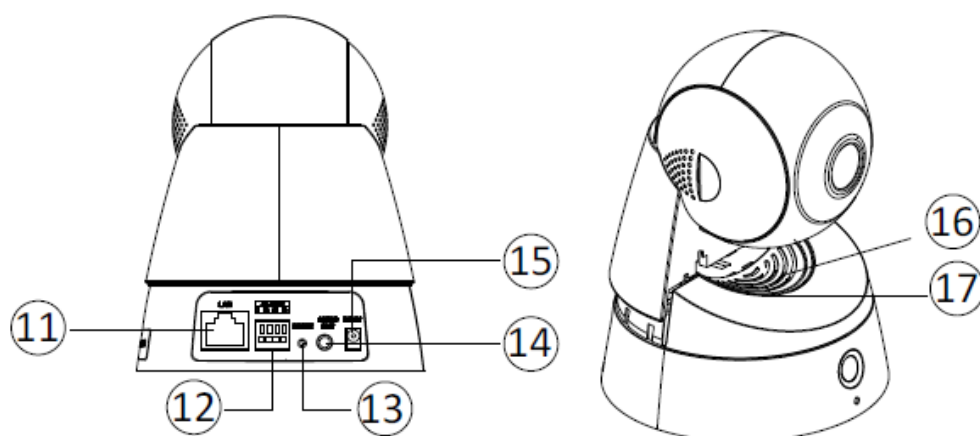


図 3-141 概観(3)

表 3-13 説明

番号	説明	
1	シリコンガasket	
2	WPS(Wi-Fi プロテクトド セットアップ)ボタン	
3	ドームドライブ	
4	SD カードスロット	
5	フォトカバー	
6	レンズ	
7	レンズリング	
8	PIR(パッシブ赤外線)センサ	
9	マイク	
10	マウントベース	
11	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス	
12	アラーム入力/出力インターフェイス	
13	リセット	
14	音声出力	
15	電源インターフェイス(5VDC)	
16	スピーカー	
17	ステータス LED	青色:ネットワークが接続されています。 青色の点滅:ネットワーク接続が確立されておらず、カメラの電源が切れていません。 赤色:カメラが作動しています。 赤い点滅:カメラが正常に動作していません。 緑色に点灯:カメラがプラットフォームに接続されています。



- ❖ ブラウザを使用してカメラにアクセスするときに、ステータス LED を無効にすることができます。設定 > 詳細設定 > システム > サービスに進んで、「ステータス LED を有効にする」チェックボックスをオフにしてステータス LED を無効にします。
- ❖ カメラの電源を入れたときに約 10 秒後に RESET を押すか、ユーザ名、パスワード、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。
- ❖ カメラの WPS 機能を有効にするには、WPS 機能を備えた無線ルータが必要です。
手順：
 1. ルータの WPS ボタンを押します。
 2. 120 秒以内にカメラの WPS ボタン(約 2 秒)を押すと、ルータの WPS をワイヤレスネットワークに加わせることができます。

3.10.2 インストール

手順：

1. 付属のドリルテンプレートに従って、天井にネジ穴をドリルします。



図 3-142 ドリルテンプレート

2. 付属のセルフタッピングネジでアダプタープレート天井に固定します。天井がセメント天井の場合は、拡張ネジを使用してください。

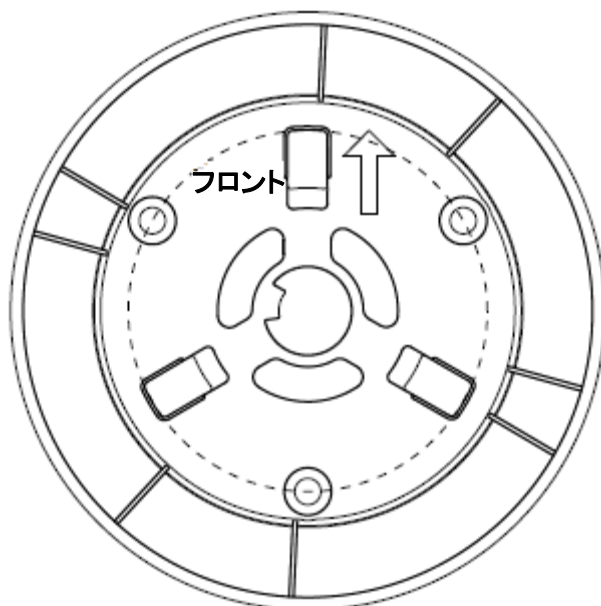


図 3-143 ブラケットの固定

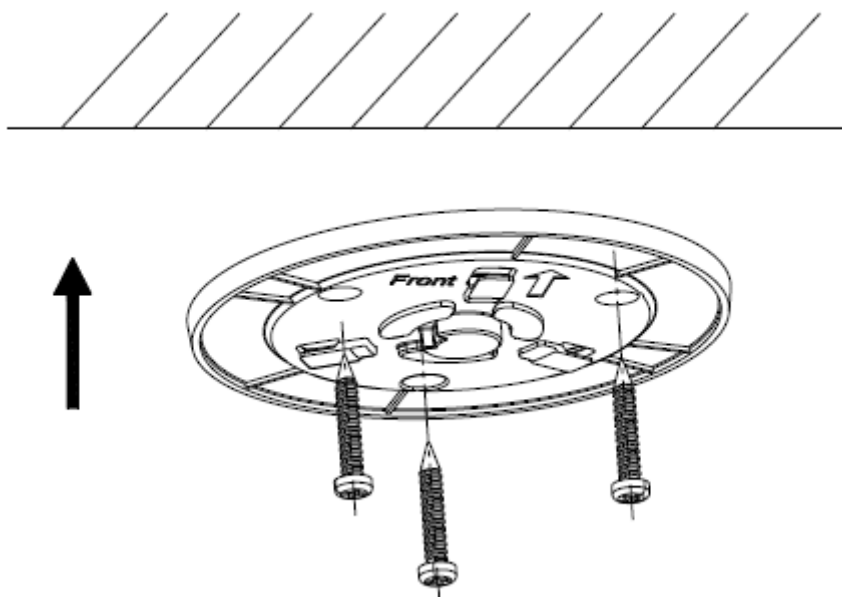


図 3-144 アダプタープレートの取り付け

3. カメラの取り付けベースをアダプタープレートに合わせ、カメラを反時計回りに回してアダプタープレートに固定します。



カメラがアダプタープレートに固定されていると、クリック音が鳴ります。

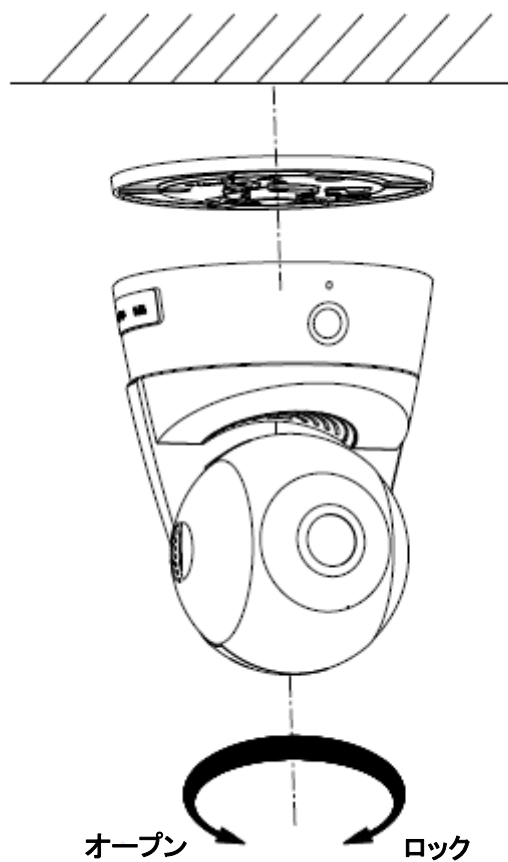


図 3-145 カメラのインストール

4. 監視角度を調整します。
 - 1) 本体を持ち、回転させてパン角度「 0° ~ 355° 」を調整します。
 - 2) ドームドライブを上下に動かして傾斜角「 -20° ~ 90° 」を調整します。

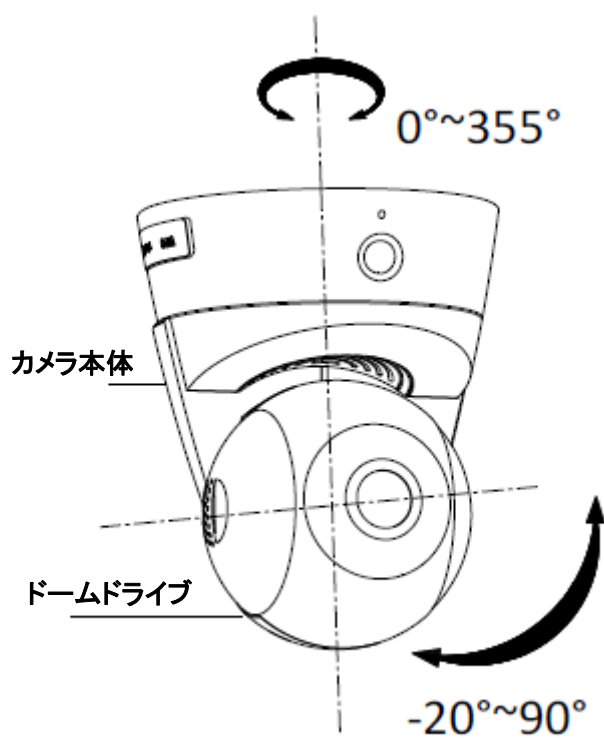
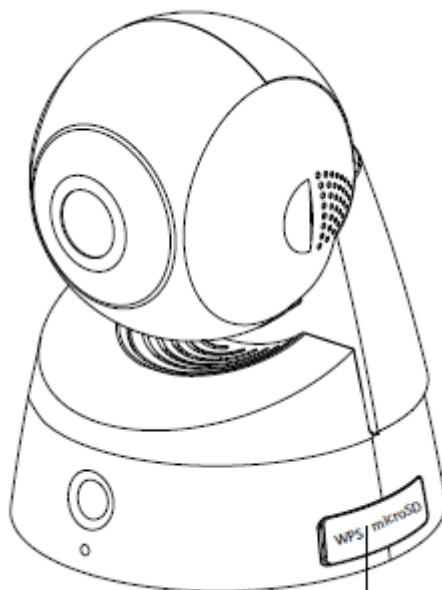


図 3-146 カメラの調整

❖ マイクロ SD カードのインストール

手順:

1. マウントベースの取り外し可能なカバーを外側に引き出し、脇に置きます。



取り外し可能なカバー

図 3-147 カバーを脇に移動する

2. マイクロ SD カードをマイクロ SD カードスロットに挿入します。
3. (オプション) 挿入されたマイクロ SD カードを内側に押し、マイクロ SD カードを押し出します。

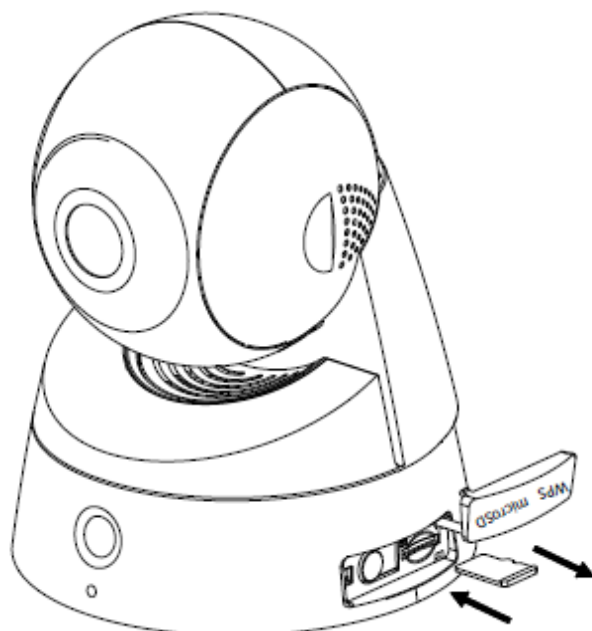


図 3-148 マイクロ SD カードのインストール/アンインストール

4. マイクロ SD カードを取り付けたら、取り外し可能なカバーを元に戻します。

3.11 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概要を以下に示します。

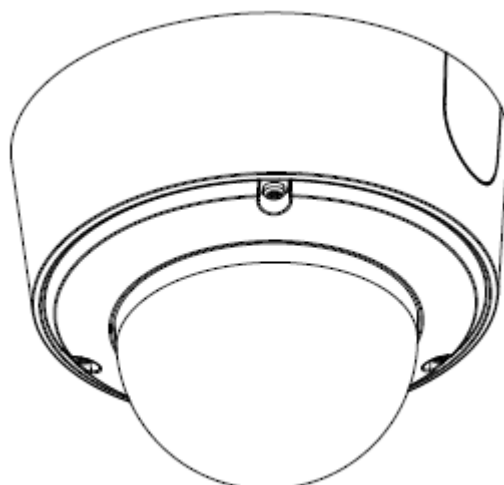


図 3-149 概観

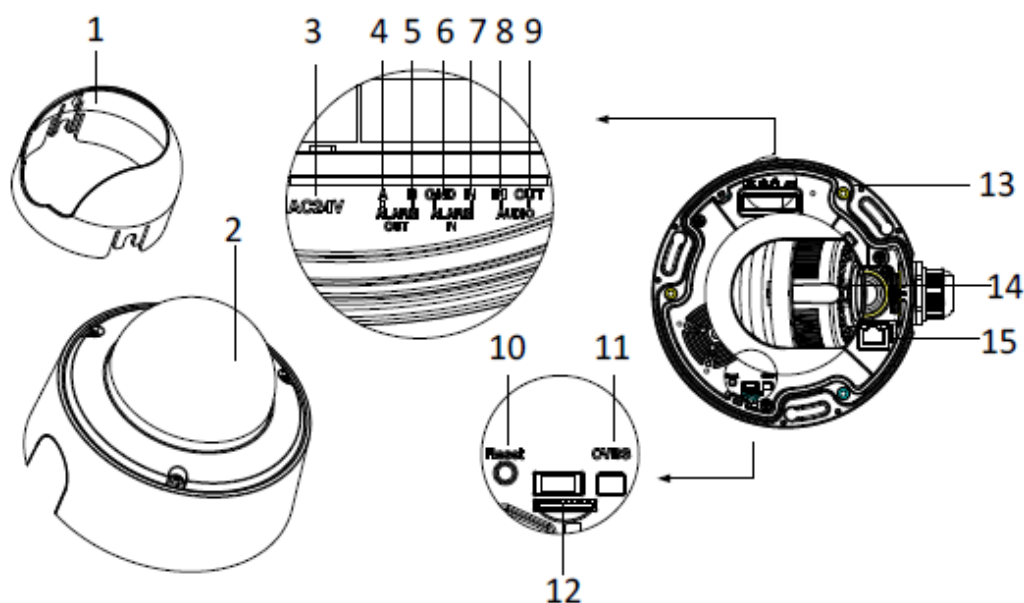


図 3-150 詳細なコンポーネント

表 3-14 説明

番号	説明
1	ブラックライナー
2	バブル
3	電源ケーブルインターフェイス

4	アラーム出力 A
5	アラーム出力 B
6	アース
7	アラーム入力
8	音声入力
9	音声出力
10	リセットボタン
11	CVBS インターフェイス
12	SD カードスロット
13	マウントベース
14	レンズ
15	ネットワークケーブルインターフェイス



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

3.11.1 インストール

❖ 天井取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。



図 3-151 ドリルテンプレート

2. 付属のネジを天井にハンマーで留めます。



ネジを天井に完全にハンマーで留めないでください。天井にネジの半分をハンマーで留めて、カメラをネジに引っ掛けることをお勧めします。

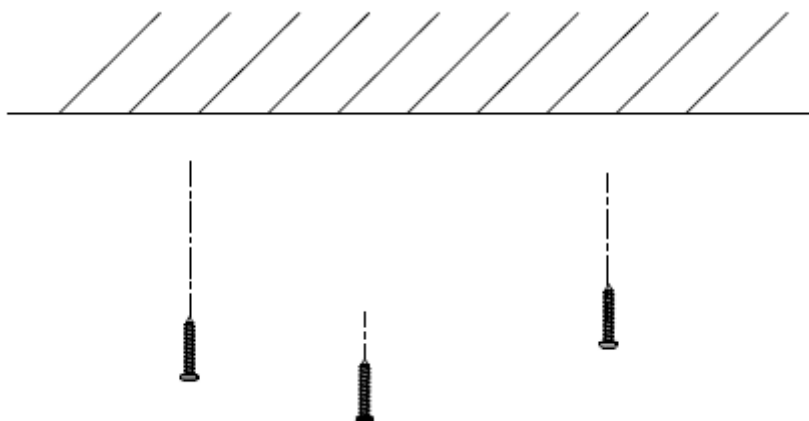


図 3-152 ネジの打ち込み

3. 六角形のドライバーを使用して、バブルのロックネジを緩め、ブラックライナーを取り外します。
4. ケーブル穴からケーブルを配線し、対応するケーブルを接続します。



天井のケーブル穴ではなく、側面出口からケーブルを配線するように選択できます。下の図を参照してください。

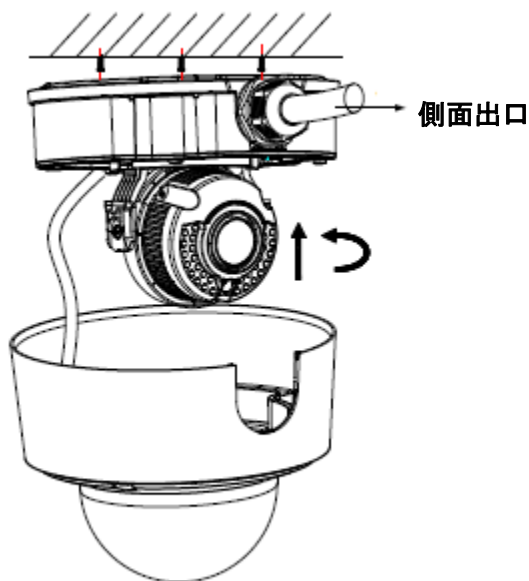


図 3-153 側面出口経由でケーブルの配線

5. カメラのネジ穴を挿入したネジに合わせ、カメラを回転させてカメラをネジに引っ掛けます。
6. ネジを締めます。
7. ブラックライナーとバブルバックを取り付けます。

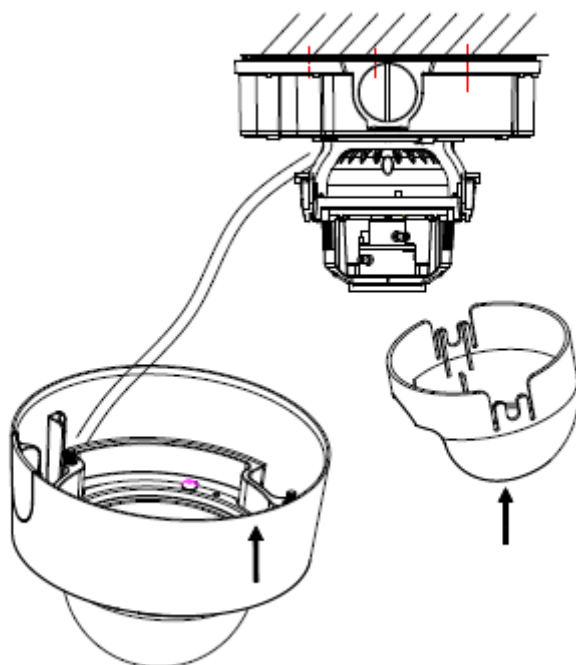


図 3-154 ブラックライナーとバブルのインストール

8. バブルのロックネジを締めます。

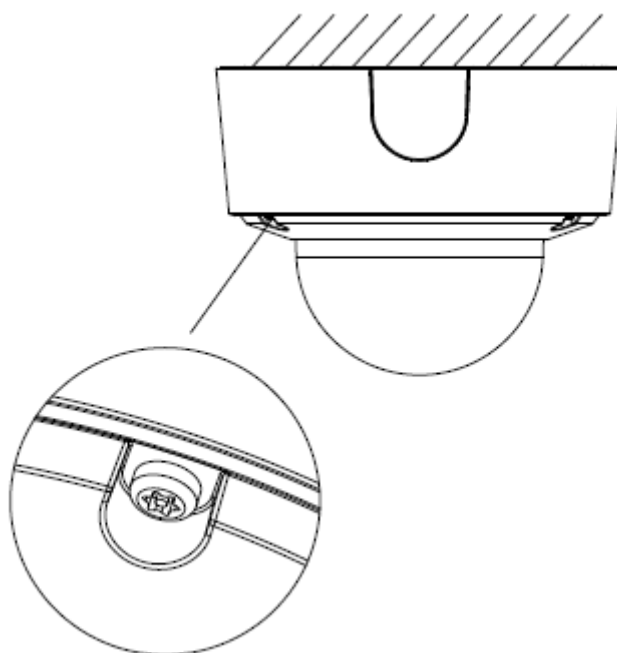


図 3-155 ロックネジの締め

❖ ウォールマウント



ウォールマウントを選択する場合は、壁掛けブラケットを別途購入する必要があります。

1. 壁掛けブラケットをネジで固定します。
カメラがセメント壁に取り付ける場合は、最初に拡張ネジを挿入します。カメラが木製の壁に取り付ける場合は、セルフタッピングネジを直接使用できます。
2. 壁掛けブラケットにボウル状のカバーを取り付けます。

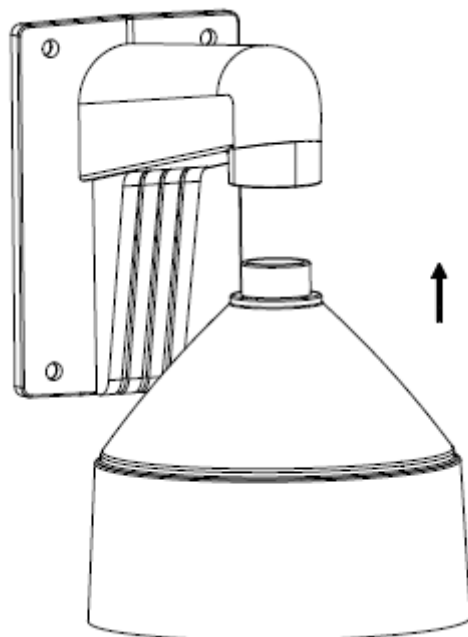


図 3-156 壁掛けブラケットの取り付け

3. 付属のゴム製リングをボウル状のカバーに合わせます。
4. ゴム製リングのネジ穴に半深いネジを挿入します。

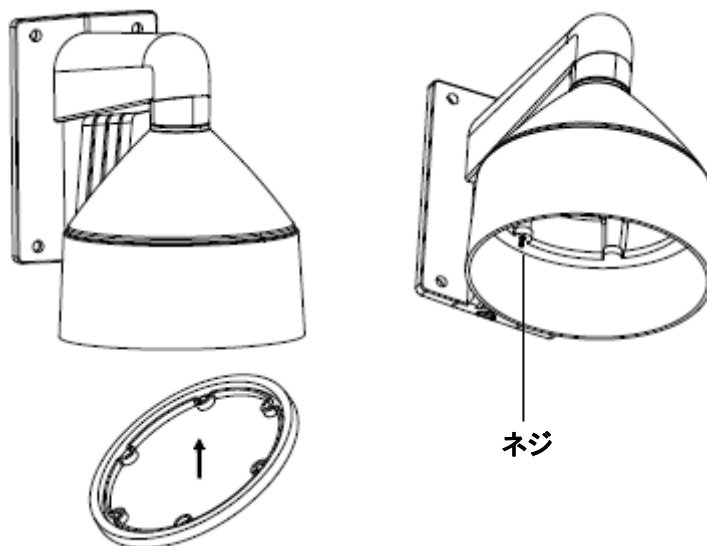


図 3-157 ゴム製のリングとネジの取り付け

5. カメラのネジ穴を取り付けられているネジに合わせ、カメラを回転させてカメラにネジで固定します。
6. ブラックライナーとバブルを取り付けます。

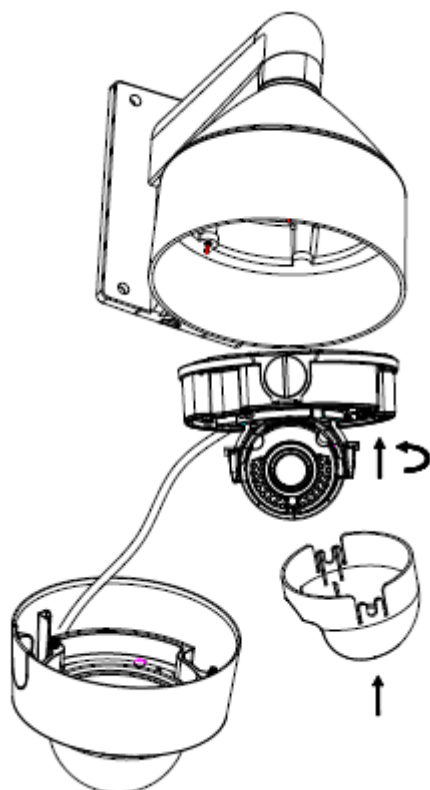


図 3-158 ブラックライナーとバブルのインストール

7. バブルのロックネジを締めます。

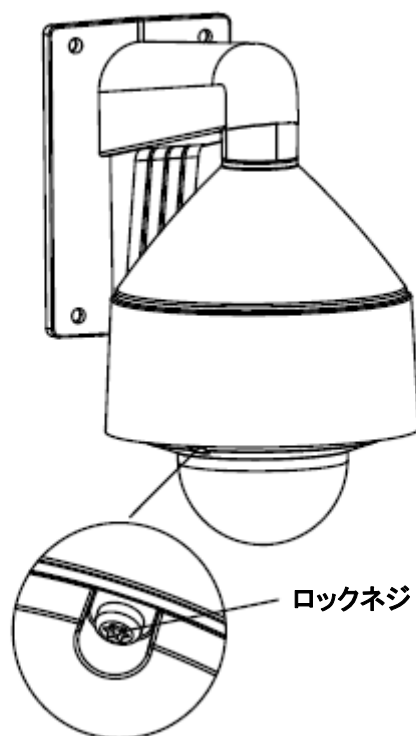


図 3-159 ロックネジを締め

❖ 3 軸調整とレンズ調整

3 軸調整

このシリーズのカメラは 3 軸調整をサポートしており、ブラックライナーの取り付け後にカメラを希望の監視角度に調整することができます。

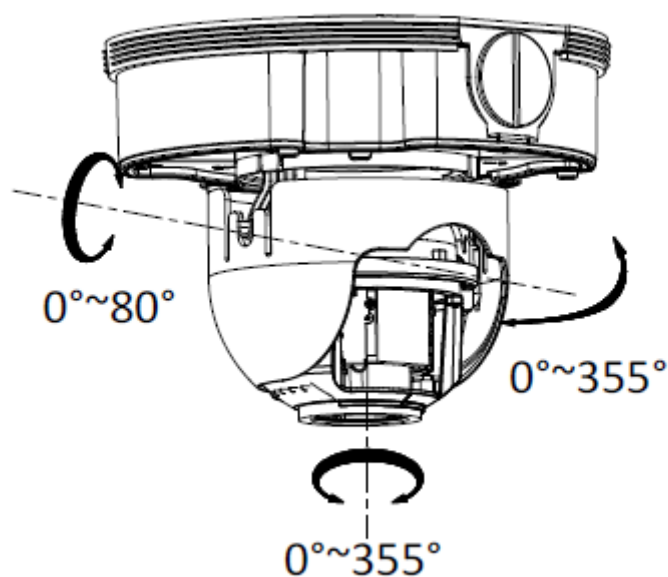


図 3-160 3 軸調整

レンズ調整

モデルサフィックスに「Z」という文字が付いたカメラは、電子レンズをサポートしています。カメラにログインした後、PTZ コントロールインターフェイス上でズームボタンまたはフォーカスボタンを使用してレンズを調整できます。



カメラのログインの詳細については、第 3 章および第 4 章を参照してください。

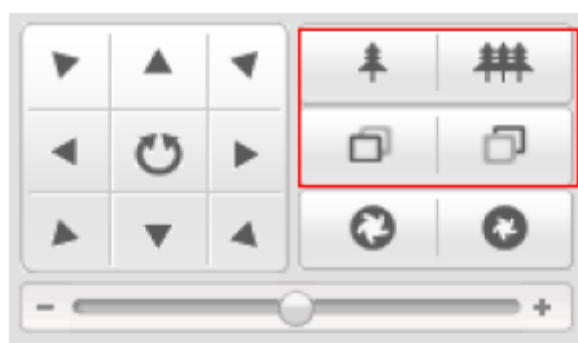


図 3-161 PTZ インターフェイスによるズーム/フォーカス調整

また、モデルサフィックスに「Z」という文字が付いてないカメラが、ブラックライナーが取り付けられた後に、レンズの調整を要求します。

ライブビューを得るためにカメラをデバッグモニタに接続し、明確な視界が得られるまで、ズームレバー(T~W)を調節してズームを調整し、フォーカスレバー(F~N)を調節してフォーカスを

調整します。

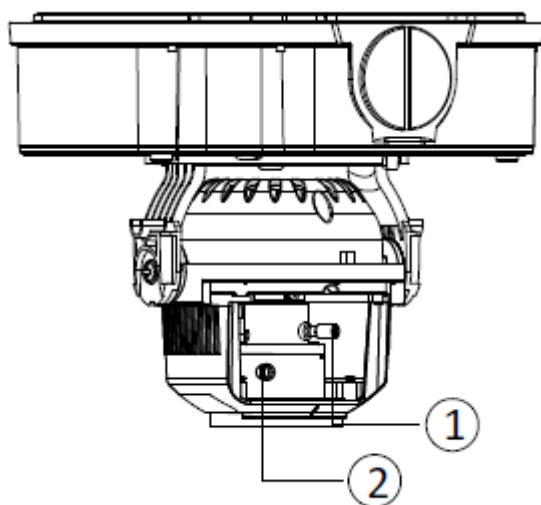


図 3-162 レンズ調整

第4章 バレットカメラの取り付け

4.1 タイプIバレットカメラ

4.1.1 カメラの説明

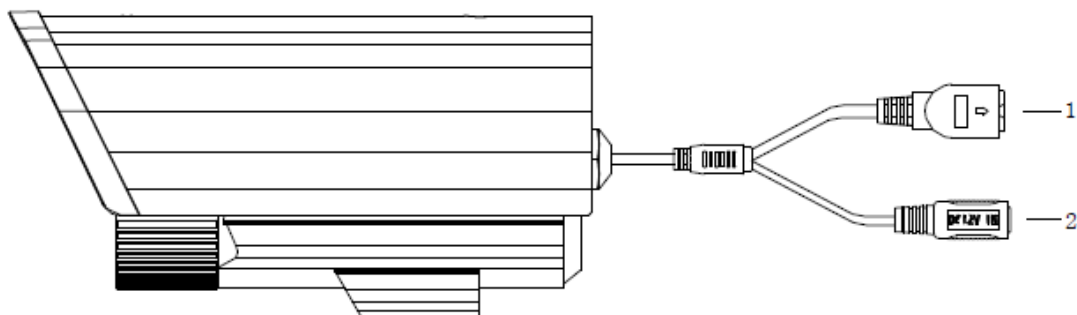


図 4-1 概観

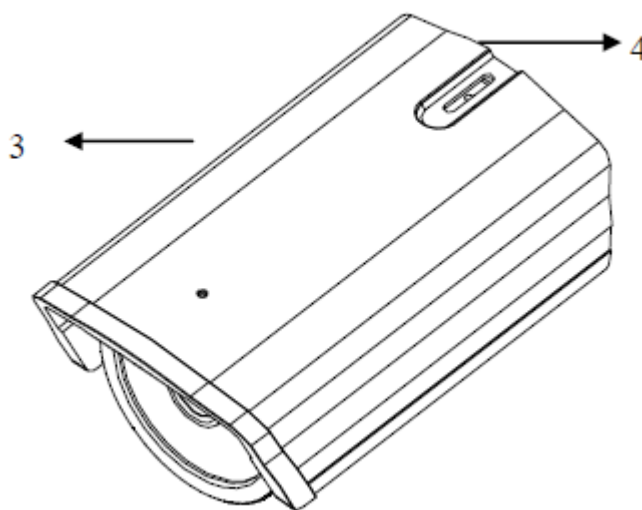


図 4-2 概観

表 4-1 説明

番号	説明
1	10M / 100M 自己適応イーサネット インターフェイス
2	電源装置
3	サンシールド
4	調整ネジ

4.1.2 インストール

手順:

1. 壁面マウントを壁に取り付け、ネジを締めて固定します。

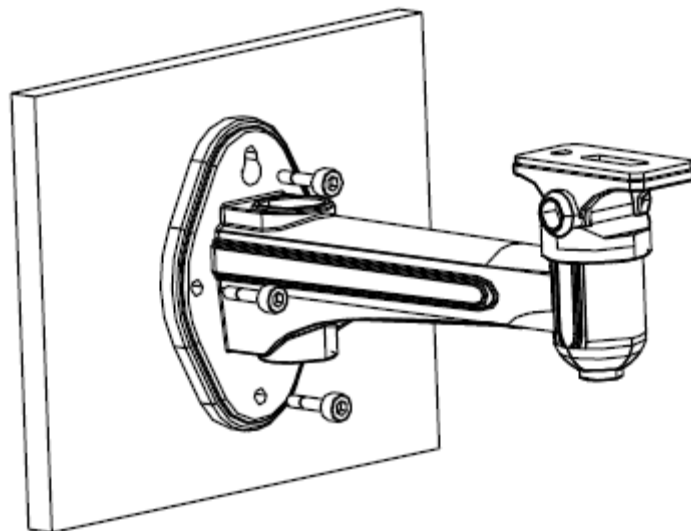


図 4-3 壁面マウントの取り付け

2. 止めネジでカメラを壁面マウントに固定します。
3. 次のようにカメラのケーブルを配線します。

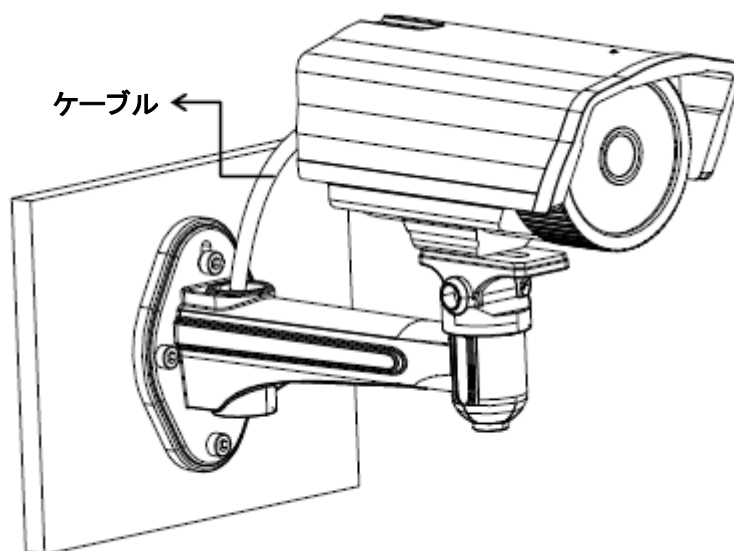


図 4-4 カメラの取り付け

4. パンのロックネジを緩めて、パン角「0~360°」を調整します。

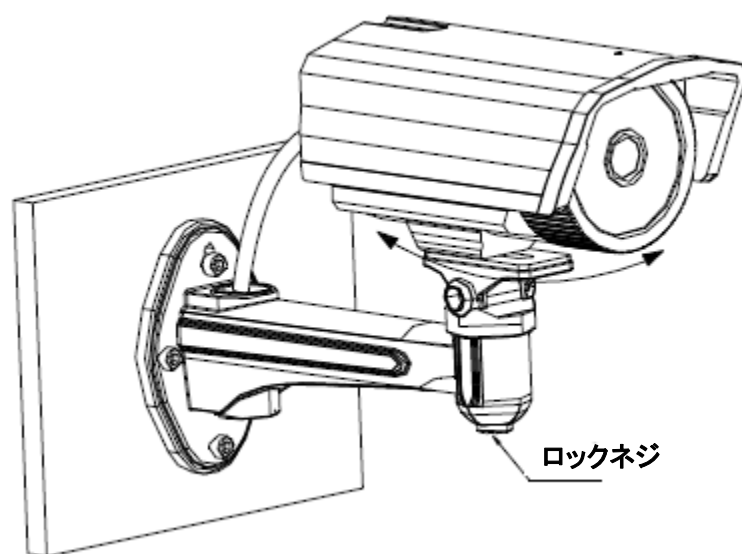


図 4-5 パン

5. ロックネジを緩めて、チルト角「0~90°」を調整します。

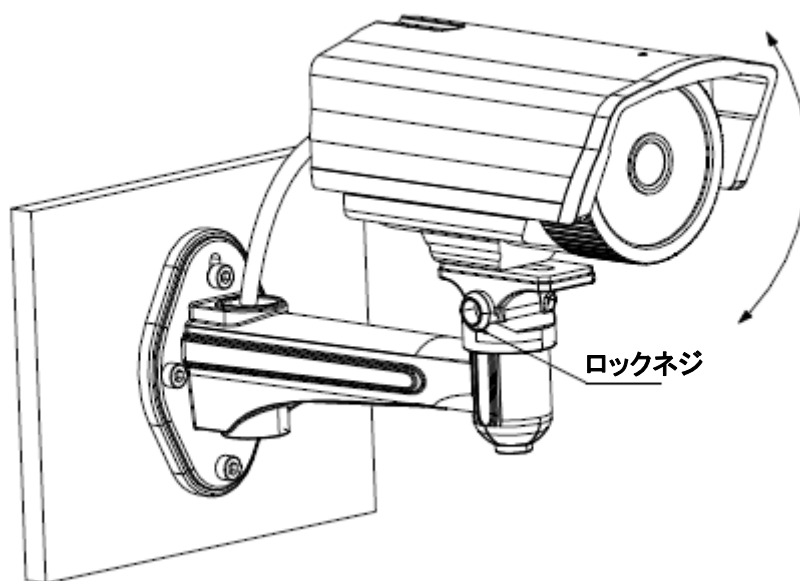


図 4-6 チルト

4.2 タイプ II バレットカメラ

4.2.1 カメラの説明

カメラリアパネルの二つのタイプが図 4-7 と図 4-8 に示されています。ご購入された製品に応じて右図を選択してください。

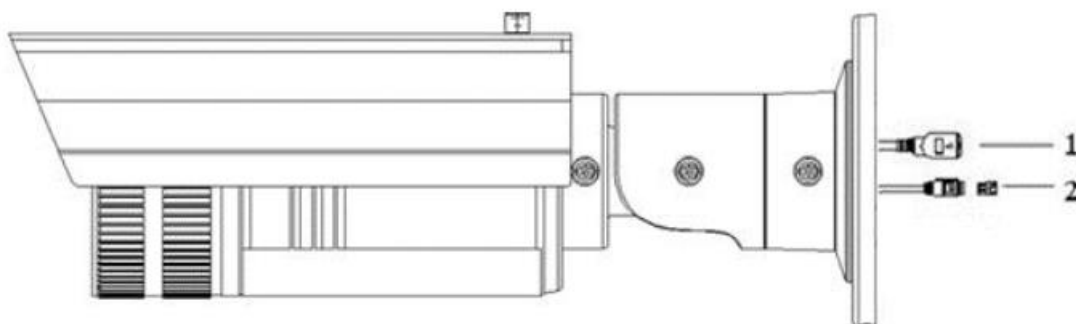


図 4-7 概観

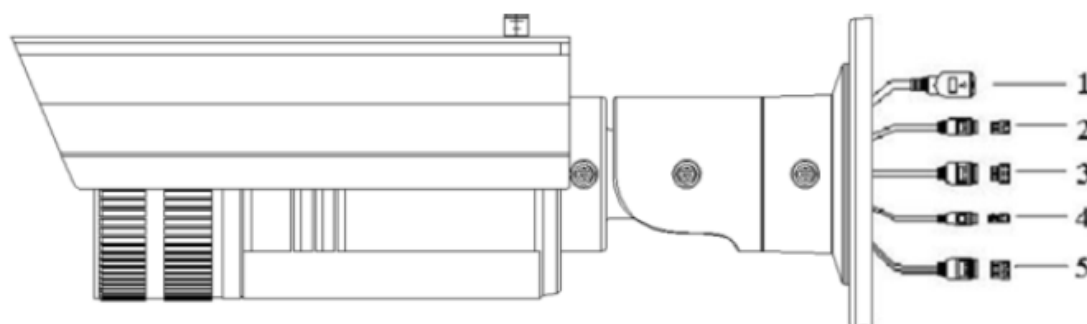


図 4-8 概観

表 4-2 物理的な説明

番号	説明
1	10M / 100M 自己適応イーサネット インターフェイス
2	電源インターフェイス
3	IN,G: アラーム入力インターフェイス 1A,1B: アラーム出力インターフェイス
4	D+,D-: RS-485 インターフェイス
5	音声 IN,G: 音声入力インターフェイス 音声 OUT,G: 音声出力インターフェイス

4.2.2 インストール

手順:

1. 壁へのマウントベースを固定してください。

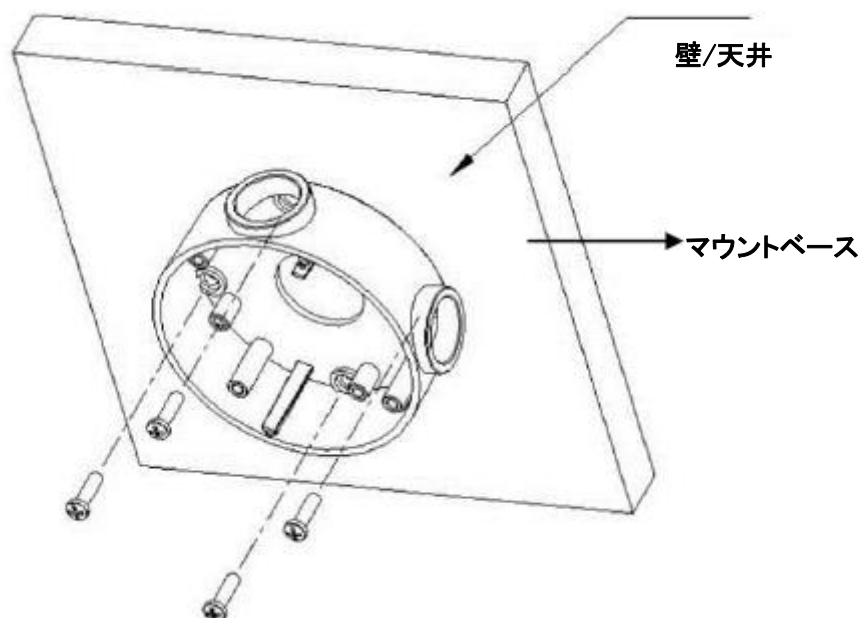


図 4-9 マウントベースの固定

2. マウントベースにカメラの取り付けブラケットを固定します。



マウントベースの「ボトム」マークは、取り付けブラケットの「ボトム」マークと合わせてください。

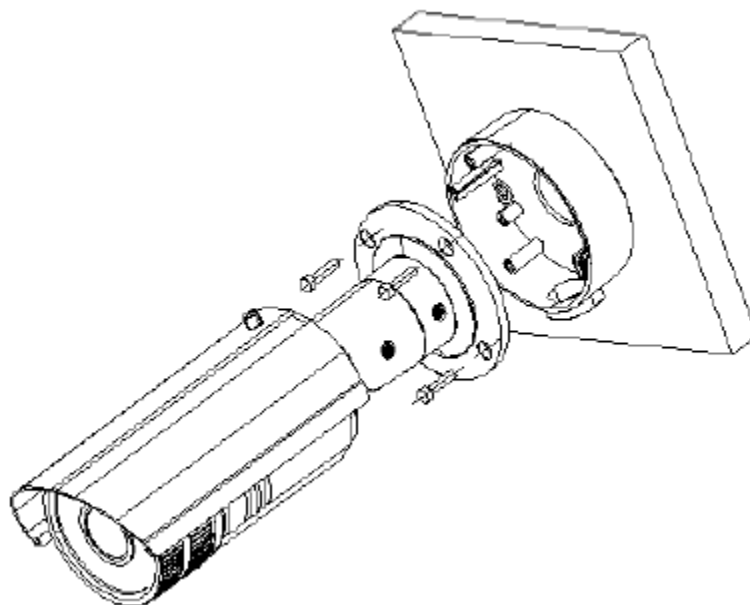


図 4-10 カメラの固定

3. ネットワークを経由でカメラの画像を表示します。
4. ブラケットのネジを緩めます。



カメラを調整できるまでネジを少し緩め、ブラケットからネジを外さないでください。

5. カメラを希望の監視角度に調整し、ブラケットのネジを締めてカメラを固定します。

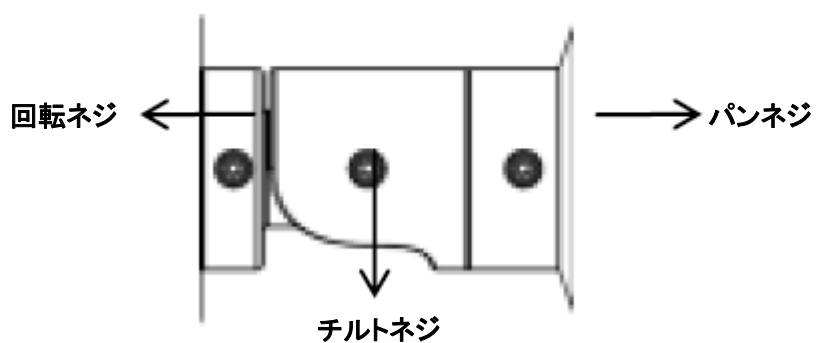


図 4-11 監視角度の調整

6. サンシールドのロックネジを緩め、サンシールドをスライドさせて取り外します。サンシールドを取り外します。

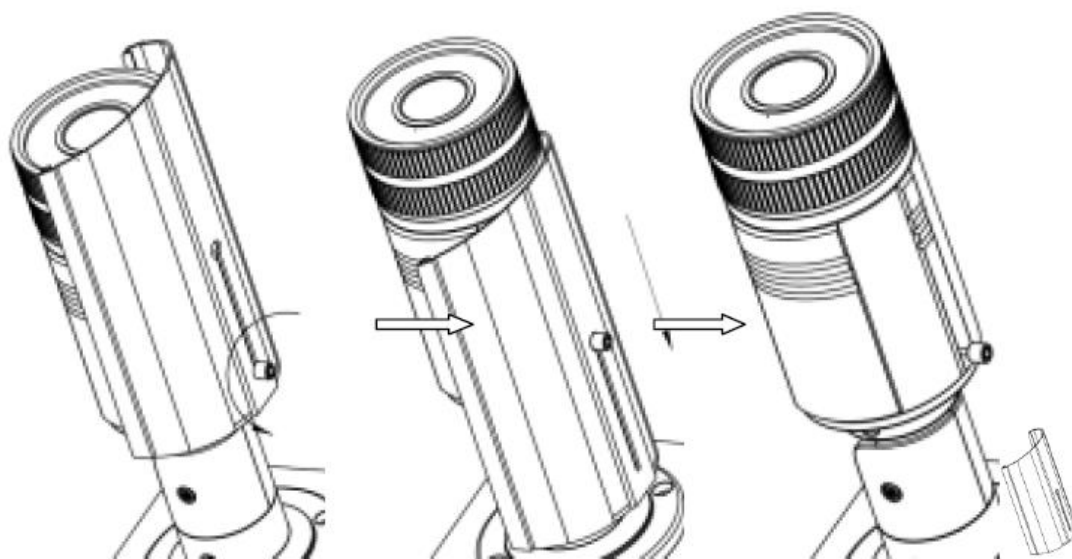


図 4-12 サンシールドの取り外し

7. 回転してカメラからフロントカバーを取り外し、レンズを調整して鮮明な画像が得られます。

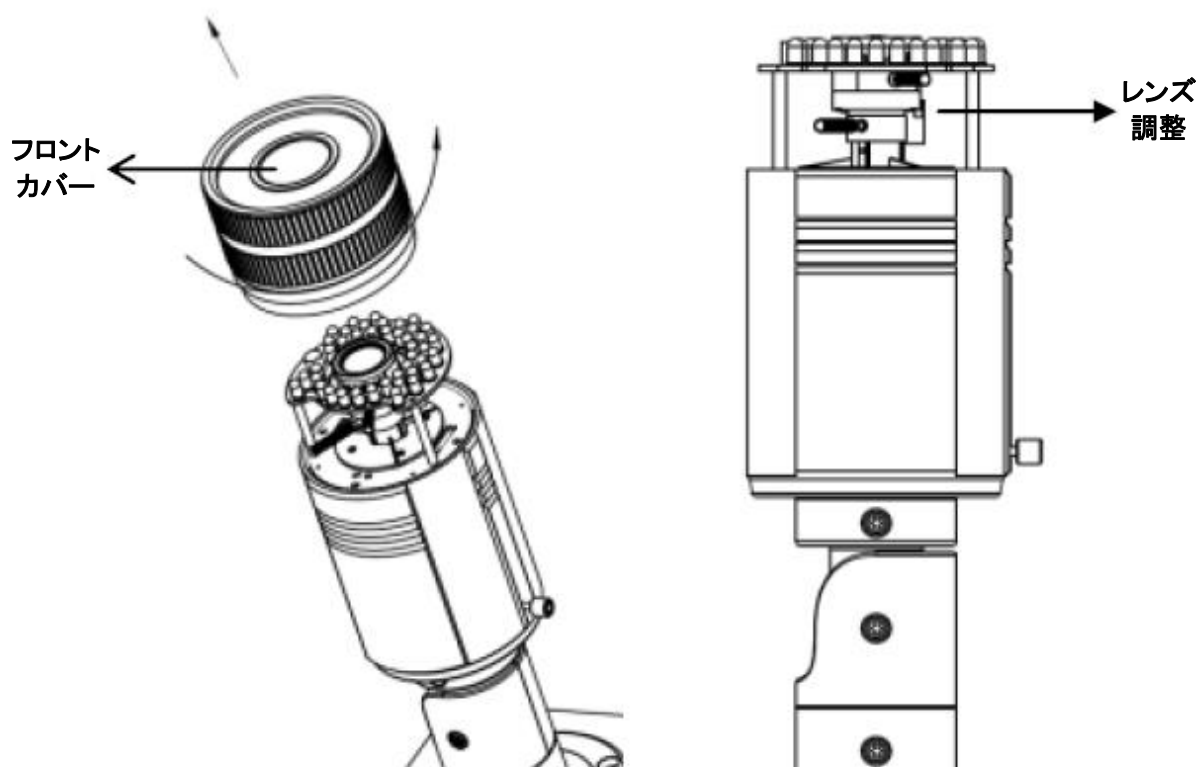


図 4-13 レンズの調整

8. レンズを固定します。フロントカバーとサンシールドを取り付けて取り付けを完了します。

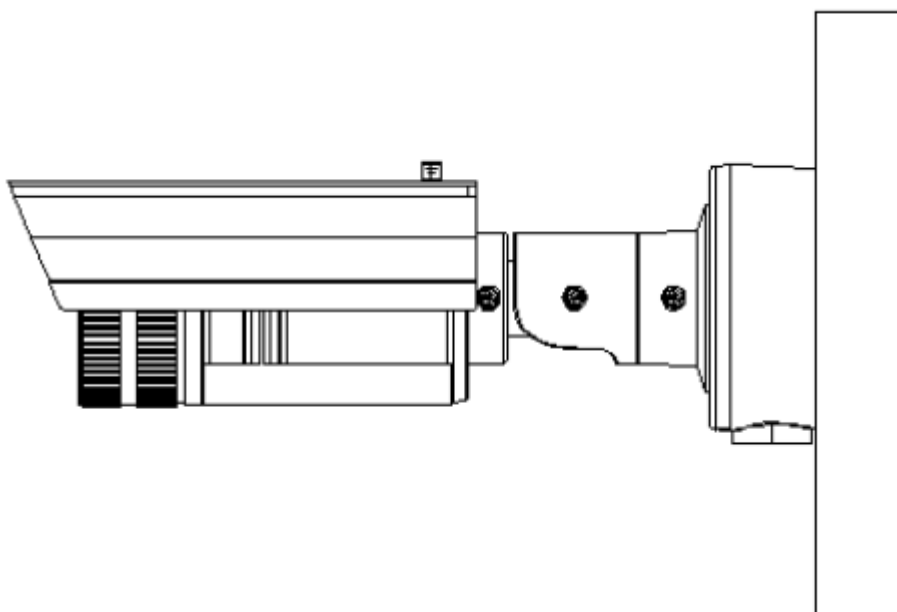


図 4-14 インストール完成

4.3 タイプ III バレットカメラ

4.3.1 カメラの説明

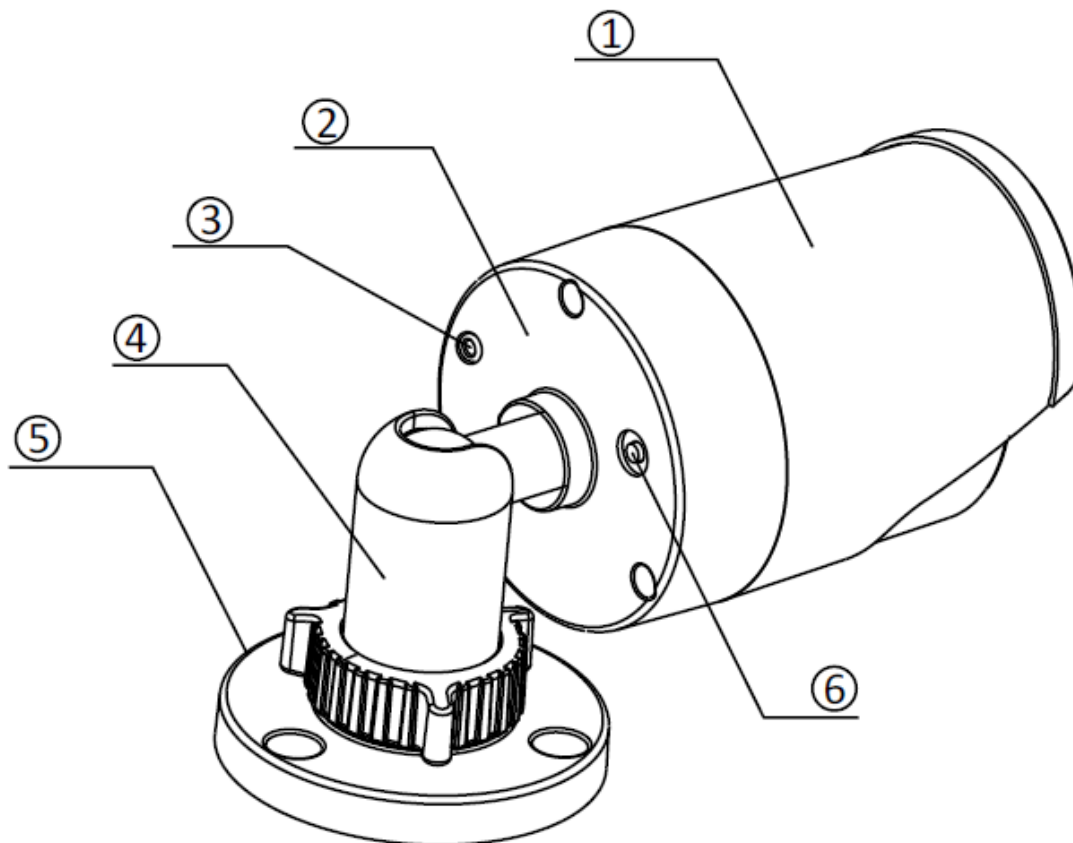


図 4-15 バレットカメラの概観

表 4-3 説明

番号	説明
1	サンシールド
2	バックボックス
3	アースネジ
4	調整可能なブラケット
5	マウントベース
6	リセット

4.3.2 インストール

手順:

1. ドリルテンプレートを壁に取り付けます。

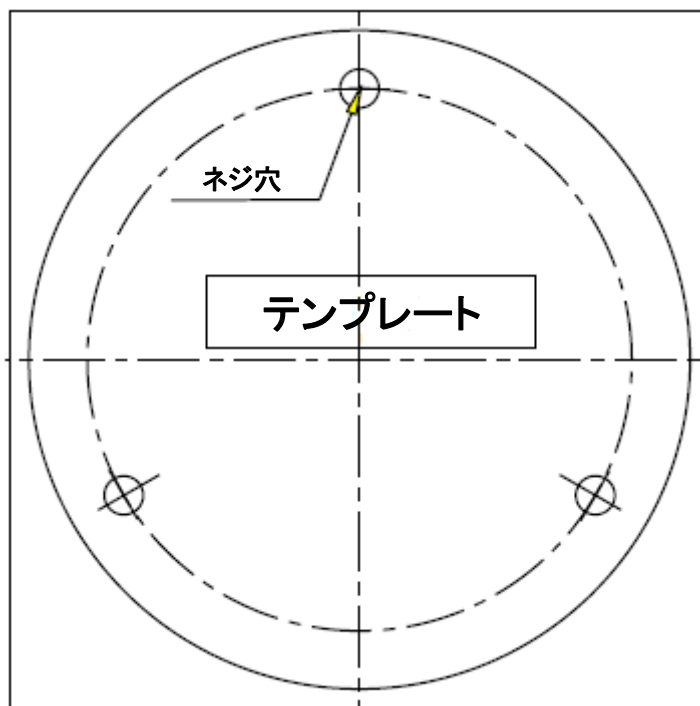


図 4-16 テンプレートの取り付け

2. 付属の拡張ネジでカメラを天井に固定します。

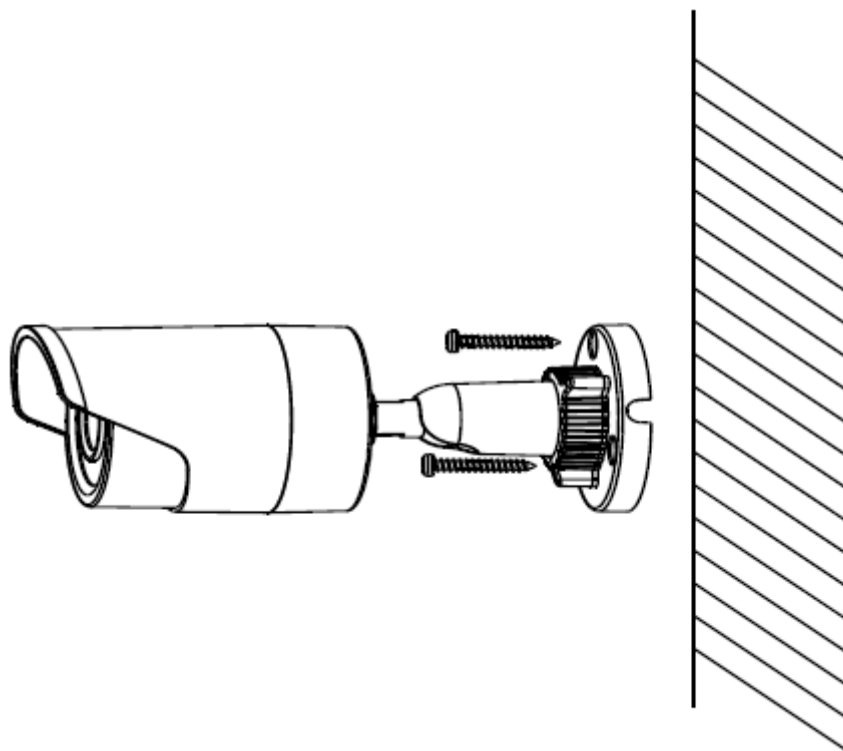


図 4-17 カメラを天井に固定

3. レンズを調整します。
 - 1) ブラケットの調整可能なナットを緩めます。
 - 2) カメラのパン角度「0～360°」を調整します。
 - 3) カメラのチルト角度「0～90°」を調整します。
 - 4) 0～360° 回転させて、画像の方位角を調整します。
 - 5) 調整可能なナットを締めて取り付けを完了します。

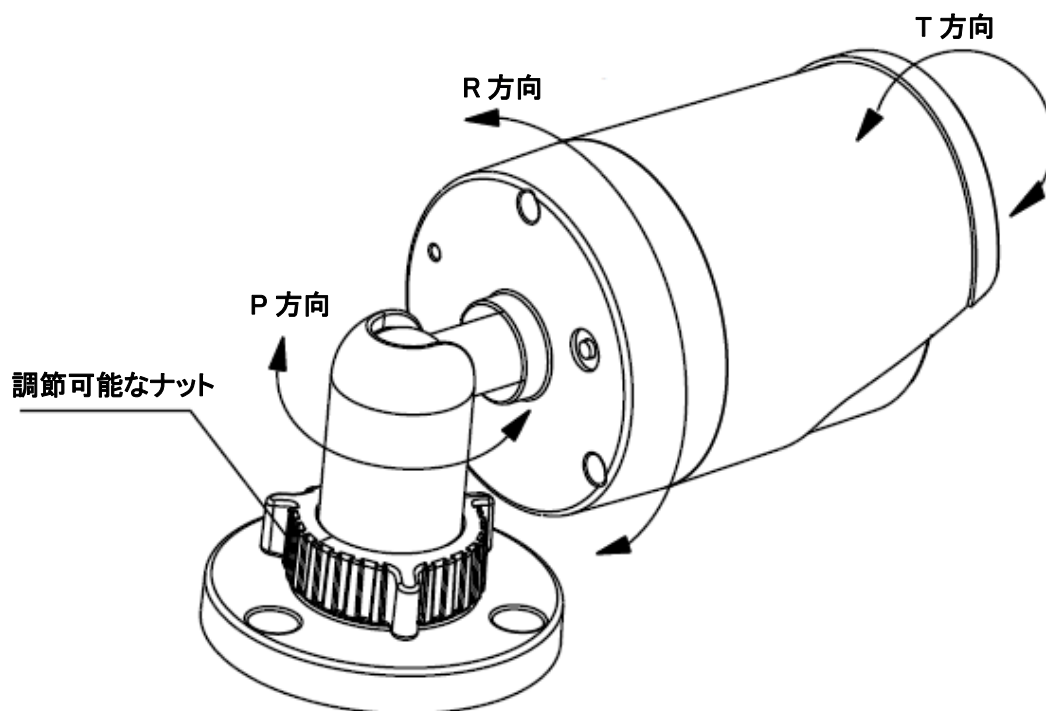


図 4-18 3 軸調整

4.4 タイプ IV バレットカメラ

4.4.1 カメラの説明

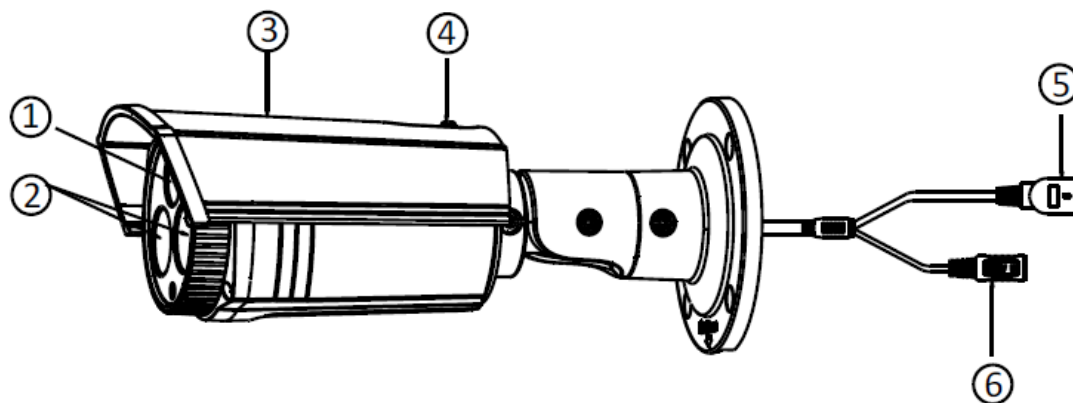


図 4-19 バレットカメラの説明

表 4-4 説明

番号	説明
1	レンズ
2	IR LED
3	サンシールド
4	調整ネジ
5	ネットワークケーブル
6	電源ケーブル

4.4.2 インストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ケーブル穴とネジ穴を天井にドリルします。

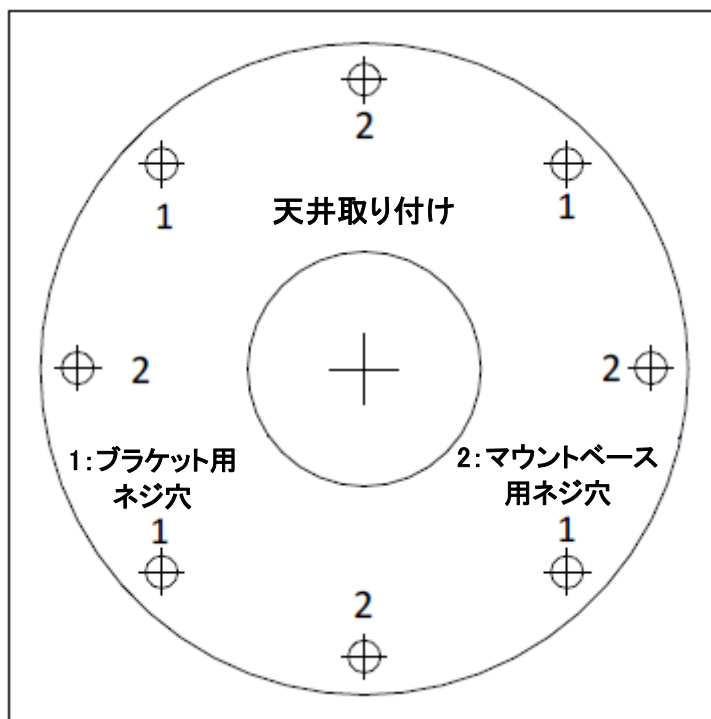


図 4-20 ドリルテンプレート

2. 付属のプラスチック拡張ボルトをネジ穴にハンマーで留めます。
3. ケーブルをケーブル穴に通し、対応する電源ケーブルとビデオケーブルを接続します。
4. 付属のネジでカメラを壁に固定します。

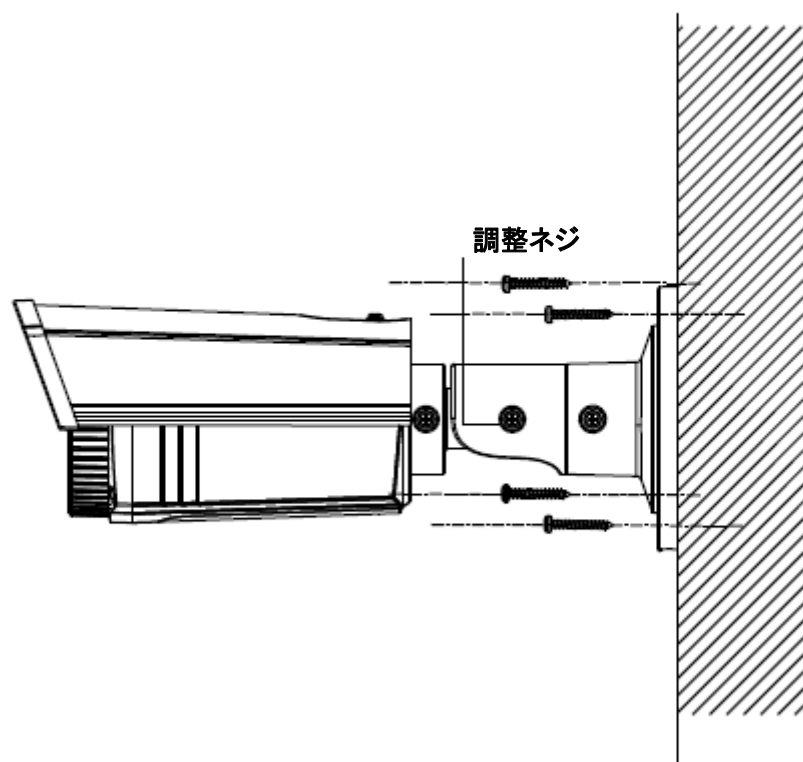


図 4-21 カメラを天井に固定

5. 監視角度を調整します。
 - 1) No.1 の調整ネジを緩めて、パン位置「0° ~360°」を調整します。
 - 2) No.1 の調整ネジを締めます。
 - 3) No.2 の調整ネジを緩めて、チルト位置「0° ~100°」を調整します。
 - 4) No.2 調整ネジを締めます。
 - 5) No.3 の調整ネジを緩めて、方位角「0° ~360°」を調整します。
 - 6) No.3 調整ネジを締めます。

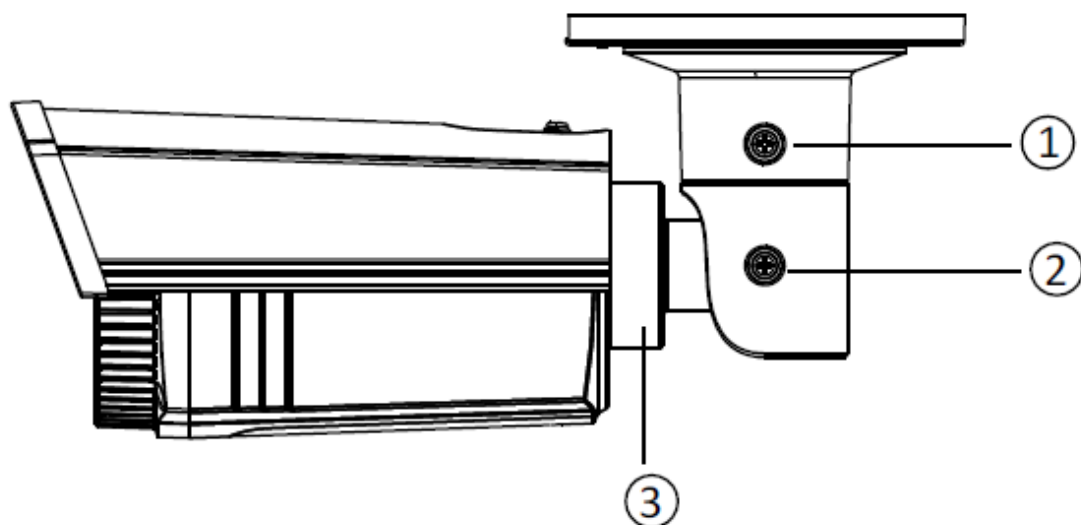


図 4-22 3 軸調整

4.5 タイプ V バレットカメラ

4.5.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラ概観を以下に示します。

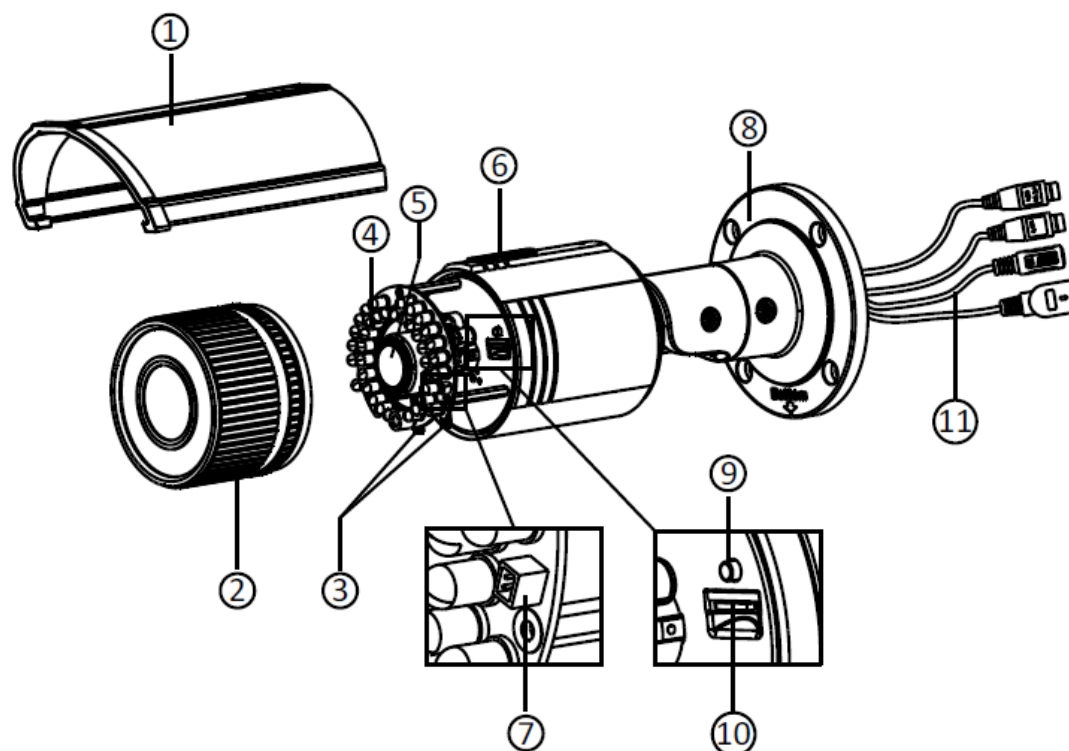


図 4-23 概観

表 4-5 概要

番号	説明
1	サンシールド
2	フロントカバー
3	ズームとフォーカスレバー
4	IR LED
5	レンズ
6	換気口
7	ビデオ出カインターフェイス
8	一体型ブラケット
9	リセットボタン
10	マイクロ SD カードスロット
11	電源インターフェイス
12	ネットワークインターフェイス



- カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。
- いくつかのモデルは音声機能とアラーム機能をサポートしています。インターフェイスは次のように表示されます。

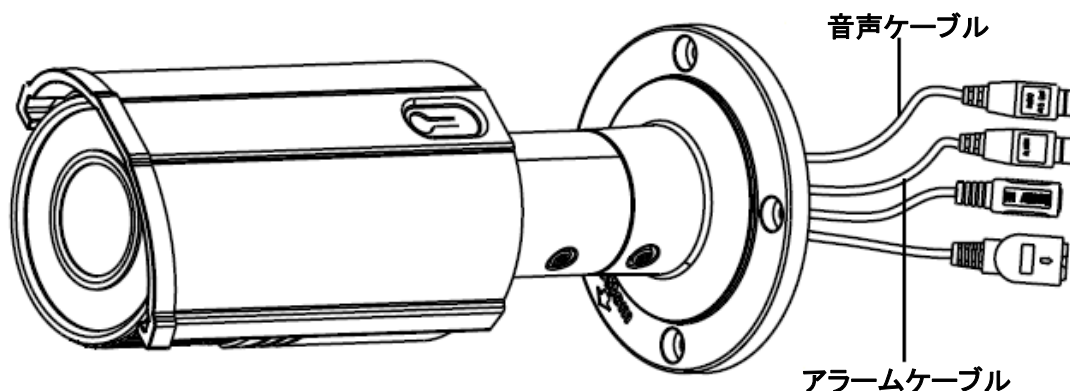


図 4-24 音声とアラームインターフェイス

4.5.2 インストール

- SD カードのインストール

手順:

1. 図 4-25(左)に示すように、サンシールドのロックネジを緩めて、サンシールドを矢印の方向にスライドさせます。
2. 図 4-25(右)に示すように、矢印方向に沿ってサンシールドを取り外します。
3. 図 4-25(右)に示すように、フロントカバーを反時計回りに回して取り外します。

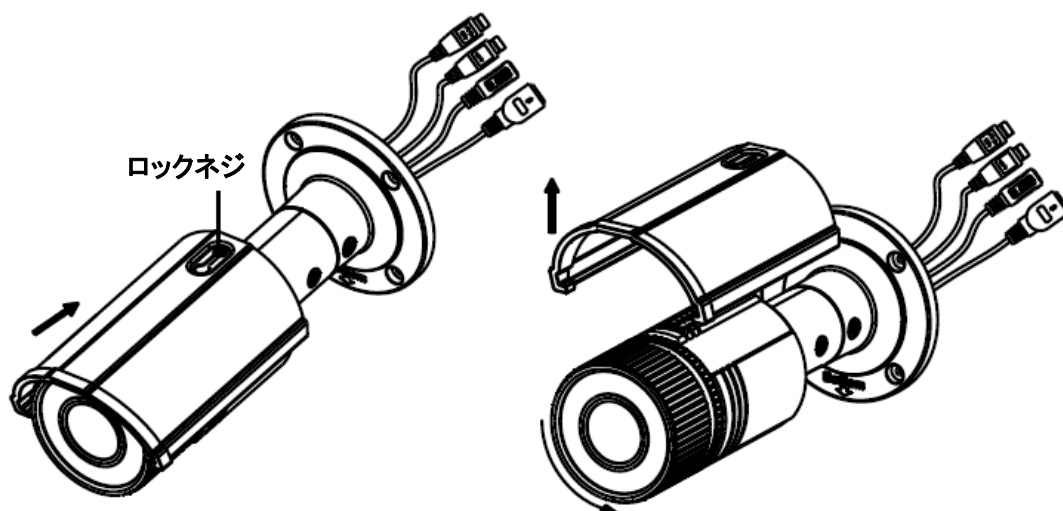


図 4-25 カメラの分解

4. マイクロ SD カードをマイクロ SD カードスロットに挿入します。
5. 前面カバーを時計方向に回して、図 4-26(右)に示すように、矢印方向に沿ってサンシールドを取り付けます。

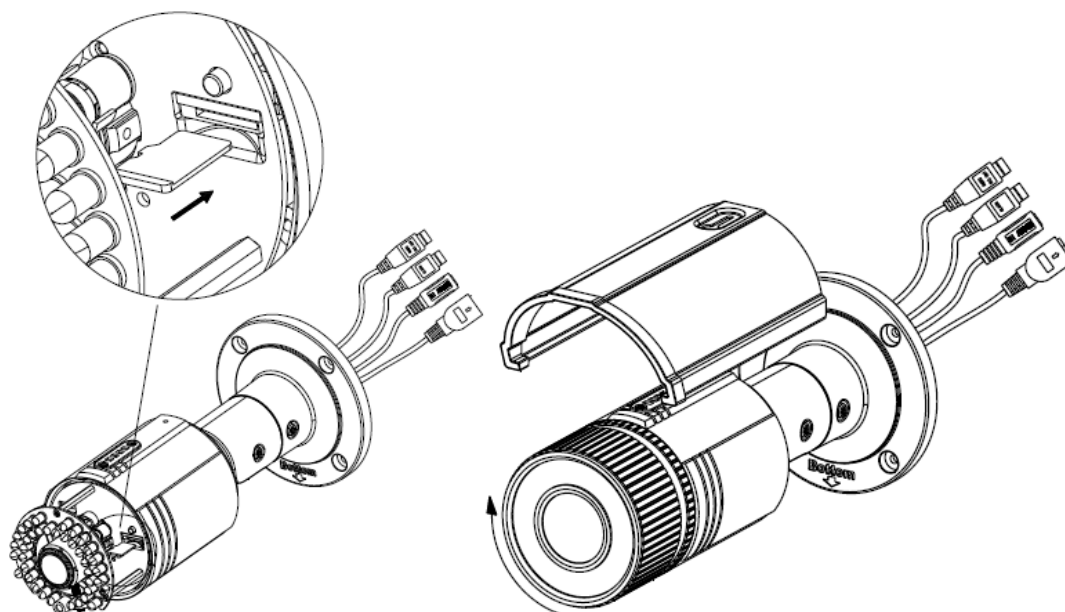


図 4-26 SD カードのインストール

6. 図 4-27(左)に示すように、サンシールドを矢印の方向にスライドさせます。
7. サンシールドのロックネジを締めます。

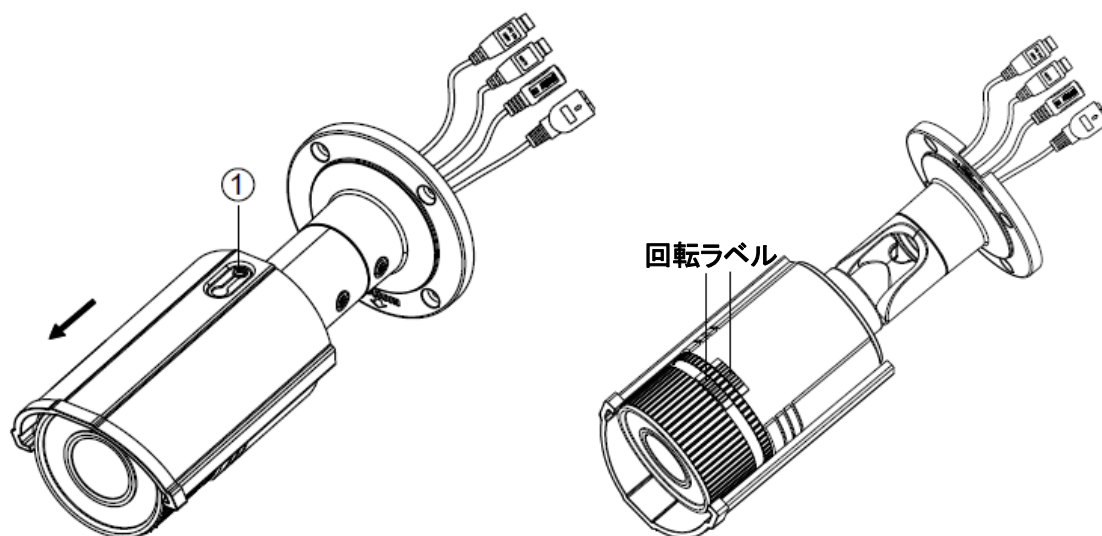


図 4-27 カメラの組み立て



フロントカバーを時計回りに回すときは、防水のため、フロントカバーの回転ラベルをカメラの回転ラベルと合わせてください。図 4-27(右)を参照してください。

● ウォールマウント

手順:

1. ドリルテンプレート(付属)はカメラを取り付ける壁に取り付けます。
2. ドリルテンプレートの No.1 の穴に従って、壁にネジ穴をドリルします。

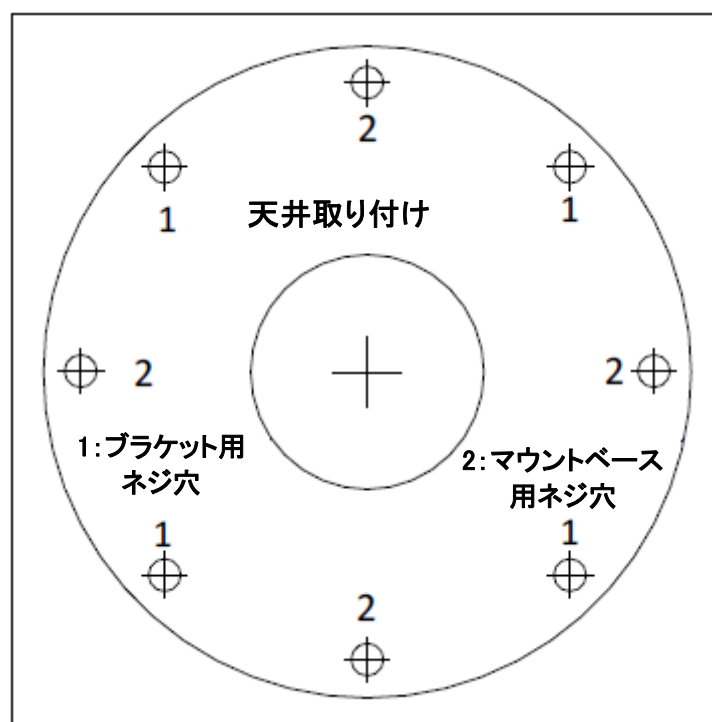


図 4-28 壁のドリル穴

3. 壁(または天井)にケーブルを配線する必要がある場合は、ドリルテンプレートに従ってケーブル穴を切断します。ケーブルを天井の表面に配線する場合は、この手順を省略してください。
4. カメラのケーブルを配線します。
5. 拡張ネジでカメラを壁(または天井)に固定します。図 4-29 を参照してください。

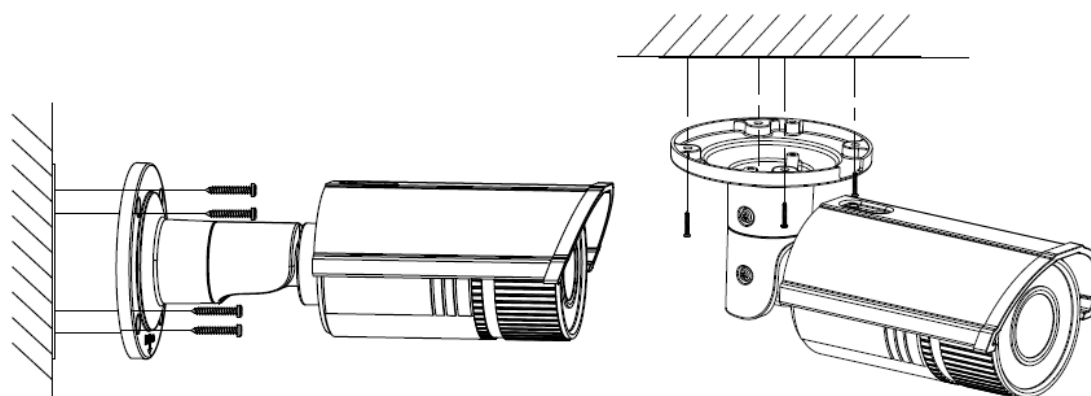


図 4-29 カメラの固定

● ジャンクションボックスによるウォールマウント

始める前に:

ジャンクションボックスで取り付ける場合は、ジャンクションボックスを購入する必要があります。

す。

手順:

1. ドリルテンプレート(付属)はカメラが取り付け壁に取り付けます。
2. ドリルテンプレートの No.2 の穴に従って、壁に穴をドリルします。図 4-28 を参照してください。
3. 壁(または天井)にケーブルを配線する必要がある場合は、ドリルテンプレートに従ってケーブル穴を切断します。ケーブルを天井の表面に配線する場合は、この手順を省略してください。
4. 拡張ネジでジャンクションボックスを壁に固定します。
5. カメラのケーブルを配線します。
6. ビデオ出力コネクタをモニターに接続します。電源コネクタを電源装置に接続します。
7. 画像とフォーカスを調整します。詳細については、ズームおよびフォーカス調整を参照してください。
8. 安全ロープを使用してジャンクションボックスにカメラを接続します。図 4-30 を参照してください。
9. ネジでカメラをジャンクションボックスに固定します。

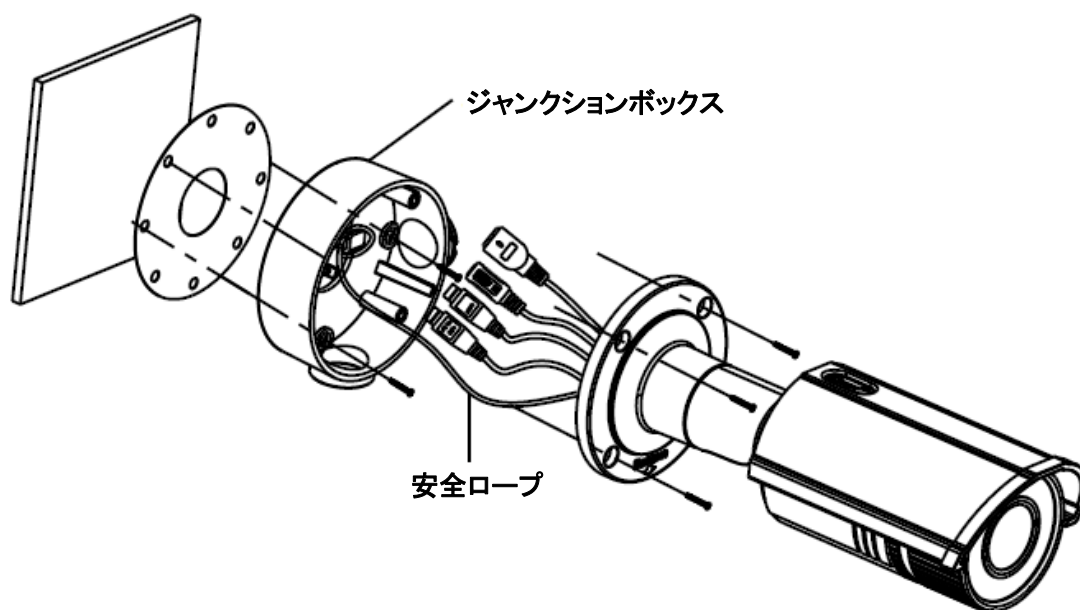


図 4-30 カメラの固定

● ギャングボックスによるウォールマウント

始める前に:

ギャングボックスを取り付ける場合は、ギャングボックスを購入する必要があります。

手順:

1. ネジでカメラアタッチメントにカメラを固定します。
2. カメラのケーブルを配線します。
3. ネジでカメラアタッチメントにカメラを固定します。図 4-31 を参照してください。

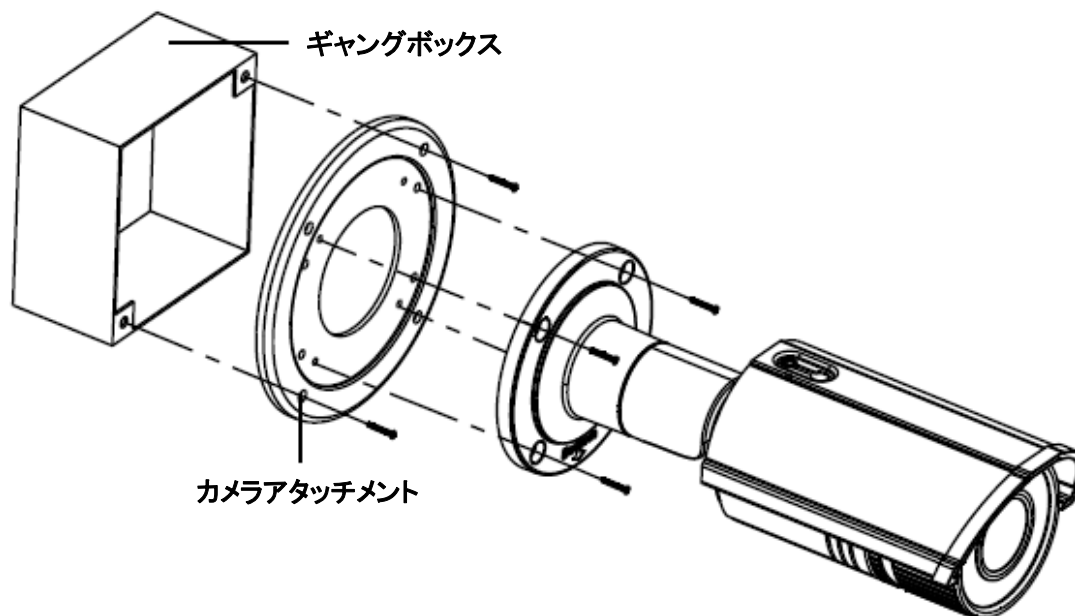


図 4-31 カメラの固定

● 角度調整の表示

目的:

3 軸(パン/チルト/回転)調整により、最適なカメラの回転と配置を調整できます。

パン調整

手順:

1. ロックネジ 1 を緩めます。
2. カメラのパン位置を調整します。調整範囲は 0° ~ 360° です。
3. ロックネジ 1 を締めます。

チルト調整

手順:

1. ロックネジ 2 を緩めます。
2. カメラのチルト位置を調整します。調整範囲は 0° ~ 90° です。
3. ロックネジ 2 を締めます。

回転調整

手順:

1. ロックネジ 3 を緩めます。
2. 回転位置を回転させて、画像の方位角を調整します。調整範囲は 0° ~ 360° です。
3. ロックネジ 3 を締めます。

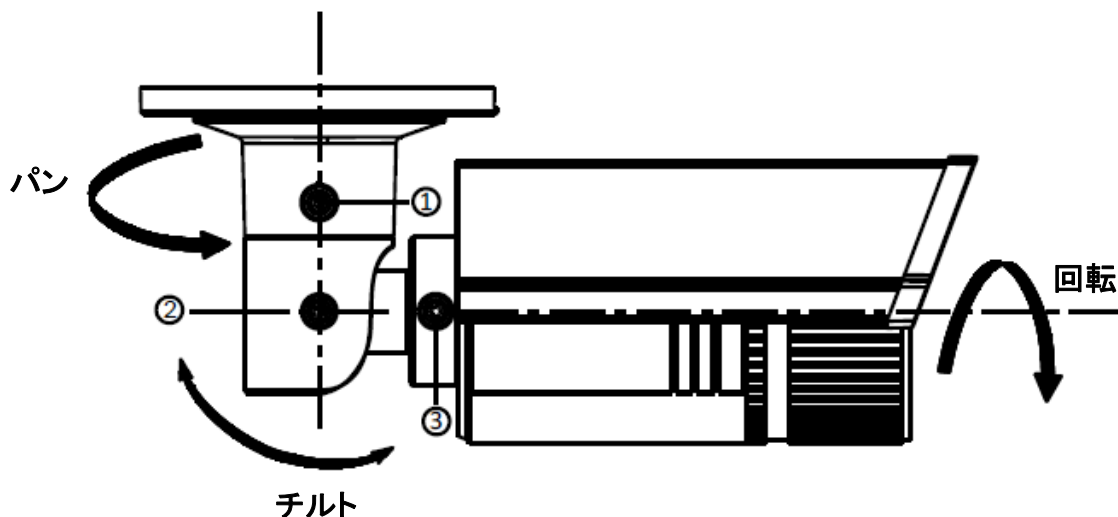


図 4-32 レンズ調整

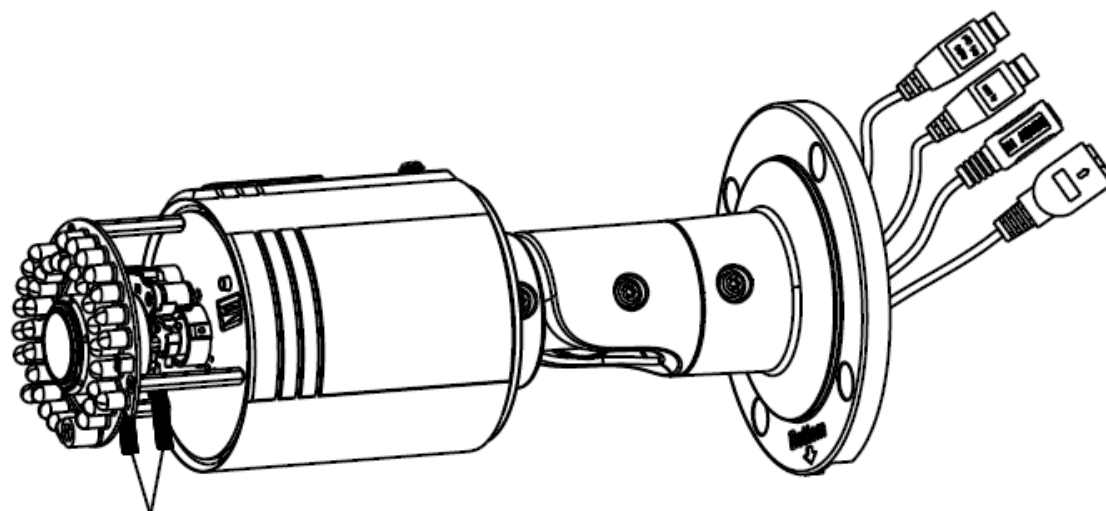
● ズームとフォーカス調整

目的:

ズームレバーとフォーカスレバーを使って、ズーム値とフォーカス値を調整することができます。

手順:

1. カメラを分解します。
2. モニターを使用してカメラ画像を表示します。
3. ズームレバーを緩め、T(テレ)とW(ワイド)の間でレバーを動かして、適切な画角を確保します。
4. ズームレバーを締めます。
5. フォーカスレバーを緩め、F(遠)とN(近)の間でネジを動かすと、最適なフォーカスが得られます。
6. フォーカスレバーを締めます。
7. カメラを組み立てます。



ズーム/フォーカスレバー

図 4-33 ズームとフォーカス調整

4.6 タイプ VI バレットカメラ

4.6.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概観を以下に示します。

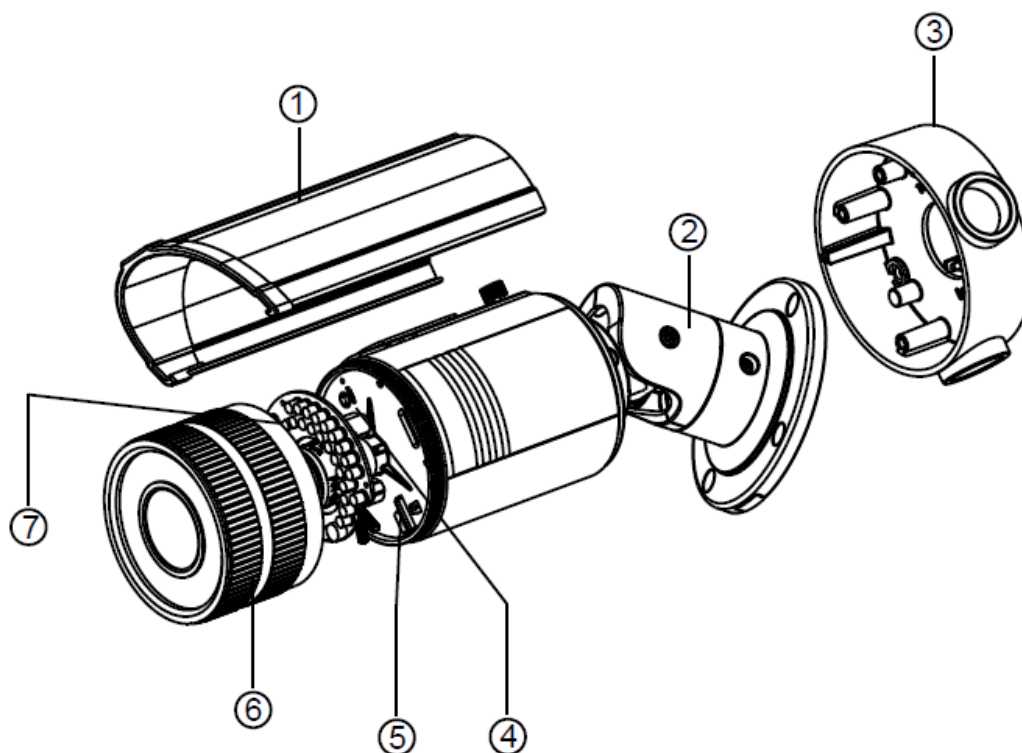


図 4-34 概観

表 4-6 説明

番号	説明	番号	説明
1	サンシールド	2	ブラケット
3	ジャンクションボックス	4	リセット
5	SD カードスロット	6	フロントボックス
7	アナログビデオ出力		

4.6.2 インストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートの No.2 の穴に従って、壁に 4 つのネジ穴をドリルします。

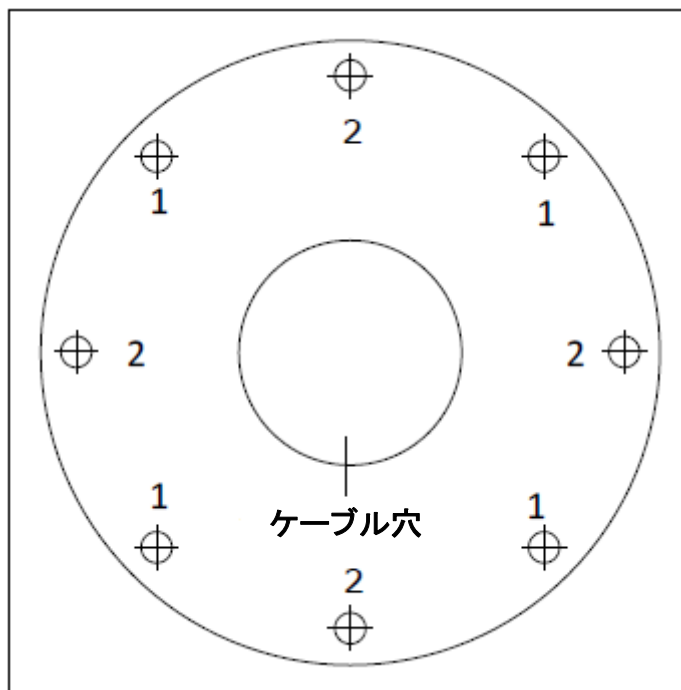


図 4-35 ドリルテンプレート

- ドリルテンプレートに表示されている記号に従ってケーブル穴を 1 本ドリルします。



ジャンクションボックスの側面にケーブルを配線する場合は、この手順を省略できます。

- 拡張ネジでジャンクションボックスを壁に固定します。

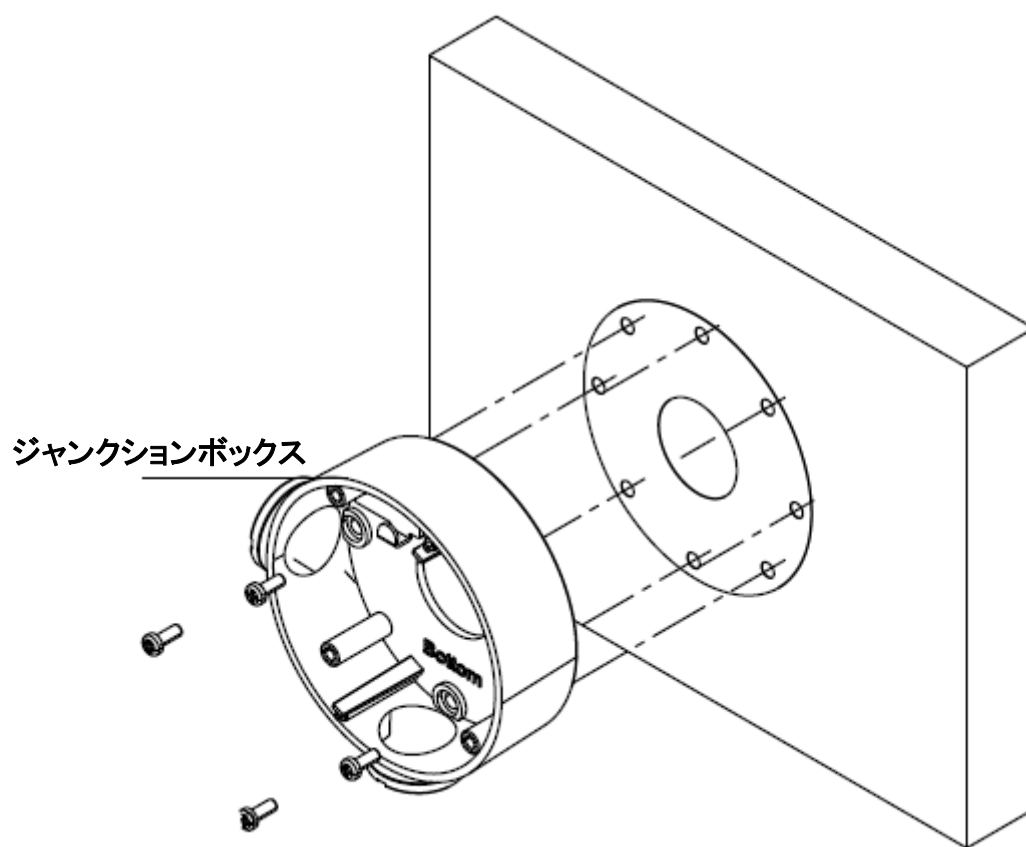


図 4-36 ジャンクションボックスのインストール

4. カメラのケーブルを配線します。
 - 天井にケーブル穴が開けられている場合は、ジャンクションボックスとケーブル穴にケーブルを配線します。
 - 天井にケーブル穴が開けられていない場合は、ジャンクションボックスの側面の出口から天井の表面にケーブルを配線します。
5. 安全ロープを使用してジャンクションボックスにカメラを接続します。
6. ネジを締めてカメラをジャンクションボックスに固定します。

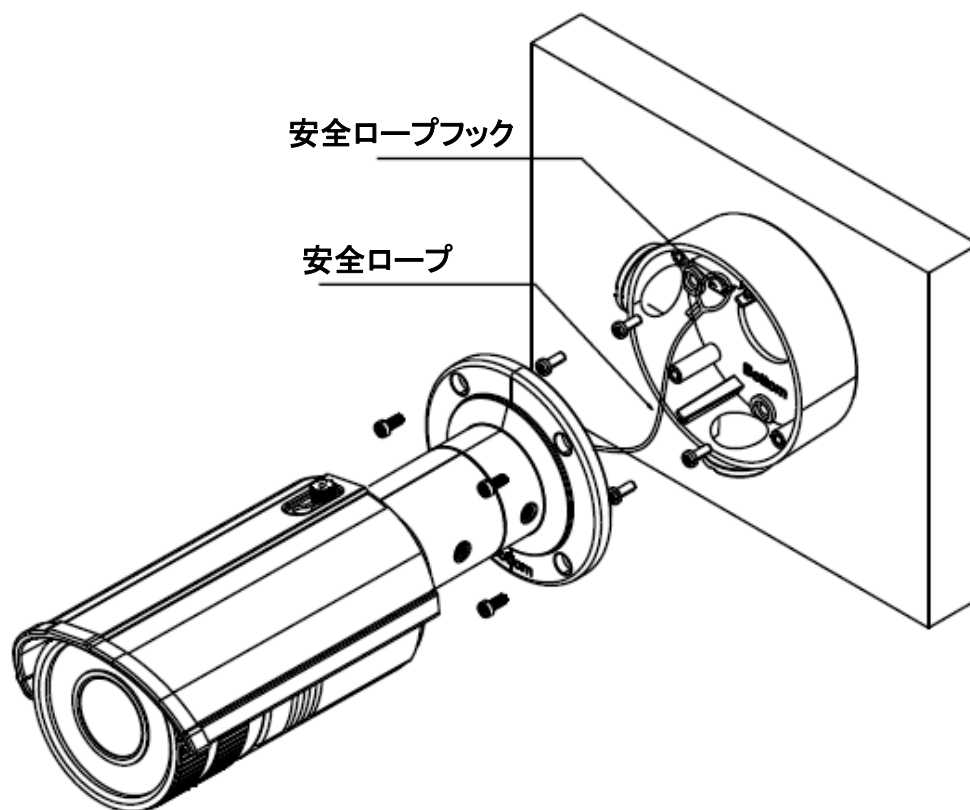


図 4-37 カメラをジャンクションボックスに固定

7. カメラを希望の監視角度に調整し、ブラケットのネジを締めてカメラを固定します。

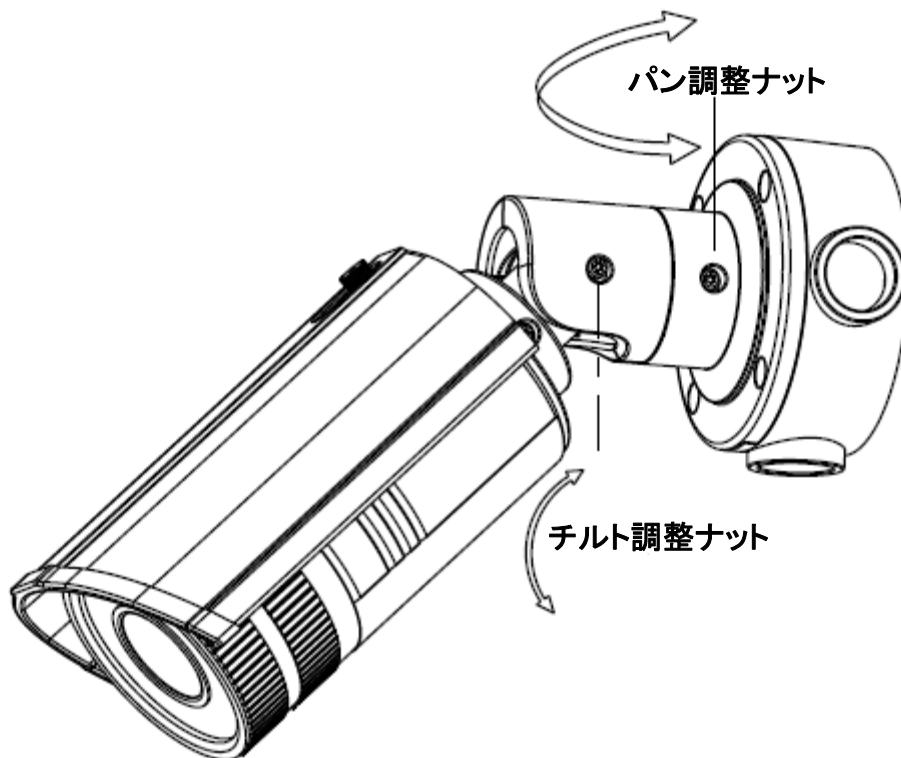


図 4-38 監視角度の調整



- カメラを調整できるまでネジを少し緩め、ブラケットからネジを外さないでください。
 - 監視角度を調整した後、防水ゴムケース(別売)をブラケットの折りたたみ可能な位置に取り付けて水から保護しなければならない場合があります。
8. サンシールドのロックネジを緩め、サンシールドを取り外します。
 9. 回転させてカメラからフロントボックスを取り外し、ズームレバーとフォーカスレバーを調整して鮮明な画像が得られます。

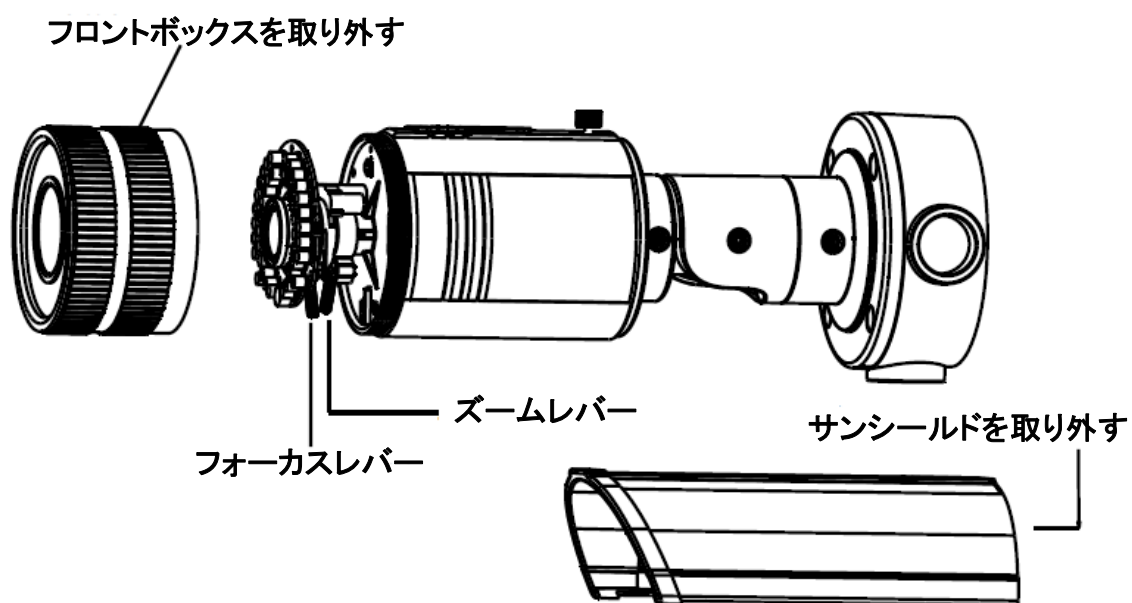


図 4-39 レンズ調整

10. フロントボックスとサンシールドを取り付けて、取り付けを完了します。

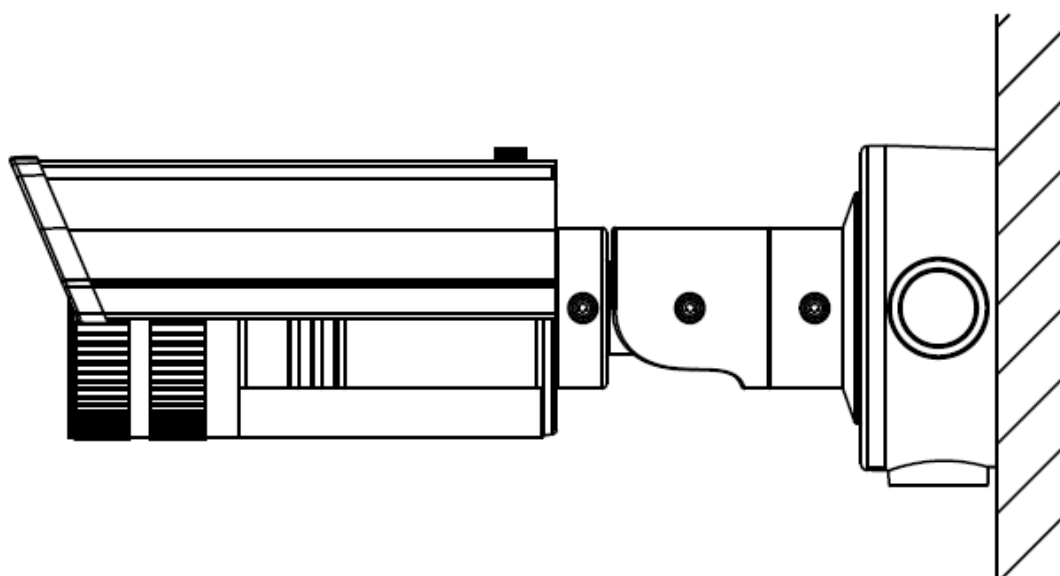


図 4-40 インストール完成

4.7 タイプ VII バレットカメラ

4.7.1 カメラの説明

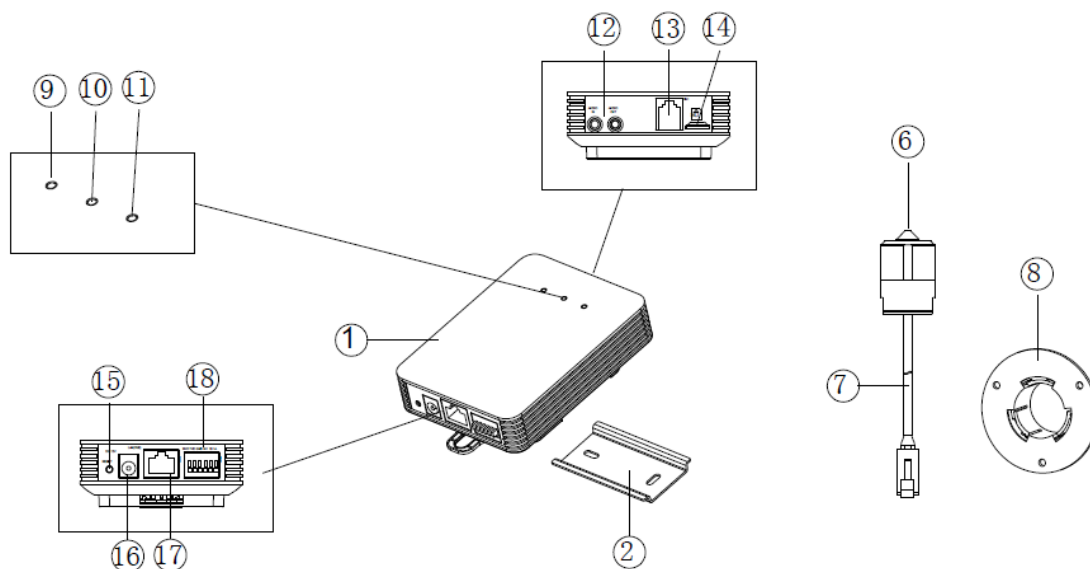


図 4-41 円筒型センサユニットを備えた隠しカメラの概要

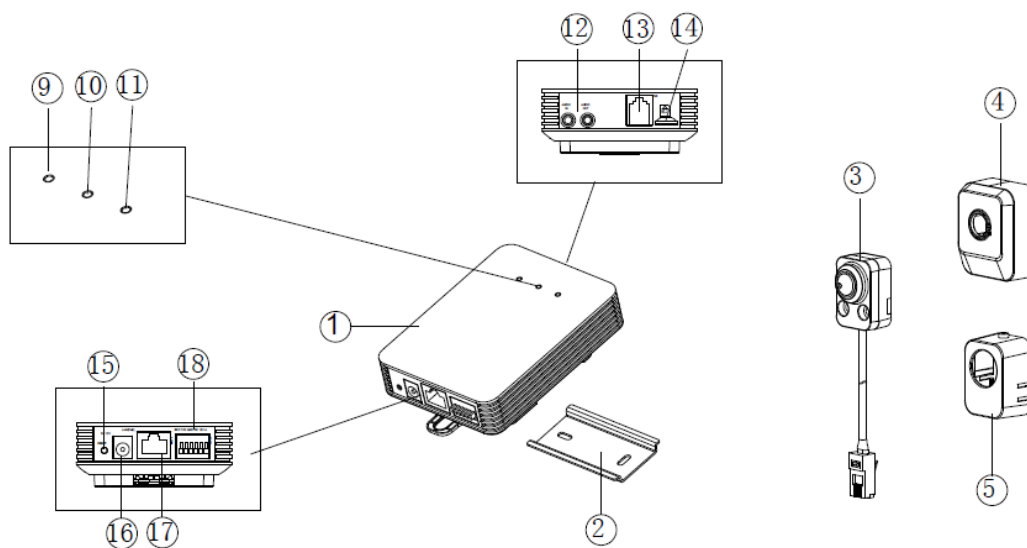


図 4-42 ブロック型センサユニットを備えた隠しカメラの概要

表 4-7 カメラの説明

番号	説明	番号	説明
1	メインユニット	10	ステータスインジケータ LED
2	マウントレール	11	リンクインジケータ LED
3	ブロック型センサユニット	12	音声インターフェイス
4	カバー	13	RJ-12 インターフェイス

5	ストレートマウントブラケット	14	マイクロ SD カードスロット
6	円筒形センサユニット	15	リセットボタン
7	RJ-12 ケーブル	16	電源インターフェイス
8	ラウンドレール マウントブラケット	17	PoE とネットワーク
9	電源インジケータ LED	18	RS-232 & アラーム インターフェイス



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

表 4-8 LED インジケータ

LED	色とステータス	インジケータ
電源	赤色に点灯	通常動作時
	消灯	電源オフ
状態	緑色に点灯	カメラが正常に動作する
	消灯	カメラが正常に動作しない
リンク	琥珀色の点滅	ネットワーク接続が正常に機能している
	消灯	ネットワーク接続なし

4.7.2 インストール

● メインユニットの設置

手順:

1. 取り付け面に標準の取り付けレールを固定します。図 4-43 に示すように。

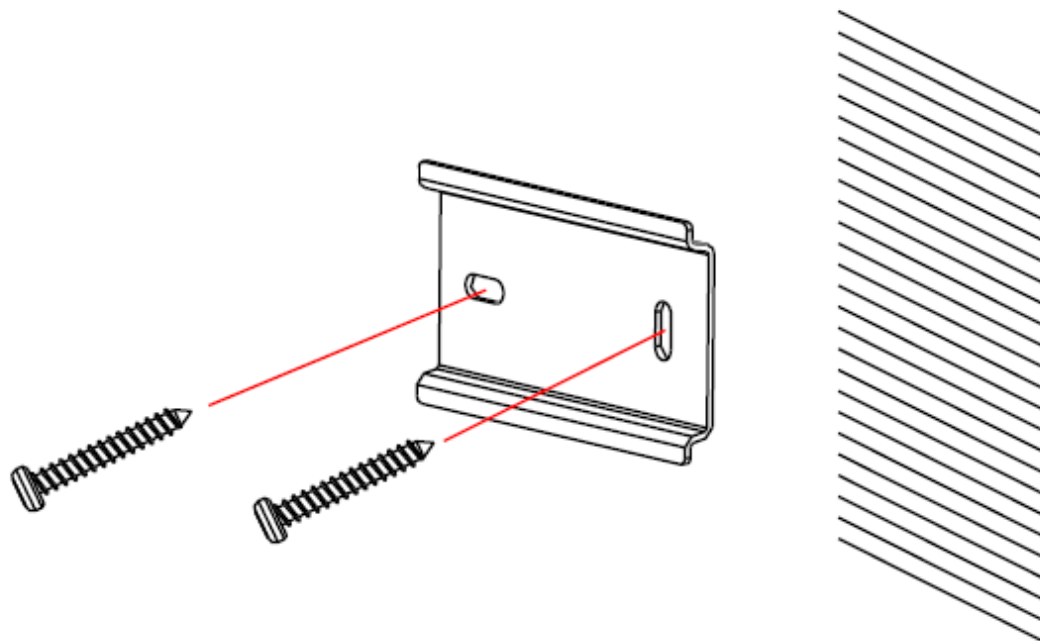


図 4-43 標準のマウントレールの固定



- セメント表面を取り付ける場合は、拡張ネジを使用してカメラを固定する必要があります。
 - 木製の表面を取り付ける場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定するだけです。
2. メインユニットの上側にあるフックをレールに掛け、メインユニットの下部を少し強く押すと、弾性クランプが自動的にバックルになります。図 4-44 に示すように。

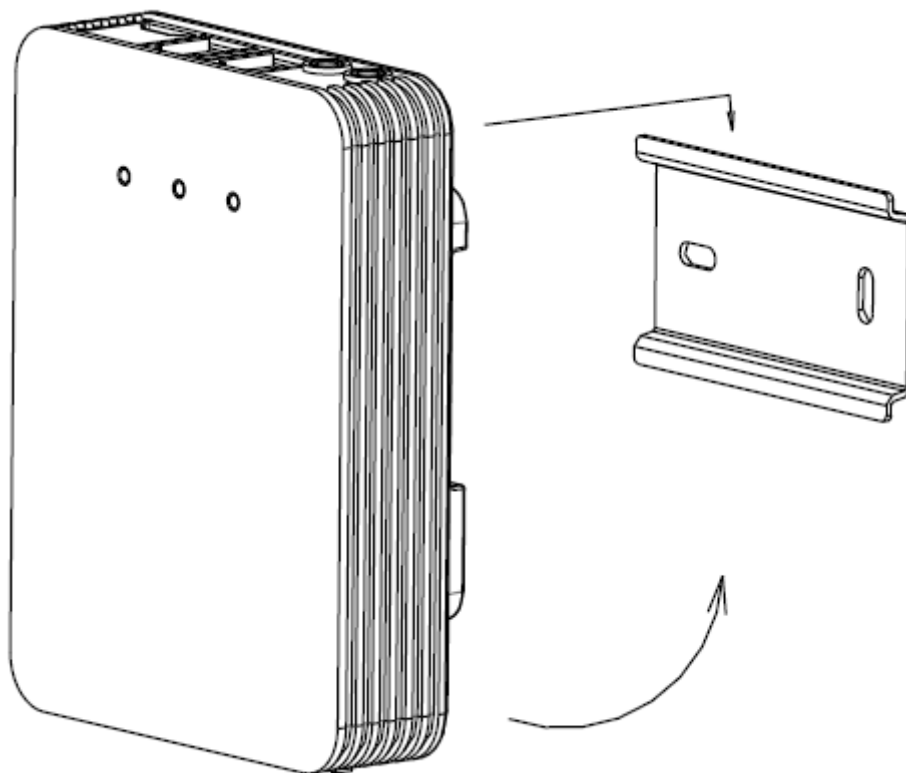


図 4-44 メインユニットをバックルにする

すでに標準レールが取り付けられている場合は、メインユニットを取り付けられたレールに直接バックルすることができます。

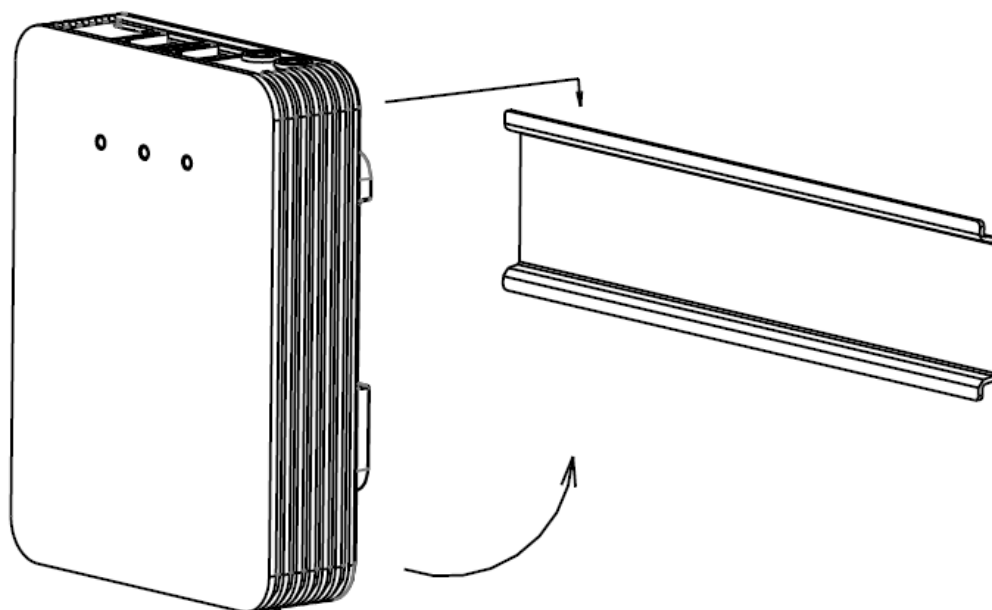


図 4-45 メインユニットを標準レールにバックルする

- **ブロック型センサユニットの設置**

このシリーズのカメラは装飾カバーによる隠し取り付けと露出取り付けをサポートしています。

- ❖ **隠し取り付け**

取り付け面が接着剤の貼付に適していることを確認してください。

手順:

1. 取り付け面にドリルします。

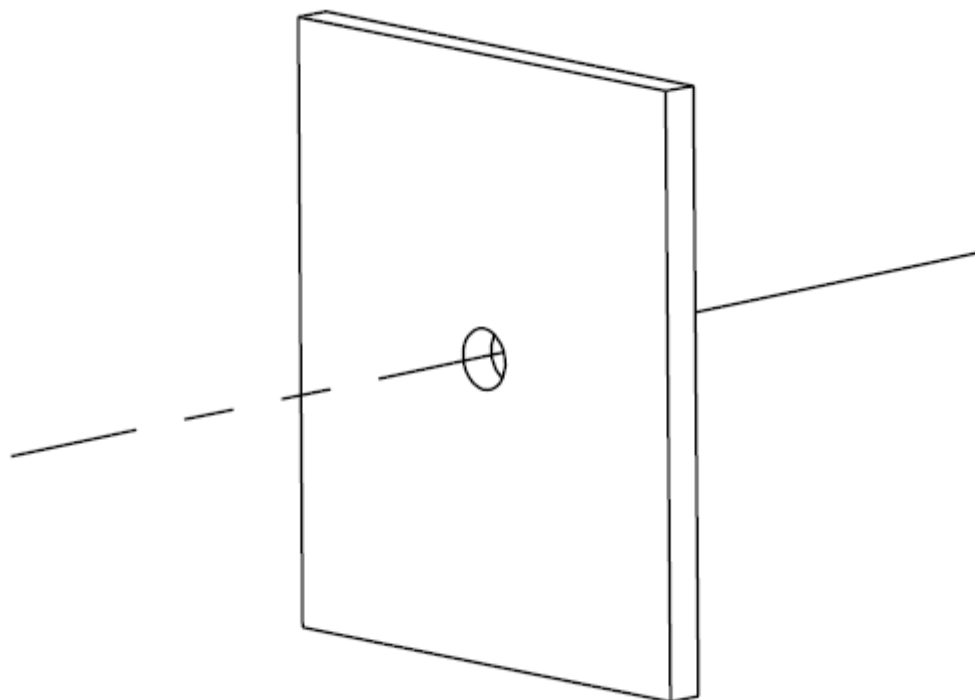


図 4-46 表面上のドリル



ドリル穴がカメラのレンズに十分な大きさであることを確認してください。

2. ブラケットの粘着テープの側面を取り外します。ドリル穴に合わせてブラケットを取り付け面に貼り付けます。図 4-47 に示すように。

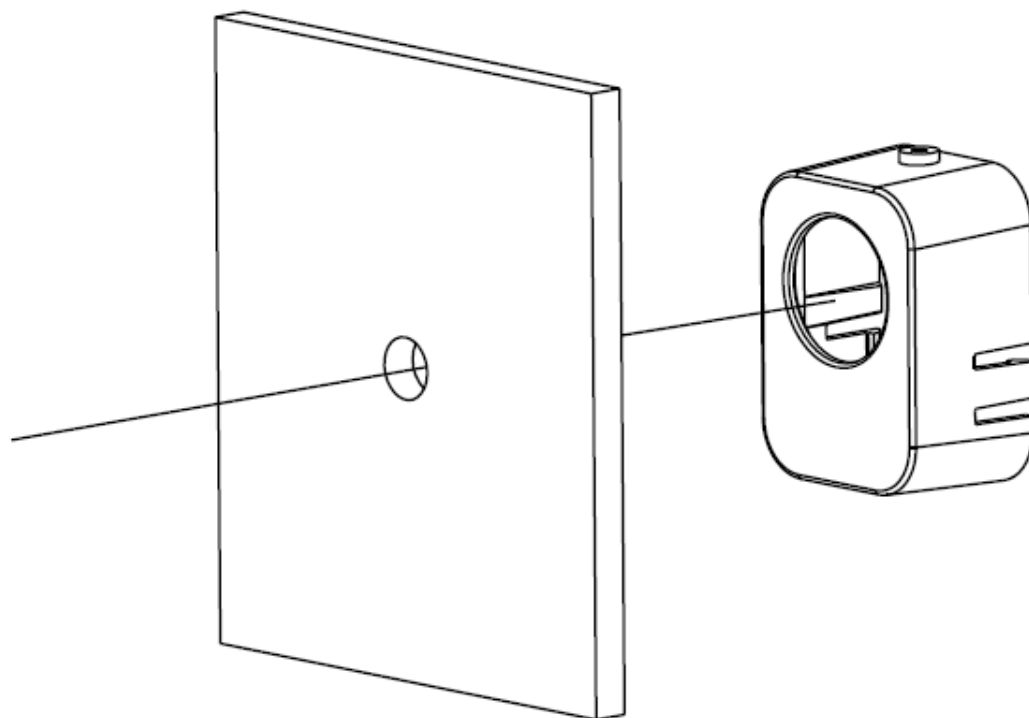


図 4-47 ブラケットの貼り付け

3. ブロック状センサユニットをブラケットに取り付け、バックルにさせます。
4. ブラケットの上部にある固定ネジを締めます。

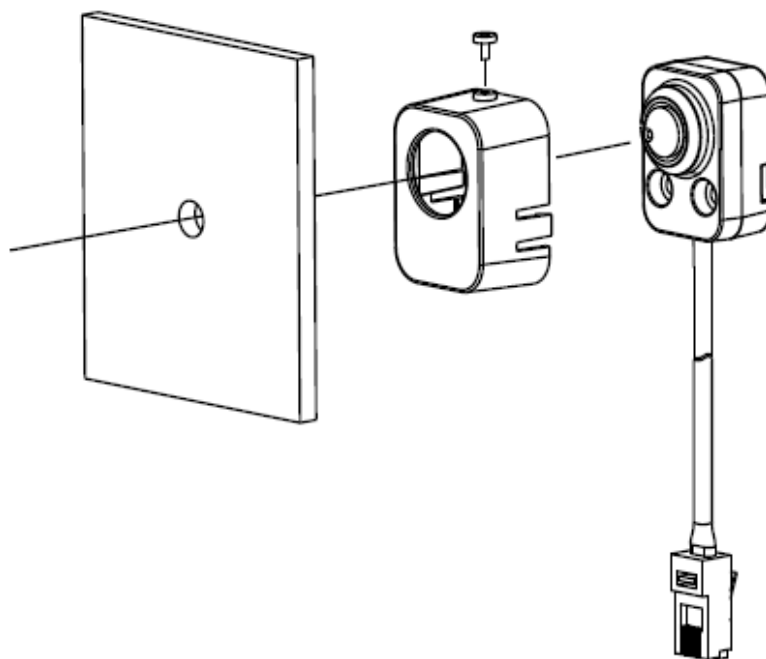


図 4-48 ブロック状センサユニットの挿入

❖ 露出取り付け

手順:

1. 取り付け面にブロック状センサユニットをネジで固定します。図 4-49 に示すように。

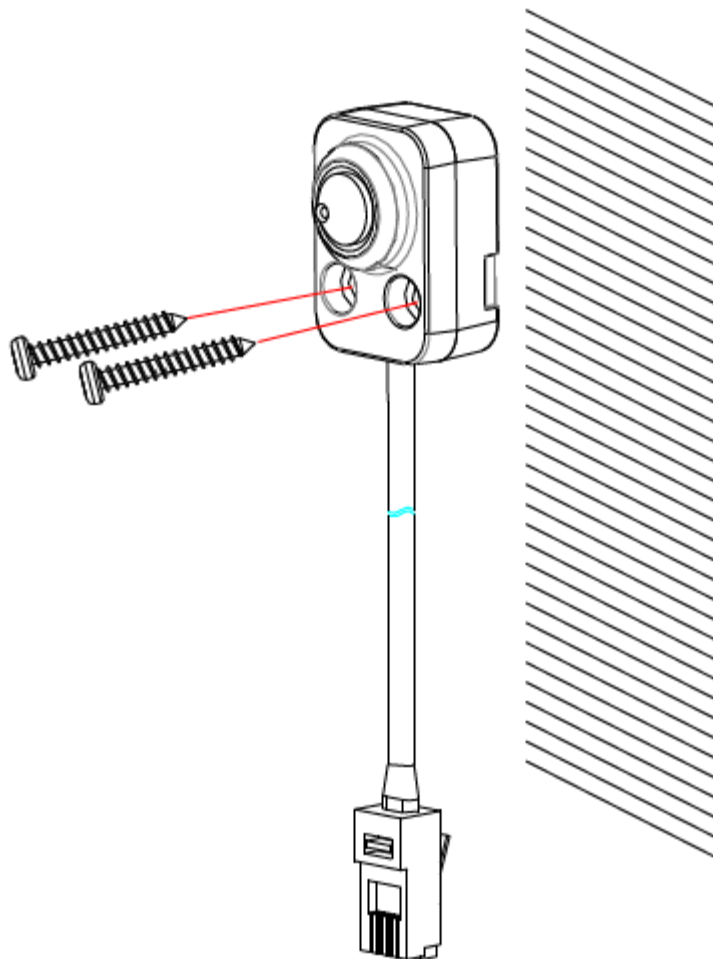


図 4-49 ブロック状センサユニットの固定



- セメント表面を取り付ける場合は、拡張ネジを使用してカメラを固定する必要があります。
 - 木製の表面を取り付ける場合は、セルフタッピングネジを使用してカメラを固定するだけです。
2. センサユニットを装飾カバーでシールドしてください。図 4-50 に示すように。

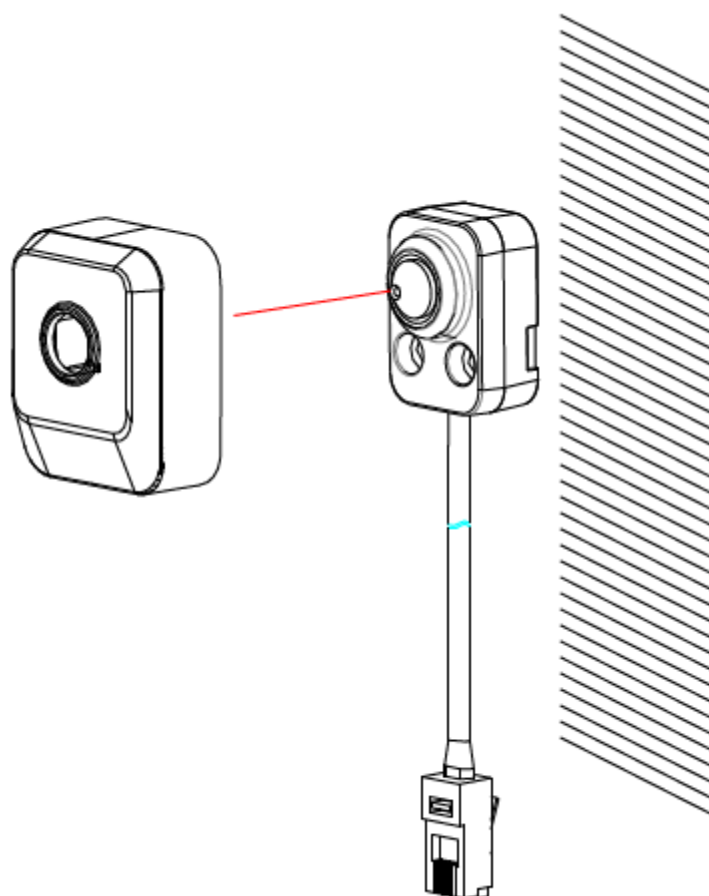


図 4-50 フードカバー

● 円筒形センサユニットの設置

このシリーズのカメラは隠し取り付けのみをサポートしています。



取り付け面が接着剤の貼付に適していることを確認してください。

手順:

1. 取り付け面をドリルします。図 4-51 に示すように。

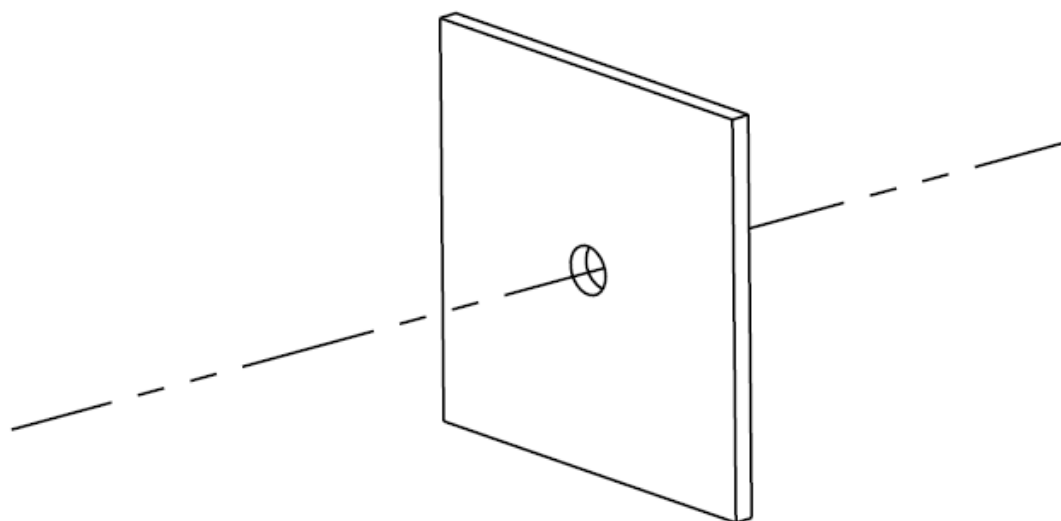


図 4-51 表面上のドリル



ドリル穴がカメラのレンズに十分な大きさであることを確認してください。

2. ブラケットの粘着テープの側面を取り外します。ドリル穴に合わせてブラケットを取り付け面に貼り付けます。図 4-52 に示すように。

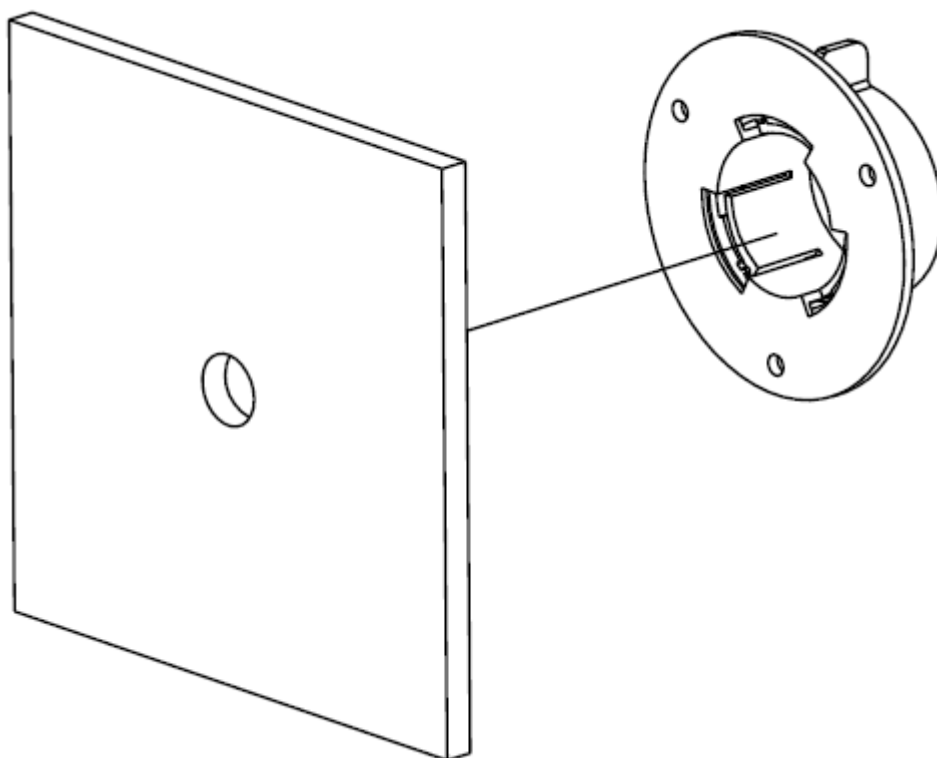


図 4-52 ブラケットの貼り付け

3. 円筒形センサを丸いレールブラケットの取り付け穴に取り付けます。
4. ロックスリーブを回してセンサを固定します。図 4-53 に示すように。

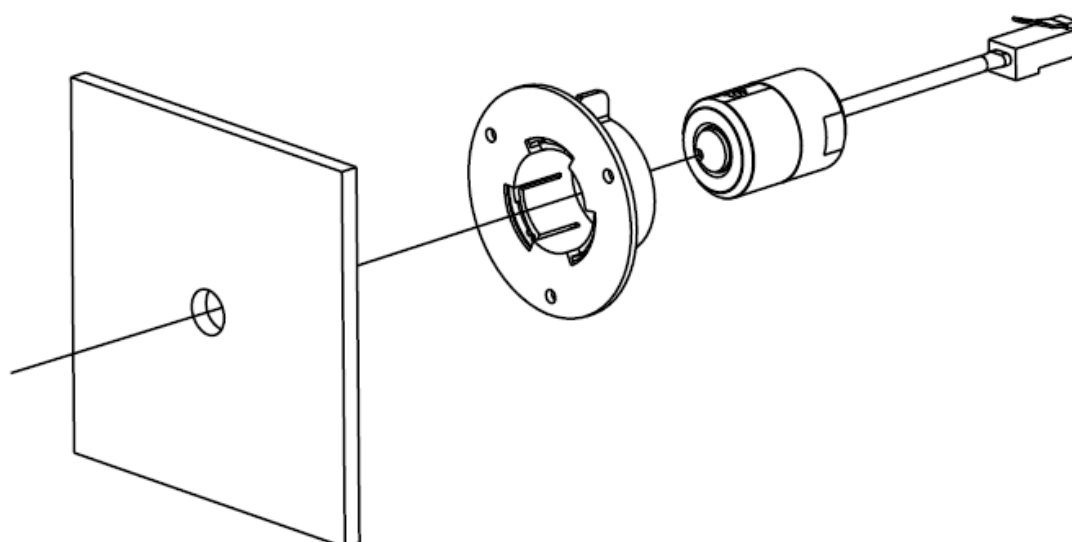


図 4-53 円筒形センサの取り付け

4.8 タイプ VIII バレットカメラ

4.8.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概要を以下に示します。

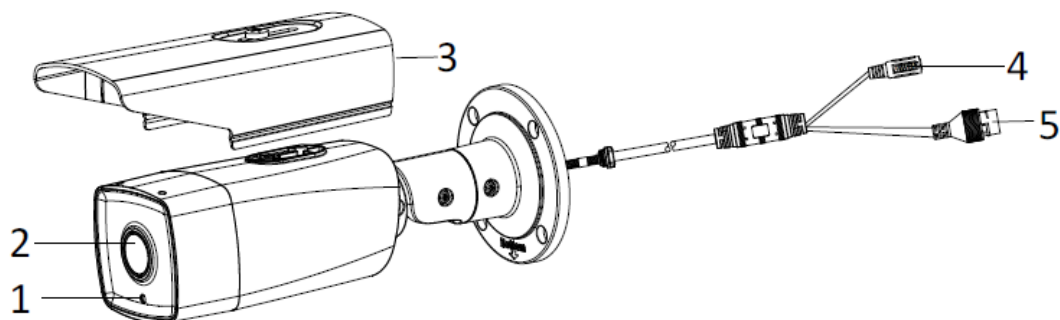


図 4-54 概観

表 4-9 説明

番号	説明
1	フォトレジスタ
2	レンズ
3	サンシールド
4	電源インターフェイス
5	ネットワークインターフェイス



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

4.8.2 インストール

❖ 天井取り付け

手順:

1. 付属ドリルテンプレートに応じて天井にネジ穴とケーブル穴をドリルします。

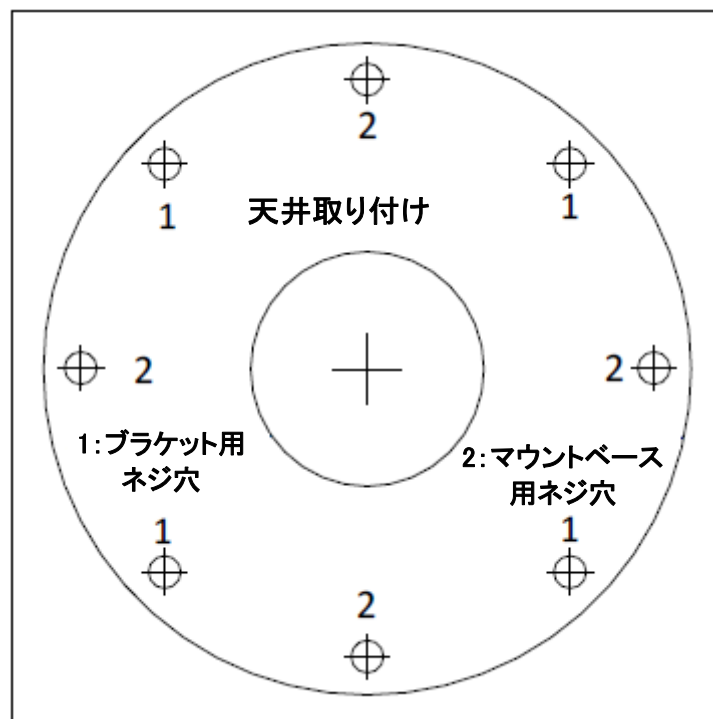


図 4-55 ドリルテンプレート

2. 付属のネジで壁にカメラを固定します。



カメラはセメントの天井に取り付けられている場合、まず膨張ネジを挿入してください。カメラは木製の天井に取り付けられている場合、直接にセルフタッピングネジを使用することができます。

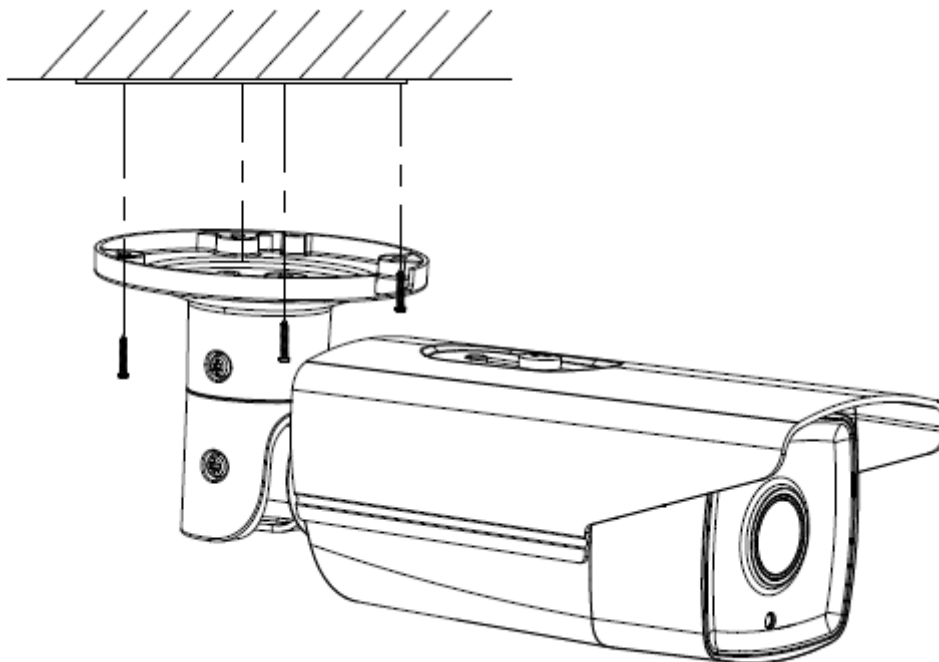


図 4-56 カメラのインストール

3. 監視角度を調整します。
 - 1) No.1 のロックネジを緩めて、チルト角度「 0° ~ 100° 」を調整します。
 - 2) No.2 のロックネジを緩めて、パン角度「 0° ~ 360° 」を調整します。
 - 3) No.3 のロックネジを緩めて、カメラを回転させます「 0° ~ 360° 」。
 - 4) ロックネジを締めます。

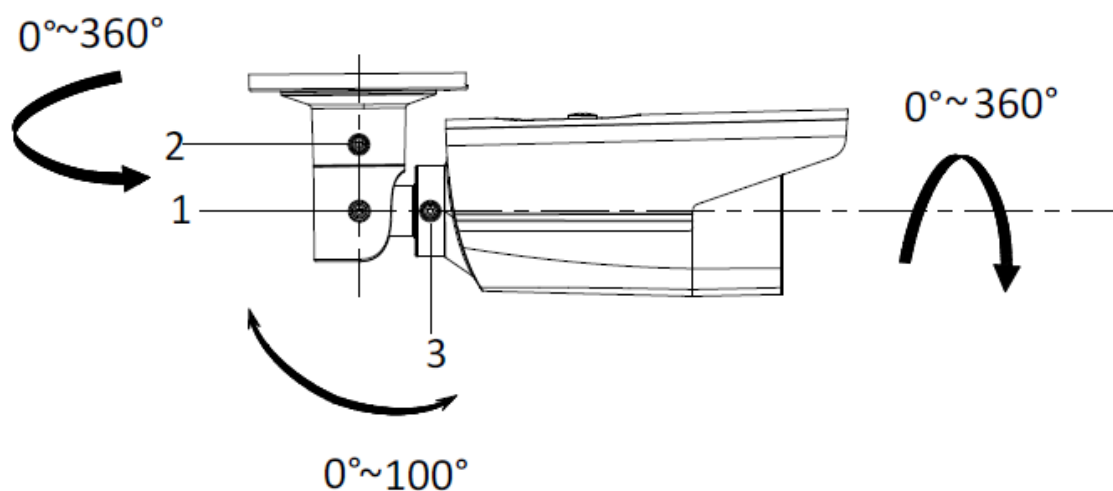


図 4-57 監視角度の調整

❖ ジャンクションボックスによるウォールマウント

1. 付属のドリルテンプレートに従ってネジ穴とケーブル穴をドリルします。(図 4-69 を参照してください)
2. ジャンクションボックスのネジ穴をドリルテンプレートに合わせ、ジャンクションボックスをネジで壁に固定します。
3. ケーブルを配線します。
4. カメラをジャンクションボックスにネジで固定します。
5. 天井取り付けの手順 3 に従って、監視角度を調整します。

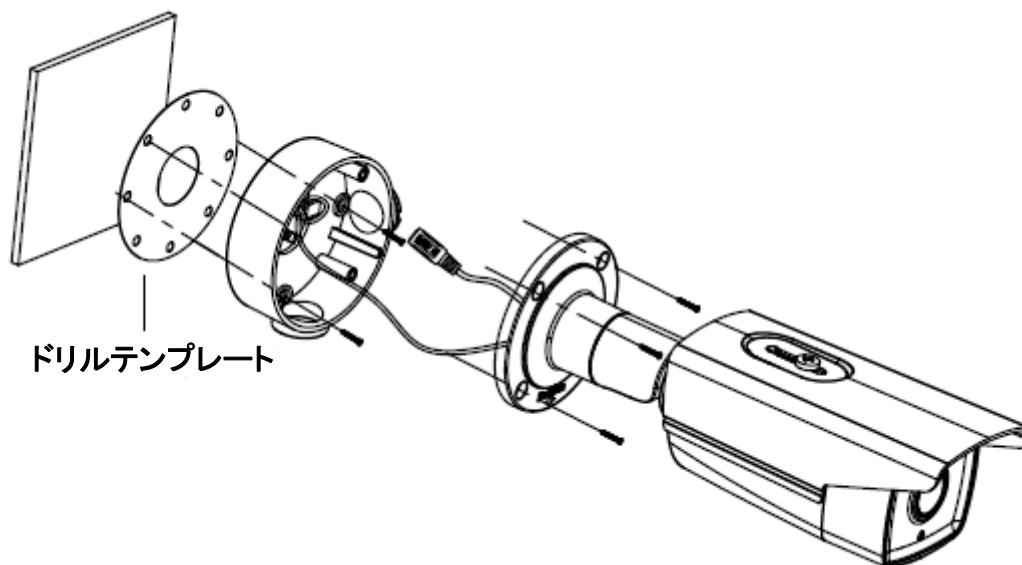


図 4-58 ジャンクションボックスによるインストール

❖ ギャングボックスによるウォールマウント



カメラをギャングボックスに取り付ける場合は、アダプタープレートを別途購入する必要があります。

手順:

1. ギャングボックスにアダプタープレートを取り付けます。
2. ケーブルを配線します。
3. ネジでカメラをアダプタープレートに固定します。
4. 天井取り付けの手順 3 に従って監視角度を調整します。

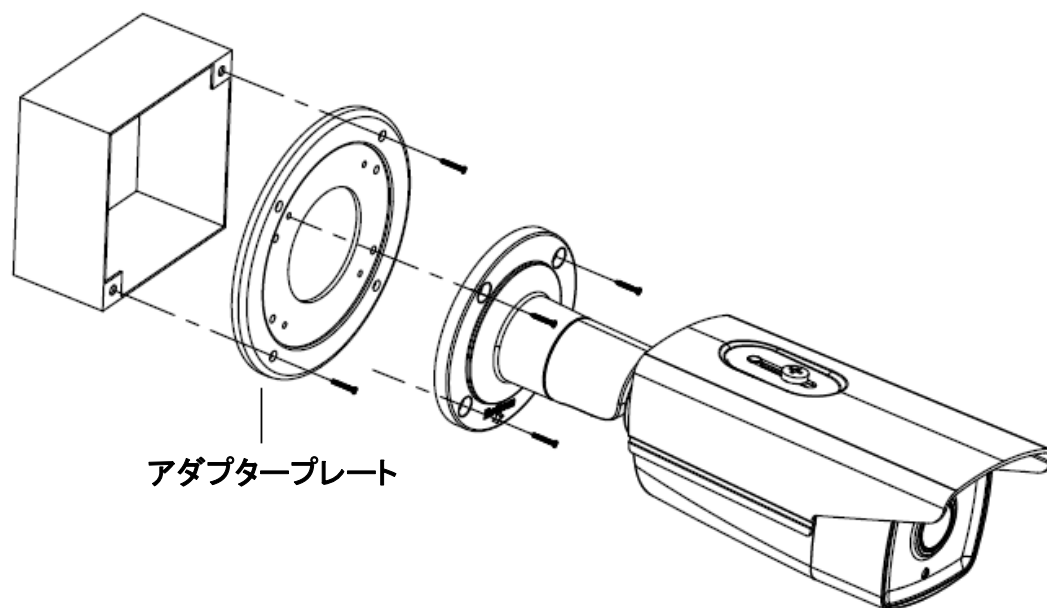


図 4-59 ギャングボックスによるインストール

4.9 タイプ IX バレットカメラ

4.9.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概要を以下に示します。

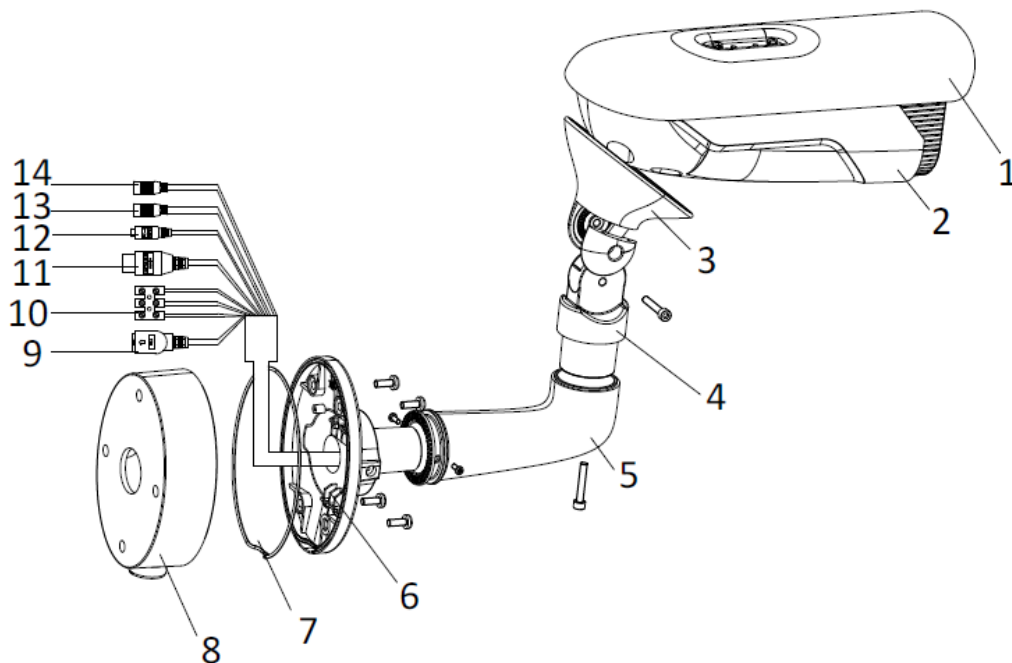


図 4-60 概観(1)

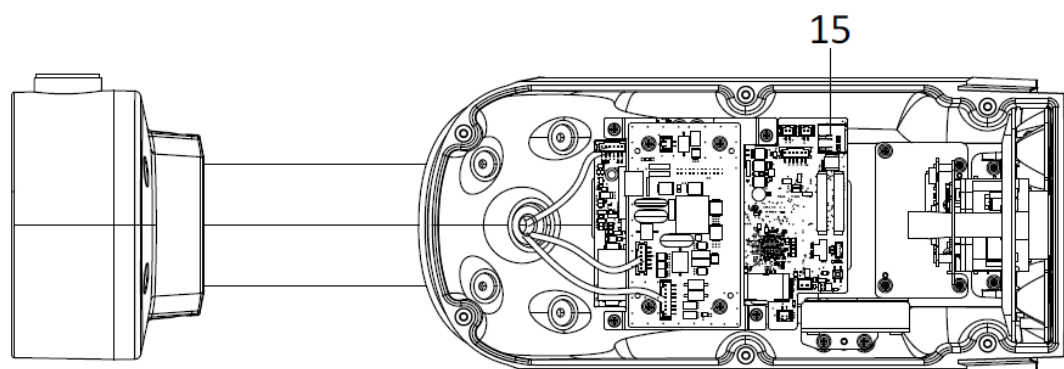


図 4-61 概観(2)

表 4-10 説明

番号	説明
1	サンシールド
2	カメラ本体
3	ブラケットトレイ

4	ブラケットヒンジ
5	ブラケットベアリング
6	マウントベース
7	シールリング
8	ジャンクションボックス
9	ネットワークケーブルインターフェイス
10	電源ケーブルインターフェイス
11	アラームインターフェイス IN、G: アラーム入力 1A、1B: アラーム出力
12	RS-485 通信インターフェイス
13	音声入力
14	音声出力
15	SD カードスロット



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

4.9.2 インストール

❖ 天井取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ留めとケーブル穴をドリルします。

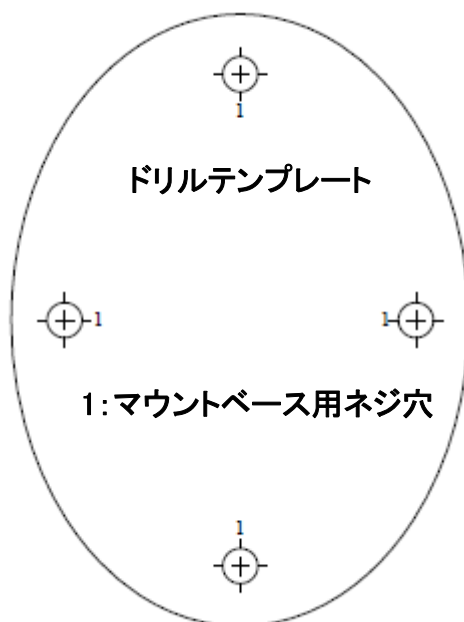


図 4-62 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでジャンクションボックスを天井に固定します。



カメラがセメント天井に取り付けられている場合は、まず拡張ネジを挿入してください。カメラが木製の天井に取り付けられている場合は、タッピングネジを直接使用できます。

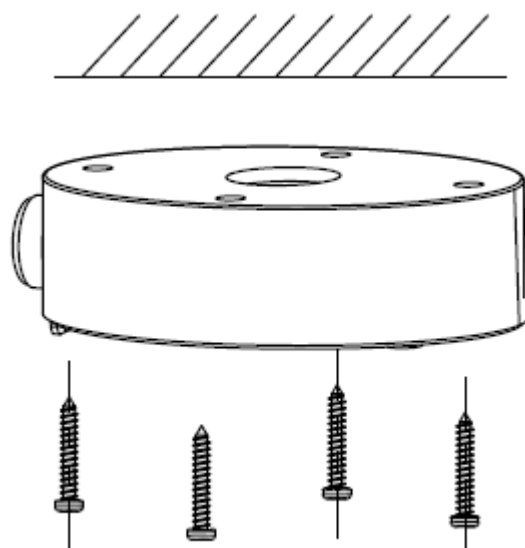


図 4-63 ジャンクションボックスのインストール

3. ケーブルを配線します。

4. マウントベースのネジ穴をジャンクションボックスのネジ穴に合わせ、ネジでカメラを締め
ます。

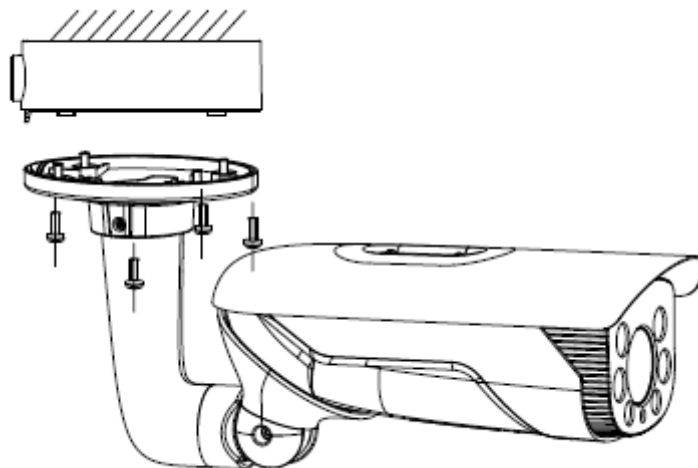


図 4-64 カメラの取り付け

5. カメラのロックネジを締めて取り付けを完了します。

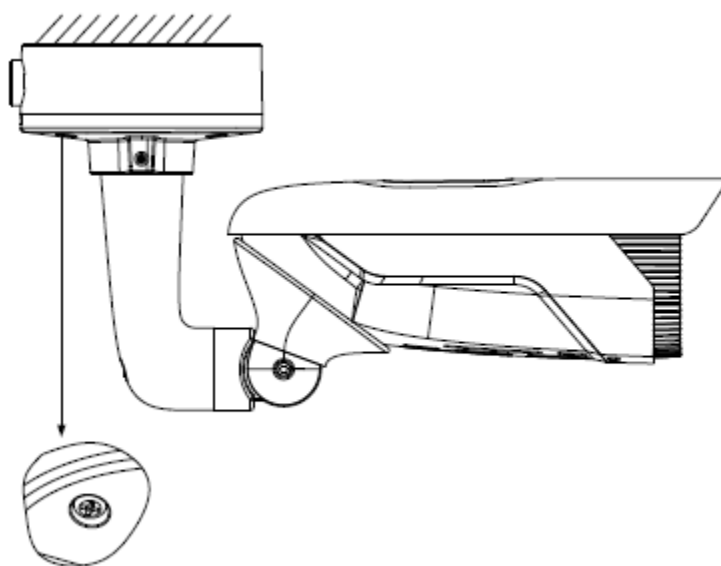


図 4-65 ロックネジを締める

❖ ウォールマウント

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ留めとケーブル穴をドリルします。

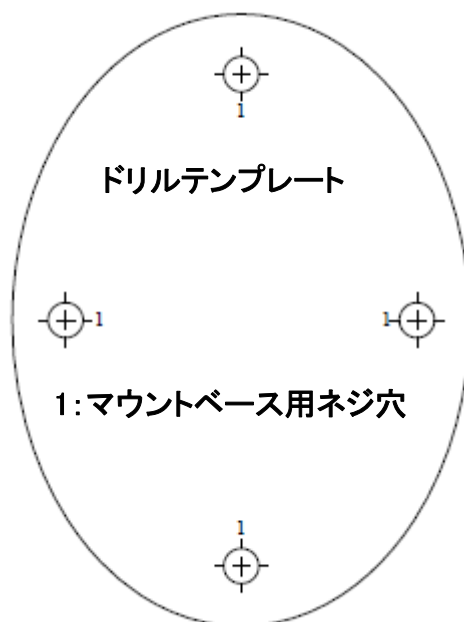


図 4-66 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでジャンクションボックスを壁に固定します。



カメラがセメント天井に取り付けられている場合は、まず拡張ネジを挿入してください。カメラが木製の天井に取り付けられている場合は、タッピングネジを直接使用できます。

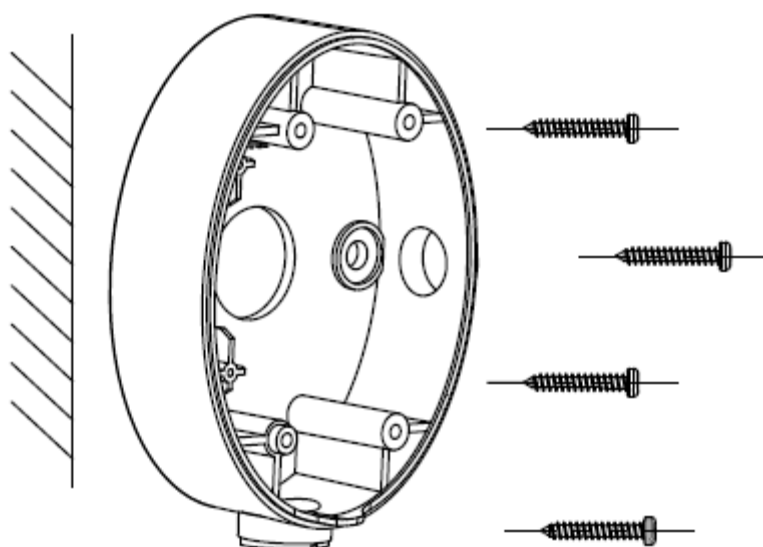


図 4-67 ジャンクションボックスのインストール

3. ケーブルを配線します。

4. 取り付けベースのネジ穴をジャンクションボックスのネジ穴に合わせ、ネジでカメラを壁に固定します。

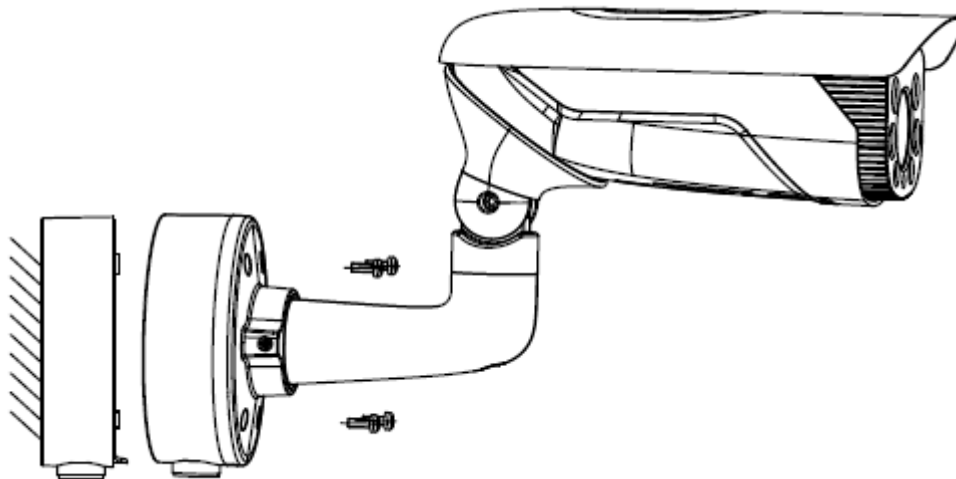


図 4-68 カメラの取り付け

5. カメラのロックネジを締めて取り付けを完了します。

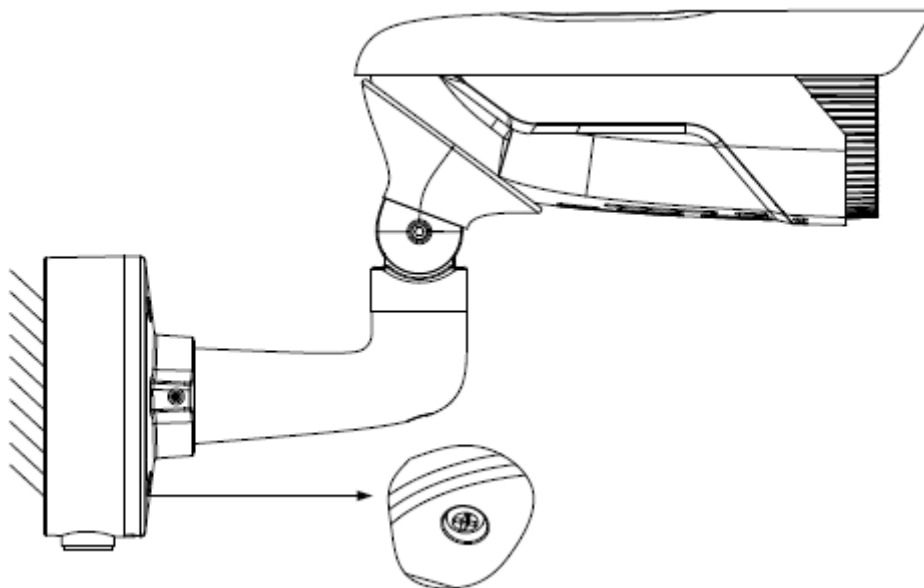


図 4-69 ロックネジを締める

❖ 3 軸調整

このシリーズのカメラは 3 軸調整をサポートしており、以下の手順でカメラを希望の監視角度に調整することができます。

手順：

1. No.1 のロックネジを緩め、パン角度 $\pm 180^\circ$ を調整します。

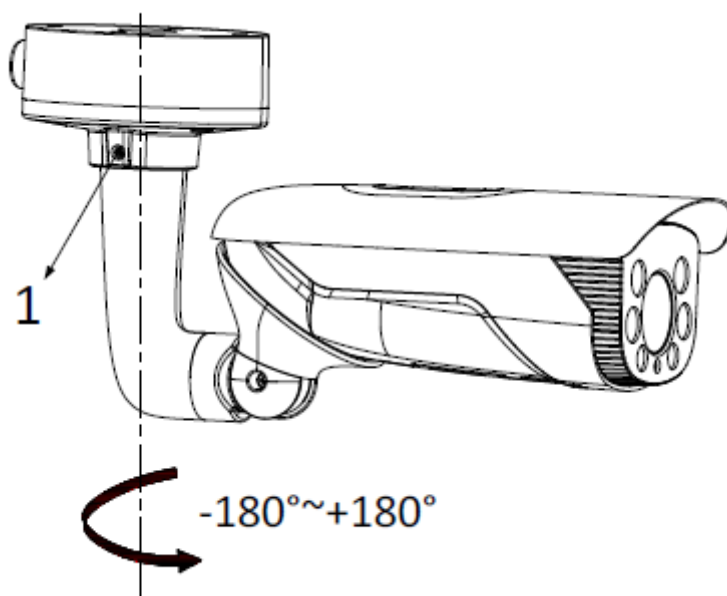


図 4-70 パン角度の調整

2. No.2 ロックネジを緩め、チルト角を $\pm 180^\circ$ に調整します。

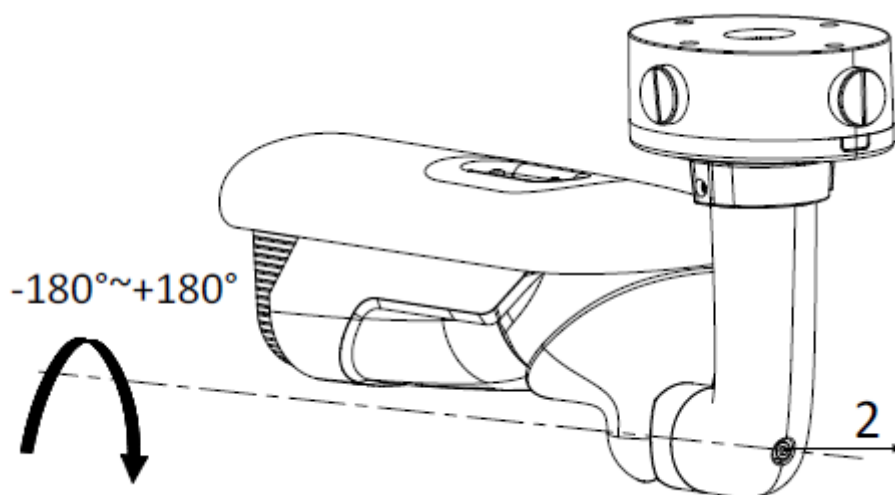


図 4-71 チルト角度の調整

3. No.3 ロックネジを緩め、カメラ本体を「 $0^\circ \sim 105^\circ$ 」回転させて、カメラを希望の画角に調整します。

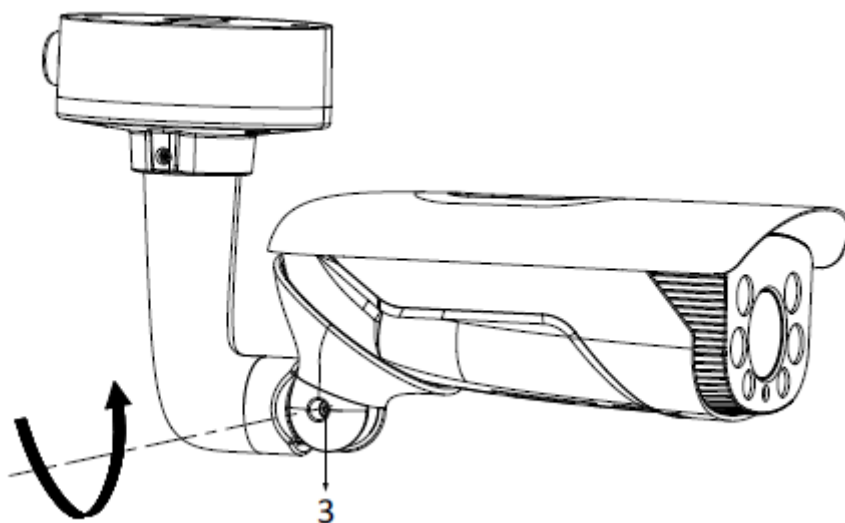


図 4-72 回転角度の調整

4. 調整が完了したら、ネジを締めてください。

4.10 タイプ X バレットカメラ

4.10.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概要を以下に示します。

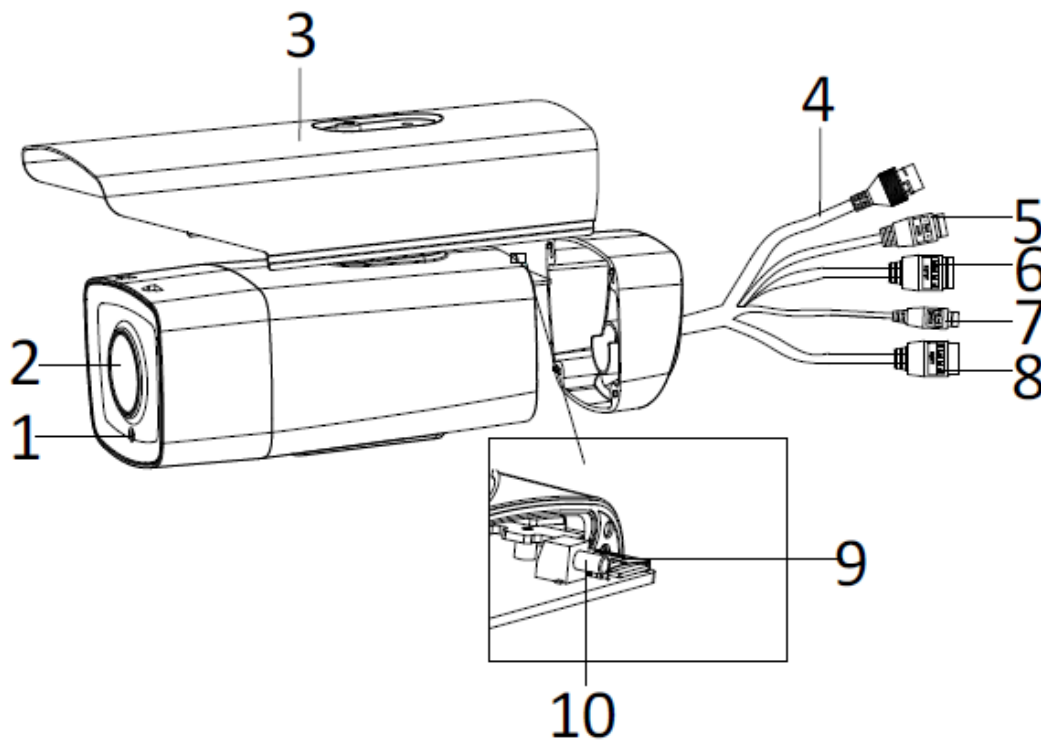


図 4-73 概観

表 4-11 説明

番号	説明
1	フォトレジスタ
2	レンズ
3	サンシールド
4	ネットワークインターフェイス
5	電源インターフェイス
6	アラーム入力/出力
7	RS-485 インターフェイス
8	音声入力/出力
9	SD カードスロット
10	リセットボタン



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

4.10.2 インストール

❖ ウォールマウント



ウォールマウントが選択されている場合は、壁掛けを別途購入する必要があります。

手順:

1. マウントのロックネジを緩め、壁掛けからチルト調整テーブルを取り外します。

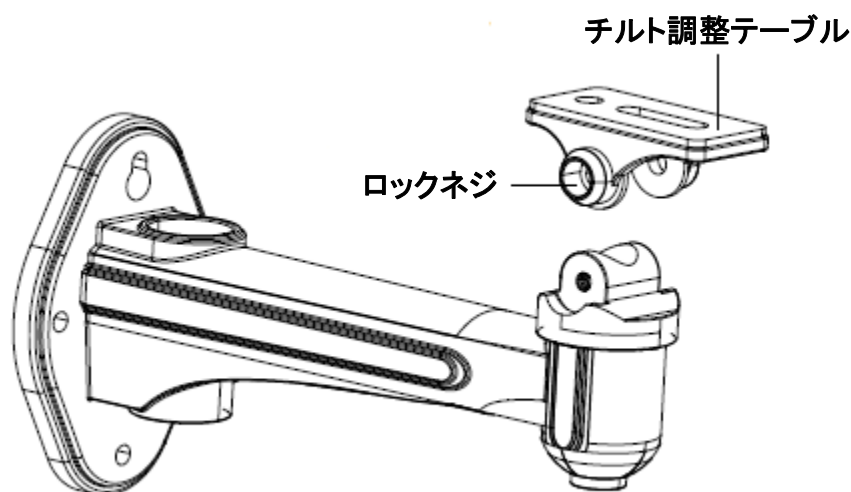


図 4-74 チルト調整テーブルの取り外し

2. 壁マウントを壁に固定します。

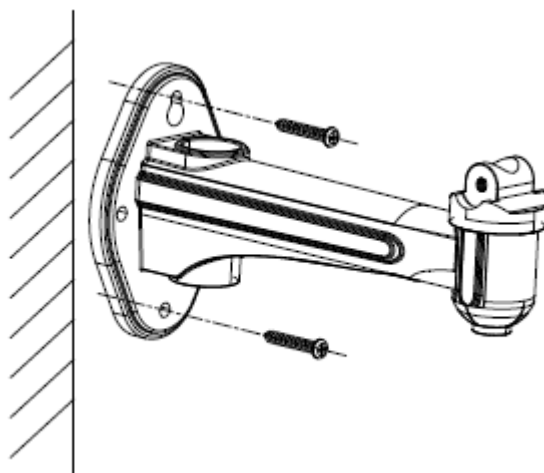


図 4-75 壁マウントの固定

3. 取り外したチルト調整テーブルをカメラに取り付け、2本のネジで固定します。

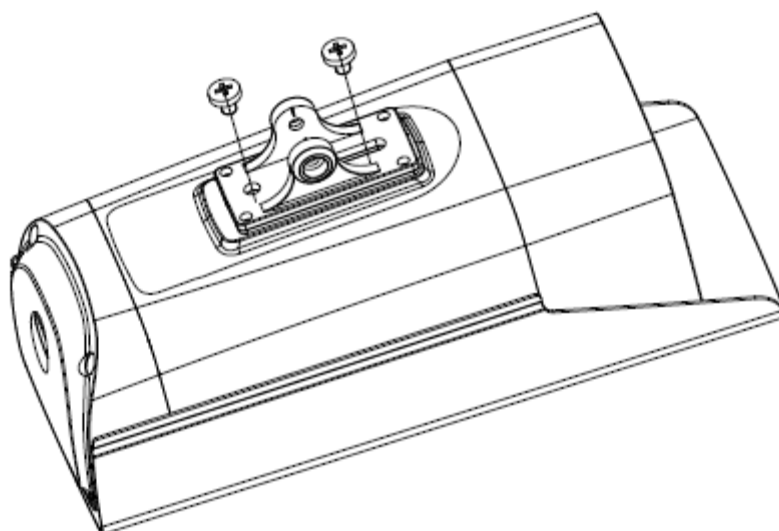


図 4-76 チルト調整テーブルのインストール

4. カメラを壁面マウントに取り付け、2本のロックネジを締めます。
5. 監視角度を調整します。
 - 1) パン調整ネジを緩めて、パン角度「 0° ~ 360° 」を調整します。
 - 2) チルト調整ネジを緩めて、チルト角度「 0° ~ $\pm 45^{\circ}$ 」を調整します。
 - 3) パン/チルト調整ネジを締めます。

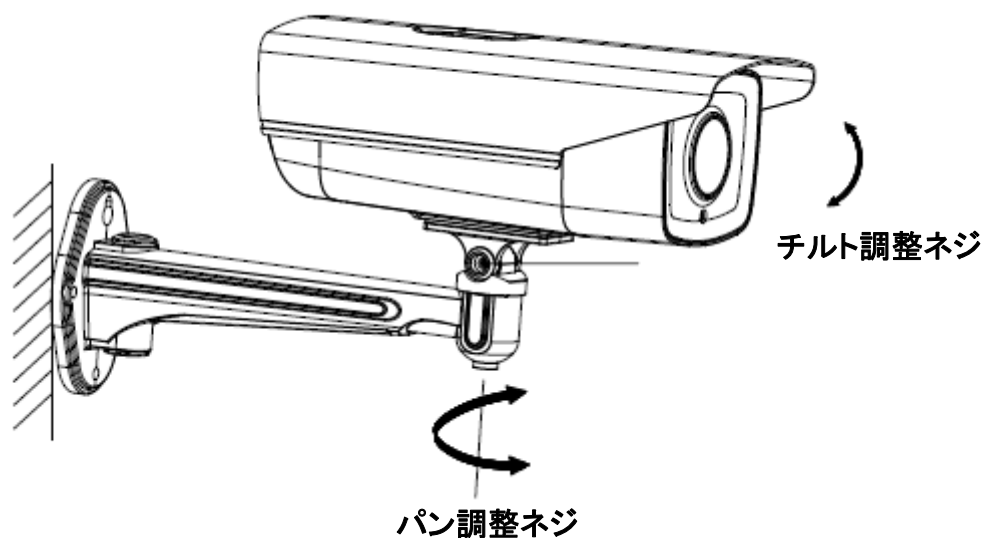


図 4-77 監視角度の調整

6. RJ-45 プラグの防水ケースを設置してください。
 RJ-45 プラグの防水ケースは、水による短絡故障を回避するために設けられています。下の図のように保護ケースを取り付けてください。

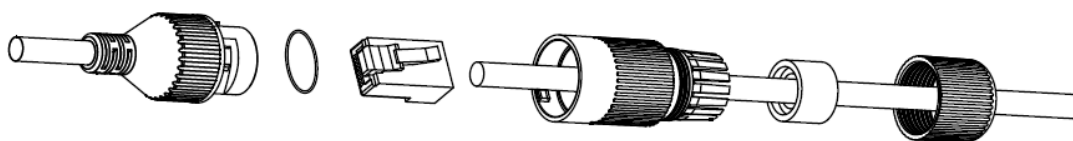


図 4-78 防水ケースの取り付け

❖ **マイクロ SD カードのインストール**

1. サンシールドのロックネジを緩め、サンシールドを取り外します。

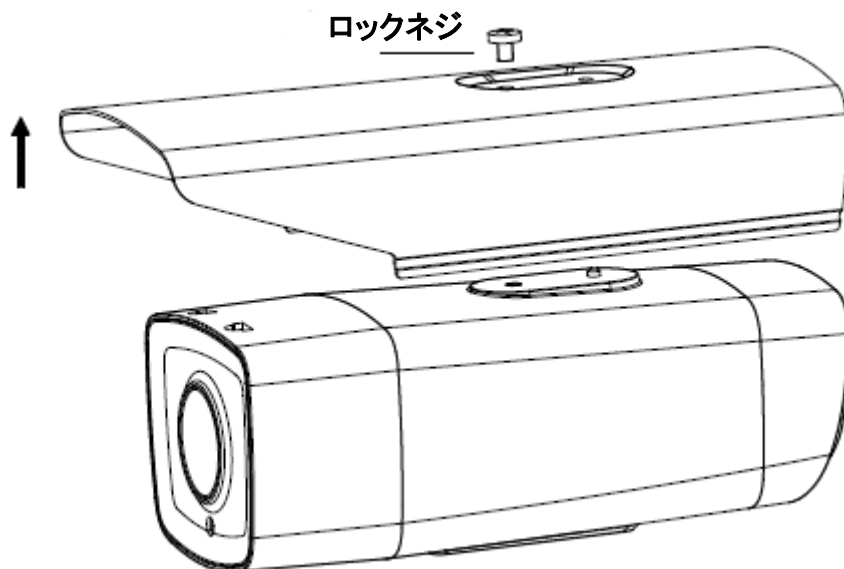


図 4-79 サンシールドの取り外し

2. バックカバーの 4 本のネジを緩めて、バックカバーを取り外します。

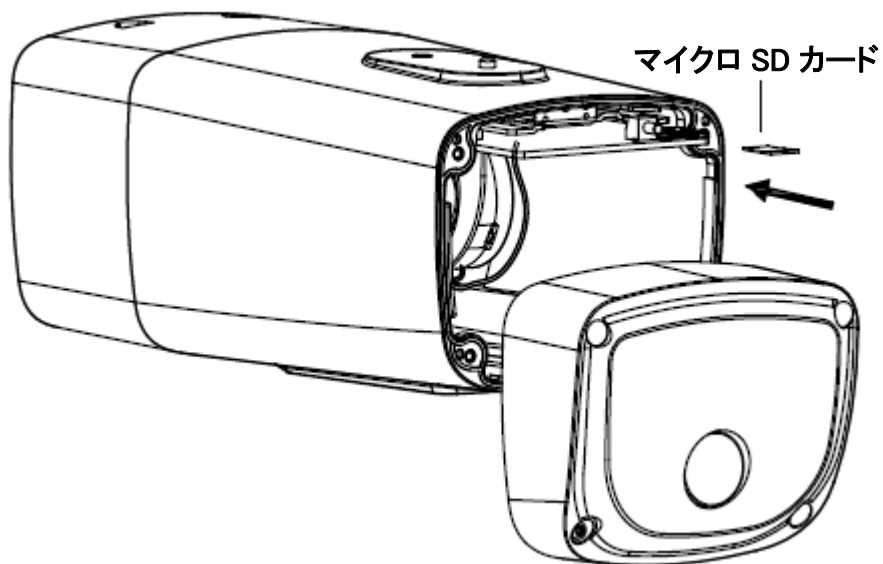


図 4-80 マイクロ SD カードの取り付け

3. マイクロ SD カードをカードスロットに挿入します。
4. (オプション) 挿入された SD カードをわずかに押して、内蔵されたスプリングでカードを取り外します。
5. バックカバーとサンシールドを取り付けます。

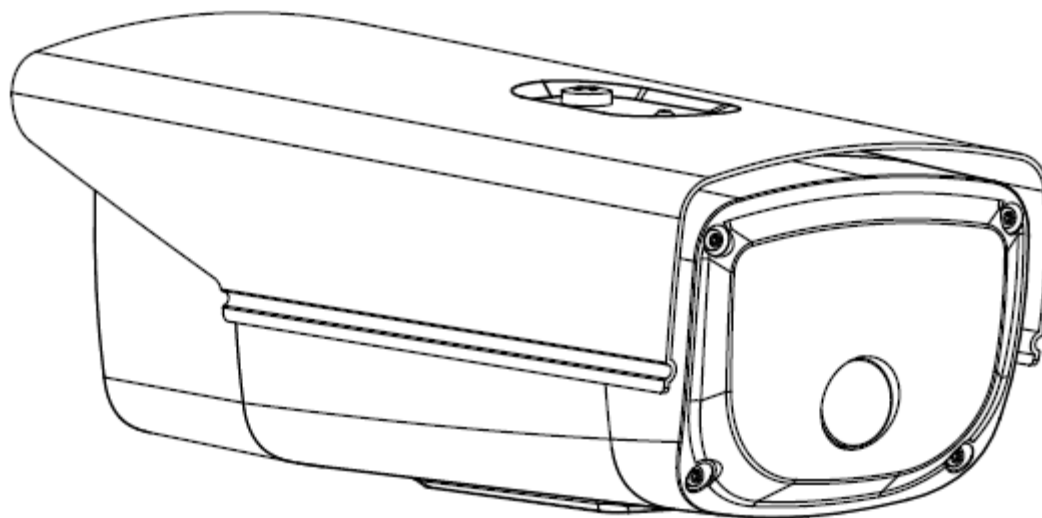


図 4-81 バックカバーとサンシールドの取り付け

4.11 タイプ XI バレットカメラ

4.11.1 カメラの説明

ネットワークバレットカメラの概要を以下に示します。

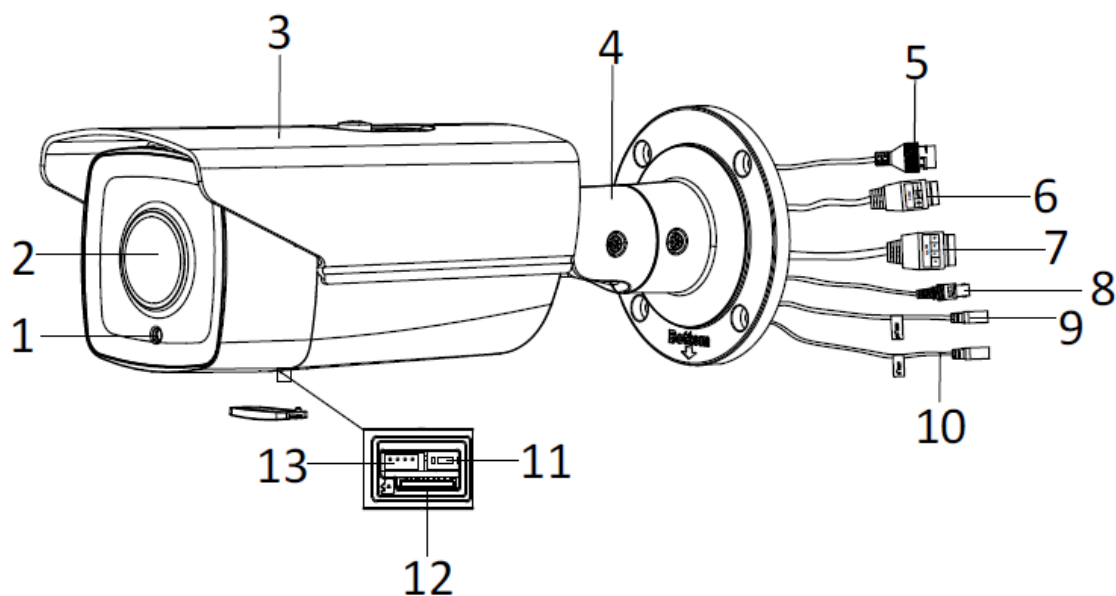


図 4-82 概観

表 4-12 説明

番号	説明
1	フォトレジスタ
2	レンズ
3	サンシールド
4	3 軸ブラケット
5	ネットワークケーブルインターフェイス
6	電源ケーブルインターフェイス
7	アラームケーブルインタフェース
8	ビデオケーブルインターフェイス
9	音声出力
10	音声入力
11	リセットボタン
12	マイクロ SD カードスロット
13	シリアルポート



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

4.11.2 インストール

❖ 天井取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。

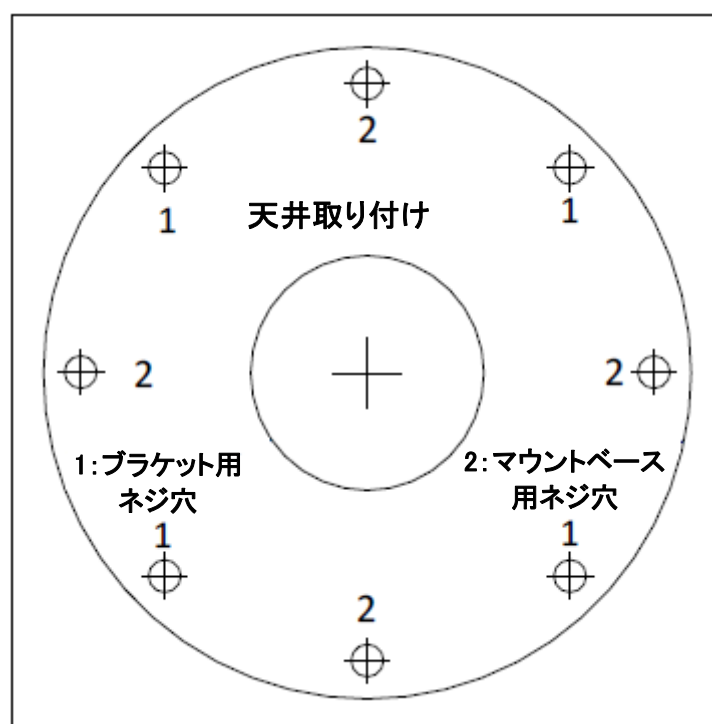


図 4-83 ドリルテンプレート

2. 付属のネジでカメラを壁に固定します。



カメラがセメント天井に取り付けられている場合は、まず拡張ネジを挿入してください。カメラが木製の天井に取り付けられている場合は、タッピングネジを直接使用できます。

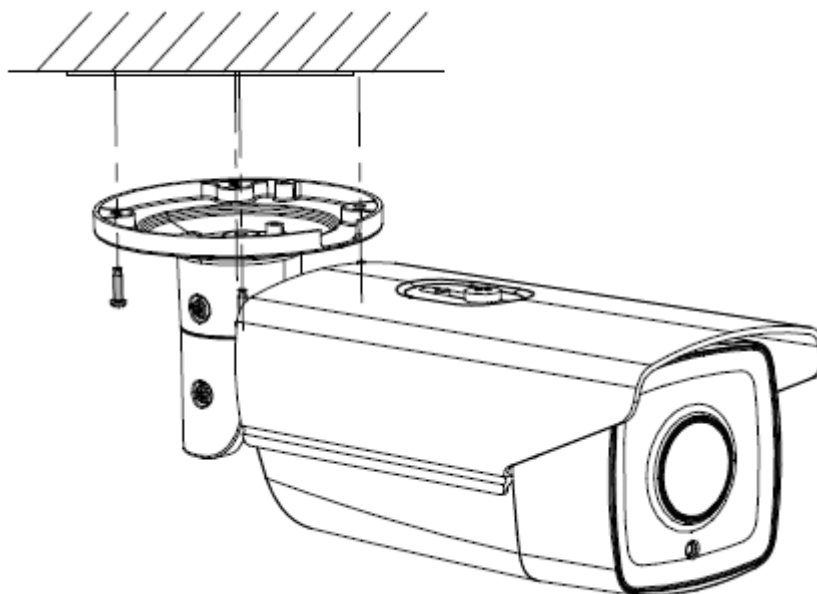


図 4-84 カメラの取り付け

3. 監視角度を調整します。

- 1) No.1 のロックネジを緩めて、チルト位置「0° ~100°」を調整します。
- 2) No.2 のロックネジを緩めて、パン位置「0° ~360°」を調整します。
- 3) No.3 のロックネジを緩めて、カメラを回転させます「0° ~360°」。
- 4) ロックネジを締めます。

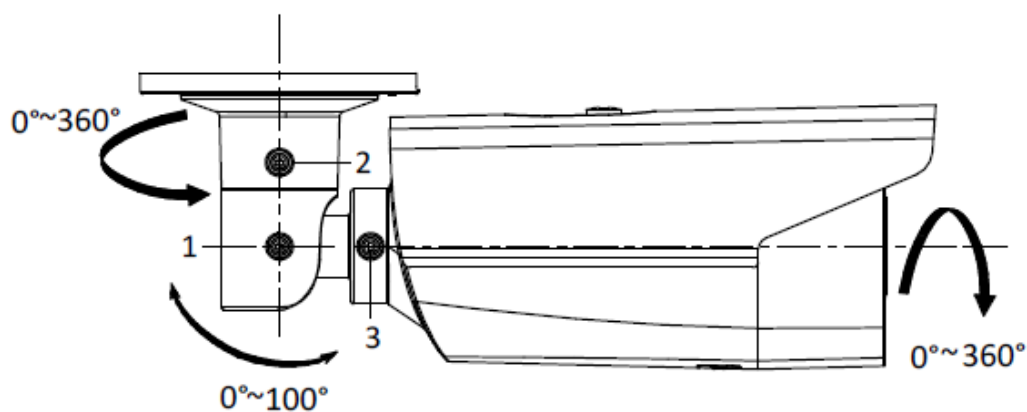


図 4-85 監視角度の調整

❖ ジャンクションボックスによるウォールマウント

1. 付属のドリルテンプレートに従ってネジ穴とケーブル穴をドリルします。(図 4-90 を参照してください)
2. ジャンクションボックスのネジ穴をドリルテンプレートに合わせ、ジャンクションボックスをネ

- ジで壁に固定します。
3. ケーブルを配線します。
 4. カメラをジャンクションボックスにネジで固定します。
 5. 天井取り付けの手順 3 に従って、監視角度を調整します。

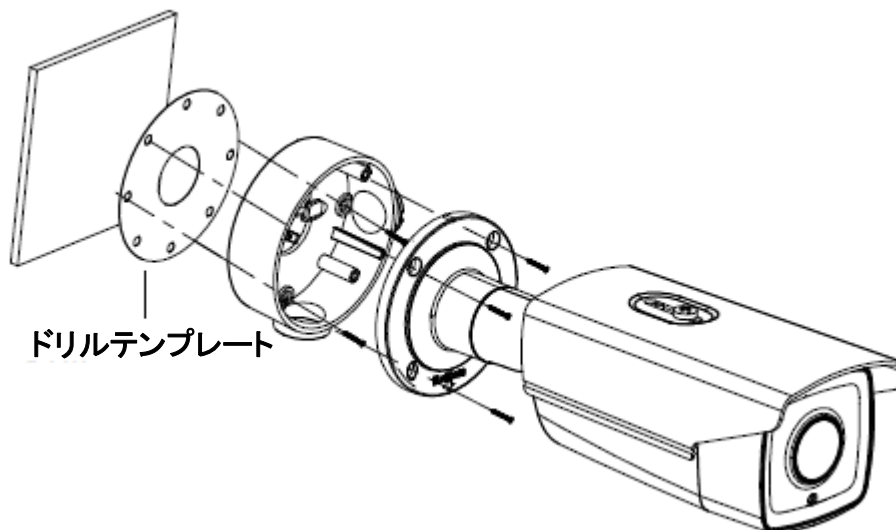


図 4-86 ジャンクションボックスによる取り付け

❖ ギャングボックスによるウォールマウント



カメラをギャングボックスに取り付ける場合は、アダプタープレートを別途購入する必要があります。

手順:

1. アダプタープレートをギャングボックスに取り付けます。
2. ケーブルを配線します。
3. カメラをアダプタープレートにネジで固定します。
4. 天井取り付けの手順 3 に従って、監視角度を調整します。

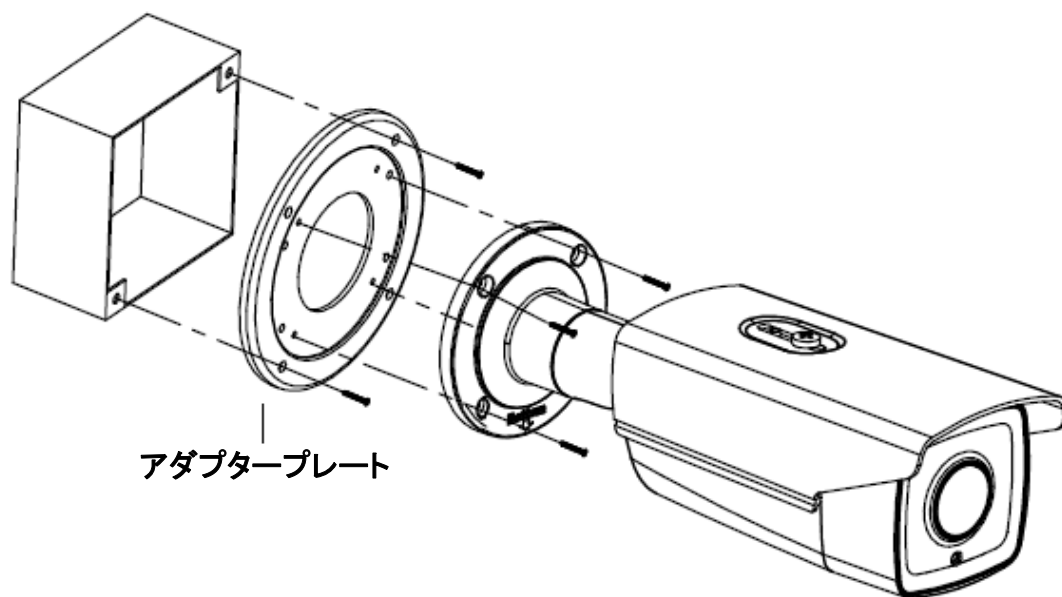


図 4-87 ギャングボックスによる取り付け

第 5 章 タレットカメラの取り付け

5.1 カメラの説明

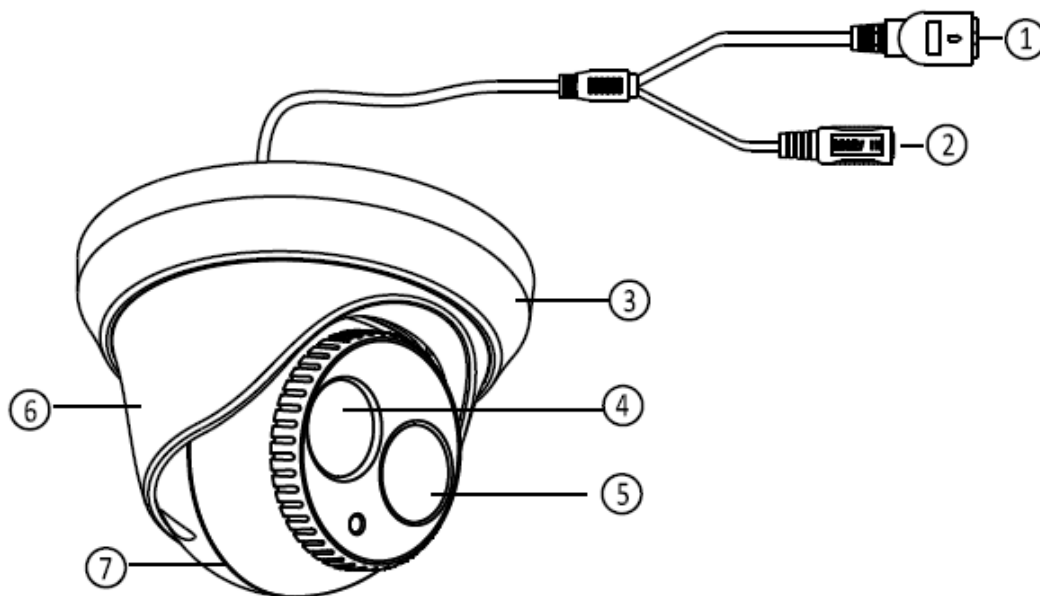


図 5-1 概観

表 5-1 説明

番号	説明
1	10M / 100M 自己適応イーサネット インターフェイス
2	電源ケーブル
3	トリムリング
4	レンズ
5	IR LED
6	エンクロージャー
7	ドームドライブ



電源アダプタがカメラに対応していることを確認してください。このシリーズのカメラは PoE (Power over Ethernet) をサポートし、標準電源は 12 VDC です。

5.2 インストール

手順:

1. トリムリングを反時計回りに回してカメラから取り外します。

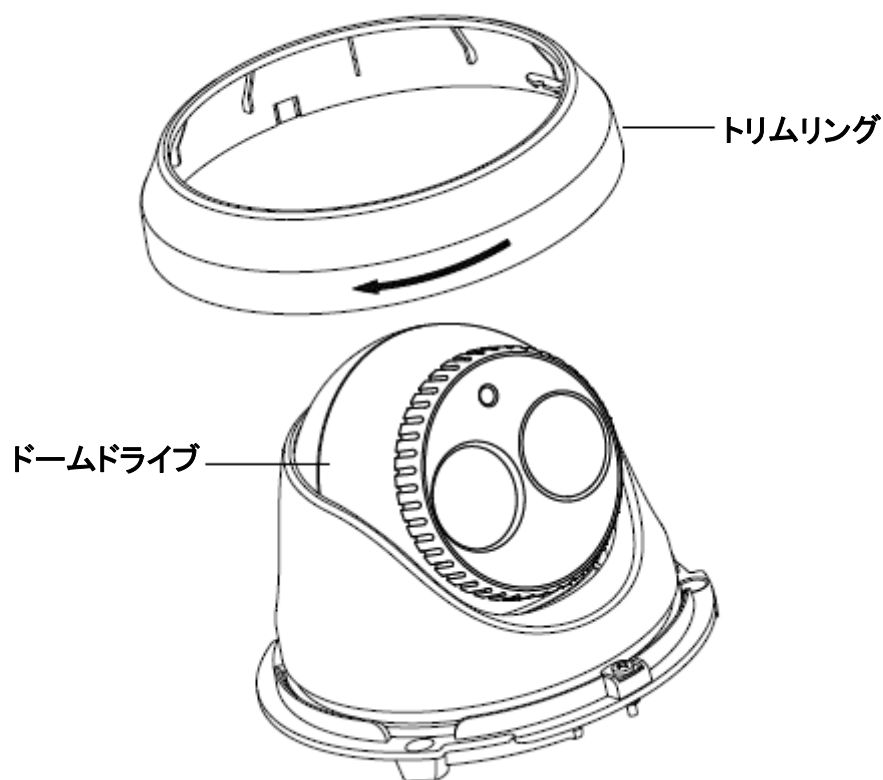


図 5-2 カメラの分解

2. ドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴を天井にドリルします。



図 5-3 ドリルテンプレート

2つのケーブルアウトレット方法があります。1つはケーブルをケーブルの穴に通し、もう1つは下に示す側面出口にケーブルを通すことです。

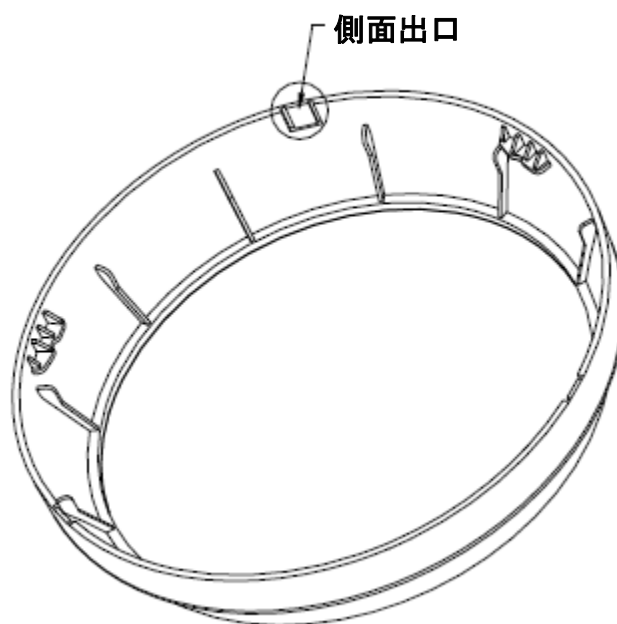


図 5-4 側面出口



エンクロージャーの3つの側面出口を選択することができます。これにより、天井にケーブル穴を開けずにケーブルの配線が容易になります。プライヤーを使用してプラスチックを取り外し、ケーブルを穴に通します。

3. 対応する電源/ネットワークケーブルを接続します。
4. 付属の拡張ネジでカメラを天井に固定します。

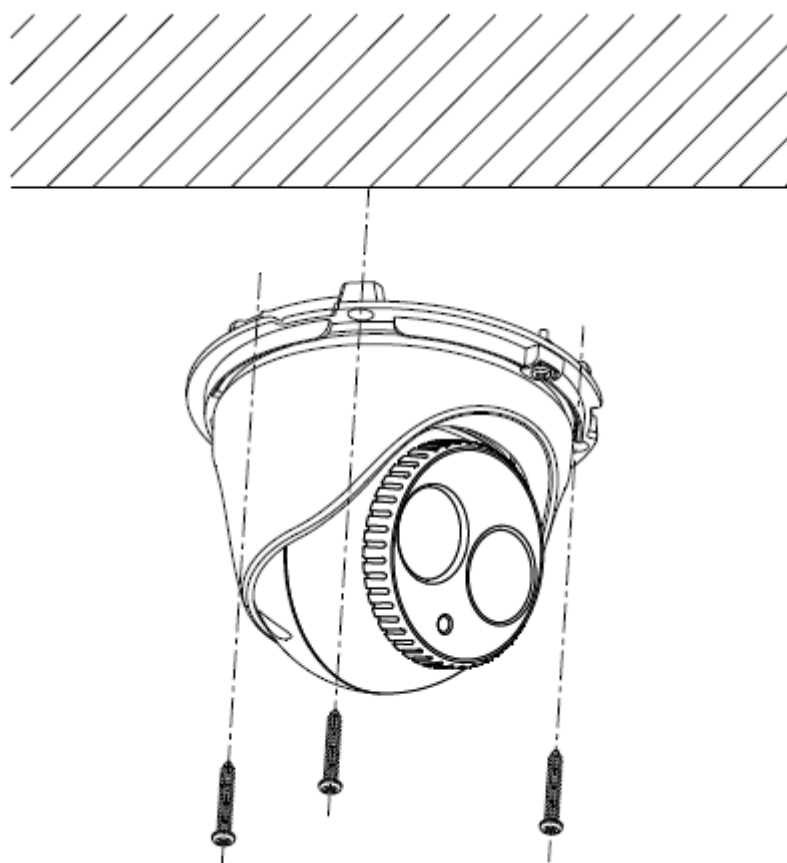


図 5-5 カメラを天井に固定する

5. レンズを調整します。
 - 1) ロックネジを緩めます。
 - 2) エンクロージャーを回転させてパン角度を調整します。カメラを回転させてチルト角度を調整します。
 - 3) ロックスクリューを締めて、最適な監視角度を固定します。

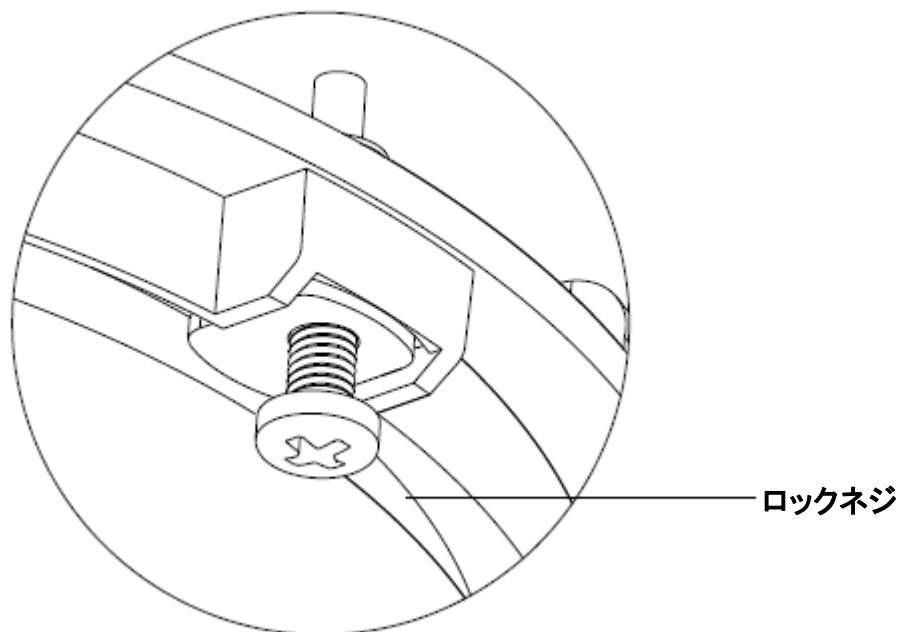


図 5-6 ロックネジ

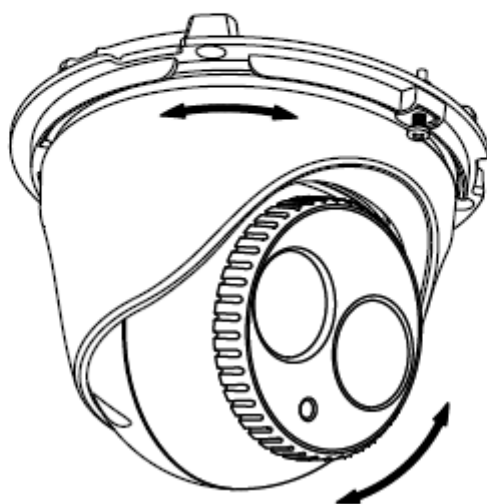


図 5-7 レンズの調整

6. トリムリングをカメラに取り付け、トリムリングを時計回りに回して固定します。

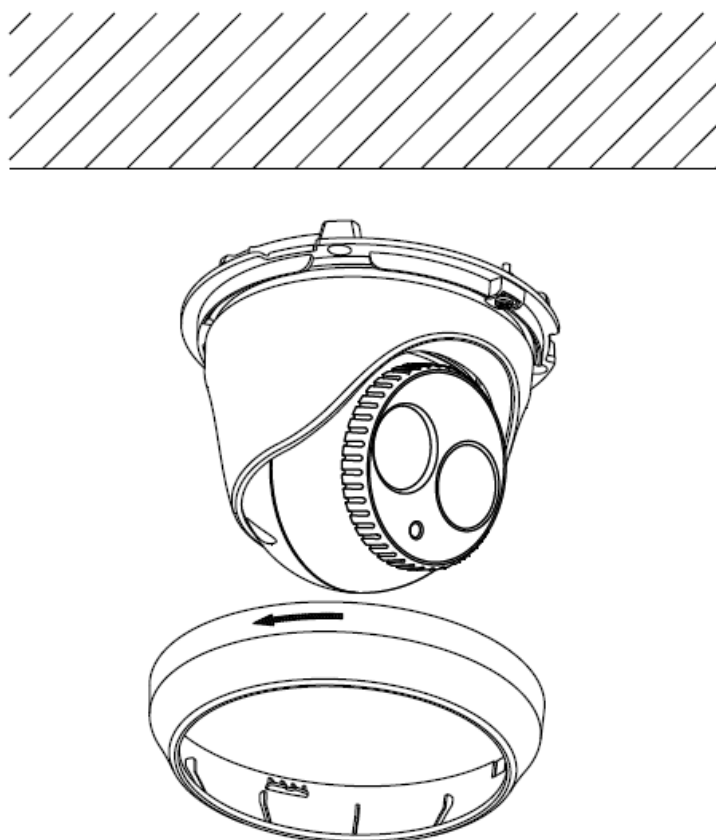


図 5-8 トリムリングのインストール

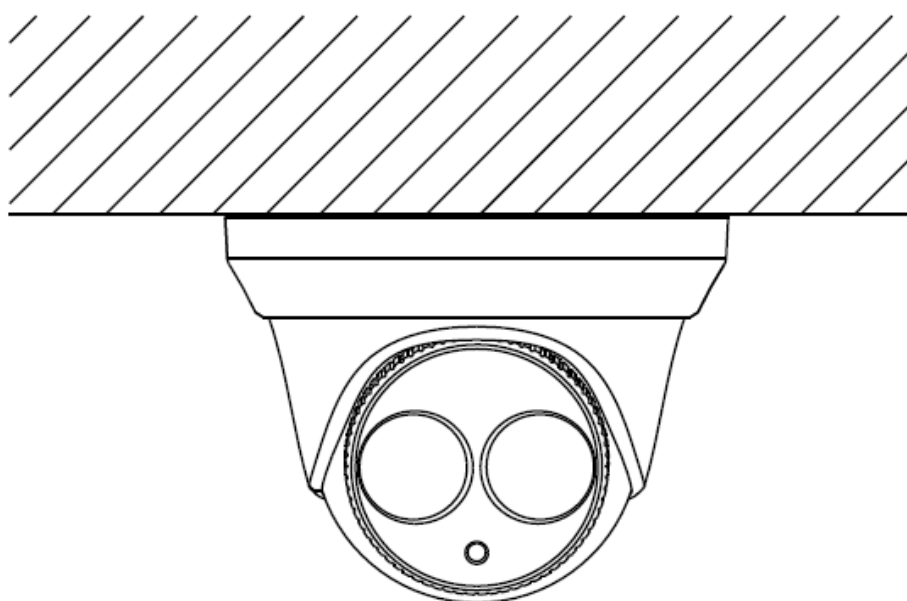


図 5-9 取り付け完成

第 6 章 キューブカメラの取り付け

6.1 タイプ I キューブカメラ

6.1.1 カメラの説明

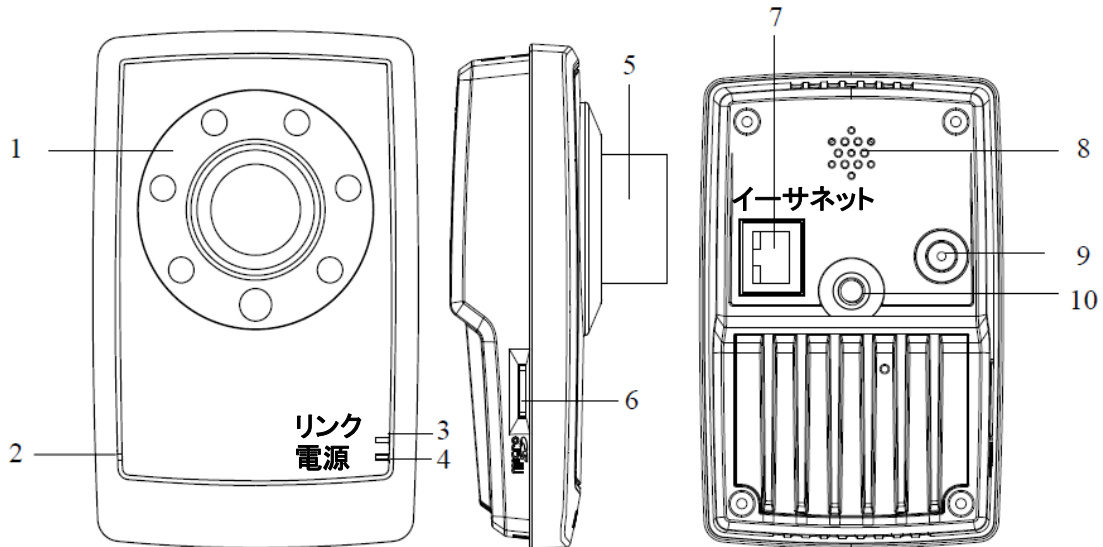


図 6-1 概観

表 6-1 説明

番号	説明
1	IR LED
2	マイクロフォン
3	リンク: ネットワークステータス LED インジケータ。 ネットワーク接続が正常に機能しているときは、 LED インジケータが黄色に点灯します。
4	電源 LED インジケータ。 ユニットに電源が供給されると、赤色に点灯します。
5	レンズ
6	マイクロ SD カードスロット
7	イーサネット: 10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
8	スピーカー
9	電源インターフェイス
10	ネジ穴、カメラをブラケットに固定する用
11	リセットボタン



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

6.1.2 インストール

手順:

1. 取り付けブラケットを天井に固定します。

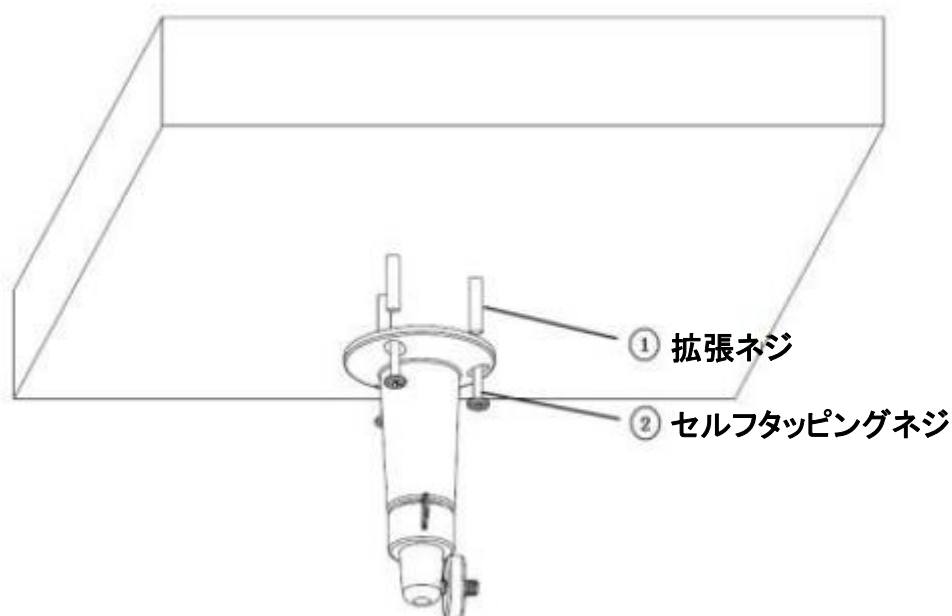


図 6-2 ブラケットの固定

2. カメラのネジ穴をブラケットに向け、カメラをしっかり回転させます。

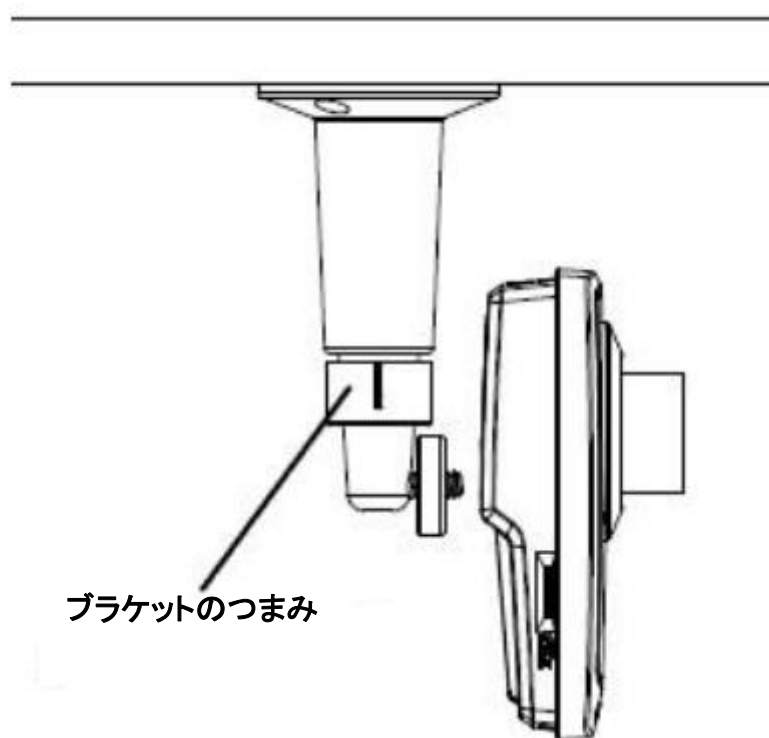


図 6-3 カメラの固定

3. ネットワーク経由でビデオ画像を表示します。ブラケットのつまみを緩め、カメラのレンズを調整して、必要な監視角度にします。ブラケットのつまみを締めてカメラを固定します。



図 6-4 取り付け完成

6.2 タイプ II キューブカメラ

6.2.1 カメラの説明

ネットワークキューブカメラの概要を以下に示します。

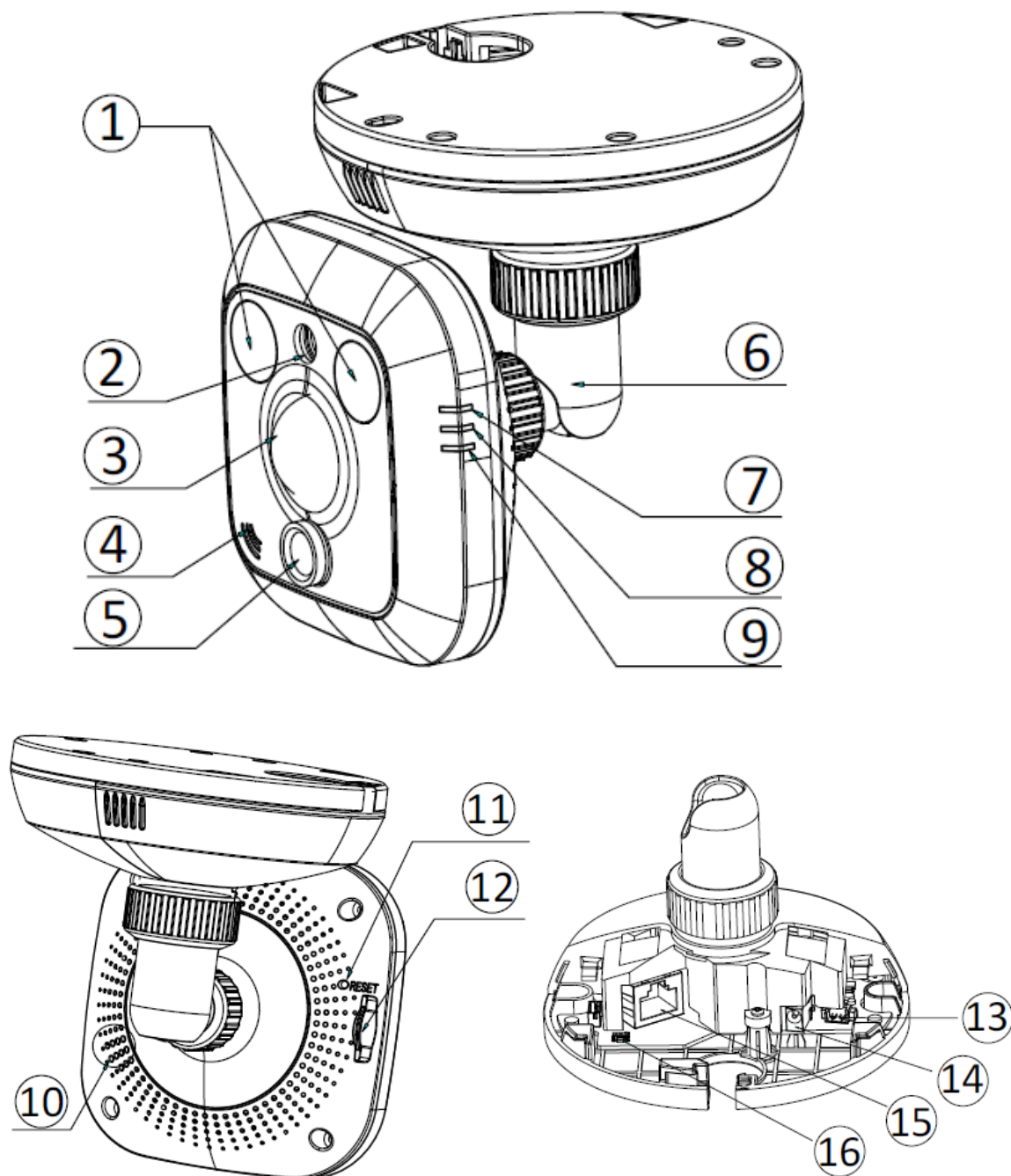


図 6-5 概観

表 6-2 説明

番号	説明
1	IR LED
2	フォトレジスタ
3	PIR センサ
4	マイクロフォン
5	レンズ
6	3 軸調整ブラケット
7	アラームインジケータ: インジケータは赤色(カメラが作動) または青色(カメラが非作動)になります。
8	ステータスインジケータ: 動きや存在が検出されると、インジケータが青色で点滅します。
9	リンクインジケータ: ネットワーク接続が正常の時は、インジケータがオレンジ色で点滅します。
10	スピーカー
11	リセット
12	マイクロ SD カードスロット
13	アラーム入力/出力、アース、音声出力インターフェイス (2C シリーズカメラのみ対応)
14	電源インターフェイス
15	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイスと PoE
16	WPS(Wifi プロテクトド セットアップ)ボタン



- ❖ カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。
- ❖ WPS 機能をサポートする 2C シリーズカメラの場合、以下の手順で WPS 機能を有効にする必要があります。

WPS 機能を備えた無線ルータが必要です。以下の手順を参照してください。

手順:

1. ルータの WPS ボタンを押します。
2. 120 秒以内にカメラの WPS ボタン(約 2 秒)を押すと、ルータの WPS をワイヤレスネットワークに接続することができます。

6.2.2 リモートコントロールの概要

便利な操作を行うために、リモコンが同梱されています。下の図を参照してください。

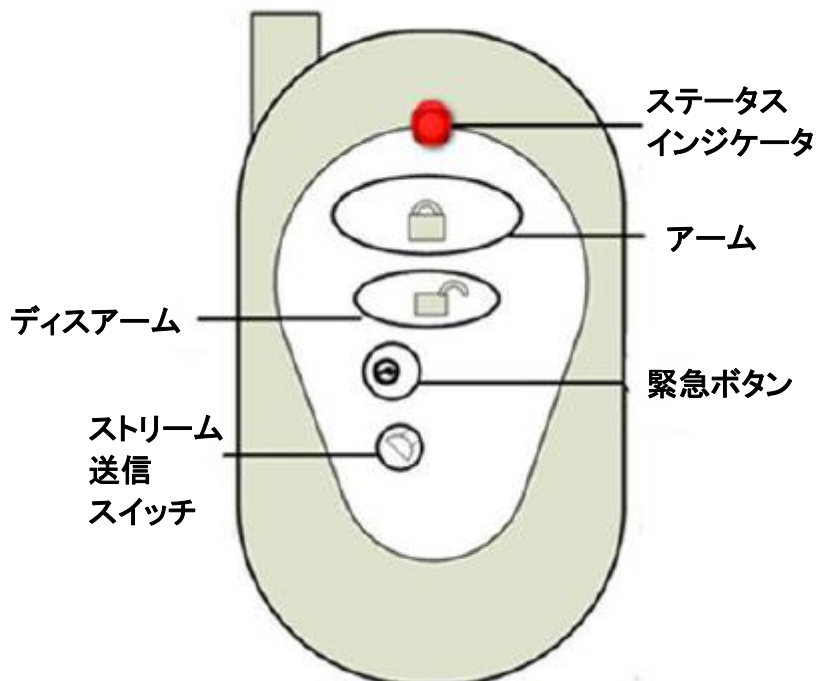


図 6-6 リモートコントロール

表 6-3 リモートコントロールボタンの説明

ボタン名称	説明
ステータスインジケータ	リモコンの状態を表示します。 いずれかのボタンを押すと、インジケータが赤く点滅します
アームボタン	ボタンを押してカメラをアームさせます。アーム状態では、無線アラームや PIR アラームなどのアラーム機能が有効になります。
デイスアームボタン	ボタンを押してカメラをデイスアームさせます。 解除状態では、アラームリンクージは無効になります。
緊急ボタン	ボタンを押すと、緊急アラームがトリガーされます。 緊急警報が最も優先されます。
ストリーム送信スイッチ	ビデオストリーム送信用のスイッチ。 ボタンを押してビデオストリームの送信を停止または開始します。 ビデオストリームが停止すると、リモートクライアントまたは Web ブラウザでライブビューを表示したり、レコードストリームを取得したりすることはできません。

6.2.3 インストール

手順:

1. 右のカバーをスライドさせてカメラから取り外します。固定器を取り外します。

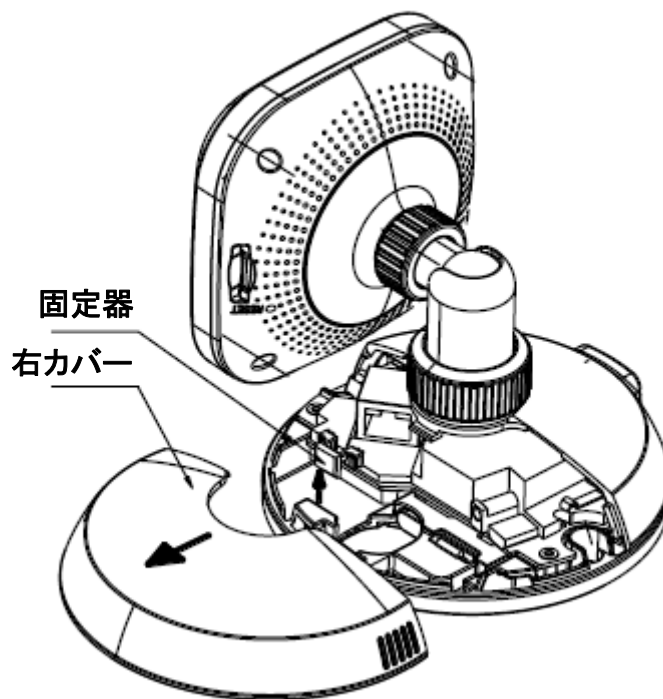


図 6-7 カバーと固定器の取り外し

2. 供給されたドリルテンプレートに従って、ネジ穴とケーブル穴をドリルします。



ケーブルをカメラの側面出口に通す場合は、ケーブルの穴を開けないでください。

3. 付属のネジでカメラを天井に固定します。

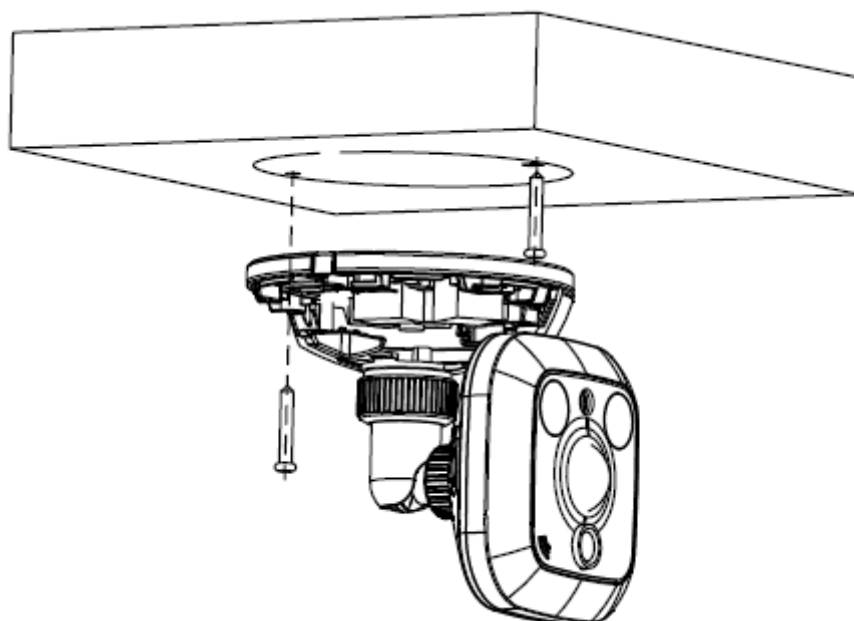


図 6-8 カメラの固定

4. 対応する電源ケーブルとネットワークケーブルをドリルされたケーブル穴に接続します。または、カメラの側面出口からケーブルを引き出します。
5. 右カバーと固定器を再取り付けします。

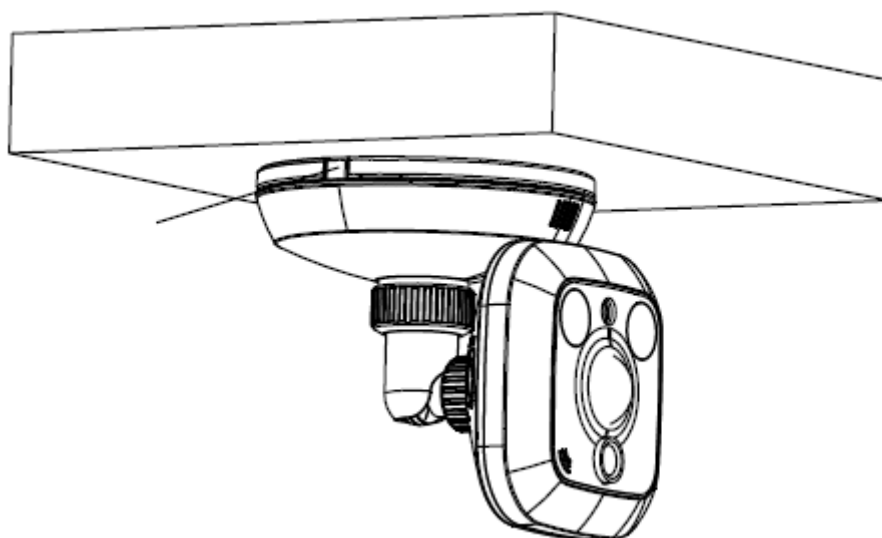


図 6-9 カバーと固定器の再インストール

6. 3軸調整します。
 - 1) ネットワークの経由でカメラの画像を表示します。
 - 2) ロックナット 1 を緩めて、パン位置とチルト位置を調整します。
 - 3) ロックナット 1 を締めます。
 - 4) ロックナット 2 を緩めて、カメラを回転させます。

- 5) ロックナット 2 を締めます。

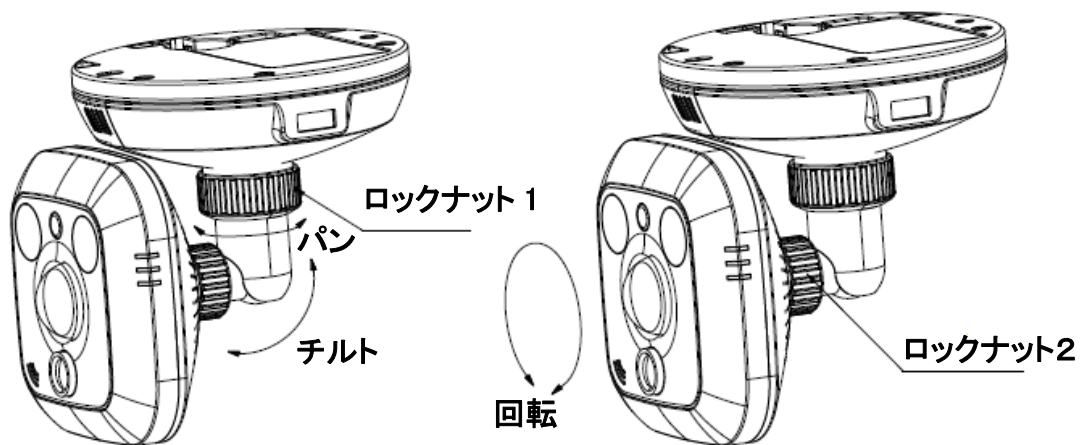


図 6-10 カメラの調整

6.3 タイプ III キューブカメラ

6.3.1 カメラの説明

24 シリーズカメラには 2 種類の外観があります。下の図を参照してください。下の章では、1 つの外観を例として取り上げます。

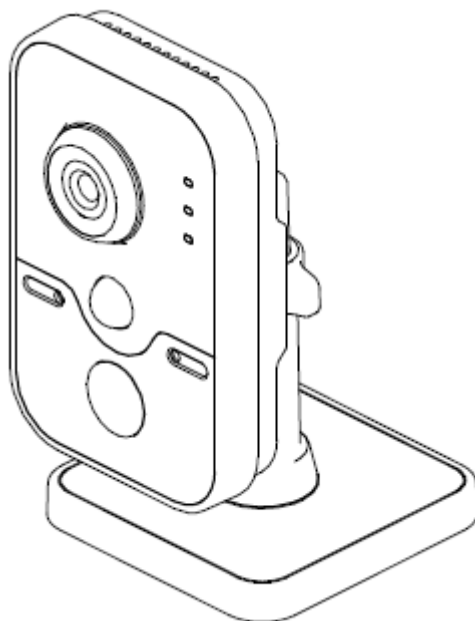


図 6-11 タイプ I の外観

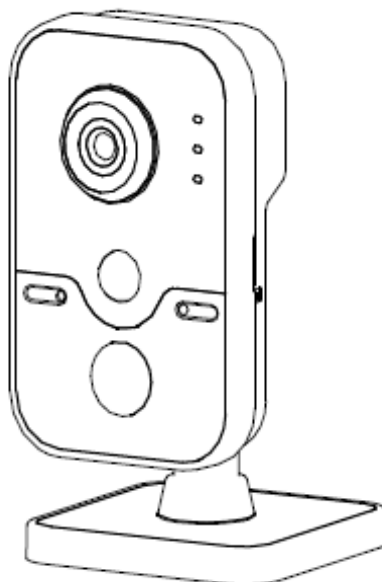


図 6-12 タイプ II の外観

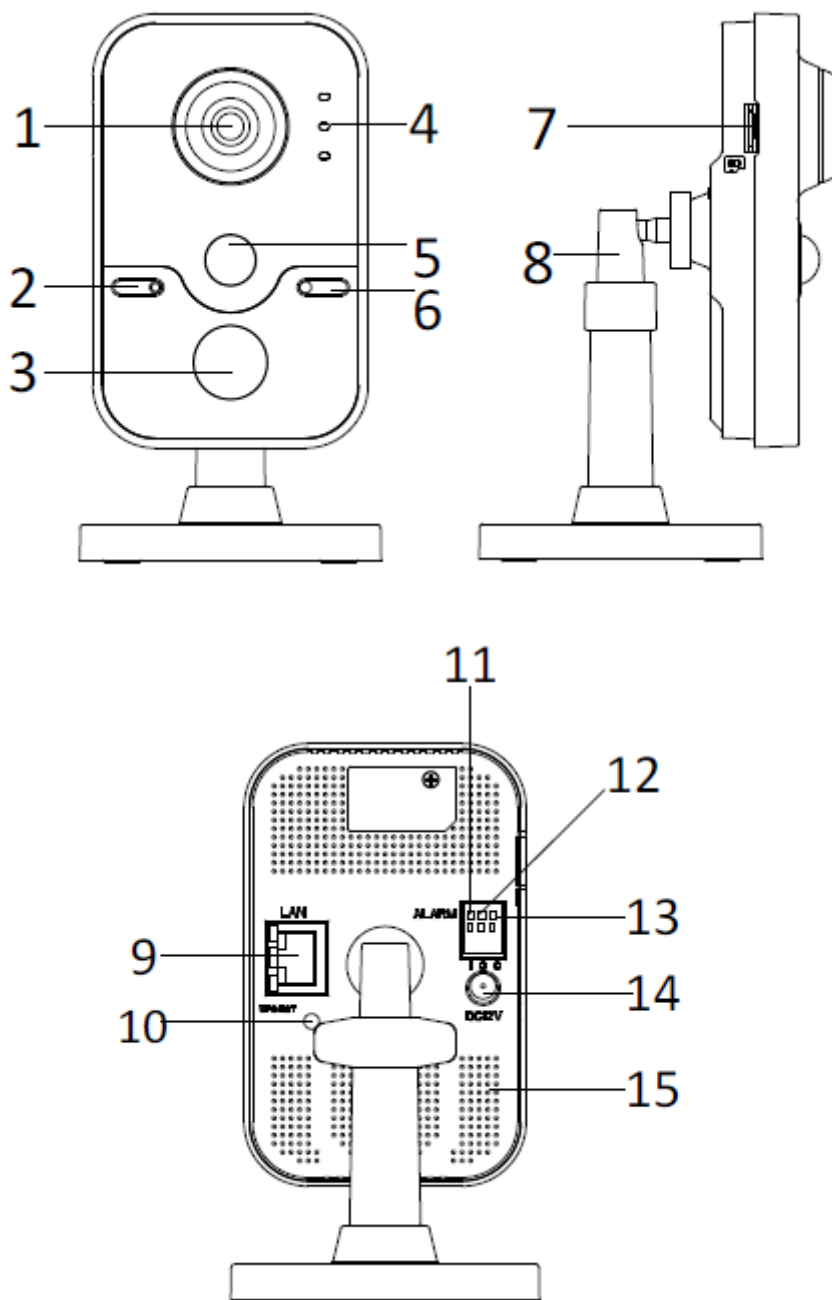


図 6-13 概要

表 6-4 説明

番号	説明
1	レンズ
2	マイクフォン
3	IR LED

4	インジケータ	アラーム： カメラがアラームされると赤色に点灯します。 カメラの電源が入っていないときは青色で点灯します。
		ステータス: 予約済み
		リンク： ネットワークが接続されているときは黄色で点滅します。 ネットワークが切断されると消灯します。
4	PIR (赤外線を感知) センサ	
5	光センシング	
6	SD カードスロット	
7	3 軸ブラケット	
8	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス & PoE	
9	WPS (Wifi プロテクトド セットアップ) / リセットボタン	
10	I: アラーム入力インターフェイス	
11	G: アース	
12	O: アラーム出力インターフェイス	
13	電源インターフェイス (12VDC)	
14	スピーカー	



- ❖ カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。
- ❖ カメラの WPS 機能を有効にするには、WPS 機能を備えた無線ルータが必要です。以下の手順を参照してください。

手順：

1. ルータの WPS ボタンを押します。
2. 120 秒以内にカメラの WPS ボタン (約 2 秒) を押すと、ルータの WPS をワイヤレスネットワークに接続することができます。



- WPS ボタンは、カメラの電源が入っているときに押すとリセットボタンとして機能します。
- カメラの WPS ボタンを押し、ルータの WPS ボタンを押しても機能し、カメラの WPS 接続の有効期限は 120 秒です。
- ワイヤレス接続が成功すると、リンクインジケータが点滅します。

6.3.2 注意

- 異常な天候の時はカメラを設置しないでください。



- 指でレンズに触れないでください。



- 強い光や不安定な状態にカメラを設置しないでください。



- カメラの振動、衝撃、または重い圧力にさらさないでください。



- 高湿度がカメラのハードウェアに損傷する恐れ入りますので、乾燥した換気の良い場所に保管してください。



- 如何なる状況においても、カメラをあらゆる種類の液体に浸すべきではありません。



- 電磁放射は、ビデオデータの伝送と画質に影響を与える可能性があります。



6.3.3 インストール

❖ スタンド取り付け

手順:

1. 3軸ブラケットを組み立てます。

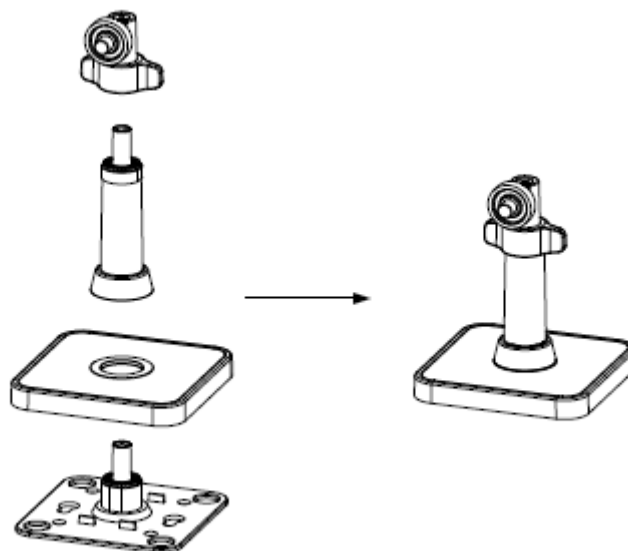


図 6-14 ブラケットの組み立て

2. カメラ本体をブラケットに合わせ、カメラ本体を回転させてブラケットに固定します。

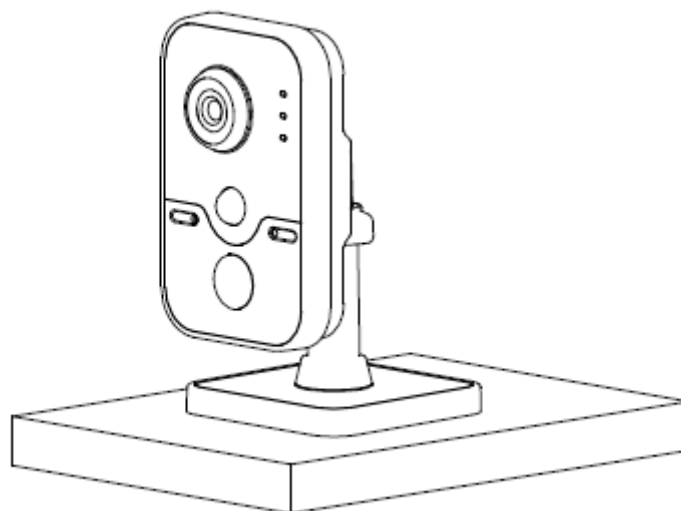


図 6-15 カメラ本体の取り付け

❖ 天井取り付け

3. ドリルテンプレートに従ってネジ穴をドリルします。

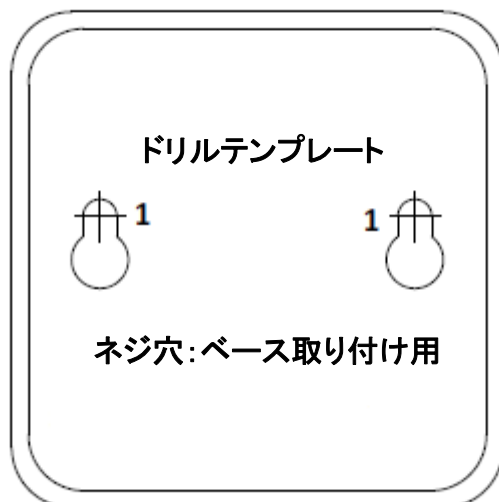


図 6-16 ドリルテンプレート

4. 付属のネジで固定プレートを天井に取り付けます。
5. 取り付けベースを固定プレートに取り付けます。

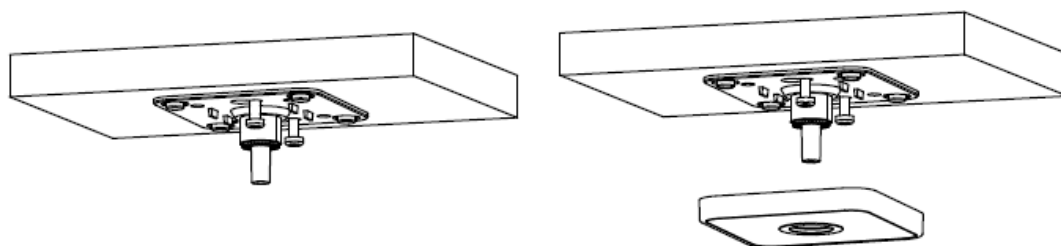


図 6-17 固定プレートと取り付けベースの取り付け

6. カメラをブラケットに取り付けます。

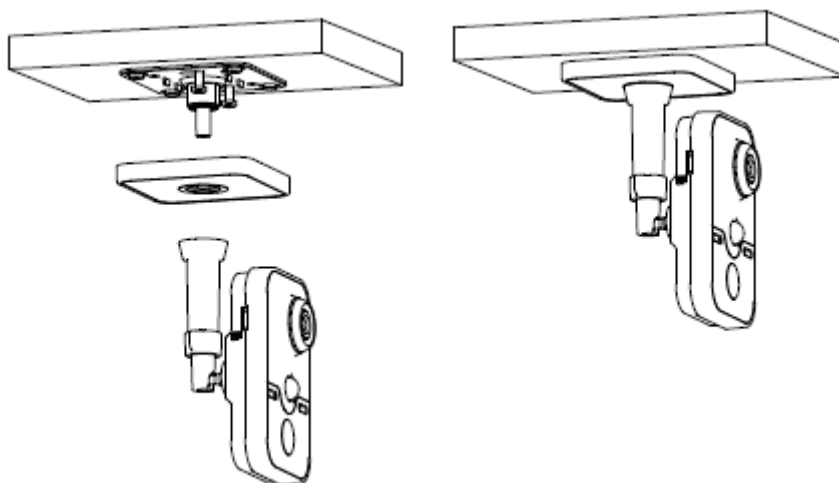


図 6-18 カメラのインストール

7. 監視角度を調整します。

- 1) ノブを緩めて、パン位置とチルト位置を調整します。
- 2) カメラの角度を調整した後、ノブを締めます。

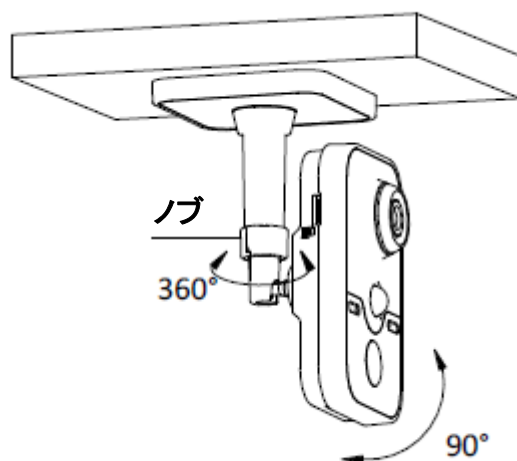


図 6-19 カメラの調整

第7章 ミニカメラの取り付け

7.1 カメラの説明

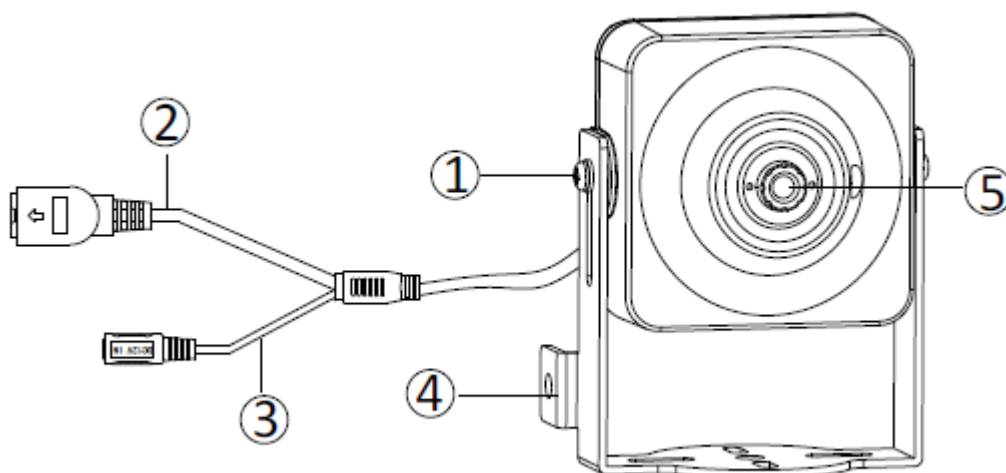


図 7-1 概観(1)

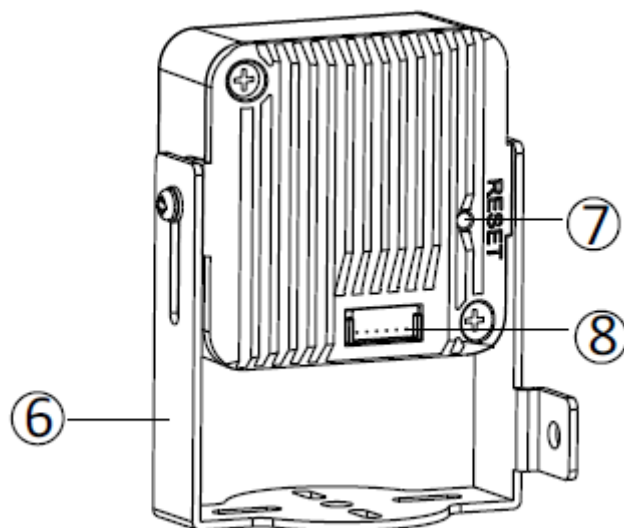


図 7-2 概観(2)

表 7-1 説明

番号	説明
1	チルト調整ネジ
2	10M / 100M 自己適応イーサネットインターフェイス
3	電源インターフェイス(12VDC)
4	接続線バックル
5	レンズ
6	ブラケット
7	リセットボタン
8	ネットワークケーブルと電源ケーブルインターフェイス



カメラの電源が入っているときに約 10 秒後にリセットを押すか、ユーザ名、パスワード、IP アドレス、ポート番号などのデフォルト設定に戻すためにリブートします。

7.2 インストール

手順:

1. ネジでカメラを取り付け面に固定します。

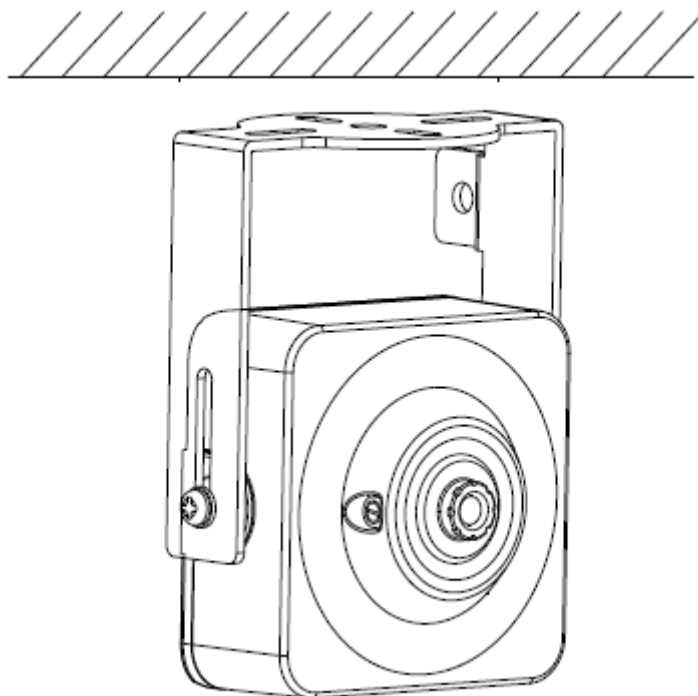


図 7-3 カメラの固定

2. カメラの位置を調整します。
 - 1) No.1 ネジ穴を使用してカメラを固定する場合は、ネジを少し緩めてカメラを左右に調整してください。
 - 2) No.2 ネジ穴を使用してカメラを固定する場合は、ネジを少し緩めてカメラを上下に調整できます。
 - 3) No.3 ネジ穴を使用してカメラを固定する場合、ネジを少し緩めてカメラを水平に回転させることができます。

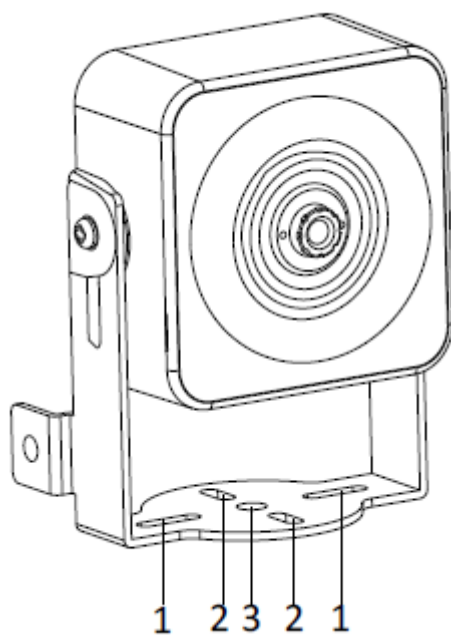


図 7-4 カメラの位置の調整

3. チルト調整ネジを緩めてカメラの監視角度を調整し、角度調整が完了したらネジを締めます。

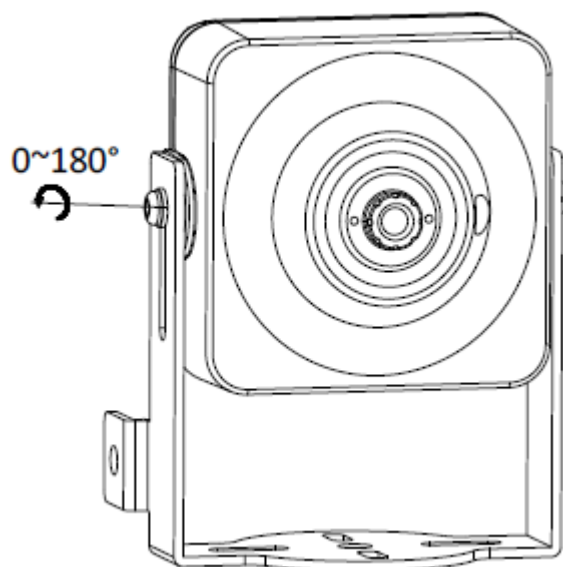


図 7-5 ブラケットの固定

第 8 章 モバイルカメラ

8.1 カメラの説明

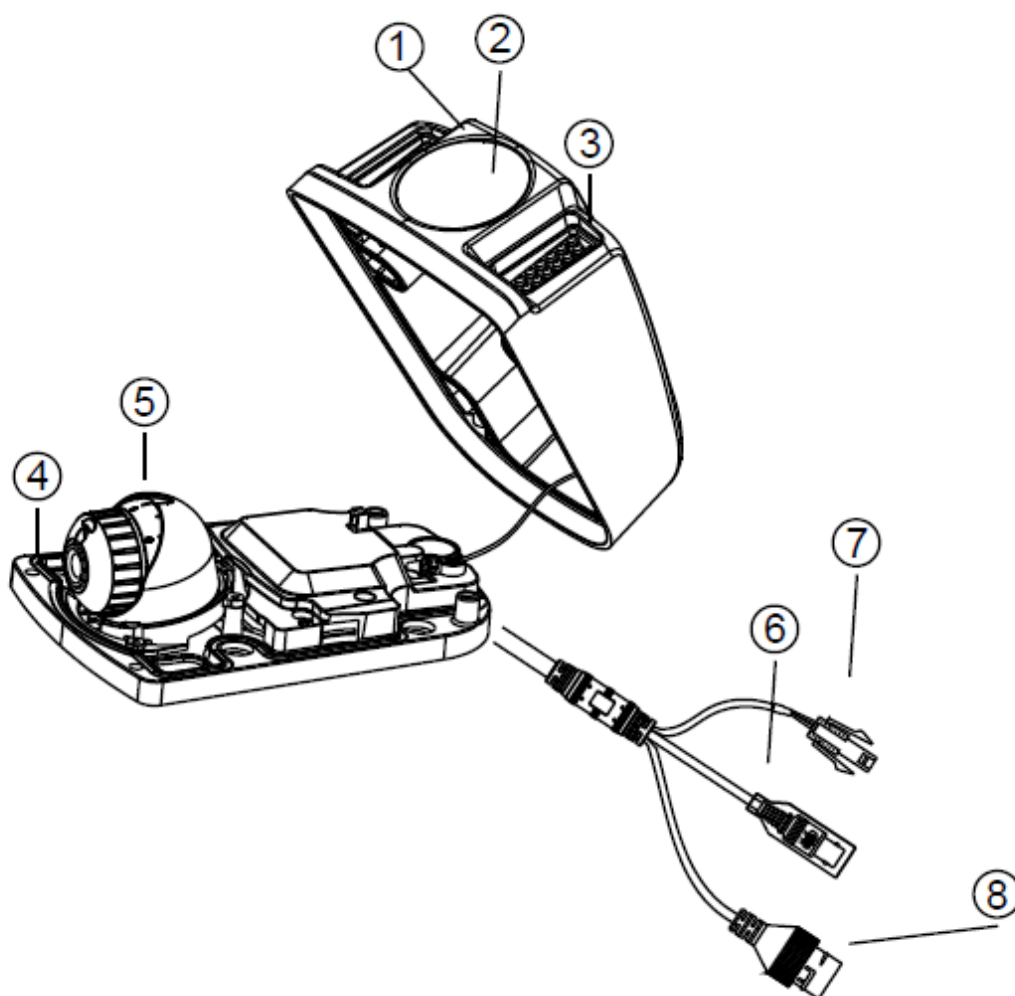


図 8-1 モバイルカメラの概要

表 8-1 説明

番号	説明	番号	説明
1	カバー	5	ドームドライブ
2	レンズシールド	6	ビデオケーブル
3	IR LED	7	電力ケーブル
4	取り付けベース	8	10/100M 自己適応イーサネットインターフェイス

8.2 インストール

手順:

1. 付属のドリルテンプレートに従って、ピークルシエルのネジ穴とケーブル穴をドリルします。

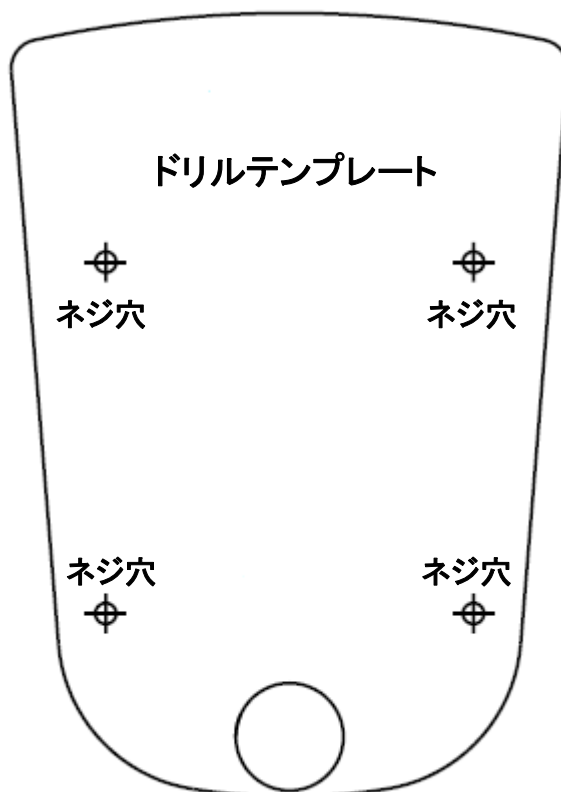


図 8-2 ドリルテンプレート

2. 取り付けベースをピークルシエルに取り付けます。
3. 付属のステンレススペーサーを取り付けネジに取り付けます。

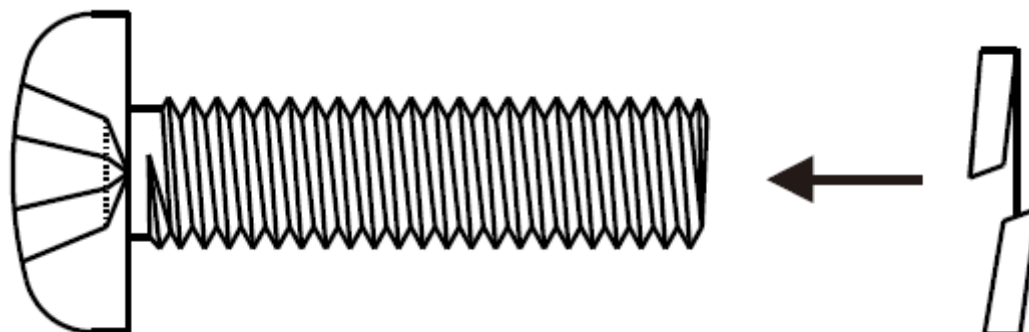


図 8-3 スペーサーを合わせる

4. 取り付けベースをドリルテンプレートに合わせてます。取り付けネジを取り付けベースのネジ

穴とビークルシェルに通します。

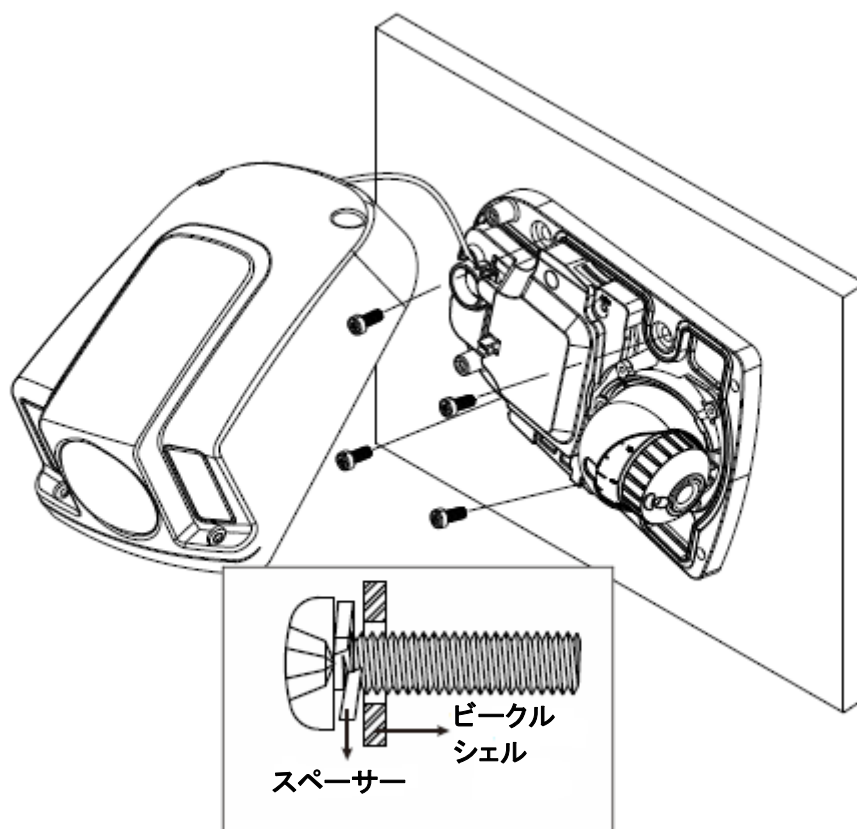


図 8-4 取り付けネジの取り付け

5. ナットをシェルの背面から取り付けネジの底にねじ込みます。

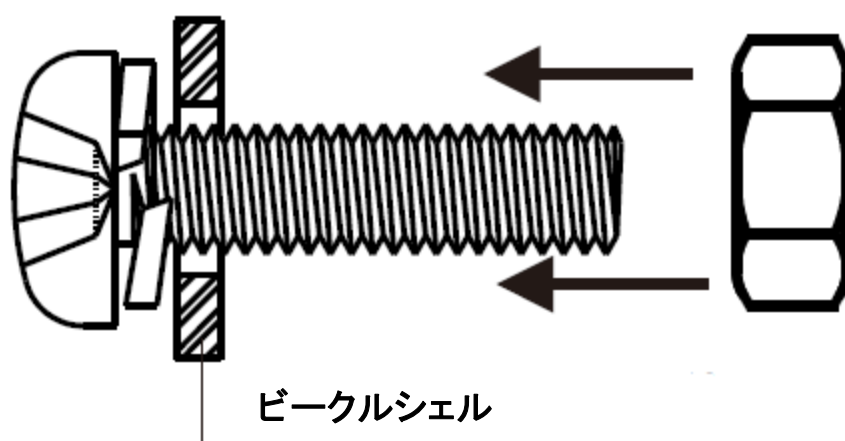


図 8-5 ナットをねじ込む

6. ナットを締めて、取り付けベースを固定します。

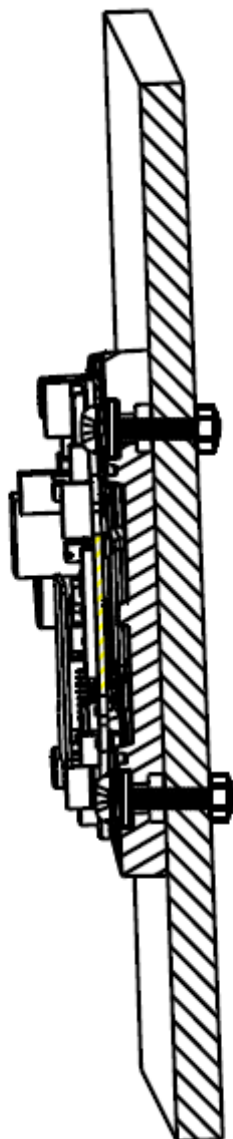


図 8-6 ナットを締める

7. 対応する電源ケーブル、ネットワークケーブル、およびビデオケーブルを接続します。
8. 監視角度を調整します。
 - 1) レンズを上を押して、傾斜角「 0° ~ 30° 」を調整します。
 - 2) P 方向固定ネジを緩めます。
 - 3) カメラを回してパン角度「 -15° ~ 15° 」を調整します。
 - 4) ロックネジを締めます。
 - 5) レンズを回転させて R 方向「 0° ~ 360° 」を調整します。

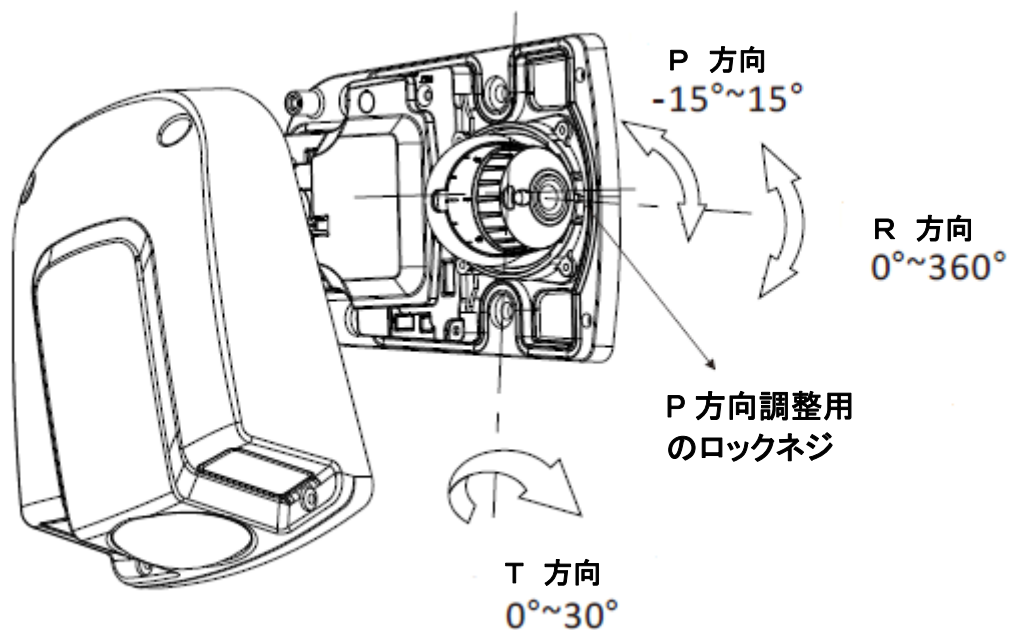


図 8-7 3 軸調整

9. カバーをカメラに合わせ、カバーと一緒に埋め込まれたネジを締めて固定します。

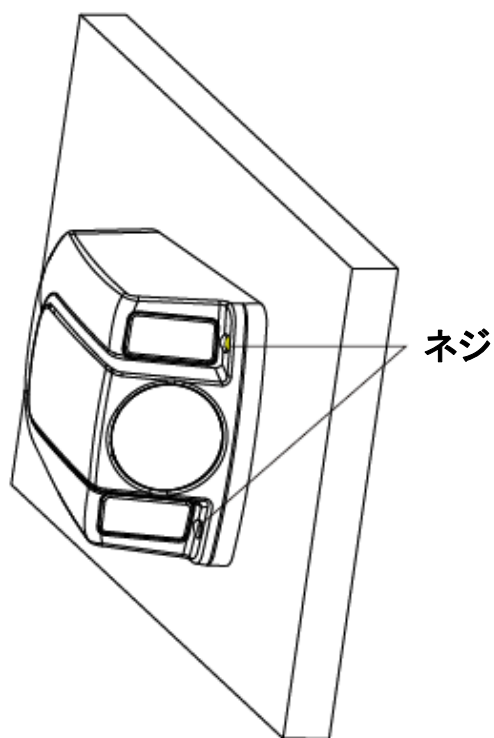


図 8-8 ネジを締める